

土 木 研 究 所 資 料

既存のプレート ガーダー耐荷力実験データ
に関する検討

平成3年3月

建設省土木研究所
構造橋梁部橋梁研究室

「 Copyright © (1991) by P.W.R.I.

All rights reserved. No part of this book may be reproduced by any means, nor transmitted, nor translated into a machine language without the written permission of the Director General of P.W.R.I.

この報告書は、土木研究所長の承認を得て刊行したものである。したがって、本報告書の全部又は一部の転載、複製は、土木研究所長の文書による承認を得ずしてこれを行ってはならない。」

既存のプレートガーダー耐荷力実験データ に関する検討

橋梁研究室	室長	藤原	稔
	研究員	村越	潤
		鹿嶋	久義
	部外研究員	斉藤	浩

要 旨

現在、土木研究所では、道路橋示方書の限界状態設計法への移行をふまえ、荷重及び部材の耐荷力に関して種々の研究を行っている。鋼部材の耐荷力に関しては、プレートガーダーを対象に主として終局限界状態の照査に用いるべき耐荷力に関する検討を行っている。本報告は、プレートガーダーの耐荷力の統計的性質を評価する上で基本となる既存の実験データを整理し、とりまとめたものである。

キーワード：プレートガーダー、耐荷力、データベース

目 次

ま え が き	1
1 検討の対象とした耐荷力実験データの概要	2
1.1 耐荷力実験データの数	2
1.2 耐荷力実験データの内容	2
2 上下フランジ対称プレートガーダーの耐荷力実験データの分析結果	6
2.1 供試体の寸法諸元および耐荷力の一覧	6
2.2 データ内容の分析結果	30
(1) 作用力別データの内訳	30
(2) ウェブ幅厚比とデータ数の関係	31
(3) ウェブ高とデータ数の関係	37
(4) ウェブ厚とデータ数の関係	38
(5) ウェブ高とウェブ厚の関係	39
2.3 座屈パラメータと耐荷力の関係	40
(1) フランジねじれ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係	40
(2) フランジ水平座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係	41
(3) ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係	42
(4) ウェブせん断座屈パラメータとせん断耐荷力の関係	47
2.4 曲げ耐荷力とせん断耐荷力の相関関係	50
3 上下フランジ非対称プレートガーダーの耐荷力実験データの分析結果	52
3.1 供試体の寸法諸元および耐荷力の一覧	52
3.2 データ内容の分析結果	58
(1) 作用力別データの内訳	58
(2) ウェブ幅厚比とデータ数の関係	59
(3) ウェブ高とデータ数の関係	65
(4) ウェブ厚とデータ数の関係	66
(5) ウェブ高とウェブ厚の関係	67
3.3 座屈パラメータと耐荷力の関係	68
(1) フランジねじれ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係	68
(2) フランジ水平座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係	68
(3) ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係	69
3.4 曲げ耐荷力とせん断耐荷力の相関関係	70
4 水平と垂直補剛材の交差部の溶接の有無による耐荷力の相違	72
4.1 交差部の処理の現状	72
4.2 交差部の溶接の有無による耐荷力の相違	73
5 ま と め	79

謝 辞	81
参 考 文 献	82
付 録	
1. 耐荷力実験に関する既存の文献	87
2. 載荷状態とテストパネルの形状一覧	129
3. データベースに登録されているデータ	143
3.1 上下フランジ対称プレートガーダー	143
3.2 上下フランジ非対称プレートガーダー	213

まえがき

プレートガーダーの耐荷力に関しては、古くから我が国においても多くの理論解析、実験に基づく研究が行われている。プレートガーダーの耐荷力特性は構成する板要素の寸法比をはじめ、鋼種、補剛材の寸法、剛度、配置、桁の有する初期不整等種々の要因の影響を受け、理論的研究だけでは必ずしも十分評価できない面を持っている。今までにも数多くの耐荷力実験が行われてきており、既存の実験結果を収集して整理し、耐荷力およびその統計的性質を把握しておくことが重要であると考えられる。塩見、伊藤、福本らは既存のプレートガーダーの耐荷力に関する実験結果を1供試体ごとにデータベース化し、データの分析、数種の強度算定式との比較検討を行っている。^{42) 48)}

本報告は、プレートガーダーに関する既存の耐荷力実験結果を整理し、①種々の座屈パラメータに対する耐荷力の特性を把握すること、②既存の耐荷力実験の供試体の諸元を把握し、土研における水平補剛材2本を有する供試体の実験結果（土研資料2533号）との比較を行うためのデータを把握すること、③今後補足すべき実験データを把握するための基礎資料とすることを目的にまとめたものである。

1 検討の対象とした耐荷力実験データの概要

1.1 耐荷力実験データの数

本資料において検討の対象としたデータはプレートガーダー供試体314体に関するものである。これら314体のデータは、①塩見、伊藤、福本が文献42)に報告しているデータ333体から、フランジにカバープレートが付いているもの、フランジとウェブが異鋼種で組立られているものおよび補剛材やフランジがウェブにボルトで取付けられているもの計61体を除いた耐荷力実験データ272体、②南港大橋に関する耐荷力実験データ20体、③昭和61～62年度に土木研究所で行われた耐荷力実験データ22体である。

以下本文ではこれら314体のデータを上下フランジが対称なもの計267体と上下フランジが非対称なもの計47体に分類して分析を行っている。

1.2 耐荷力実験データの内容

表－1.1に各供試体の耐荷力実験データのデータ項目の内容を示す。なお、表中のデータ項目は、文献42)のデータベースのデータ項目に、本報告書で検討する上で必要となる項目を若干追加している。

以下に表－1.1の1～44の各データ項目の中の主な項目の内容を示す。

1. データ番号

上下フランジが対称な供試体267体に1体ずつ1～267番（上下フランジが非対称な供試体に対しては1～47番）までの番号をふり、これをデータ番号としている。

2. 文献番号

本報告書に記載している1～41番および46番の参考文献の番号としている。

3. 荷重タイプ

供試体テストパネル部に作用力状態に応じて次の3タイプに分類している。

1：純曲げ

テストパネル中央で純曲げ状態にあるもの。

2：純せん断

文献42)を参考とし、テストパネル中央で曲げモーメントが0となるものを純せん断と定義している。

3：曲げ+せん断

テストパネル中央で曲げとせん断が共存するもの。

12. 水平補剛材、22. 垂直補剛材の取付け

テストパネル部に取り付く補剛材の配置方法について、ウェブ中心に対し以下の3タイプに分類している。なお、テストパネル部両端の垂直補剛材は本項目では対象外としている。

N：なし，S：片面配置，D：両面配置

15. 水平補剛材の間隔比

水平補剛材があるものについてはその取付け位置を、水平補剛材の間隔のウェブ高に対する比で示している。なお、水平補剛材のないものについてはブランクとしている。

16. ～18. 水平補剛材の間隔, 19. ～20. 水平補剛材の位置

図-1.1 に示すとおりとしている。

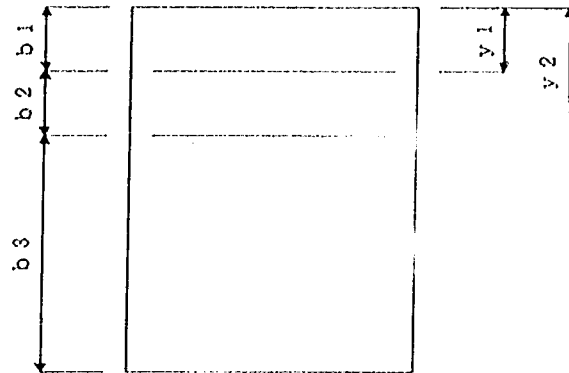


図-1.1 ウェブの寸法記号

21. 垂直補剛材の本数

全体テストパネル（以下、全体パネルという）に含まれる垂直補剛材の本数（全体パネル両端の垂直補剛材は除く）としている。なお、文献に垂直補剛材の本数が記載されていないものについてはブランクとしている。

26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い部の溶接の有無

NとYを用いて次のとおり2つに分類している。

N：溶接せずに離している場合， Y：溶接で接合している場合

なお、文献に記載されていないものについてはブランクとしている。

27. 鋼種

鋼種の記号としている。文献に鋼種が記載されていないものについてはブランクとしている。

33. 終局曲げモーメント

テストパネル内に生じる曲げモーメントの最大値としている。

35. 支間長

36. フランジの固定間距離

文献¹³⁾のデータベースに記載されている値を用いている。記載されていないものについては、ブランクとしている。フランジの固定間距離を必要とする計算では（38. 全体パネルの長さ）を用いている。

37. 部分パネルの長さ

垂直補剛材間の水平補剛（水平補剛材のない場合もある）されたパネルを部分パネルと呼んでおり、その垂直補剛材の間隔を長さとしている。したがって25. と同じ値となる。

38. 全体パネルの長さ

水平および垂直剛材で直交補剛されたパネルを全体パネルと呼んでおり、そのパネルの間隔を長さとしている。

39. 載荷点位置 X a, 40. ～42. テストパネル着目点（順に“曲げ最大位置 X 1”, “テストパネル中央 X 2”, “等曲げ換算位置 X 3”）

載荷点位置は図-1.2に示すように、支点からの距離とした。

曲げとせん断が作用する場合、図-1.2に示すように作用曲げモーメント M は供試体の長さ方向に変化する。42. の等曲げ換算位置 X 3 は、次式の三上ら⁴⁴⁾による等曲げ換算位置の算出式を用いて求めたものである。なお純曲げの場合40. と42. はブランクとしている。

$$\alpha = l/b_w \quad (1.1)$$

$$\xi = \begin{cases} \xi_1 & : \alpha \leq 1 \\ \xi_1 (1/\alpha)^n & : \alpha > 1 \end{cases} \quad (1.2.1)$$

$$(1.2.2)$$

$$\xi_1 = 0.377(1 - \beta) + 0.5\beta \quad (1.3)$$

$$n = \frac{3.675(1 - \beta)}{1 + 5.55(1 - \beta)} \quad (1.4)$$

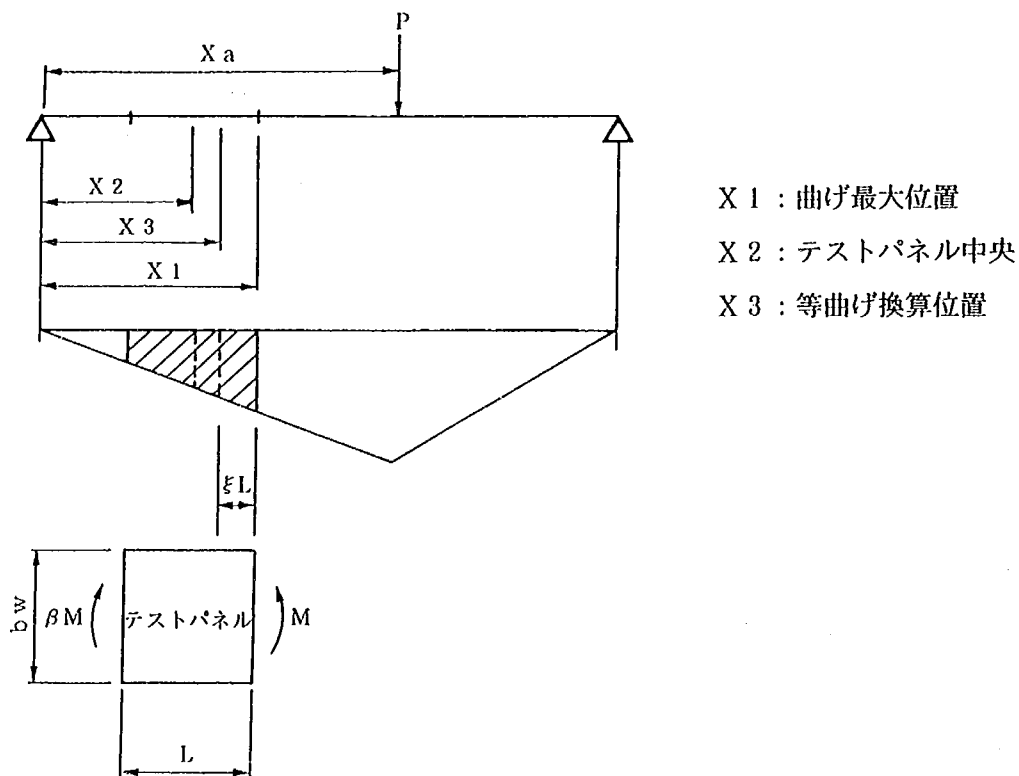


図-1.2 桁の寸法記号

43. 国別の分類

国別に次のとおり3つに分類した。

J : Japan, E : Europe, N : North America

なお、文献に記述がなく不明なデータに関しては、ブランクとしている。

44. 旧データ番号

文献43)のデータベースのデータ番号を示している。なお、追加登録したデータについてはブラ
ンクとしている。

表-1.1 登録されているデータ項目

データ項目	データ例
1. データ番号	= 247
2. 文献番号	= 34
3. 荷重	= 1.
4. 供試体名	= B-24
5. 圧縮フランジ幅 b f	(mm) = 290.000
6. 圧縮フランジ厚 t f	(mm) = 14.340
7. 引張フランジ幅 b f	(mm) = 290.000
8. 引張フランジ厚 t f	(mm) = 14.340
9. ウエブ高 b w	(mm) = 2200.000
10. ウエブ厚 t w	(mm) = 4.900
11. 水平補剛材の本数 N h	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 b h	(mm) = 55.000
14. 水平補剛材の厚さ t h	(mm) = 5.970
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b 1	(mm) = 220.000
17. 水平補剛材の間隔 b 2	(mm) = 330.000
18. 水平補剛材の間隔 b 3	(mm) = 1650.000
19. 水平補剛材の位置 y 1	(mm) = 220.000
20. 水平補剛材の位置 y 2	(mm) = 550.000
21. 垂直補剛材の本数 N v	(mm) = 1
22. 垂直補剛材の取付け	= S
23. 垂直補剛材の幅 b v	(mm) = 53.000
24. 垂直補剛材の厚さ t v	(mm) = 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1330.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.340
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.340
30. ウエブの降伏点	(kg/mm ²) = 31.190
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m) = 336.300
34. 終局せん断力	(t) = 0.000
35. 支間長 l	(mm) = 7980.000
36. フランジの固定間距離 l e	(mm) = 2660.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm) = 1330.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm) = 2660.000
39. 載荷点位置 X a	(mm) = 2310.000
40. テストパネル着目点(曲げ最大位置) X 1	(mm) =
41. テストパネル着目点(テストパネル中央) X 2	(mm) = 3990.000
42. テストパネル着目点(等曲げ換算位置) X 3	(mm) =
43. 国別の分類	= J
44. 旧データ番号	= 335

2 上下フランジ対称プレートガーダーの耐荷力実験データの分析結果

2.1 供試体の寸法諸元および耐荷力の一覧

表-2.1に供試体を構成する寸法諸元データを、表-2.2に荷重の載荷状態やウェブやフランジの幅厚比をはじめとするパラメトリックデータを、表-2.3に耐荷力の実験値および文献44)で提案されている耐荷力算定式による耐荷力の計算値の一覧表を示す。表-2.2および表-2.3の値は表-1.1に示されているデータから求めたものである（計算できない場合は0としている）。表-2.4, 2.5に各値の意味を示す。

表-2.4 表-2.2中の記号の説明

b_w/t_w	ウェブ幅厚比
b_f/t_f	フランジ幅厚比
A_w/A_f	ウェブとフランジ断面積比
a/b_1	単一パネルの縦横比
a/b_2	単一パネルの縦横比
a/b_3	単一パネルの縦横比
a/b_w	部分パネルの縦横比
L/b_w	全体パネルの縦横比
λ_o	ウェブの曲げ等価幅厚比
λ_r	ウェブのせん断等価幅厚比
γ_h/γ_{hreq}	水平補剛材の剛比
γ_v/γ_{vreq}	垂直補剛材の剛比
M_y	降伏曲げモーメント (t・m) $M_y = b_w \sigma_{yf} (A_f + A_w/6)$
V_y	降伏せん断力 (t) $V_y = A_w \sigma_{yw} / \sqrt{3}$

表-2.5 表-2.3中の記号の説明

M_{u1}	終局曲げモーメント (実験値, 曲げ最大位置) (t・m)
M_{u2}	終局曲げモーメント (実験値, パネル中央位置) (t・m)
M_{u3}	終局曲げモーメント (実験値, 等曲げ換算位置) (t・m)
V_u	終局せん断力 (実験値) (t)
M_{u1}/M_y	終局曲げモーメントと降伏曲げモーメントの比 (実験値)
M_{u2}/M_y	終局曲げモーメントと降伏曲げモーメントの比 (実験値)
M_{u3}/M_y	終局曲げモーメントと降伏曲げモーメントの比 (実験値)
V_u/V_y	終局せん断力と降伏せん断力の比 (実験値)
M_{u1h}	終局曲げモーメント (計算値 ⁴⁴⁾) (t・m)
V_{u1h}	終局せん断力 (計算値 ⁴⁴⁾) (t)
M_{u1}/M_{u1h}	終局曲げモーメントの実験値と計算値の比
M_{u2}/M_{u1h}	終局曲げモーメントの実験値と計算値の比
M_{u3}/M_{u1h}	終局曲げモーメントの実験値と計算値の比
V_u/V_{u1h}	終局せん断力の実験値と計算値の比

表-2.1(a) 寸法諸元データ

データ 番号	旧データ 番号	文 献 番号	供 試 体 番号	荷重 状態	フランジ幅 bf (mm)	フランジ厚 tf (mm)	ウェブ高 bv (mm)	ウェブ厚 tw (mm)	水 平 補剛材 の本数	水 平 補剛材 の取付	水平補剛材の間隔比	垂 直 補剛材 の本数	垂 直 補剛材 の取付	垂直補剛材の間隔 (mm)	水平垂直 補剛材の 取り合い	鋼 種
1	1	1	AQBX1	1	194.6	14.1	804	6	0	N		0	D	790		SM58Q
2	2	1	AQBX2	1	195.4	14.1	804.5	6	0	N		0	D	790		SM58Q
3	3	1	AQBY1	1	196.1	14.1	789	6.1	0	N		0	D	790		SM58Q
4	4	1	AQBY2	1	195.3	14.2	789	6.4	0	N		0	D	790		SM58Q
5	5	1	GBX1	1	182.1	25.3	779	6.5	0	N		0	D	790		SM41B
6	6	1	GBX2	1	180.3	25.3	789.9	6.2	0	N		0	D	790		SM41B
7	7	1	GBY1	1	181.5	25.3	789.5	6.2	0	N		0	D	790		SM41B
8	8	1	GBY2	1	180.4	24.9	789	6.4	0	N		0	D	790		SM41B
9	9	1	GBY117	1	181.6	25.9	1098	5.8	0	N		0	D	1100		SM41B
10	10	1	GBY217	1	181.5	25.9	1100	5.8	0	N		0	D	1100		SM41B
11	11	2	M.AC2	1	260	13	951	3.2	0	N		0	D	914	N	A514
12	12	2	M.AC1	1	275	15.7	952	4.5	0	N		0	D	914	N	A514
13	13	2	M.AA1	1	274	15.6	949	4.9	0	N		0	D	914	N	A514
14	14	2	M.AA2	1	262	12.8	949	3.8	0	N		0	D	914	N	A514
15	15	3	B.150.1	1	180	9	480	3.2	0	N		0		240		SM41
16	16	3	B.150.2	1	180	9	481	3.2	0	N		0		360		SM41
17	17	3	B.150.3	1	180	9	479	3.2	0	N		0		480		SM41
18	18	3	B.150.4	1	180	9	480	3.2	0	N		0		600		SM41
19	19	3	B.150.5	1	180	9	479	3.2	0	N		0		720		SM41
20	20	3	B.209.1	1	180	9	481	2.3	0	N		0		240		SM41
21	21	3	B.209.2	1	180	9	480	2.3	0	N		0		360		SM41
22	22	3	B.209.3	1	180	9	481	2.3	0	N		0		480		SM41
23	23	3	B.209.4	1	180	9	479	2.3	0	N		0		600		SM41
24	24	3	B.209.5	1	180	9	480	2.3	0	N		0		720		SM41
25	25	4	B1	1	150	9.8	668	3.1	0	N		0	D	660		
26	26	4	B2	1	150	9.8	480	3.1	0	N		0	D	468		
27	27	5	G2.T1	1	310	19.5	1270	6.86	0	N		0	D	1905		
28	28	5	G2.T2	1	310	19.5	1270	6.86	0	N		1	D	952.5		
29	29	5	G4.T1	1	309	19.7	1270	3.28	0	N		0	D	1905		
30	30	5	G4.T2	1	309	19.7	1270	3.28	0	N		1	D	952.5		
31	31	5	G6.T1	2	308.1	19.8	1270	4.9	0	N		0	D	1905		
32	32	5	G6.T2	2	308.1	19.8	1270	4.9	0	N		1	D	952.5		
33	33	5	G6.T3	2	308.1	19.8	1270	4.9	0	N		2	D	635		
34	34	5	G7.T1	2	309.6	19.5	1270	4.98	0	N		0	D	1270		
35	35	5	G7.T2	2	309.6	19.5	1270	4.98	0	N		0	D	1270		
36	36	5	G8.T1	3	304.8	19.1	1270	5	0	N		0	D	3810		
37	37	5	G8.T2	3	304.8	19.1	1270	5	0	N		1	D	1905		
38	38	5	G8.T3	3	304.8	19.1	1270	5	0	N		0	D	1905		
39	39	5	G9.T1	3	304.8	19.2	1270	3.32	0	N		0	D	3810		
40	40	5	G9.T2	3	304.8	19.2	1270	3.32	0	N		1	D	1905		

荷重状態 1: 純曲げ, 2: 純せん断, 3: 曲げ+せん断
 補剛材の取付 N: なし, S: 片側, D: 両側
 補剛材の取り合い N: 離れている, Y: 溶接している, 空白: 不明

表-2.1(b) 寸法諸元データ

データ 番号	旧データ 番号	文 献 番号	供 試 体 番号	荷重 状態	フランジ幅 bf (mm)	フランジ厚 tf (mm)	ウェブ高 bv (mm)	ウェブ厚 tw (mm)	水 平 補 剛 材 の本数	水 平 補 剛 材 の 取 付	水 平 補 剛 材 の 間 隔 比	垂 直 補 剛 材 の本数	垂 直 補 剛 材 の 取 付	垂 直 補 剛 材 の 間 隔 (mm)	水 平 垂 直 補 剛 材 の 取 り 合 い	鋼 種
41	43	5	G9.T3	3	304.8	19.2	1270	3.32	0	N		0	D	1905		
42	44	12	AQSY1	2	195.5	14	789	7	0	N		0	D	789		SM58Q
43	45	12	AQSY1	2	196.4	14.1	789	6.1	0	N		0	D	789		SM58Q
44	46	12	GSX1	2	179.5	25.3	790	6.4	0	N		0	D	790		SM41B
45	47	12	GSX2	2	179.2	24.9	789	6.8	0	N		0	D	789		SM41B
46	48	12	GSY1	2	179.6	25.3	790	6.8	0	N		0	D	790		SM41B
47	49	12	BSY1	2	195.1	14.2	790	6.8	0	N		0	D	790		SM58N
48	51	13	H1.T2	3	458.7	24.8	1270	9.98	0	N		0	D	1905		N-A-XI
49	54	15	G.1	3	160	30	440	8	0	N		0	N	1150		HICON
50	55	15	G.2	3	200	30	440	8	0	N		0	N	1150		HICON
51	56	15	G.3	3	160	30	560	8	0	N		0	N	1500		HICON
52	57	15	G.4	3	250	30	560	8	0	N		0	N	2000		HICON
53	58	15	G.5	3	250	30	560	8	0	N		0	N	1500		HICON
54	59	15	G.6	3	250	30	560	8	0	N		0	N	700		HICON
55	60	15	G.7	3	250	30	560	8	0	N		0	N	1500		HICON
56	62	15	G.9	3	250	30	720	8	0	N		0	N	2000		HICON
57	63	16	NO.1.1	3	150	14	500	4.5	0	N		0	D	1100		
58	64	16	NO.1.2	3	150	14	500	4.5	0	N		0	D	1100		
59	65	16	NO.2.1	3	160	4.5	400	4.5	0	N		0	D	800		
60	66	16	NO.2.2	3	160	4.5	400	4.5	0	N		0	D	800		
61	67	17	A	1	240	12	1200	4.5	0	N		0	D	1200		SS41
62	68	17	B	3	240	12	1200	4.5	0	N		0	D	1200		HT60
63	69	17	C	1	240	12	1200	6	0	N		0	D	1200		HT60
64	70	18	G-2	3	200	22	820	6	0	N		0		2100		
65	71	18	G-3	3	200	22	970	5.5	0	N		0		2475		
66	72	18	G-4	3	200	22	1190	5.2	0	N		0		3050		
67	73	19	AQCY1.4.1	3	195.8	14.1	790	6.1	0	N		0	D	790		SM58Q
68	74	19	AQCY1.4.2	3	194.1	13.8	790	6.2	0	N		0	D	790		SM58Q
69	75	19	AQCY1.3.6	3	195.3	14.2	790	6.4	0	N		0	D	790		SM58Q
70	76	19	AQCY1.2.8	3	195.1	14	789	6.7	0	N		0	D	790		SM58Q
71	77	19	GCX1.4	3	179.8	25	790	6.4	0	N		0	D	790		SM41B
72	78	19	GCX2.4	3	181.1	25.1	788	6.3	0	N		0	D	790		SM41B
73	79	19	GCY1.5	3	180.8	25.2	788	6.2	0	N		0	D	790		SM41B
74	80	19	GCY1.4	3	180.5	25.3	789	6.8	0	N		0	D	790		SM41B
75	81	19	GCY1.3.6	3	181	25	789	6.3	0	N		0	D	790		SM41B
76	82	19	GCY1.2.3	3	179.2	24.9	789	6.8	0	N		0	D	500		SM41B
77	83	20	A.1	3	25.4	6.35	133.3	1.42	0	N		0		177.8	N	
78	84	20	A.2	3	25.4	6.35	133.3	1.42	0	N		0		279.4	N	
79	85	20	A.3	3	25.4	6.35	133.3	1.42	0	N		0		571.5	N	
80	86	6	A.	1	84	8	800	3.2	0	N		2	D	560		SS41

荷重状態 1: 純曲げ, 2: 純せん断, 3: 曲げ+せん断
 補剛材の取付 N: なし, S: 片側, D: 両側
 補剛材の取合い N: 離れている, Y: 溶接している, 空白: 不明

表-2.1(c) 寸法諸元データ

データ 番号	旧データ 番号	文 献 番号	供 試 体 番号	荷重 状態	フランジ幅 bf (mm)	フランジ厚 tf (mm)	ウェブ高 bv (mm)	ウェブ厚 tw (mm)	水 平 補剛材 の本数	水 平 補剛材 の取付	水平補剛材の間隔比	垂 直 補剛材 の本数	垂 直 補剛材 の取付	垂直補剛材の間隔 (mm)	水平垂直 補剛材の 取り合い	鋼 種
81	87	6 B.		1	100	9	800	3.2	0	N		2	D	560		SS41
82	88	22 TG.10		3	101.6	4.7	609.6	2.72	0	N		0	N	609.6		
83	89	22 TG.11		3	101.6	4.75	609.6	2.72	0	N		0	N	609.6		
84	90	22 TG.20		3	101.6	6.55	609.6	2.72	0	N		0	N	609.6		
85	91	22 TG.21		3	101.6	6.43	609.6	2.72	0	N		0	N	609.6		
86	92	22 TG.30		3	101.6	12.57	609.6	2.74	0	N		0	N	609.6		
87	93	22 TG.31		3	101.6	12.62	609.6	2.74	0	N		0	N	609.6		
88	94	22 TG.40		3	101.6	15.88	609.6	2.72	0	N		0	N	609.6		
89	95	22 TG.41		3	101.6	15.82	609.6	2.72	0	N		0	N	609.6		
90	96	22 TG.13		3	101.6	25.32	609.6	2.62	0	N		0	N	609.6		
91	97	22 TG.50		3	203.2	9.5	609.6	2.62	0	N		0	N	609.6		
92	98	22 TG.51		3	203.2	9.52	609.6	2.62	0	N		0	N	914.4		
93	99	22 TG.60		3	203.2	16.36	609.6	2.62	0	N		0	N	914.4		
94	100	22 TG.61		3	203.2	16.13	609.6	2.62	0	N		0	N	914.4		
95	101	22 TG.90		3	203.2	9.85	609.6	2.62	0	N		0	N	1219.2		
96	102	22 TG.91		3	203.2	9.85	609.6	2.62	0	N		0	N	1219.2		
97	103	22 TG.100		3	203.2	16.26	609.6	2.62	0	N		0	N	1219.2		
98	104	22 TG.200		3	76.2	3.25	304.8	2.03	0	N		0	N	304.8		
99	105	22 TG.210		3	76.2	4.88	304.8	2.03	0	N		0	N	304.8		
100	106	22 TG.220		3	76.2	6.48	304.8	2.03	0	N		0	N	304.8		
101	107	22 TG.230		3	76.2	9.22	304.8	2.03	0	N		0	N	304.8		
102	108	22 TG.240		3	76.2	12.95	304.8	2.03	0	N		0	N	304.8		
103	109	22 TG.250		3	76.2	15.54	304.8	2.03	0	N		0	N	304.8		
104	110	22 STG.2		3	127	6.35	253	1.6	0	N		0	N	502		
105	111	22 STG.4		3	102	6.35	251	1.25	0	N		0	N	498		
106	112	23 LS1T2		2	359	38	1270	4.95	1	S	0.33:0.67	0		1270		
107	113	23 LS2T1		2	359	37.9	1270	4.62	1	S	0.33:0.67	0		1270		
108	114	23 LS3T1		2	362	33.5	1270	4.6	1	S	0.33:0.67	0		1905		
109	115	23 LS3T2		2	362	33.5	1270	4.6	1	S	0.33:0.67	0		1905		
110	116	23 LS3T3		2	362	33.5	1270	4.6	1	S	0.33:0.67	0		953		
111	117	23 LS4T1		2	359	38.4	1270	4.88	1	S	0.20:0.80	0		1270		
112	118	23 LS4T2		2	359	38.4	1270	4.88	1	S	0.50:0.50	0		1270		
113	119	8 B.25.0		1	226	9	796	3.1	0	N		0	N	1193		SM41
114	120	8 B.25.1		1	226	9	795	3.1	1	D	0.20:0.80	0	N	1193	Y	SM41
115	121	8 B.25.5		1	226	9	795	3.1	1	D	0.20:0.80	0	N	1192	Y	SM41
116	122	8 B.35.1		1	226	9	1114	3.1	1	D	0.20:0.80	0	N	1674	Y	SM41
117	123	8 B.35.1A		1	226	9	1114	3.1	1	D	0.20:0.80	0	N	1674	Y	SM41
118	124	8 B.35.1E		1	226	9	1115	3.1	1	S	0.20:0.80	0	N	1674	N	SM41
119	125	8 B.35.5		1	226	9	1115	3.1	1	D	0.20:0.80	0	N	1674	Y	SM41
120	134	24 S.25.0		3	300	12	800	3.2	1	D	0.20:0.80	0	N	1200	Y	SM41

荷重状態 1:純曲げ, 2:純せん断, 3:曲げ+せん断
 補剛材の取付 N:なし, S:片側, D:両側
 補剛材の取り合い N:離れている, Y:溶接している, 空白:不明

表-2.1(d) 寸法諸元データ

データ 番号	旧データ 番号	文 献 番号	供 試 体 番号	荷重 状態	フランジ幅 bf (mm)	フランジ厚 tf (mm)	ウェブ高 bv (mm)	ウェブ厚 tw (mm)	水 平 補 剛 材 の本数	水 平 補 剛 材 の 取 付	水平補剛材の間隔比	垂 直 補 剛 材 の本数	垂 直 補 剛 材 の 取 付	垂 直 補 剛 材 の間隔 (mm)	水 平 補 剛 材 の 取 付	垂 直 補 剛 材 の 取 付	網 種
121	135	24	S.25.5	3	300	12	800	3.2	1	D	0.20:0.80	1	D	600	Y		SM41
122	136	24	S.35.1	3	300	12	1120	3.2	1	D	0.20:0.80	1	D	840	Y		SM41
123	137	24	S.35.1A	3	300	12	1120	3.2	1	D	0.20:0.80	1	D	840	Y		SM41
124	138	24	S.35.5	3	300	12	1120	3.2	1	D	0.20:0.80	1	D	840	Y		SM41
125	139	24	S.35.1D	3	300	12	1120	3.2	1	D	0.20:0.80	1	D	840	Y		SM41
126	140	24	S.35.1F	3	225	9	1120	3.2	1	D	0.20:0.80	2	D	560	Y		SM41
127	153	26	G1	3	301	22.4	543	9.1	0	N		0	N	1450			KH-36
128	154	26	G2	3	220	22.4	543	9.1	0	N		0	N	1450			KH-36
129	155	26	G3	3	302	22.2	722.2	9.4	0	N		0	N	1900			KH-36
130	156	26	G4	3	243	22.1	720	9.2	0	N		0	N	1900			KH-36
131	208	28	WB-1	3	254	39.4	355.6	6.35	0	N		0	N	939	N		
132	209	28	WB-2	3	254	39.6	355.6	6.35	0	N		0	N	939	N		
133	210	28	WB-3	3	255.5	38.1	407.2	6.86	0	N		0	N	1042	N		
134	211	28	WB-6	3	254.5	38.4	446	6.35	0	N		0	N	1093	N		
135	212	28	WB-7	3	255.8	38.1	389.6	6.35	0	N		0	N	978	N		
136	213	28	WB-8	3	255.8	38.4	397.5	6.6	0	N		0	N	978	N		
137	214	28	WB-9	3	255	38.1	317.5	6.35	0	N		0	N	851	N		
138	215	28	WB-10	3	254.3	38.4	317.5	6.35	0	N		0	N	851	N		
139	222	29	PA1	3	249	12	800	.96	0	N		0	S	600			
140	223	29	PA2	3	249	12	800	.96	0	N		0	S	600			
141	224	29	PA3	3	249	12	800	.96	0	N		0	S	600			
142	225	29	PB1	3	249	12	800	.96	0	N		0	S	500			
143	226	29	PB2	3	249	12	800	.96	0	N		0	S	500			
144	227	29	PC1/2	3	250	10	800	1	0	N		1	S	1000			
145	228	29	PD1/2	3	250	10	800	1	0	N		1	S	750			
146	229	29	PD3	3	250	10	800	1	0	N		0	S	750			
147	230	29	PC3	3	250	10	800	1	0	N		0	S	750			
148	231	10	LB1	1	305	19.2	1397	3.15	0	N		0		1397			
149	232	10	LB2	1	305	19.1	1397	3.12	1	S	0.20:0.80	0		1397			
150	233	10	LB3	1	304	19.1	1397	3.12	1	S	0.20:0.80	0		1397			
151	234	10	LB4	1	304	19.2	1397	3.12	1	S	0.20:0.80	0		2096			
152	235	10	LB5	1	305	19.2	1397	3.12	1	S	0.20:0.80	0		1048			
153	236	30	TGV1-1	3	200	10	600	2.07	0	N		0	N	1200			
154	237	30	TGV1-2	3	200	10	600	2.07	0	N		1	D	600			
155	238	30	TGV2-1	3	200	10	600	2.08	0	N		1	D	600			
156	239	30	TGV2-2	3	200	10	600	2.08	0	N		1	D	600			
157	240	30	TGV3-1	3	200	10	600	2.01	0	N		1	D	600			
158	241	30	TGV3-2	3	200	10	600	2.01	0	N		1	D	600			
159	242	30	TGV4-1	3	200.7	10.06	598.2	1.97	0	N		1	S	596.5			
160	243	30	TGV4-2	3	200.7	10.06	598.2	1.97	0	N		1	S	595			

荷重状態 1: 純曲げ, 2: 純せん断, 3: 曲げ+せん断
 補剛材の取付 N: なし, S: 片側, D: 両側
 補剛材の取り付け N: 離れている, Y: 溶接している, 空白: 不明

表-2.1(e) 寸法諸元データ

データ 番号	旧データ 番号	文 献 番号	供 試 体 番号	荷重 状態	フランジ幅 bf (mm)	フランジ厚 tf (mm)	ウェブ高 bv (mm)	ウェブ厚 tw (mm)	水 平 補 剛 材 の本数	水 平 補 剛 材 の 取 付	水平補剛材の間隔比	垂 直 補 剛 材 の本数	垂 直 補 剛 材 の 取 付	垂直補剛材の間隔比 (mm)	水平垂直 補剛材の 取り合い	鋼 種
161	244	30	TGV5-1	3	200.7	9.95	598.1	1.98	0	N		1	S	594.5		
162	245	30	TGV5-2	3	200.7	9.95	598.1	1.98	0	N		1	S	597		
163	246	30	TGV6-1	3	200.6	10.1	598.2	1.97	0	N		1	S	594.5		
164	247	30	TGV6-2	3	200.6	10.1	598.2	1.97	0	N		1	S	595		
165	248	30	TGV7-1	3	200.6	10.1	599	1.98	0	N		1	S	595.5		
166	249	30	TGV7-2	3	200.6	10.1	599	1.98	0	N		1	S	590.5		
167	250	30	TGV8-1	3	200.4	10.08	598.7	1.92	0	N		1	S	595.5		
168	251	30	TGV8-2	3	200.4	10.08	598.7	1.92	0	N		1	S	595.5		
169	252	30	TGV9-1	3	200.4	10.08	598.5	1.91	0	N		1	S	593.5		
170	253	30	TGV9-2	3	200.4	10.08	598.5	1.91	0	N		1	S	596		
171	254	30	TGV10-1	3	200.6	10.03	598.5	1.91	0	N		1	D	595.5		
172	255	30	TGV10-2	3	200.6	10.03	598.5	1.91	0	N		1	D	594.5		
173	256	30	TGV11-2	3	200	10	599	1.91	0	N		1	S	593.5		
174	260	32	C-AC1	3	166.6	9.88	454.2	4.44	0	N		0		609.6		
175	261	32	C-AC2	3	140.2	9.73	454.2	3.18	0	N		0		609.6		
176	262	32	C-AC3	3	215.8	13	455.4	6.45	0	N		0		609.6		
177	263	32	C-AC4	3	201.4	16.23	455.4	4.44	0	N		0		609.6		
178	264	32	C-AC5	3	197.9	19.02	456.2	4.42	0	N		0		609.6		
179	265	32	C-AH1	3	211.7	25.4	456.2	6.63	0	N		0		609.6		
180	266	11	F10-P1	2	395	32	1270	6.65	0	N		0		1903		
181	267	11	F10-P5	2	407.5	25.4	1270	6.53	0	N		0		1524		
182	268	21	S-1	2	100	10.4	160	3.2	0	N		0	D	580		
183	269	21	S-2	2	100	10.5	319	3.2	0	N		0	D	580		
184	270	21	S-3	2	101	10.5	477	3.2	0	N		0	D	580		
185	271	21	A-1	2	100	6.16	301	3.3	0	N		0		600		
186	272	21	A-2	2	113	6.21	250	3.2	0	N		0		600		
187	273	21	A-3	2	126	6.24	200	3.2	0	N		0		600		
188	274	21	A-4	2	140	6.18	149	3.2	0	N		0		600		
189	275	21	A-5	2	152	6.25	99.5	3.3	0	N		0		600		
190	276	21	A-1'	2	102	6.3	300	3.5	0	N		0		600		
191	277	21	A-2'	2	112	6.23	249	3.5	0	N		0		600		
192	278	21	A-3'	2	127	6.11	199	3.3	0	N		0		600		
193	279	33	B-17-A	1	288	12.09	764	4.44	0	N		1	D	573.5	Y	SH41
194	280	33	B-17-B	1	288	12.09	764	4.44	0	N		0	N	1148		SH41
195	281	33	B-21-A	1	288	12.09	942	4.44	0	N		1	D	706.5		SH41
196	282	33	B-21-B	1	289	12.09	942	4.44	0	N		0	N	1416		SH41
197	283	33	B-25-A	1	288	12.09	1121	4.44	0	N		1	D	840.7		SH41
198	284	33	B-25-B	1	288	12.09	1122	4.44	0	N		0	N	1687		SH41
199	285	34	B-21	1	250	12.07	1650	4.67	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
200	286	34	B-22	1	250	12.07	1650	4.67	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41

荷重状態 1: 純曲げ, 2: 純せん断, 3: 曲げ+せん断
 補剛材の取付 N: なし, S: 片側, D: 両側
 補剛材の取り合い N: 離れている, Y: 溶接している, 空白: 不明

表-2.1(f) 寸法諸元データ

データ 番号	旧データ 番号	文献 番号	供試体 番号	荷重 状態	フランジ幅 bf (mm)	フランジ厚 tf (mm)	ウェブ高 bv (mm)	ウェブ厚 tw (mm)	水平補剛材 の本数	水平補剛材 の取付	水平補剛材の間隔比	垂直補剛材 の本数	垂直補剛材 の取付	垂直補剛材の間隔 (mm)	水平垂直 補剛材の 取り合い	鋼種
201	287	34	C-21	3	250	12.07	1650	4.65	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
202	288	34	C-22	3	250	12.07	1650	4.65	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
203	289	34	S-21	3	300	21.58	1650	4.65	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
204	290	34	S-22	3	300	21.58	1650	4.65	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
205	291	34	S-23	3	300	21.58	1650	4.64	2	S	0.20:0.30:0.50	1	S	1000	N	SS41
206	292	35	LS1-A	3	100	10.03	608	2.1	0	N		0	N	942	N	
207	293	35	LS3-A	3	100	10.09	608	2.46	0	N		0	N	947	N	
208	294	35	LS8-A	3	98.5	10.06	609	2.02	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	946	N	
209	295	35	LS2-A	3	100	10.02	608	2.1	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	947	N	
210	296	35	LS7-A	3	98	10.11	608	2.05	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	947	N	
211	297	35	LS6-B	3	100	10.06	608	2.43	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	937	N	
212	298	35	LS6-A	3	100	10.06	608	2.43	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	937	N	
213	299	35	LS1-B	3	100	10.03	608	2.1	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	947	N	
214	300	35	LS8-B	3	98.5	10.06	609	2.02	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	943	N	
215	301	35	LS5-A	3	98	10.05	608	2.43	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	936	N	
216	302	35	LS2-B	3	100	10.02	608	2.1	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	946	N	
217	303	35	LS7-B	3	98	10.11	608	2.05	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	947	N	
218	304	35	LS3-B	3	100	10.09	608	2.46	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	947	N	
219	305	35	LS5-B	3	98	10.05	608	2.43	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	935	N	
220	306	35	LS4-A	3	100	9.79	608	2.46	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	936	N	
221	307	35	LS4-B	3	100	9.79	608	2.46	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	935	N	
222	308	35	SD3	3	250	12	594	2	0	N		0	N	594	N	
223	309	35	SD4	3	250	12	594	2	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	594	N	
224	310	36	NO.1	3	280	14	800	4.5	0	N		0	D	800		
225	311	36	NO.2	3	280	14	800	4.5	0	N		0	D	800		
226	312	37	PB3	3	300	15.1	1000	4.4	0	N		1	D	732	N	
227	313	37	PA3	3	300	15.1	1000	3.83	1	S	0.50:0.50	1	D	750	N	
228	314	37	PB1	3	300	15.1	1000	4.4	1	S	0.20:0.80	1	D	750	N	
229	315	37	PA1	3	300	15.1	1000	3.83	2	S	0.123:0.277:0.60	1	D	750	N	
230	316	37	PC	1	300	15.1	1000	3.86	2	S	0.123:0.277:0.60	0	N	1980	N	
231	317	38	SD5	3	250	12	594	2	2	S	0.25:0.25:0.50	0	N	594		
232	318	38	SD6	3	250	12	594	2	2	S	0.25:0.25:0.5	0	N	594		
233	319	38	SD7	3	250	12	594	2	2	S	0.25:0.25:0.50	0	N	594		
234	320	38	SD8	3	250	12	594	2	2	S	0.25:0.25:0.50	0	N	594		
235	321	26	G5	3	291	22.3	899	9	1	D	0.50:0.50	0	N	2360	Y	KH-36
236	322	26	G6	3	212	22.3	900	8.9	1	D	0.50:0.50	0	N	2360	Y	KH-36
237	323	26	G7	3	282	22.4	1080	9.1	1	D	0.50:0.50	0	N	2850	Y	KH-36
238	324	26	G8	3	221	22.2	1080	8.9	1	D	0.50:0.50	0	N	2850	Y	KH-36
239	327	39	HS0	3	102	10.1	608	2.01	0	N		0		947	N	
240	328	39	HS1	3	102	10.1	608	2.01	1	S	0.50:0.50	0	N	947	N	

荷重状態 1:純曲げ, 2:純せん断, 3:曲げ+せん断
 補剛材の取付 N:なし, S:片側, D:両側
 補剛材の取り合い N:離れている, Y:溶接している, 空白:不明

表-2.1(g) 寸法諸元データ

データ 番号	旧データ 番号	文 献 番号	供 試 体 番号	荷重 状態	フランジ幅 bf (mm)	フランジ厚 tf (mm)	ウエブ高 bv (mm)	ウエブ厚 tw (mm)	水 平 補 剛 材 の本数	水 平 補 剛 材 の 取 付	水平補剛材の間隔比	垂 直 補 剛 材 の本数	垂 直 補 剛 材 の 取 付	垂直補剛材の間隔 (mm)	水平垂直 補 剛 材 の 取 り 合 い	鋼 種
241	329	39	MS2	3	102	10.1	608	2.01	2	S	0.33:0.33:0.33	0	N	947	N	
242	330	39	SD1	3	250	12	594	2	0	N		0	N	594	N	
243	331	40	B1	3	226	9.9	600	2.86	0	N		0	N	9000		
244	332	40	B4	3	151	6.1	600	2	0	N		0	N	9000		
245	333	40	K1	3	226	9.9	600	2.86	0	N		0	N	6000		
246	334	34	B-23	1	250	12.12	1650	4.76	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
247	335	34	B-24	1	290	14.34	2200	4.9	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1330	N	SS41
248	336	34	C-23	3	250	12.12	1650	4.76	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
249	337	34	C-24	3	250	12.12	1650	4.76	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
250	338	34	C-25	3	290	14.34	2200	4.9	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1330	N	SS41
251	339	34	C-26	3	250	12.12	1650	4.73	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
252	340	34	C-27	3	250	12.12	1650	4.73	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
253	341	34	C-28	3	250	12.12	1650	4.73	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
254	342	34	S-24	3	300	21.22	1650	4.73	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
255	343	34	S-25	3	300	21.22	1650	4.73	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1000	N	SS41
256	344	34	S-26	3	340	23.9	2200	4.9	2	S	0.10:0.15:0.75	1	S	1330	N	SS41
257	345	41	B-1	1	380	20.06	1654	9.3	0	N		0	N	3330		
258	346	41	B-2	1	340	17.9	1350	9.2	0	N		0	N	2700		
259	347	41	B-12	1	360	17.73	2097	6.07	1	S	0.20:0.80	0	N	3199	N	
260	348	41	B-11	1	330	14.67	1618	6.17	1	S	0.20:0.80	0	N	2500	N	
261	349	41	C-1	3	250	11.5	907.5	5.8	0	N		0	N	1100		
262	350	41	C-2	3	275	12.9	1077	5.8	0	N		0	N	1300		
263	351	41	C-3	3	300	13.4	1257.7	5.8	0	N		0	N	1500		
264	352	41	S-1	3	280	15.6	1500	6	0	N		0	N	1875		
265	353	41	S-2	3	300	18.4	1800	6.1	0	N		0	N	2250		
266	354	41	B-01	1	250	11.92	1650	4.55	0	N		0	S	1000		
267	355	41	S-01	3	300	21.07	1650	4.55	0	N		0	S	1000		

荷重状態 1:純曲げ, 2:純せん断, 3:曲げ+せん断
 補剛材の取付 N:なし, S:片側, D:両側
 補剛材の取り合い N:離れている, Y:溶接している, 空白:不明

表-- 2.2 (a) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文献 番号	試験体 番号	形状 状態	b_w / t_w	b_f / t_f	A_w / A_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
1	1	AQBX1	1	134	14	1.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	1.485	0.000	0.00	10.19	169.2	155.1
2	1	AQBX2	1	134	14	1.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	1.459	0.000	0.00	10.18	169.8	149.7
3	1	AQBY1	1	129	14	1.74	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.359	0.000	0.00	10.29	166.9	139.2
4	1	AQBY2	1	123	14	1.82	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.444	0.000	0.00	8.97	163.1	181.3
5	1	GBX1	1	120	7	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.01	0.991	0.000	0.00	8.92	124.4	90.6
6	1	GBX2	1	127	7	1.07	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.048	0.000	0.00	9.79	124.5	88.8
7	1	GBY1	1	127	7	1.07	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.083	0.000	0.00	9.80	125.1	89.3
8	1	GBY2	1	123	7	1.12	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.029	0.000	0.00	8.97	119.8	92.1
9	1	GBY117	1	189	7	1.35	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.547	0.000	0.00	8.55	216.5	111.4
10	1	GBY217	1	190	7	1.38	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.550	0.000	0.00	8.50	216.8	111.6
11	2	M.AC2	1	297	20	0.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	2.145	0.000	0.00	191.98	278.4	41.5
12	2	M.AC1	1	212	18	0.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	1.527	0.000	0.00	70.30	360.7	58.5
13	2	M.AA1	1	194	18	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	2.448	0.000	0.00	55.33	360.8	184.6
14	2	M.AA2	1	250	20	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	3.110	0.000	0.00	118.51	282.6	146.5
15	3	B150.1	1	150	20	0.95	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.045	0.000	0.00	0.00	28.8	19.5

データ 番号	文献 番号	試験体 番号	形状 状態	b_w / t_w	b_f / t_f	A_w / A_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
16	3	B150.2	1	150	20	0.95	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	1.047	0.000	0.00	0.00	28.9	19.8
17	3	B150.3	1	150	20	0.95	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.042	0.000	0.00	0.00	28.7	19.5
18	3	B150.4	1	150	20	0.95	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	1.045	0.000	0.00	0.00	28.8	19.5
19	3	B150.5	1	150	20	0.95	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.042	0.000	0.00	0.00	28.7	19.5
20	3	B209.1	1	209	20	0.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.423	0.000	0.00	0.00	27.0	13.4
21	3	B209.2	1	209	20	0.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	1.420	0.000	0.00	0.00	27.0	13.4
22	3	B209.3	1	209	20	0.68	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.423	0.000	0.00	0.00	27.0	13.4
23	3	B209.4	1	208	20	0.68	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	1.117	0.000	0.00	0.00	26.9	13.4
24	3	B209.5	1	209	20	0.68	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.420	0.000	0.00	0.00	27.0	13.4
25	4	B1	1	215	15	1.41	0.00	0.00	0.00	0.00	0.99	1.656	0.000	0.00	184.71	32.9	32.0
26	4	B2	1	155	15	1.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.98	1.208	0.000	0.00	223.22	22.3	23.6
27	5	G2.T1	1	185	16	1.44	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.369	0.000	0.00	37.01	258.4	124.8
28	5	G2.T2	1	185	16	1.44	0.00	0.00	0.00	0.75	1.50	1.369	0.000	0.00	9.25	258.4	124.8
29	5	G4.T1	1	387	16	0.68	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	3.175	0.000	0.00	321.58	227.8	73.4
30	5	G4.T2	1	387	16	0.68	0.00	0.00	0.00	0.75	1.50	3.175	0.000	0.00	80.39	227.8	73.4

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 A_w/A_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : " "
 a/b_3 : " "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t・m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表-2.2(b) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文献 番号	鉄筋 番号	形状 種類	b_w/l_w	b_f/l_f	A_w/A_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	L/b_w	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
31	5	G6.T1	2	259	16	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.000	2.876	0.00	98.74	241.5	92.7
32	5	G6.T2	2	259	16	1.02	0.00	0.00	0.00	0.75	1.50	0.000	1.977	0.00	24.69	241.5	92.7
33	5	G6.T3	2	259	16	1.02	0.00	0.00	0.00	0.50	1.50	0.000	1.442	0.00	10.97	241.5	92.7
34	5	G7.T1	2	255	16	1.05	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	2.338	0.00	41.85	238.0	94.2
35	5	G7.T2	2	255	16	1.05	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	2.338	0.00	41.85	238.0	94.2
36	5	G8.T1	3	254	16	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	1.956	3.390	0.00	372.28	253.4	98.6
37	5	G8.T2	3	254	16	1.09	0.00	0.00	0.00	1.50	3.00	1.956	2.878	0.00	93.07	253.4	98.6
38	5	G8.T3	3	254	16	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.956	2.878	0.00	93.07	253.4	98.6
39	5	G9.T1	3	383	16	0.72	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	3.178	5.507	0.00	1241.10	244.7	76.2
40	5	G9.T2	3	383	16	0.72	0.00	0.00	0.00	1.50	3.00	3.178	4.675	0.00	310.28	244.7	76.2
41	5	G9.T3	3	383	16	0.72	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	3.178	4.675	0.00	310.28	244.7	76.2
42	12	AQSI	2	113	14	2.02	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.566	0.00	6.94	165.9	166.8
43	12	AQSY	2	129	14	1.74	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.653	0.00	10.28	167.1	139.2
44	12	GSX1	2	123	7	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.284	0.00	8.94	124.6	96.9
45	12	GSX2	2	116	7	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.196	0.00	7.53	121.7	101.0

データ 番号	文献 番号	鉄筋 番号	形状 種類	b_w/l_w	b_f/l_f	A_w/A_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	L/b_w	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
46	12	GSY1	2	116	7	1.18	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	0.000	1.160	0.00	7.52	125.9	94.9
47	12	BSY1	2	116	14	1.94	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.160	0.00	7.52	136.4	94.9
48	13	H1.T2	3	127	18	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.647	2.423	0.00	35.80	1228.4	556.1
49	15	G.1	3	55	5	0.73	0.00	0.00	0.00	0.00	2.61	0.542	0.920	0.00	0.00	99.6	89.4
50	15	G.2	3	55	7	0.59	0.00	0.00	0.00	0.00	2.61	0.542	0.920	0.00	0.00	121.7	89.4
51	15	G.3	3	70	5	0.93	0.00	0.00	0.00	0.00	2.68	0.689	1.176	0.00	0.00	130.5	113.8
52	15	G.4	3	70	8	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	3.57	0.689	1.218	0.00	0.00	194.0	113.8
53	15	G.5	3	70	8	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	2.68	0.689	1.176	0.00	0.00	194.0	113.8
54	15	G.6	3	70	8	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.689	0.940	0.00	0.00	194.0	113.8
55	15	G.7	3	70	8	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	2.68	0.689	1.176	0.00	0.00	194.0	113.8
56	15	G.9	3	90	8	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00	2.78	0.886	1.520	0.00	0.00	255.8	146.3
57	16	NO.1.1	3	111	11	1.07	0.00	0.00	0.00	0.00	2.20	0.962	0.000	0.00	328.85	42.1	44.2
58	16	NO.1.2	3	111	11	1.07	0.00	0.00	0.00	0.00	2.20	0.962	0.000	0.00	328.85	42.1	44.2
59	16	NO.2.1	3	89	36	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.770	0.000	0.00	143.49	13.9	35.3
60	16	NO.2.2	3	89	36	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.770	0.000	0.00	143.49	13.9	35.3

b_w/l_w : ウェブ幅厚比
 b_f/l_f : フランジ幅厚比
 A_w/A_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : "
 a/b_3 : "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (l・m)
 V_y : 降伏せん断力 (l)

表 2.2(c) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文庫 番号	図面 番号	図 番号	b_w/t_w	b_f/t_f	A_w/A_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	L/b_w	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
61	17	A	1	267	20	1.88	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.095	0.000	0.00	137.84	127.0	87.3
62	17	B	3	267	20	1.88	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.800	3.403	0.00	137.84	226.8	155.9
63	17	C	1	200	20	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.100	0.000	0.00	59.23	244.8	207.8
64	18	G-2	3	137	9	1.12	0.00	0.00	0.00	0.00	2.56	1.248	2.112	0.00	0.00	149.8	107.4
65	18	G-3	3	176	9	1.21	0.00	0.00	0.00	0.00	2.55	1.707	2.888	0.00	0.00	179.6	130.9
66	18	G-4	3	229	9	1.41	0.00	0.00	0.00	0.00	2.56	2.215	3.751	0.00	0.00	228.2	151.8
67	19	AQCY14	3	130	14	1.75	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.361	1.654	0.00	10.25	167.0	139.4
68	19	AQCY14	3	127	14	1.83	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.386	1.685	0.00	9.79	153.2	151.9
69	19	AQCY13	3	123	14	1.82	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.380	1.677	0.00	8.94	163.4	165.5
70	19	AQCY12	3	118	14	1.94	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.335	1.624	0.00	7.88	158.5	177.9
71	19	GCX1.4	3	123	7	1.12	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.056	1.284	0.00	8.94	123.6	98.9
72	19	GCX2.4	3	125	7	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.015	1.236	0.00	9.42	121.9	85.7
73	19	GCY1.5	3	127	7	1.07	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.180	1.412	0.00	9.86	120.6	106.6
74	19	GCY1.4	3	116	7	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.953	1.159	0.00	7.55	126.2	94.8
75	19	GCY1.36	3	125	7	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.013	1.233	0.00	9.38	121.6	85.2

データ 番号	文庫 番号	図面 番号	図 番号	b_w/t_w	b_f/t_f	A_w/A_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	L/b_w	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
76	19	GCY1.23	3	116	7	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63	0.953	0.854	0.00	3.03	121.7	94.8
77	20	A.1	3	94	4	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	1.33	0.709	0.996	0.00	0.00	0.7	2.8
78	20	A.2	3	94	4	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	2.10	0.709	1.154	0.00	0.00	0.7	2.8
79	20	A.3	3	94	4	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	4.29	0.709	1.272	0.00	0.00	0.7	2.8
80	6	A.	1	250	11	3.81	0.00	0.00	0.00	0.00	2.10	2.100	0.000	0.00	0.21	25.5	47.3
81	6	B.	1	250	11	2.84	0.00	0.00	0.00	0.00	2.10	2.100	0.000	0.00	3.95	30.8	47.3
82	22	TG.10	3	224	22	3.47	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.678	2.039	0.00	0.00	11.7	24.3
83	22	TG.11	3	224	21	3.44	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.631	1.983	0.00	0.00	11.1	23.0
84	22	TG.20	3	224	16	2.49	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.626	1.976	0.00	0.00	13.7	22.9
85	22	TG.21	3	224	16	2.54	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.644	1.998	0.00	0.00	13.8	23.4
86	22	TG.30	3	222	8	1.31	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.661	2.018	0.00	0.00	24.0	24.4
87	22	TG.31	3	222	8	1.30	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.697	1.941	0.00	0.00	22.2	22.5
88	22	TG.40	3	224	6	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.694	1.937	0.00	0.00	26.4	22.0
89	22	TG.41	3	224	6	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.695	2.061	0.00	0.00	29.8	24.9
90	22	TG.13	3	233	4	0.62	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.801	2.190	0.00	0.00	47.1	25.1

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 A_w/A_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : " "
 a/b_3 : " "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t・m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表-2.2(d) データ項目一覧表 (Parametric Data)

チーク 番号	文庫 番号	鉄鋼材 番号	厚さ t	b_w/t_w	b_f/t_f	λ_w/λ_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	l/b_w	λ/σ	λ/τ	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
91	22	TG.60	3	233	21	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.866	2.746	0.00	0.00	39.1	26.9
92	22	TG.51	3	233	21	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.773	2.609	0.00	0.00	35.3	24.3
93	22	TG.60	3	233	12	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.890	2.780	0.00	0.00	65.5	27.8
94	22	TG.61	3	233	13	0.49	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.737	2.555	0.00	0.00	54.6	23.3
95	22	TG.90	3	233	21	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.786	2.872	0.00	0.00	37.0	24.6
96	22	TG.91	3	233	21	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.861	2.993	0.00	0.00	40.1	26.8
97	22	TG.100	3	233	12	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.784	2.869	0.00	0.00	58.0	24.6
98	22	TG.200	3	150	23	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.068	1.298	0.00	0.00	3.3	8.2
99	22	TG.210	3	150	16	1.66	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.068	1.298	0.00	0.00	4.2	8.2
100	22	TG.220	3	150	12	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.068	1.298	0.00	0.00	6.2	8.2
101	22	TG.230	3	150	8	0.88	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.068	1.298	0.00	0.00	7.6	8.2
102	22	TG.240	3	150	6	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.068	1.298	0.00	0.00	10.1	8.2
103	22	TG.250	3	150	5	0.52	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.068	1.298	0.00	0.00	10.6	8.2
104	22	STG.2	3	158	20	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.98	1.228	1.968	0.00	0.00	6.0	6.4
105	22	STG.4	3	201	16	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	1.98	1.480	2.376	0.00	0.00	4.3	4.5

チーク 番号	文庫 番号	鉄鋼材 番号	厚さ t	b_w/t_w	b_f/t_f	λ_w/λ_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	l/b_w	λ/σ	λ/τ	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
106	23	LS1T2	2	257	9	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	2.160	22.11	0.00	399.2	119.4
107	23	LS2T1	2	275	9	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	2.114	12.69	0.00	383.4	93.8
108	23	LS3T1	2	276	11	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.000	2.351	1.05	0.00	347.7	90.7
109	23	LS3T2	2	276	11	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.000	2.351	5.72	0.00	347.7	90.7
110	23	LS3T3	2	276	11	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.000	1.841	11.44	0.00	347.7	90.7
111	23	LS4T1	2	260	9	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	2.466	7.36	0.00	402.7	122.4
112	23	LS4T2	2	260	9	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.817	7.56	0.00	402.7	122.4
113	8	B.25.0	1	257	25	1.21	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	2.207	0.000	0.00	0.00	48.2	47.7
114	8	B.25.1	1	256	25	1.21	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.024	0.000	1.34	0.00	48.1	47.7
115	8	B.25.5	1	256	25	1.21	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.024	0.000	9.42	0.00	48.1	47.7
116	8	B.35.1	1	359	25	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.435	0.000	1.22	0.00	71.9	66.8
117	8	B35.1A	1	359	25	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.435	0.000	1.23	0.00	71.9	66.8
118	8	B35.1E	1	360	25	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.437	0.000	1.26	0.00	72.0	66.9
119	8	B.35.5	1	360	25	1.70	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.437	0.000	8.63	0.00	72.0	66.9
120	24	S.25.0	3	250	25	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.918	2.493	9.60	0.00	87.6	41.7

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 λ_w/λ_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : "
 a/b_3 : "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 l/b_w : 全体パネルの縦横比
 λ/σ : ウェブの曲げ等価幅厚比
 λ/τ : ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t・m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表-2.2(c) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文庫 番号	製品名 番号	所 材	b_w / t_w	b_f / t_f	λ_w / λ_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
121	24	S.25.5	3	250	25	0.71	3.75	0.94	0.00	0.75	1.50	0.916	1.845	5.66	7.85	87.6	41.7
122	24	S.35.1	3	350	25	1.00	3.75	0.94	0.00	0.75	1.50	1.283	2.584	4.88	1.64	127.9	58.4
123	24	S35.1A	3	350	25	1.00	3.75	0.94	0.00	0.75	1.50	1.283	2.584	4.88	1.64	127.9	58.4
124	24	S.35.5	3	350	25	1.00	3.75	0.94	0.00	0.75	1.50	1.283	2.584	4.88	7.71	127.9	58.4
125	24	S35.1D	3	350	25	1.00	2.50	0.63	0.00	0.50	1.50	1.283	1.951	4.32	1.49	127.9	58.4
126	24	S35.1F	3	350	25	1.77	3.75	0.94	0.00	0.75	1.50	1.283	2.584	2.88	1.64	86.1	58.4
127	26	G1	3	60	13	0.73	0.00	0.00	0.00	0.00	2.67	0.546	0.931	0.00	0.00	180.8	108.4
128	26	G2	3	60	10	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.67	0.546	0.931	0.00	0.00	137.4	108.4
129	26	G3	3	77	14	1.01	0.00	0.00	0.00	0.00	2.63	0.703	1.198	0.00	0.00	249.0	148.9
130	26	G4	3	78	11	1.23	0.00	0.00	0.00	0.00	2.64	0.716	1.219	0.00	0.00	205.1	145.3
131	28	WB-1	3	56	6	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	2.64	0.456	0.780	0.00	0.00	85.7	39.6
132	28	WB-2	3	56	6	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	2.64	0.482	0.820	0.00	0.00	86.1	43.8
133	28	WB-3	3	59	7	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	2.56	0.521	0.881	0.00	0.00	98.4	56.3
134	28	WB-6	3	70	7	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	2.45	0.503	0.846	0.00	0.00	108.0	38.1
135	28	WB-7	3	61	7	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	2.51	0.443	0.748	0.00	0.00	91.8	33.9

データ 番号	文庫 番号	製品名 番号	所 材	b_w / t_w	b_f / t_f	λ_w / λ_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
136	28	WB-8	3	60	7	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00	2.46	0.409	0.687	0.00	0.00	94.6	31.7
137	28	WB-9	3	50	7	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	2.88	0.343	0.584	0.00	0.00	0.0	0.0
138	28	WB-10	3	50	7	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	2.68	0.343	0.584	0.00	0.00	0.0	0.0
139	29	PA1	3	833	21	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	5.807	5.873	0.00	456.56	52.4	9.8
140	29	PA2	3	833	21	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	5.807	5.873	0.00	116433	52.4	9.8
141	29	PA3	3	833	21	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	5.807	5.873	0.00	194796	52.4	9.8
142	29	PB1	3	833	21	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63	5.807	5.132	0.00	390.57	52.4	9.8
143	29	PB2	3	833	21	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63	5.807	5.132	0.00	116.35	52.4	9.8
144	29	PC1/2	3	800	25	0.32	0.00	0.00	0.00	1.25	2.50	5.575	7.604	0.00	122.78	56.3	10.2
145	29	PD1/2	3	800	25	0.32	0.00	0.00	0.00	0.94	1.88	5.575	6.524	0.00	39.97	56.3	10.2
146	29	PD3	3	800	25	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.94	5.575	6.524	0.00	233.10	56.3	10.2
147	29	PC3	3	800	25	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.94	5.575	6.524	0.00	163.71	56.3	10.2
148	10	LB1	1	443	16	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.185	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
149	10	LB2	1	448	16	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.514	0.000	1.17	0.00	0.0	0.0
150	10	LB3	1	448	16	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.523	0.000	2.29	0.00	0.0	0.0

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 λ_w/λ_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : " "
 a/b_3 : " "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t・m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表- 2. 2 (f) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文庫 番号	図表 番号	厚さ t	b_w / t_w	b_f / t_f	λ_w / λ_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
151	10	LB4	1	448	16	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.551	0.000	0.78	0.00	0.0	0.0
152	10	LB5	1	448	16	0.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.545	0.000	1.56	0.00	0.0	0.0
153	30	TGV1-1	3	290	20	0.62	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.978	3.181	0.00	0.00	32.7	15.1
154	30	TGV1-2	3	290	20	0.62	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	1.978	2.404	0.00	917.49	32.7	15.1
155	30	TGV2-1	3	288	20	0.62	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	1.968	2.392	0.00	1.87	32.7	15.2
156	30	TGV2-2	3	288	20	0.62	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	1.968	2.392	0.00	5.41	32.7	15.2
157	30	TGV3-1	3	299	20	0.60	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	2.037	2.476	0.00	0.58	32.6	14.7
158	30	TGV3-2	3	299	20	0.60	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	2.037	2.476	0.00	30.75	32.6	14.7
159	30	TGV4-1	3	304	20	0.58	0.00	0.00	0.00	1.00	1.99	2.132	2.587	0.00	13.05	33.8	15.2
160	30	TGV4-2	3	304	20	0.58	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.132	2.583	0.00	32.26	33.8	15.2
161	30	TGV5-1	3	302	20	0.59	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.162	2.619	0.00	62.93	33.1	15.9
162	30	TGV5-2	3	302	20	0.59	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00	2.162	2.625	0.00	140.92	33.1	15.9
163	30	TGV6-1	3	304	20	0.58	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.152	2.606	0.00	45.91	33.7	15.5
164	30	TGV6-2	3	304	20	0.58	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.152	2.607	0.00	498.29	33.7	15.5
165	30	TGV7-1	3	303	20	0.59	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.113	2.559	0.00	1.07	33.3	15.1

データ 番号	文庫 番号	図表 番号	厚さ t	b_w / t_w	b_f / t_f	λ_w / λ_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
166	30	TGV7-2	3	303	20	0.59	0.00	0.00	0.00	0.99	1.97	2.113	2.547	0.00	7.82	33.3	15.1
167	30	TGV8-1	3	312	20	0.57	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.163	2.621	0.00	2.97	26.7	14.5
168	30	TGV8-2	3	312	20	0.57	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.163	2.621	0.00	2.50	26.7	14.5
169	30	TGV9-1	3	313	20	0.57	0.00	0.00	0.00	0.99	1.98	2.185	2.643	0.00	5.82	26.7	14.6
170	30	TGV9-2	3	313	20	0.57	0.00	0.00	0.00	1.00	1.99	2.185	2.649	0.00	5.31	26.7	14.6
171	30	TGV101	3	313	20	0.57	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.179	2.641	0.00	3.95	37.5	14.5
172	30	TGV102	3	313	20	0.57	0.00	0.00	0.00	0.99	1.99	2.179	2.639	0.00	7.75	37.5	14.5
173	30	TGV112	3	314	20	0.57	0.00	0.00	0.00	0.99	1.98	2.181	2.637	0.00	17.73	27.7	14.5
174	32	C-AC1	3	102	17	1.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.738	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
175	32	C-AC2	3	143	14	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.984	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
176	32	C-AC3	3	71	17	1.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.531	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
177	32	C-AC4	3	103	12	0.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.740	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
178	32	C-AC5	3	103	10	0.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.745	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
179	32	C-AH1	3	69	8	0.56	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.598	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
180	11	F10-P1	2	191	12	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.000	2.045	0.00	0.00	341.6	117.3

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 A_w/A_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : " "
 a/b_3 : " "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t・m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表-2.2(8) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文献 番号	試体 番号	形状 図	b_w / t_w	b_f / t_f	λ_w / λ_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
181	11	F10-P5	2	194	16	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20	0.000	2.015	0.00	0.00	301.7	130.2
182	21	S-1	2	50	10	0.49	0.00	0.00	0.00	0.00	3.63	0.000	0.768	0.00	280351	0.0	0.0
183	21	S-2	2	100	10	0.97	0.00	0.00	0.00	0.00	1.82	0.000	1.390	0.00	353.75	0.0	0.0
184	21	S-3	2	149	10	1.44	0.00	0.00	0.00	0.00	1.22	0.000	1.694	0.00	105.81	0.0	0.0
185	21	A-1	2	91	16	1.61	0.00	0.00	0.00	0.00	1.99	0.000	1.430	0.00	0.00	7.4	24.8
186	21	A-2	2	78	18	1.14	0.00	0.00	0.00	0.00	2.40	0.000	1.288	0.00	0.00	6.6	20.3
187	21	A-3	2	63	20	0.81	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	0.000	1.066	0.00	0.00	5.5	16.2
188	21	A-4	2	47	23	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00	4.03	0.000	0.789	0.00	0.00	4.3	11.3
189	21	A-5	2	30	24	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	6.03	0.000	0.527	0.00	0.00	0.0	0.0
190	21	A-1'	2	86	16	1.63	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.000	1.172	0.00	0.00	7.4	19.9
191	21	A-2'	2	71	18	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	2.41	0.000	0.987	0.00	0.00	6.6	15.6
192	21	A-3'	2	60	21	0.85	0.00	0.00	0.00	0.00	3.02	0.000	0.880	0.00	0.00	5.5	12.2
193	33	B-17-A	1	172	24	0.97	0.00	0.00	0.00	0.75	1.60	1.424	0.000	0.00	8.34	88.6	60.8
194	33	B-17-B	1	172	24	0.97	0.00	0.00	0.00	0.00	1.60	1.424	0.000	0.00	0.00	88.6	60.8
195	33	B-21-A	1	212	24	1.20	0.00	0.00	0.00	0.75	1.51	1.756	0.000	0.00	8.30	112.8	75.0

データ 番号	文献 番号	試体 番号	形状 図	b_w / t_w	b_f / t_f	λ_w / λ_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
196	33	B-21-B	1	212	24	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.756	0.000	0.00	0.00	113.2	75.0
197	33	B-25-A	1	252	24	1.43	0.00	0.00	0.00	0.75	1.51	2.089	0.000	0.00	8.07	138.5	89.3
198	33	B-25-B	1	253	24	1.43	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	2.091	0.000	0.00	0.00	138.7	89.3
199	34	B-21	1	353	21	2.55	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.036	0.000	0.46	1.03	217.0	138.9
200	34	B-22	1	353	21	2.55	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.036	0.000	0.93	1.03	217.0	138.9
201	34	C-21	3	355	21	2.54	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.050	2.372	0.46	1.04	216.7	140.9
202	34	C-22	3	355	21	2.54	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.050	2.372	0.46	1.99	216.7	140.9
203	34	S-21	3	355	14	1.19	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.043	2.356	0.46	1.04	375.7	139.0
204	34	S-22	3	355	14	1.19	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.043	2.356	0.46	1.99	375.7	139.0
205	34	S-23	3	358	14	1.18	3.03	2.02	1.21	0.61	1.21	0.000	1.998	0.42	1.05	375.6	139.8
206	35	LS1-A	3	290	10	1.27	0.00	0.00	0.00	0.00	1.55	1.857	2.765	0.00	0.00	20.3	13.8
207	35	LS3-A	3	247	10	1.48	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	1.663	2.480	0.00	0.00	22.1	17.7
208	35	LS8-A	3	301	10	1.24	0.00	0.00	0.00	0.00	1.55	0.000	1.257	0.07	0.00	20.8	15.5
209	35	LS2-A	3	290	10	1.27	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	1.090	0.11	0.00	20.1	13.1
210	35	LS7-A	3	297	10	1.28	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	1.218	0.38	0.00	21.2	15.2

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 λ_w/λ_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : " "
 a/b_3 : " "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t・m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表 2.2(h) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文献 番号	試体 番号	荷重 状態	b_w / t_w	b_f / t_f	A_w / A_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
211	35	LS6-B	3	250	10	1.47	0.00	0.00	0.00	0.00	1.54	0.000	1.059	0.42	0.00	21.4	19.2
212	35	LS6-A	3	250	10	1.47	0.00	0.00	0.00	0.00	1.54	0.000	1.059	0.88	0.00	21.4	19.2
213	35	LS1-B	3	290	10	1.27	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	1.116	1.02	0.00	20.3	13.8
214	35	LS8-B	3	301	10	1.24	0.00	0.00	0.00	0.00	1.55	0.000	1.257	1.34	0.00	20.8	15.5
215	35	LS5-A	3	250	10	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.54	0.000	1.053	1.54	0.00	21.4	19.2
216	35	LS2-B	3	290	10	1.27	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	1.090	1.66	0.00	20.1	13.1
217	35	LS7-B	3	297	10	1.26	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	1.218	2.23	0.00	21.2	15.2
218	35	LS3-B	3	247	10	1.48	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	0.999	2.38	0.00	22.1	17.7
219	35	LS5-B	3	250	10	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.54	0.000	1.059	3.35	0.00	21.4	19.2
220	35	LS4-A	3	247	10	1.53	0.00	0.00	0.00	0.00	1.54	0.000	0.997	3.97	0.00	20.2	17.7
221	35	LS4-B	3	247	10	1.53	0.00	0.00	0.00	0.00	1.54	0.000	0.997	5.11	0.00	20.2	17.7
222	35	SD3	3	297	21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.340	2.844	0.00	0.00	41.1	19.3
223	35	SD4	3	297	21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.352	7.26	0.00	41.1	19.3
224	36	NO.1	3	178	20	0.92	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.509	1.835	0.00	21.24	151.5	68.0
225	36	NO.2	3	178	20	0.92	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.509	1.835	0.00	21.24	151.5	68.0

データ 番号	文献 番号	試体 番号	荷重 状態	b_w / t_w	b_f / t_f	A_w / A_f	a / b_1	a / b_2	a / b_3	a / b_w	L / b_w	λ σ	λ τ	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	M_y	V_y
226	37	PB3	3	227	20	0.97	0.00	0.00	0.00	0.73	1.46	1.404	1.396	0.00	46.03	121.7	44.0
227	37	PA3	3	261	20	0.85	1.50	1.50	0.00	0.75	1.50	0.000	1.558	0.56	22.00	119.5	66.0
228	37	PB1	3	227	20	0.97	3.75	0.94	0.00	0.75	1.50	0.653	1.315	0.99	3.60	121.7	44.0
229	37	PA1	3	261	20	0.85	6.10	2.71	1.25	0.75	1.50	1.004	1.733	1.24	8.02	119.5	66.0
230	37	PC	1	259	20	0.85	0.00	0.00	0.00	0.00	1.98	0.956	0.000	1.85	0.00	119.6	61.2
231	38	SD5	3	297	21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.882	2.90	0.00	41.1	19.3
232	38	SD6	3	297	21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.882	1.29	0.00	41.1	19.3
233	38	SD7	3	297	21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.882	0.45	0.00	41.1	19.3
234	38	SD8	3	297	21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.000	1.882	0.16	0.00	41.1	19.3
235	26	G5	3	100	13	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	2.63	0.000	0.829	0.65	0.00	310.0	177.5
236	26	G6	3	101	10	1.69	0.00	0.00	0.00	0.00	2.62	0.000	0.839	0.68	0.00	240.1	175.7
237	26	G7	3	119	13	1.56	0.00	0.00	0.00	0.00	2.64	0.000	0.985	0.52	0.00	378.0	215.6
238	26	G8	3	121	10	1.96	0.00	0.00	0.00	0.00	2.64	0.000	1.008	0.55	0.00	309.3	210.9
239	39	MS0	3	302	10	1.19	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	2.318	3.457	0.00	0.00	20.6	18.8
240	39	MS1	3	302	10	1.19	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	2.018	4.07	0.00	20.6	18.8

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 A_w/A_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 :
 a/b_3 :

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t·m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表-2.2(i) データ項目一覧表 (Parametric Data)

データ 番号	文献 番号	試験体 番号	形状	b_w/t_w	b_f/t_f	A_w/A_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	L/b_w	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
241	39	MS2	3	302	10	1.19	0.00	0.00	0.00	0.00	1.56	0.000	1.393	4.07	0.00	20.6	18.8
242	39	SD1	3	297	21	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.340	0.000	0.00	0.00	0.0	0.0
243	40	B1	3	210	23	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00	1500	2.013	3.728	0.00	0.00	44.5	41.4
244	40	B4	3	300	25	1.30	0.00	0.00	0.00	0.00	1500	2.355	4.361	0.00	0.00	20.4	19.4
245	40	K1	3	210	23	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00	1000	2.013	3.715	0.00	0.00	44.5	41.4
246	34	B-23	1	347	21	2.59	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.011	0.000	4.15	0.96	209.6	139.9
247	34	B-24	1	449	20	2.59	6.05	4.03	0.81	0.60	1.21	1.316	0.000	0.78	0.78	384.4	194.1
248	34	C-23	3	347	21	2.59	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.011	2.283	4.15	0.96	209.6	139.9
249	34	C-24	3	347	21	2.59	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.011	2.283	0.90	0.90	209.6	139.9
250	34	C-25	3	449	20	2.59	6.05	4.03	0.81	0.60	1.21	1.316	2.987	0.78	0.78	384.4	194.1
251	34	C-26	3	349	21	2.58	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.023	2.310	0.91	0.98	209.2	140.7
252	34	C-27	3	349	21	2.58	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.023	2.310	0.91	0.98	209.2	140.7
253	34	C-28	3	349	21	2.58	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.023	2.310	0.91	0.98	209.2	140.7
254	34	S-24	3	349	14	1.23	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.017	2.298	0.91	0.98	369.6	139.0
255	34	S-25	3	349	14	1.23	6.06	4.04	0.81	0.61	1.21	1.017	2.298	4.23	0.98	369.6	139.0

データ 番号	文献 番号	試験体 番号	形状	b_w/t_w	b_f/t_f	A_w/A_f	a/b_1	a/b_2	a/b_3	a/b_w	L/b_w	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h/γ_{hr}	γ_v/γ_{vr}	M_y	V_y
256	34	S-26	3	449	14	1.33	6.05	4.03	0.81	0.60	1.21	1.924	2.967	0.78	0.78	638.5	194.1
257	41	B-1	1	178	19	2.02	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.594	0.000	0.00	0.00	536.3	323.5
258	41	B-2	1	147	19	2.04	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.262	0.000	0.00	0.00	325.1	240.7
259	41	B-12	1	345	20	1.99	0.00	0.00	0.00	0.00	1.53	1.377	0.000	0.96	0.00	494.5	245.1
260	41	B-11	1	262	22	2.06	0.00	0.00	0.00	0.00	1.55	1.006	0.000	0.92	0.00	285.2	178.0
261	41	C-1	3	158	22	1.83	0.00	0.00	0.00	0.00	1.21	1.317	1.770	0.00	0.00	102.3	97.6
262	41	C-2	3	186	21	1.76	0.00	0.00	0.00	0.00	1.21	1.563	2.197	0.00	0.00	131.3	115.9
263	41	C-3	3	217	22	1.81	0.00	0.00	0.00	0.00	1.19	1.825	2.434	0.00	0.00	195.6	135.3
264	41	S-1	3	250	18	2.06	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	2.033	2.773	0.00	0.00	262.3	155.9
265	41	S-2	3	295	16	1.99	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	2.398	3.288	0.00	0.00	394.3	189.5
266	41	B-01	1	363	21	2.52	0.00	0.00	0.00	0.61	1.21	3.049	0.000	0.00	1.09	216.3	139.0
267	41	S-01	3	363	14	1.19	0.00	0.00	0.00	0.61	1.21	3.049	4.099	0.00	1.09	352.8	139.0

b_w/t_w : ウェブ幅厚比
 b_f/t_f : フランジ幅厚比
 A_w/A_f : ウェブとフランジの断面積比
 a/b_1 : 単一パネルの縦横比
 a/b_2 : "
 a/b_3 : "

a/b_w : 部分パネルの縦横比
 L/b_w : 全体パネルの縦横比
 $\lambda \sigma$: ウェブの曲げ等価幅厚比
 $\lambda \tau$: ウェブのせん断等価幅厚比
 γ_h/γ_{hr} : 水平補剛材の剛比
 γ_v/γ_{vr} : 垂直補剛材の剛比

M_y : 降伏モーメント (t・m)
 V_y : 降伏せん断力 (t)

表-2.3(a) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

テ- タ 番号	文献 番号	異名 番号	尺数 単位	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	Y_U	M_{U1}/M_Y	M_{U2}/M_Y	M_{U3}/M_Y	Y_U/Y_Y	M_{U1k}	Y_{U1k}	M_{U1}/M_{U1k}	M_{U2}/M_{U1k}	M_{U3}/M_{U1k}	Y_U/Y_{U1k}
1	1	AQBX1	1	147.9	147.9	147.9	0.0	0.874	0.874	0.874	0.000	159.0	92.0	0.930	0.930	0.930	0.000
2	1	AQBX2	1	148.8	148.8	148.8	0.0	0.876	0.876	0.876	0.000	168.6	90.1	0.938	0.938	0.938	0.000
3	1	AQBY1	1	147.4	147.4	147.4	0.0	0.883	0.883	0.883	0.000	164.6	87.2	0.954	0.954	0.954	0.000
4	1	AQBY2	1	155.8	155.8	155.8	0.0	0.955	0.955	0.955	0.000	157.8	108.8	0.987	0.987	0.987	0.000
6	1	GBX1	1	138.1	138.1	138.1	0.0	1.094	1.094	1.094	0.000	124.4	74.4	1.094	1.094	1.094	0.000
6	1	GBX2	1	144.7	144.7	144.7	0.0	1.163	1.163	1.163	0.000	124.5	69.8	1.163	1.163	1.163	0.000
7	1	GBY1	1	140.6	140.6	140.6	0.0	1.124	1.124	1.124	0.000	125.1	70.9	1.124	1.124	1.124	0.000
8	1	GBY2	1	160.9	160.9	160.9	0.0	1.342	1.342	1.342	0.000	119.9	74.0	1.342	1.342	1.342	0.000
9	1	GBY117	1	235.8	235.8	235.8	0.0	1.089	1.089	1.089	0.000	196.3	67.8	1.201	1.201	1.201	0.000
10	1	GBY217	1	219.4	219.4	219.4	0.0	1.012	1.012	1.012	0.000	198.6	67.9	1.116	1.116	1.116	0.000
11	2	M.AC2	1	294.0	294.0	294.0	0.0	1.056	1.056	1.056	0.000	198.8	28.9	1.479	1.479	1.479	0.000
12	2	M.AC1	1	330.9	330.9	330.9	0.0	0.917	0.917	0.917	0.000	277.5	41.9	1.192	1.192	1.192	0.000
13	2	M.AA1	1	330.7	330.7	330.7	0.0	0.916	0.916	0.916	0.000	298.8	102.8	1.107	1.107	1.107	0.000
14	2	M.AA2	1	240.2	240.2	240.2	0.0	0.850	0.850	0.850	0.000	211.9	73.9	1.134	1.134	1.134	0.000
15	3	B.150.1	1	30.0	30.0	30.0	0.0	1.041	1.041	1.041	0.000	26.3	19.7	1.140	1.140	1.140	0.000
16	3	B.150.2	1	30.3	30.3	30.3	0.0	1.049	1.049	1.049	0.000	26.4	17.8	1.149	1.149	1.149	0.000
17	3	B.150.3	1	24.5	24.5	24.5	0.0	0.852	0.852	0.852	0.000	26.0	15.7	0.944	0.944	0.944	0.000
18	3	B.150.4	1	25.4	25.4	25.4	0.0	0.881	0.881	0.881	0.000	25.7	14.2	0.988	0.988	0.988	0.000

テ- タ 番号	文献 番号	異名 番号	尺数 単位	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	Y_U	M_{U1}/M_Y	M_{U2}/M_Y	M_{U3}/M_Y	Y_U/Y_Y	M_{U1k}	Y_{U1k}	M_{U1}/M_{U1k}	M_{U2}/M_{U1k}	M_{U3}/M_{U1k}	Y_U/Y_{U1k}
19	3	B.150.5	1	29.1	29.1	29.1	0.0	1.012	1.012	1.012	0.000	25.4	13.1	1.147	1.147	1.147	0.000
20	3	B.209.1	1	24.7	24.7	24.7	0.0	0.913	0.913	0.913	0.000	24.9	13.1	0.994	0.994	0.994	0.000
21	3	B.209.2	1	26.4	26.4	26.4	0.0	0.979	0.979	0.979	0.000	24.8	11.0	1.068	1.068	1.068	0.000
22	3	B.209.3	1	24.9	24.9	24.9	0.0	0.921	0.921	0.921	0.000	24.5	9.3	1.016	1.016	1.016	0.000
23	3	B.209.4	1	24.6	24.6	24.6	0.0	0.914	0.914	0.914	0.000	24.1	8.2	1.019	1.019	1.019	0.000
24	3	B.209.5	1	25.3	25.3	25.3	0.0	0.938	0.938	0.938	0.000	23.9	7.4	1.058	1.058	1.058	0.000
25	4	B1	1	31.9	31.9	31.9	0.0	0.970	0.970	0.970	0.000	28.4	17.9	1.121	1.121	1.121	0.000
26	4	B2	1	21.4	21.4	21.4	0.0	0.960	0.960	0.960	0.000	19.3	17.1	1.110	1.110	1.110	0.000
27	5	G2.T1	1	233.0	233.0	233.0	0.0	0.902	0.902	0.902	0.000	196.7	61.9	1.185	1.185	1.185	0.000
28	5	G2.T2	1	248.5	248.5	248.5	0.0	0.982	0.982	0.982	0.000	196.7	94.2	1.263	1.263	1.263	0.000
29	5	G4.T1	1	203.6	203.6	203.6	0.0	0.895	0.895	0.895	0.000	174.0	29.2	1.170	1.170	1.170	0.000
30	5	G4.T2	1	215.8	215.8	215.8	0.0	0.948	0.948	0.948	0.000	174.0	44.9	1.240	1.240	1.240	0.000
31	5	G6.T1	2	0.0	0.0	0.0	52.5	0.000	0.000	0.000	0.587	184.1	39.3	0.000	0.000	0.000	1.337
32	5	G6.T2	2	0.0	0.0	0.0	68.0	0.000	0.000	0.000	0.733	184.1	59.6	0.000	0.000	0.000	1.140
33	5	G6.T3	2	0.0	0.0	0.0	80.2	0.000	0.000	0.000	0.885	184.1	74.9	0.000	0.000	0.000	1.071
34	5	G7.T1	2	0.0	0.0	0.0	83.4	0.000	0.000	0.000	0.673	180.2	51.1	0.000	0.000	0.000	1.242
35	5	G7.T2	2	0.0	0.0	0.0	65.7	0.000	0.000	0.000	0.697	180.2	51.1	0.000	0.000	0.000	1.286
36	5	G8.T1	3	73.3	118.5	146.7	38.5	0.579	0.289	0.460	0.390	216.4	26.7	0.678	0.339	0.538	1.441

表-2.3(b) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

チ-ク 番号	文庫 番号	図 表 号	所 以	Mu_1	Mu_2	Mu_3	Vu	Mu_1 / My	Mu_2 / My	Mu_3 / My	Vu / Vy	Mu_{1k}	Vu_{1k}	Mu_1 / Mu_{1k}	Mu_2 / Mu_{1k}	Mu_3 / Mu_{1k}	Vu / Vu_{1k}
37	5	G8.T2	3	80.7	43.3	68.8	45.5	0.342	0.171	0.272	0.481	216.4	41.5	0.401	0.200	0.318	1.097
38	5	G8.T3	3	201.9	151.4	165.5	53.0	0.797	0.698	0.653	0.537	239.0	41.5	0.845	0.634	0.692	1.278
39	5	G9.T1	3	81.9	41.0	65.1	21.5	0.335	0.167	0.268	0.282	208.7	17.8	0.393	0.198	0.312	1.211
40	5	G9.T2	3	64.8	137.2	51.4	34.0	0.265	0.132	0.210	0.446	208.7	30.3	0.310	0.155	0.248	1.122
41	5	G9.T3	3	137.2	68.6	112.4	36.0	0.560	0.280	0.459	0.473	231.9	30.3	0.591	0.296	0.485	1.188
42	12	AQSY1	2	0.0	0.0	0.0	147.8	0.000	0.000	0.000	0.783	139.3	1201	0.000	0.000	0.000	1.231
43	12	AQSY1	2	0.0	0.0	0.0	123.4	0.000	0.000	0.000	0.886	138.6	87.2	0.000	0.000	0.000	1.415
44	12	GSX1	2	0.0	0.0	0.0	87.5	0.000	0.000	0.000	0.903	111.3	76.7	0.000	0.000	0.000	1.140
45	12	GSX2	2	0.0	0.0	0.0	94.0	0.000	0.000	0.000	0.931	108.9	82.8	0.000	0.000	0.000	1.137
46	12	GSY1	2	0.0	0.0	0.0	95.0	0.000	0.000	0.000	1.001	112.5	79.5	0.000	0.000	0.000	1.198
47	12	BSY1	2	0.0	0.0	0.0	92.5	0.000	0.000	0.000	0.975	110.5	77.0	0.000	0.000	0.000	1.201
48	13	H1.T2	3	683.9	331.9	463.7	348.5	0.540	0.270	0.377	0.627	1027.0	2547	0.648	0.323	0.451	1.368
49	15	G.1	3	108.4	54.2	84.3	94.3	1.089	0.544	0.847	1.054	93.2	83.1	1.163	0.581	0.905	1.134
50	15	G.2	3	104.7	52.3	81.4	91.0	0.860	0.430	0.689	1.018	117.5	83.7	0.890	0.445	0.693	1.087
51	15	G.3	3	162.0	81.0	126.5	108.0	1.242	0.621	0.970	0.949	116.4	92.1	1.392	0.696	1.087	1.172
52	15	G.4	3	221.0	110.5	179.7	110.5	1.139	0.570	0.926	0.971	178.4	89.8	1.239	0.619	1.007	1.230
53	15	G.5	3	161.3	80.6	125.9	107.5	0.831	0.418	0.649	0.945	186.3	93.9	0.868	0.433	0.678	1.145
54	15	G.6	3	84.4	42.2	56.2	120.5	0.435	0.217	0.290	1.059	194.0	1094	0.435	0.217	0.290	1.102

チ-ク 番号	文庫 番号	図 表 号	所 以	Mu_1	Mu_2	Mu_3	Vu	Mu_1 / My	Mu_2 / My	Mu_3 / My	Vu / Vy	Mu_{1k}	Vu_{1k}	Mu_1 / Mu_{1k}	Mu_2 / Mu_{1k}	Mu_3 / Mu_{1k}	Vu / Vu_{1k}
55	15	G.7	3	185.6	92.8	145.0	123.8	0.957	0.479	0.747	1.087	186.3	93.9	0.996	0.498	0.778	1.318
56	15	G.9	3	243.0	121.5	190.8	121.5	0.950	0.475	0.746	0.830	235.3	96.1	1.033	0.516	0.811	1.265
57	16	NO.1.1	3	30.8	23.3	0.0	28.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
58	16	NO.1.2	3	31.4	15.7	23.7	28.5	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
59	16	NO.2.1	3	13.6	6.8	10.1	17.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
60	16	NO.2.2	3	14.0	7.0	10.4	17.5	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
61	17	A	1	116.3	116.3	116.3	0.0	0.915	0.915	0.915	0.000	117.3	41.5	0.991	0.991	0.991	0.000
62	17	B	3	106.4	60.8	70.4	76.0	0.469	0.268	0.310	0.488	183.9	69.8	0.560	0.320	0.371	1.089
63	17	C	1	240.0	240.0	240.0	0.0	0.980	0.980	0.980	0.000	209.0	96.8	1.148	1.148	1.148	0.000
64	18	G-2	3	157.5	78.8	122.1	75.0	1.061	0.526	0.815	0.689	133.0	46.7	1.184	0.592	0.918	1.607
65	18	G-3	3	158.4	79.2	122.8	84.0	0.882	0.441	0.684	0.489	153.2	42.6	1.034	0.517	0.802	1.501
66	18	G-4	3	198.7	98.4	162.6	84.5	0.870	0.435	0.674	0.425	180.9	41.2	1.088	0.544	0.844	1.586
67	19	AQCY1.4.	3	147.8	116.7	119.9	88.0	0.885	0.699	0.718	0.631	136.4	87.3	1.084	0.856	0.879	1.008
68	19	AQCY1.4.	3	131.3	103.6	106.5	79.6	0.857	0.676	0.695	0.624	129.0	92.5	1.018	0.803	0.828	0.861
69	19	AQCY1.3.	3	148.8	113.7	117.6	99.2	0.911	0.696	0.721	0.599	141.2	101.2	1.054	0.806	0.834	0.981
70	19	AQCY1.2.	3	125.9	86.9	92.8	121.1	0.794	0.548	0.586	0.681	145.0	110.3	0.869	0.599	0.641	1.098
71	19	GCX1.4	3	93.8	74.0	76.1	75.0	0.759	0.599	0.616	0.774	110.4	78.8	0.860	0.671	0.689	0.979
72	19	GCX2.4	3	97.3	76.8	78.9	70.0	0.798	0.630	0.647	0.817	109.3	69.8	0.890	0.702	0.722	1.003

表-2.3(c) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

データ 番号	文庫 番号	試料 番号	径 寸	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	V_U	$M_{U1}/$ M_Y	$M_{U2}/$ M_Y	$M_{U3}/$ M_Y	$V_U/$ V_Y	M_{U1L}	V_{U1L}	$M_{U1}/$ M_{U1L}	$M_{U2}/$ M_{U1L}	$M_{U3}/$ M_{U1L}	$V_U/$ V_{U1L}
73	19	GCY1.5	3	109.4	91.2	92.7	62.5	0.907	0.750	0.769	0.586	102.6	78.8	1.060	0.889	0.903	0.794
74	19	GCY1.4	3	96.9	76.5	78.6	77.5	0.738	0.608	0.623	0.818	122.9	79.4	0.788	0.622	0.640	0.976
75	19	GCY1.3.6	3	89.4	68.3	70.8	74.5	0.735	0.562	0.582	0.874	111.3	69.5	0.803	0.614	0.636	1.072
76	19	GCY1.2.3	3	72.8	48.5	50.6	112.0	0.598	0.399	0.415	1.182	118.8	92.2	0.613	0.408	0.425	1.215
77	20	A.1	3	0.5	0.3	0.3	2.9	0.689	0.345	0.467	1.018	0.7	2.8	0.718	0.359	0.487	1.121
78	20	A.2	3	0.7	0.3	0.6	2.4	0.919	0.459	0.688	0.859	0.7	2.3	1.030	0.516	0.772	1.043
79	20	A.3	3	0.9	0.4	0.7	1.6	1.149	0.574	0.954	0.527	0.5	2.1	1.636	0.817	1.358	0.710
80	0	A.	1	21.4	21.4	21.4	0.0	0.838	0.838	0.838	0.000	15.0	9.8	1.423	1.423	1.423	0.000
81	8	B.	1	24.8	24.8	24.8	0.0	0.807	0.807	0.807	0.000	24.0	27.2	1.010	1.010	1.010	0.000
82	22	TG.10	3	8.9	3.4	4.3	11.3	0.590	0.295	0.368	0.464	10.8	12.0	0.637	0.318	0.397	0.940
83	22	TG.11	3	7.3	3.7	4.6	12.0	0.658	0.329	0.410	0.522	10.4	11.6	0.704	0.352	0.438	1.038
84	22	TG.20	3	7.7	3.8	4.8	12.6	0.561	0.280	0.349	0.551	13.1	11.9	0.584	0.292	0.364	1.057
85	22	TG.21	3	7.2	3.6	4.6	11.8	0.518	0.259	0.323	0.503	13.2	12.1	0.541	0.271	0.337	0.973
86	22	TG.30	3	8.7	4.3	5.4	14.3	0.363	0.181	0.226	0.685	23.2	14.0	0.375	0.187	0.233	1.016
87	22	TG.31	3	8.2	4.1	5.1	13.5	0.370	0.185	0.231	0.599	21.8	13.2	0.380	0.190	0.237	1.022
88	22	TG.40	3	9.7	4.8	6.0	15.9	0.307	0.183	0.228	0.724	25.8	13.6	0.375	0.188	0.234	1.169
89	22	TG.41	3	9.2	4.6	5.8	15.2	0.310	0.155	0.193	0.610	28.9	15.0	0.320	0.160	0.199	1.010
90	22	TG.13	3	12.7	6.4	7.9	20.9	0.270	0.135	0.168	0.832	45.7	17.4	0.278	0.139	0.173	1.197

データ 番号	文庫 番号	試料 番号	径 寸	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	V_U	$M_{U1}/$ M_Y	$M_{U2}/$ M_Y	$M_{U3}/$ M_Y	$V_U/$ V_Y	M_{U1L}	V_{U1L}	$M_{U1}/$ M_{U1L}	$M_{U2}/$ M_{U1L}	$M_{U3}/$ M_{U1L}	$V_U/$ V_{U1L}
91	22	TG.50	3	11.9	5.9	8.3	13.0	0.304	0.152	0.212	0.483	36.4	11.9	0.327	0.164	0.228	1.098
92	22	TG.51	3	10.7	5.4	7.5	11.7	0.303	0.151	0.211	0.481	33.4	10.9	0.321	0.160	0.224	1.070
93	22	TG.80	3	13.0	6.5	9.1	14.2	0.198	0.099	0.138	0.515	64.7	14.4	0.201	0.100	0.140	0.987
94	22	TG.81	3	12.2	6.1	8.6	13.4	0.224	0.112	0.156	0.573	54.0	12.4	0.226	0.113	0.158	1.078
95	22	TG.90	3	15.0	7.6	11.1	12.3	0.405	0.203	0.301	0.498	35.1	9.3	0.427	0.213	0.317	1.316
96	22	TG.91	3	14.7	7.3	10.9	12.0	0.365	0.183	0.271	0.449	37.7	9.9	0.389	0.195	0.289	1.210
97	22	TG.100	3	15.7	7.8	11.6	12.9	0.270	0.135	0.201	0.523	50.6	10.8	0.277	0.138	0.208	1.189
98	22	TG.200	3	1.8	1.2	1.2	5.1	0.474	0.358	0.372	0.624	2.8	6.0	0.551	0.416	0.433	0.659
99	22	TG.210	3	2.2	1.6	1.7	7.1	0.523	0.395	0.411	0.870	4.0	6.2	0.547	0.413	0.429	1.157
100	22	TG.220	3	2.4	1.8	1.9	7.9	0.391	0.295	0.307	0.963	5.8	6.4	0.414	0.313	0.325	1.227
101	22	TG.230	3	2.6	1.9	1.9	8.2	0.327	0.247	0.257	0.994	7.3	6.8	0.338	0.255	0.265	1.204
102	22	TG.240	3	2.9	2.2	2.3	9.7	0.291	0.219	0.228	1.177	9.9	7.3	0.297	0.224	0.233	1.327
103	22	TG.250	3	3.2	2.4	2.5	10.4	0.300	0.227	0.236	1.268	10.4	7.5	0.304	0.229	0.239	1.389
104	22	STG.2	3	2.0	1.0	1.5	4.0	0.328	0.164	0.243	0.619	5.8	3.4	0.340	0.170	0.252	1.152
105	22	STG.4	3	1.7	0.9	1.3	3.6	0.402	0.201	0.298	0.783	4.3	2.1	0.405	0.202	0.300	1.643
106	23	LS1T2	2	0.0	0.0	0.0	83.8	0.000	0.000	0.000	0.784	393.9	78.0	0.000	0.000	0.000	1.199
107	23	LS2T1	2	0.0	0.0	0.0	71.6	0.000	0.000	0.000	0.763	376.1	63.7	0.000	0.000	0.000	1.124
108	23	LS3T1	2	0.0	0.0	0.0	83.2	0.000	0.000	0.000	0.697	339.8	48.6	0.000	0.000	0.000	1.300

表-2.3(d) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

データ 番号	文庫 番号	試験体 番号	高さ mm	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	V_U	M_{U1}/M_Y	M_{U2}/M_Y	M_{U3}/M_Y	V_U/V_Y	M_{ALL}	V_{ALL}	M_{U1}/M_{ALL}	M_{U2}/M_{ALL}	M_{U3}/M_{ALL}	V_U/V_{ALL}
109	23	LS3T2	2	0.0	0.0	0.0	67.2	0.000	0.000	0.000	0.741	339.8	48.6	0.000	0.000	0.000	1.382
110	23	LS3T3	2	0.0	0.0	0.0	78.7	0.000	0.000	0.000	0.845	339.8	68.4	0.000	0.000	0.000	1.122
111	23	LS4T1	2	0.0	0.0	0.0	86.3	0.000	0.000	0.000	0.705	402.7	78.7	0.000	0.000	0.000	1.125
112	23	LS4T2	2	0.0	0.0	0.0	92.0	0.000	0.000	0.000	0.762	398.1	86.7	0.000	0.000	0.000	1.081
113	8	B.25.0	1	40.0	40.0	40.0	0.0	0.831	0.831	0.831	0.000	44.4	17.8	0.901	0.901	0.901	0.000
114	8	B.25.1	1	51.0	51.0	51.0	0.0	1.081	1.081	1.081	0.000	44.4	19.0	1.158	1.158	1.158	0.000
115	8	B.25.5	1	58.4	58.4	58.4	0.0	1.173	1.173	1.173	0.000	44.4	19.0	1.280	1.280	1.280	0.000
116	8	B.35.1	1	70.0	70.0	70.0	0.0	0.973	0.973	0.973	0.000	60.8	22.4	1.151	1.151	1.151	0.000
117	8	B.35.1A	1	78.0	78.0	78.0	0.0	1.085	1.085	1.085	0.000	60.9	22.4	1.281	1.281	1.281	0.000
118	8	B.35.1E	1	87.0	87.0	87.0	0.0	0.931	0.931	0.931	0.000	62.5	22.4	1.071	1.071	1.071	0.000
119	8	B.35.5	1	77.5	77.5	77.5	0.0	1.076	1.076	1.076	0.000	62.5	22.4	1.239	1.239	1.239	0.000
120	24	S.25.0	3	48.5	31.9	37.3	30.3	0.553	0.364	0.425	0.727	77.9	19.5	0.622	0.409	0.478	1.552
121	24	S.25.5	3	62.0	40.7	47.7	38.8	0.708	0.465	0.544	0.930	77.9	28.3	0.796	0.523	0.612	1.370
122	24	S.35.1	3	95.7	59.6	71.9	46.0	0.748	0.468	0.563	0.788	110.4	33.5	0.667	0.540	0.652	1.373
123	24	S.35.1A	3	95.7	59.6	71.9	46.0	0.748	0.466	0.563	0.788	110.4	33.5	0.667	0.540	0.652	1.373
124	24	S.35.5	3	94.6	59.0	71.2	45.5	0.740	0.464	0.557	0.780	110.4	33.5	0.657	0.534	0.645	1.358
125	24	S.35.1D	3	103.0	64.2	77.4	49.5	0.805	0.502	0.605	0.848	110.4	40.6	0.933	0.581	0.701	1.219
126	24	S.35.1F	3	78.0	48.6	58.6	37.5	0.908	0.565	0.682	0.643	70.3	31.0	1.110	0.692	0.834	1.208

データ 番号	文庫 番号	試験体 番号	高さ mm	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	V_U	M_{U1}/M_Y	M_{U2}/M_Y	M_{U3}/M_Y	V_U/V_Y	M_{ALL}	V_{ALL}	M_{U1}/M_{ALL}	M_{U2}/M_{ALL}	M_{U3}/M_{ALL}	V_U/V_{ALL}
127	26	G1	3	160.2	80.1	125.1	110.6	0.888	0.443	0.692	1.019	175.2	99.4	0.914	0.457	0.714	1.112
128	26	G2	3	150.8	75.4	117.7	104.0	1.097	0.549	0.857	0.959	128.3	98.6	1.175	0.588	0.917	1.054
129	26	G3	3	236.8	118.3	184.2	124.5	0.950	0.475	0.740	0.836	233.8	117.6	1.012	0.506	0.788	1.059
130	26	G4	3	217.6	108.8	169.5	114.5	1.061	0.530	0.828	0.788	186.7	112.5	1.165	0.583	0.908	1.018
131	28	WB-1	3	46.4	24.9	36.6	49.4	0.541	0.291	0.427	1.247	85.7	40.4	0.541	0.291	0.427	1.224
132	28	WB-2	3	54.5	29.3	43.0	54.5	0.633	0.340	0.499	1.243	86.1	44.1	0.633	0.340	0.499	1.235
133	28	WB-3	3	65.7	35.4	51.8	65.7	0.681	0.367	0.538	1.166	90.4	54.8	0.681	0.367	0.538	1.197
134	28	WB-6	3	47.6	25.6	37.1	43.5	0.449	0.241	0.350	1.142	106.0	38.1	0.449	0.241	0.350	1.142
135	28	WB-7	3	42.1	22.7	33.0	43.0	0.458	0.247	0.359	1.270	91.8	34.7	0.458	0.247	0.359	1.238
136	28	WB-8	3	44.3	23.9	34.6	45.3	0.468	0.252	0.366	1.431	94.2	32.5	0.470	0.253	0.367	1.396
137	28	WB-9	3	35.5	19.3	28.1	41.7	0.479	0.261	0.380	1.682	73.8	24.8	0.481	0.262	0.381	1.682
138	28	WB-10	3	38.3	19.7	28.7	42.8	0.487	0.265	0.388	1.718	74.2	24.8	0.489	0.266	0.387	1.718
139	29	PA1	3	24.8	22.3	22.4	8.3	0.473	0.426	0.428	0.845	37.7	7.4	0.657	0.592	0.595	1.122
140	29	PA2	3	20.5	18.0	18.1	8.8	0.392	0.343	0.346	0.878	37.7	7.4	0.545	0.477	0.481	1.183
141	29	PA3	3	16.8	13.1	13.3	8.8	0.301	0.261	0.255	0.896	37.7	7.4	0.418	0.348	0.354	1.189
142	29	PB1	3	27.3	25.0	25.1	9.1	0.521	0.477	0.479	0.930	37.7	8.0	0.723	0.603	0.666	1.138
143	29	PB2	3	23.2	20.9	21.0	9.3	0.443	0.399	0.401	0.950	37.7	8.0	0.615	0.554	0.557	1.161
144	29	PCI/2	3	15.0	9.6	12.2	5.5	0.287	0.170	0.217	0.538	39.3	5.4	0.383	0.244	0.312	1.007

表-2.3(c) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

チ-タ 番号	試験 番号	試料 番号	所収 状態	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	Y_U	M_{U1}/M_Y	M_{U2}/M_Y	M_{U3}/M_Y	Y_U/Y_Y	M_{U1k}	Y_{U1k}	M_{U1}/M_{U1k}	M_{U2}/M_{U1k}	M_{U3}/M_{U1k}	Y_U/Y_{U1k}
145	29	PD1/2	3	18.2	13.3	15.1	8.6	0.324	0.238	0.268	0.651	39.1	8.6	0.468	0.339	0.385	1.014
146	29	PD3	3	9.6	6.7	7.1	7.7	0.170	0.119	0.126	0.751	39.5	6.5	0.242	0.169	0.180	1.170
147	29	PC3	3	6.0	3.0	3.8	8.0	0.107	0.053	0.067	0.789	39.5	6.6	0.162	0.078	0.095	1.228
148	10	L81	1	215.6	215.6	215.6	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
149	10	L82	1	209.5	209.5	209.5	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
150	10	L83	1	205.9	205.9	205.9	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
151	10	L84	1	209.0	209.0	209.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
152	10	L85	1	208.6	208.6	208.6	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
153	30	TGV1-1	3	10.2	6.1	7.5	8.6	0.311	0.156	0.231	0.559	31.1	5.8	0.327	0.164	0.243	1.450
154	30	TGV1-2	3	13.6	6.8	10.1	11.3	0.416	0.208	0.308	0.748	31.1	9.0	0.437	0.219	0.326	1.264
155	30	TGV2-1	3	12.8	6.4	9.5	10.7	0.391	0.195	0.290	0.700	30.3	7.2	0.423	0.211	0.314	1.491
156	30	TGV2-2	3	14.1	7.0	10.5	11.7	0.430	0.215	0.319	0.771	30.7	9.1	0.459	0.229	0.341	1.293
157	30	TGV3-1	3	11.6	5.8	8.6	9.8	0.354	0.177	0.263	0.655	29.8	3.3	0.388	0.194	0.288	2.948
158	30	TGV3-2	3	13.8	6.9	10.2	11.5	0.422	0.211	0.314	0.780	31.0	8.8	0.446	0.222	0.330	1.312
159	30	TGV4-1	3	12.4	6.2	9.2	10.4	0.365	0.183	0.271	0.680	32.1	9.0	0.386	0.192	0.286	1.147
160	30	TGV4-2	3	12.3	6.2	9.1	10.4	0.364	0.182	0.270	0.680	32.1	9.0	0.384	0.192	0.285	1.148
161	30	TGV5-1	3	12.7	6.3	9.4	10.7	0.383	0.192	0.284	0.671	31.4	9.3	0.403	0.202	0.299	1.147
162	30	TGV5-2	3	12.7	6.4	9.5	10.7	0.385	0.193	0.286	0.671	31.4	9.3	0.405	0.203	0.301	1.150

チ-タ 番号	試験 番号	試料 番号	所収 状態	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	Y_U	M_{U1}/M_Y	M_{U2}/M_Y	M_{U3}/M_Y	Y_U/Y_Y	M_{U1k}	Y_{U1k}	M_{U1}/M_{U1k}	M_{U2}/M_{U1k}	M_{U3}/M_{U1k}	Y_U/Y_{U1k}
163	30	TGV6-1	3	12.2	6.1	9.1	10.3	0.363	0.181	0.269	0.665	32.1	9.2	0.382	0.191	0.283	1.124
164	30	TGV6-2	3	24.5	12.2	18.2	10.3	0.726	0.363	0.539	0.665	32.1	9.2	0.764	0.382	0.567	1.124
165	30	TGV7-1	3	11.4	5.7	8.5	9.6	0.343	0.171	0.254	0.833	30.9	7.6	0.389	0.186	0.274	1.267
166	30	TGV7-2	3	12.7	6.3	9.4	10.7	0.380	0.190	0.281	0.708	31.7	9.0	0.399	0.200	0.296	1.186
167	30	TGV8-1	3	10.9	5.5	8.1	9.2	0.410	0.205	0.304	0.834	25.7	8.3	0.426	0.212	0.316	1.103
168	30	TGV8-2	3	11.4	5.7	8.5	9.6	0.428	0.214	0.318	0.862	25.7	8.3	0.446	0.222	0.330	1.153
169	30	TGV9-1	3	12.1	6.1	9.0	10.2	0.464	0.227	0.336	0.701	28.0	8.4	0.466	0.233	0.346	1.222
170	30	TGV9-2	3	12.8	6.4	9.5	10.8	0.481	0.240	0.367	0.740	28.0	8.3	0.494	0.247	0.367	1.293
171	30	TGV10-1	3	12.3	6.2	9.1	10.4	0.329	0.164	0.244	0.715	34.3	8.7	0.360	0.180	0.267	1.194
172	30	TGV10-2	3	12.8	6.4	9.5	10.8	0.341	0.171	0.253	0.743	34.6	8.8	0.370	0.186	0.276	1.224
173	30	TGV11-2	3	13.0	6.5	9.6	10.9	0.469	0.235	0.348	0.755	28.9	8.4	0.482	0.241	0.358	1.307
174	32	C-AC1	3	45.6	0.0	0.0	18.1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
175	32	C-AC2	3	30.5	0.0	0.0	12.1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
176	32	C-AC3	3	101.8	0.0	0.0	40.5	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
177	32	C-AC4	3	82.8	0.0	0.0	25.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
178	32	C-AC5	3	69.0	0.0	0.0	23.8	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
179	32	C-AH1	3	148.4	0.0	0.0	59.0	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
180	11	F10-P1	2	0.0	0.0	0.0	83.5	0.000	0.000	0.000	0.712	341.6	63.3	0.000	0.000	0.000	1.320

表-2.3(f) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

データ 番号	文庫 番号	試料 番号	所重 試験	Mu_1	Mu_2	Mu_3	Yu	$Mu_1 /$ My	$Mu_2 /$ My	$Mu_3 /$ My	$Yu /$ Yy	$M_{u_{1k}}$	$V_{u_{1k}}$	$Mu_1 /$ $M_{u_{1k}}$	$Mu_2 /$ $M_{u_{1k}}$	$Mu_3 /$ $M_{u_{1k}}$	$Yu /$ $V_{u_{1k}}$
181	11	F10-P5	2	0.0	0.0	0.0	86.2	0.000	0.000	0.000	0.662	301.7	72.0	0.000	0.000	0.000	1.197
182	21	S-1	2	0.0	0.0	0.0	9.2	0.000	0.000	0.000	0.910	4.9	9.9	0.000	0.000	0.000	0.927
183	21	S-2	2	0.0	0.0	0.0	16.4	0.000	0.000	0.000	0.775	10.7	15.1	0.000	0.000	0.000	1.085
184	21	S-3	2	0.0	0.0	0.0	20.2	0.000	0.000	0.000	0.710	17.2	17.0	0.000	0.000	0.000	1.186
185	21	A-1	2	0.0	0.0	0.0	18.9	0.000	0.000	0.000	0.762	7.2	18.5	0.000	0.000	0.000	1.148
186	21	A-2	2	0.0	0.0	0.0	10.2	0.000	0.000	0.000	0.799	6.4	14.9	0.000	0.000	0.000	1.090
187	21	A-3	2	0.0	0.0	0.0	14.5	0.000	0.000	0.000	0.893	5.3	13.6	0.000	0.000	0.000	1.066
188	21	A-4	2	0.0	0.0	0.0	12.7	0.000	0.000	0.000	1.128	4.0	10.9	0.000	0.000	0.000	1.169
189	21	A-5	2	0.0	0.0	0.0	10.5	0.000	0.000	0.000	1.332	2.9	7.9	0.000	0.000	0.000	1.332
190	21	A-1'	2	0.0	0.0	0.0	12.8	0.000	0.000	0.000	0.846	7.3	15.0	0.000	0.000	0.000	0.823
191	21	A-2'	2	0.0	0.0	0.0	18.9	0.000	0.000	0.000	1.206	6.4	13.7	0.000	0.000	0.000	1.383
192	21	A-3'	2	0.0	0.0	0.0	14.9	0.000	0.000	0.000	1.227	5.2	11.3	0.000	0.000	0.000	1.327
193	33	B-17-A	1	90.7	90.7	90.7	0.0	1.023	1.023	1.023	0.000	81.1	45.5	1.118	1.118	1.118	0.000
194	33	B-17-B	1	88.9	88.9	88.9	0.0	1.003	1.003	1.003	0.000	81.1	30.0	1.098	1.099	1.096	0.000
195	33	B-21-A	1	113.0	113.0	113.0	0.0	1.002	1.002	1.002	0.000	103.3	48.0	1.094	1.094	1.094	0.000
196	33	B-21-B	1	110.9	110.9	110.9	0.0	0.980	0.980	0.980	0.000	103.4	31.5	1.072	1.072	1.072	0.000
197	33	B-25-A	1	126.8	126.8	126.8	0.0	0.915	0.915	0.915	0.000	125.3	51.6	1.012	1.012	1.012	0.000
198	33	B-25-B	1	124.7	124.7	124.7	0.0	0.899	0.899	0.899	0.000	125.5	33.8	0.994	0.994	0.994	0.000

データ 番号	文庫 番号	試料 番号	所重 試験	Mu_1	Mu_2	Mu_3	Yu	$Mu_1 /$ My	$Mu_2 /$ My	$Mu_3 /$ My	$Yu /$ Yy	$M_{u_{1k}}$	$V_{u_{1k}}$	$Mu_1 /$ $M_{u_{1k}}$	$Mu_2 /$ $M_{u_{1k}}$	$Mu_3 /$ $M_{u_{1k}}$	$Yu /$ $V_{u_{1k}}$
199	34	B-21	1	189.6	189.6	189.6	0.0	0.874	0.874	0.874	0.000	188.6	78.7	1.005	1.005	1.005	0.000
200	34	B-22	1	201.8	201.8	201.8	0.0	0.930	0.930	0.930	0.000	197.8	78.7	1.020	1.020	1.020	0.000
201	34	C-21	3	194.7	128.7	144.9	66.0	0.899	0.594	0.689	0.469	188.9	79.5	1.031	0.682	0.787	0.830
202	34	C-22	3	196.4	129.8	146.1	66.6	0.906	0.599	0.674	0.473	188.9	79.5	1.040	0.687	0.774	0.838
203	34	S-21	3	157.5	78.8	104.1	78.7	0.419	0.210	0.277	0.566	349.0	87.9	0.451	0.226	0.298	0.898
204	34	S-22	3	163.0	81.5	107.7	81.5	0.434	0.217	0.287	0.586	349.0	87.9	0.467	0.234	0.309	0.928
205	34	S-23	3	157.7	78.9	104.2	78.9	0.420	0.210	0.278	0.564	340.5	92.3	0.463	0.232	0.306	0.854
206	35	LS1-A	3	7.2	3.6	5.1	7.5	0.354	0.177	0.249	0.554	17.0	6.0	0.409	0.205	0.288	1.279
207	35	LS3-A	3	9.8	4.9	6.9	10.4	0.444	0.222	0.313	0.584	19.1	7.9	0.515	0.257	0.363	1.318
208	35	LS8-A	3	10.1	5.1	7.1	10.7	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
209	35	LS2-A	3	10.6	5.3	7.4	11.1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
210	35	LS7-A	3	12.5	6.2	8.8	13.3	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
211	35	LS6-B	3	15.4	7.7	10.8	15.5	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
212	35	LS6-A	3	14.8	7.4	10.4	15.8	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
213	35	LS1-B	3	10.1	5.1	7.1	10.7	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
214	35	LS8-B	3	13.1	6.6	9.2	13.9	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
215	35	LS5-A	3	15.7	7.8	11.0	18.7	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
216	35	LS2-B	3	11.4	5.7	8.1	12.1	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000

表-2.3(8) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

チ-タ 番号	試験 番号	試験 番号	試験 項目	μ_{u1}	μ_{u2}	μ_{u3}	ν_u	μ_{u1}/μ_y	μ_{u2}/μ_y	μ_{u3}/μ_y	ν_u/ν_y	μ_{u11}	ν_{u11}	μ_{u1}/μ_{u11}	μ_{u2}/μ_{u11}	μ_{u3}/μ_{u11}	ν_u/ν_{u11}
217	35	LS7-B	3	14.4	7.2	10.2	15.2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
218	35	LS3-B	3	16.1	8.0	11.3	16.9	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
219	35	LS5-B	3	17.1	8.5	12.0	18.2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
220	35	LS4-A	3	15.7	7.8	11.0	16.7	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
221	35	LS4-B	3	16.5	8.3	11.6	17.7	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
222	35	SD3	3	16.6	8.3	10.3	16.0	0.404	0.202	0.252	0.828	40.3	11.6	0.412	0.208	0.257	1.376
223	35	SD4	3	16.5	9.3	11.5	17.9	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
224	36	NO.1	3	26.2	13.1	16.3	32.7	0.173	0.086	0.108	0.481	133.9	42.9	0.195	0.098	0.122	0.762
225	36	NO.2	3	26.9	14.2	17.2	33.6	0.177	0.094	0.113	0.494	133.9	42.9	0.201	0.106	0.128	0.783
226	37	PB3	3	58.0	29.0	40.2	39.6	0.476	0.238	0.331	0.900	114.8	34.6	0.505	0.252	0.351	1.144
227	37	PA3	3	77.3	38.7	64.0	61.6	0.647	0.323	0.452	0.781	112.3	48.4	0.688	0.344	0.481	1.066
228	37	PB1	3	130.2	99.0	107.6	40.3	1.070	0.813	0.883	0.916	113.8	35.6	1.144	0.870	0.944	1.133
229	37	PA1	3	140.1	106.9	116.8	43.4	1.172	0.894	0.969	0.657	117.4	44.8	1.193	0.910	0.987	0.987
230	37	PC	1	132.5	132.5	132.5	0.0	1.108	1.108	1.108	0.000	117.5	28.4	1.128	1.128	1.128	0.000
231	38	SD5	3	18.3	9.2	11.4	17.7	0.446	0.223	0.278	0.916	39.7	13.3	0.462	0.231	0.288	1.327
232	38	SD6	3	18.2	9.1	11.3	17.5	0.442	0.221	0.275	0.907	39.7	13.3	0.458	0.229	0.285	1.314
233	38	SD7	3	18.2	9.1	11.4	17.5	0.444	0.222	0.277	0.907	39.7	13.3	0.460	0.230	0.287	1.314
234	38	SD8	3	17.6	8.8	10.9	16.9	0.428	0.214	0.260	0.875	39.7	13.3	0.443	0.222	0.276	1.267

チ-タ 番号	試験 番号	試験 番号	試験 項目	μ_{u1}	μ_{u2}	μ_{u3}	ν_u	μ_{u1}/μ_y	μ_{u2}/μ_y	μ_{u3}/μ_y	ν_u/ν_y	μ_{u11}	ν_{u11}	μ_{u1}/μ_{u11}	μ_{u2}/μ_{u11}	μ_{u3}/μ_{u11}	ν_u/ν_{u11}
235	26	G5	3	291.5	145.7	226.9	123.5	0.940	0.470	0.732	0.696	268.8	1689	1.085	0.542	0.844	0.731
236	26	G6	3	257.2	128.6	200.2	109.0	1.071	0.536	0.834	0.620	193.0	1659	1.333	0.666	1.037	0.657
237	26	G7	3	362.0	181.0	282.0	127.0	0.958	0.479	0.746	0.589	308.0	1697	1.175	0.568	0.910	0.670
238	26	G8	3	319.2	159.6	248.7	112.0	1.032	0.516	0.804	0.531	234.5	1829	1.361	0.681	1.000	0.613
239	39	MS0	3	9.0	4.5	6.4	9.5	0.439	0.219	0.309	0.508	18.5	7.3	0.488	0.244	0.344	1.307
240	39	MS1	3	11.8	5.9	8.3	12.4	0.572	0.286	0.403	0.662	17.5	9.8	0.672	0.336	0.473	1.269
241	39	MS2	3	14.8	7.4	10.4	15.6	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
242	39	SD1	3	35.1	0.0	0.0	13.2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.000	0.000	0.000	0.000
243	40	B1	3	33.3	33.3	61.0	14.6	0.749	0.749	1.370	0.353	16.5	5.4	2.020	2.020	3.097	2.719
244	40	B4	3	16.2	16.2	29.7	7.1	0.793	0.793	1.462	0.367	3.3	2.0	4.954	4.954	9.068	3.591
245	40	K1	3	23.8	28.5	51.0	15.8	0.534	0.641	1.146	0.383	28.1	6.1	0.846	1.015	1.815	2.601
246	34	B-23	1	206.7	206.7	206.7	0.0	0.986	0.986	0.986	0.000	194.0	79.5	1.066	1.066	1.066	0.000
247	34	B-24	1	336.3	336.3	336.3	0.0	0.875	0.875	0.875	0.000	331.2	1049	1.015	1.015	1.015	0.000
248	34	C-23	3	209.7	138.6	150.0	71.1	1.000	0.661	0.744	0.508	194.0	79.5	1.081	0.714	0.804	0.694
249	34	C-24	3	212.6	140.5	158.2	72.1	1.014	0.670	0.765	0.515	194.0	79.5	1.098	0.724	0.815	0.906
250	34	C-25	3	343.6	225.2	254.5	89.0	0.893	0.586	0.802	0.468	331.2	1049	1.037	0.680	0.768	0.849
251	34	C-26	3	208.0	158.5	168.1	49.5	0.994	0.768	0.804	0.352	193.9	79.7	1.073	0.817	0.867	0.621
252	34	C-27	3	215.9	160.6	171.8	55.4	1.032	0.768	0.821	0.394	193.9	79.7	1.113	0.828	0.880	0.695

表-2.3(h) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

データ 番号	文庫 番号	供試体 番号	荷重 状態	M_{U1}	M_{U2}	M_{U3}	Y_U	M_{U1} M_Y	M_{U2} M_Y	M_{U3} M_Y	Y_{U1} Y_Y	M_{U11}	Y_{U11}	M_{U1} M_{U11}	M_{U2} M_{U11}	M_{U3} M_{U11}	Y_U Y_{U11}
253	34	C-28	3	218.3	154.1	168.4	64.2	1.043	0.737	0.805	0.468	193.9	79.7	1.128	0.795	0.868	0.808
254	34	S-24	3	182.0	91.0	120.3	91.0	0.492	0.248	0.325	0.655	352.3	87.9	0.617	0.256	0.341	1.038
255	34	S-25	3	177.0	88.5	116.7	88.5	0.479	0.239	0.318	0.637	352.3	87.9	0.602	0.251	0.331	1.007
256	34	S-26	3	256.1	128.1	169.2	96.3	0.407	0.204	0.269	0.498	572.3	1157	0.447	0.224	0.298	0.832
257	41	B-1	1	502.1	502.1	502.1	0.0	0.938	0.938	0.938	0.000	497.4	1181	1.010	1.010	1.010	0.000
258	41	B-2	1	351.8	351.8	351.8	0.0	1.082	1.082	1.082	0.000	308.0	1058	1.142	1.142	1.142	0.000
259	41	B-12	1	506.5	506.5	506.5	0.0	1.024	1.024	1.024	0.000	428.6	82.2	1.182	1.182	1.182	0.000
260	41	B-11	1	322.0	322.0	322.0	0.0	1.129	1.129	1.129	0.000	254.8	87.2	1.204	1.204	1.204	0.000
261	41	C-1	3	101.1	84.0	86.6	31.1	0.988	0.821	0.847	0.319	95.7	53.8	1.057	0.878	0.905	0.578
262	41	C-2	3	128.1	108.2	109.6	33.7	0.976	0.809	0.835	0.291	125.4	58.4	1.021	0.847	0.874	0.598
263	41	C-3	3	178.7	148.8	153.0	40.2	0.913	0.769	0.782	0.297	180.8	81.0	0.988	0.822	0.846	0.659
264	41	S-1	3	198.1	123.8	144.2	79.3	0.765	0.472	0.550	0.509	243.2	65.0	0.814	0.509	0.593	1.219
265	41	S-2	3	266.0	166.3	193.6	88.7	0.875	0.422	0.491	0.468	358.4	75.5	0.748	0.466	0.543	1.175
266	41	B-01	1	180.9	180.9	180.9	0.0	0.744	0.744	0.744	0.000	188.2	51.5	0.855	0.855	0.855	0.000
267	41	S-01	3	119.2	59.8	78.8	59.6	0.338	0.169	0.223	0.429	331.0	85.8	0.380	0.180	0.238	0.695

2.2 データ内容の分析結果

(1) 作用力別データの内訳

表-2.6に補剛材本数，テストパネルへの作用力，および国内外別の供試体データの内訳を示す。表-2.6は267体のデータを，垂直補剛材の有無，水平補剛材の本数（0本，1本，2本），荷重載荷状態（純曲げ，純せん断，曲げ+せん断）によって分類している。

表-2.6 データの内訳

水平補剛材の本数	垂直補剛材の有無	荷重タイプ	国 内	外 国	不 明	合 計
0 本	無	純 曲 げ	31	6	1	38
		純 せ ん 断	17	5	0	22
		曲げ+せん断	38	62	0	100
	有	純 曲 げ	5	2	0	7
		純 せ ん 断	0	2	0	2
		曲げ+せん断	0	25	0	25
1 本	無	純 曲 げ	8	0	4	12
		純 せ ん 断	0	7	0	7
		曲げ+せん断	5	1	0	6
	有	純 曲 げ	0	0	0	0
		純 せ ん 断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	6	2	0	8
2 本	無	純 曲 げ	0	1	0	1
		純 せ ん 断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	0	20	0	20
	有	純 曲 げ	4	0	0	4
		純 せ ん 断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	14	1	0	15
合 計			128	134	5	267

表-2.6 からわかるようにデータの大部分はテストパネル部に水平および垂直補剛材を有しない供試体（以下、無補剛供試体と呼ぶ）194体のデータであり、水平補剛材1本の供試体は33体、水平補剛材2本の供試体は40体と少ないことがわかる。水平補剛材2本の供試体のデータ40体のうち、18体は昭和60年度から62年度に土木研究所で実施した実験データである。なお、水平補剛材と垂直補剛材をウェブをはさんで反対側に取り付けた供試体はない。

またこれらのデータのうち、水平補剛材の配置間隔比が道示の規定値（水平補剛材1本の場合20:80, 水平補剛材2本の場合14:22:64）と同一の供試体は、水平補剛材1本を有する供試体は21体（純曲げ12体、純せん断1体、曲げせん断8体）あるが、水平補剛材2本を有する供試体はない。土木研究所で実施した水平補剛材2本を有する供試体については、水平および垂直補剛材で囲まれた各ウェブパネル（以下、単一パネルと呼ぶ）の極限曲げ強度⁴⁷⁾に基づき補剛材の配置間隔を求めており、10:15:75としている。今後、道示の規定に基づいた水平補剛材2本を有する桁の終局耐荷力との関係を把握しておくことが必要であると考えられる。

(2) ウェブ幅厚比とデータ数の関係

図-2.1 にウェブの無次元幅厚比 ($bw/tw\sqrt{\sigma_{yw}/24}$) とデータ数の関係を載荷状態で分類して示す。ここでは σ_{yw} (kg/mm^2) はデータ項目30. の値を用いている。また、図-2.2 (a)~(c) に水平補剛材の本数と載荷状態で分類したものを、図-2.3 に水平補剛材の配置が道示の規定と同じデータのみについてまとめたものを示す。

水平補剛材を0本もしくは1本有する供試体については、道示に規定されるウェブの最大幅厚比 ($bw/tw=152, 256$) より大きい幅厚比のものが多く、水平補剛材を2本有する供試体については、道示に規定されるウェブの最大幅厚比 ($bw/tw=310$) よりも小さい幅厚比のものが多。

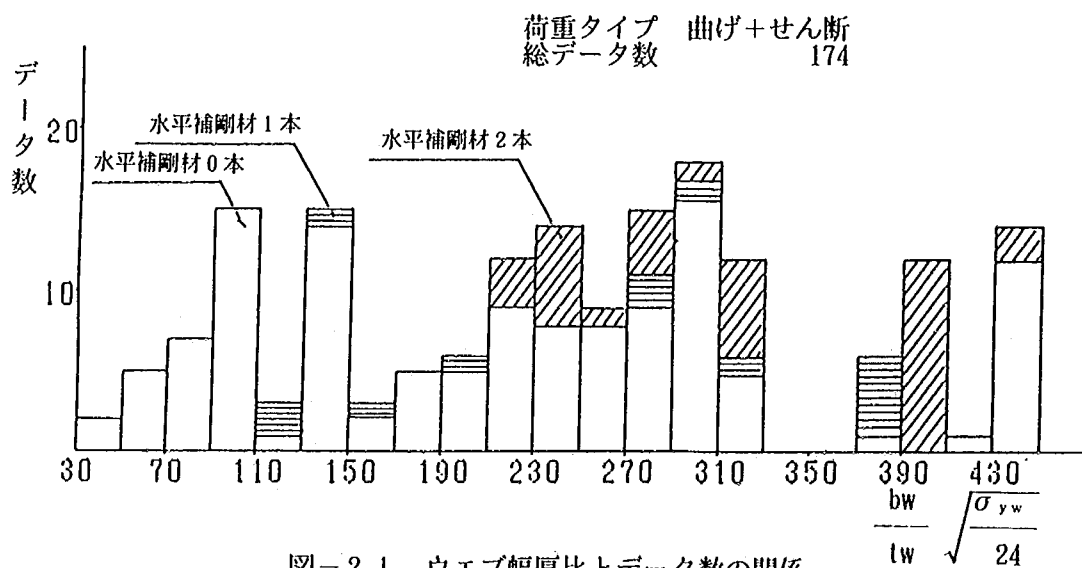
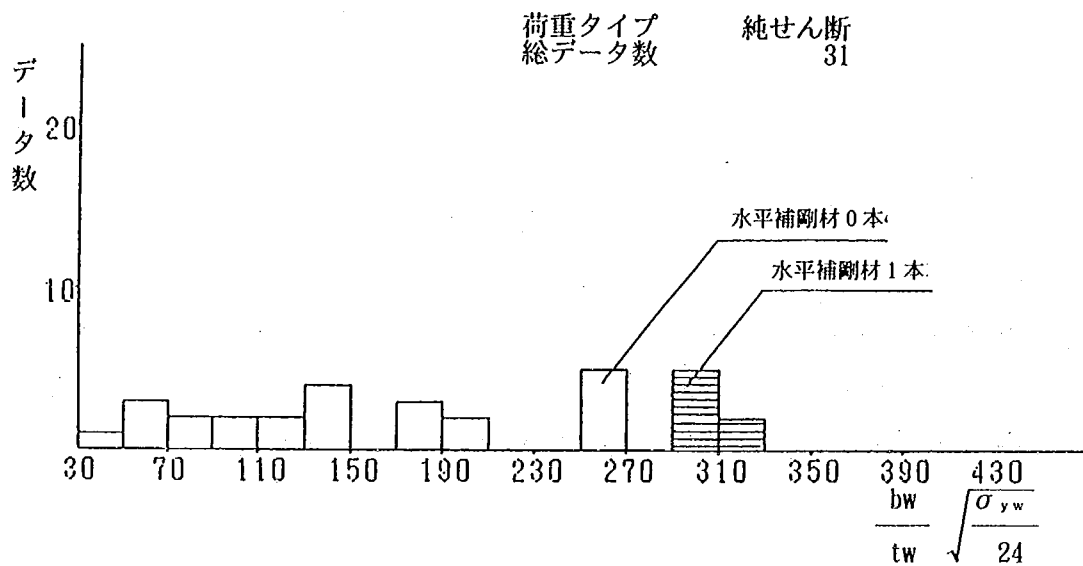
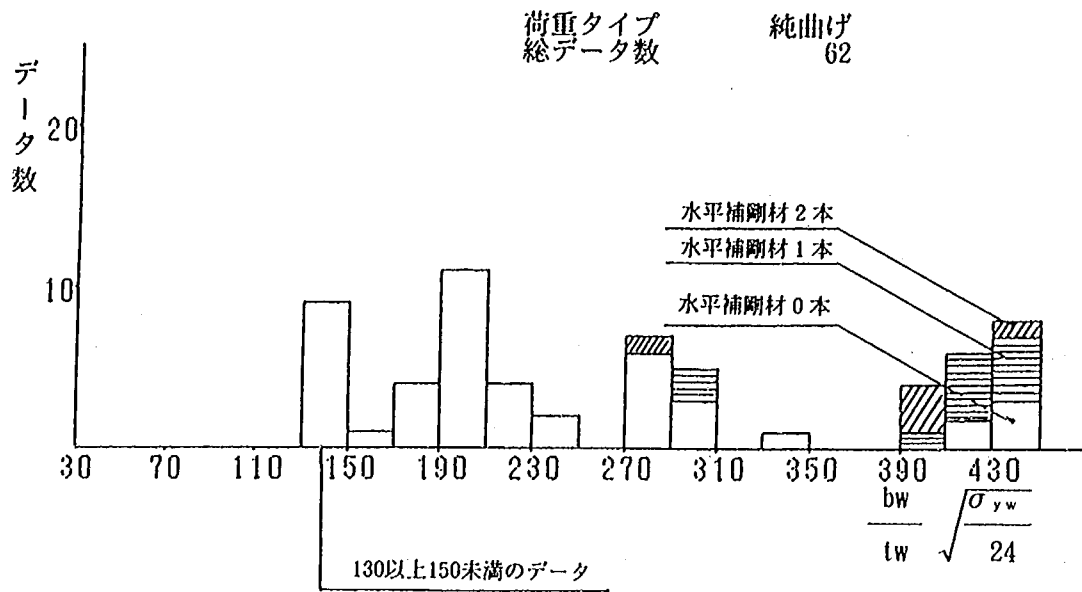


図-2.1 ウェブ幅厚比とデータ数の関係

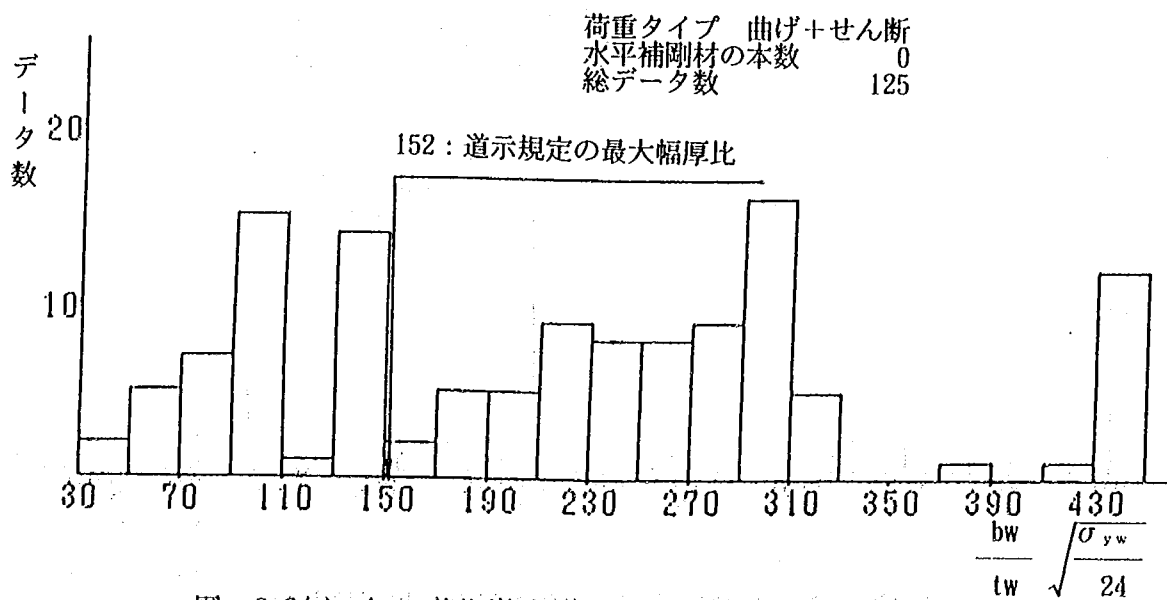
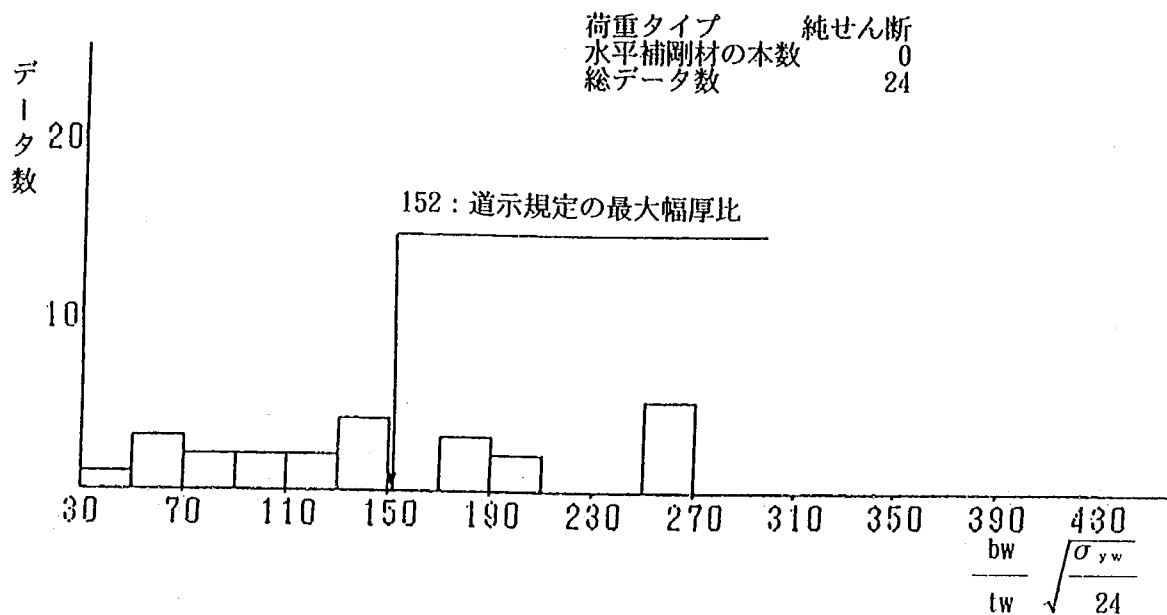
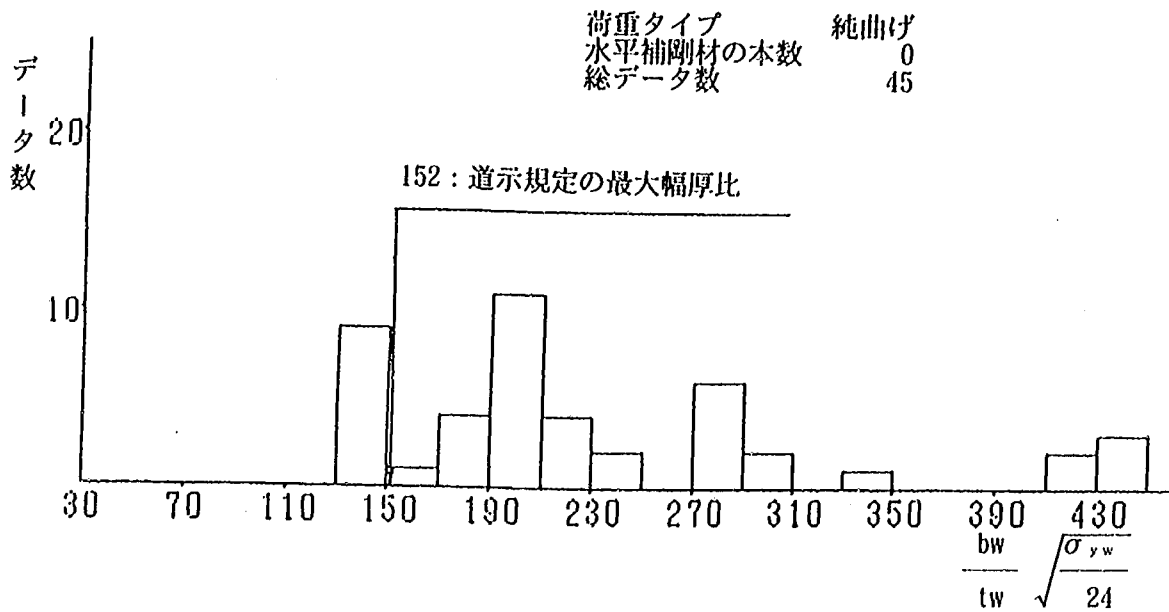


図-2.2(a) ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材 0 本)

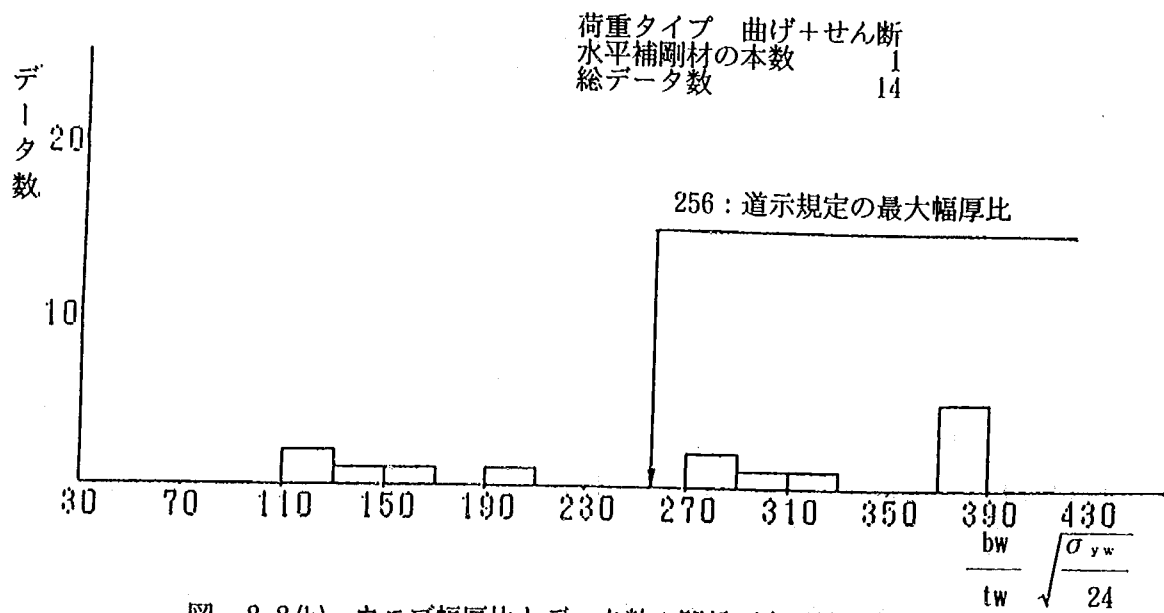
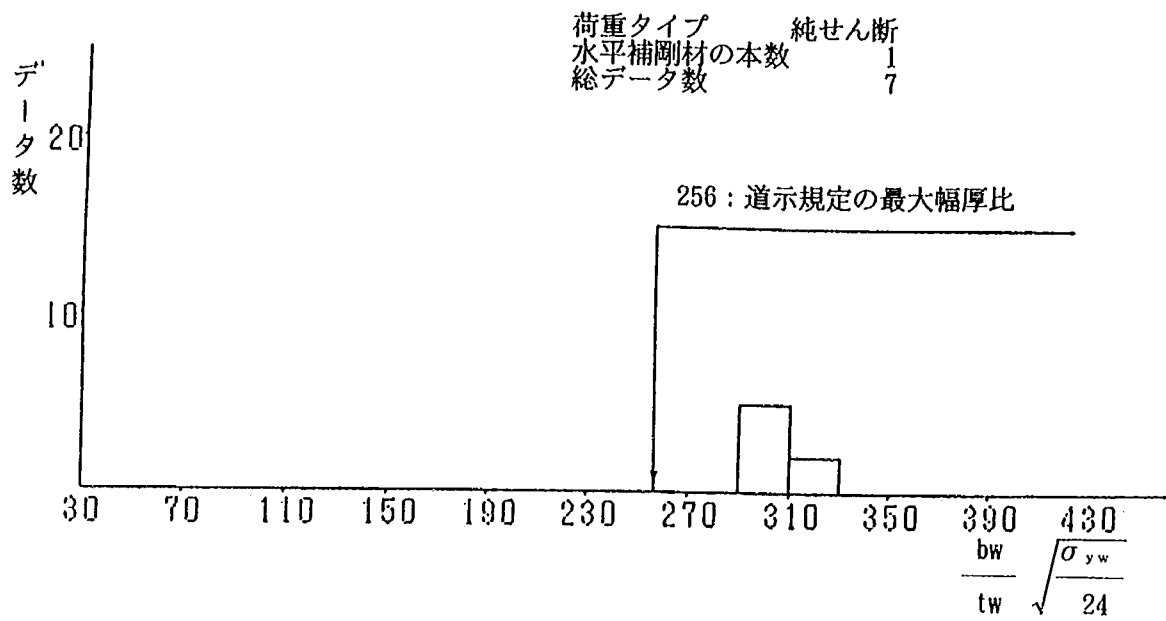
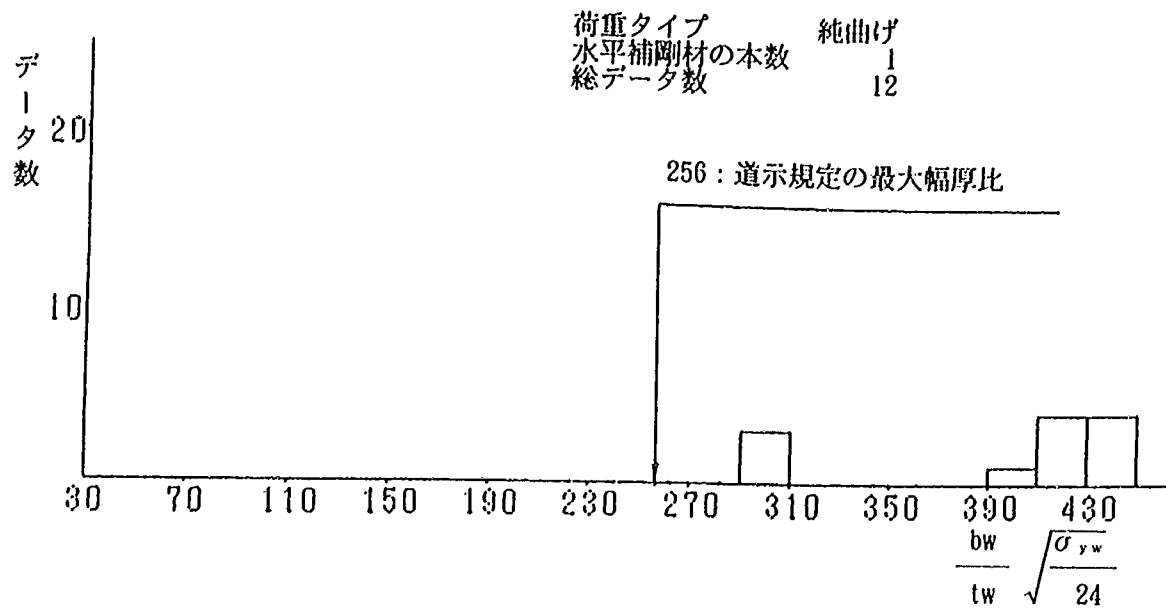


図-2.2(b) ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材 1 本)

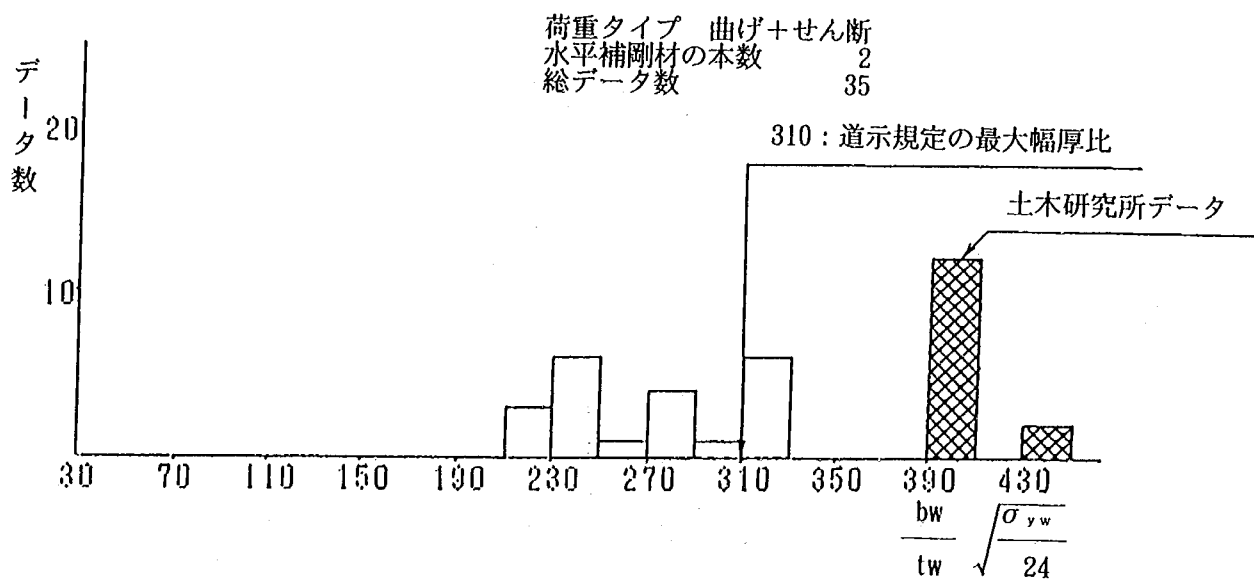
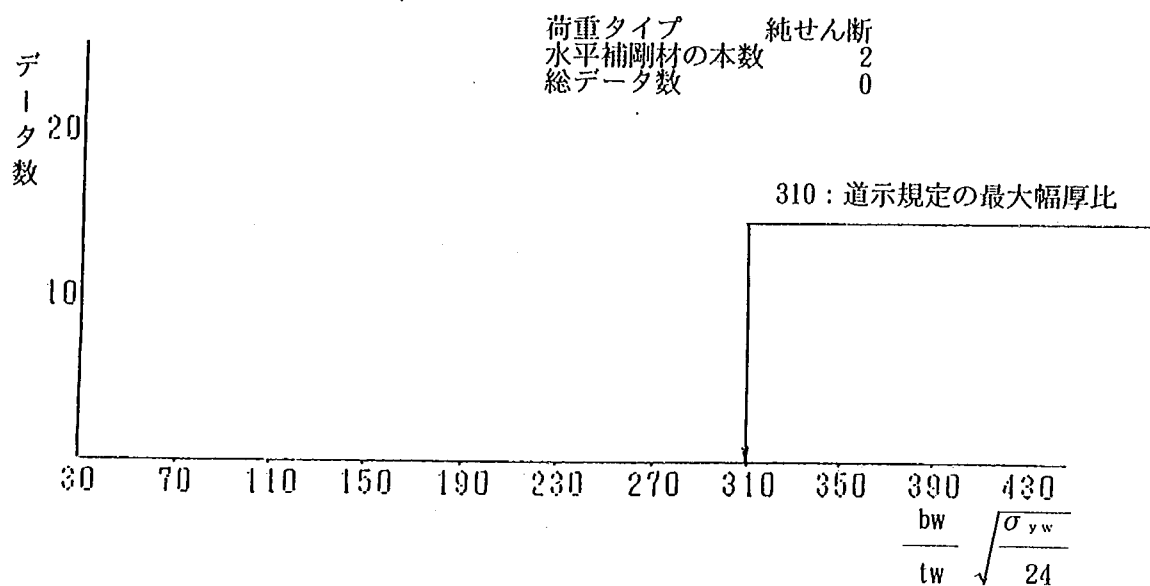
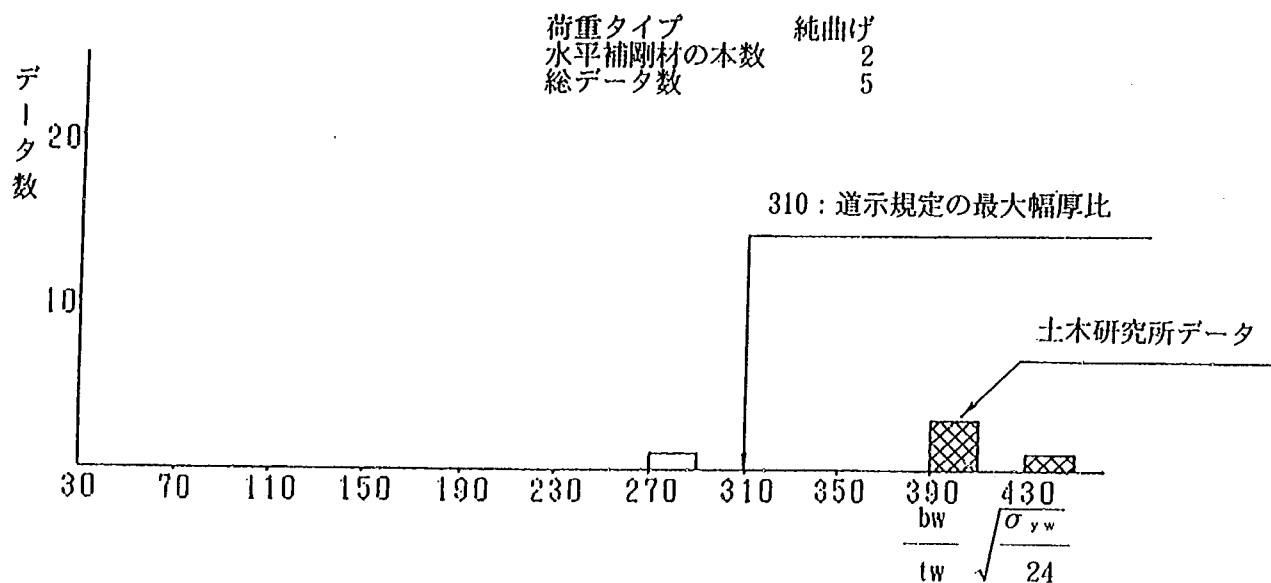


図-2.2(c) ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材2本)

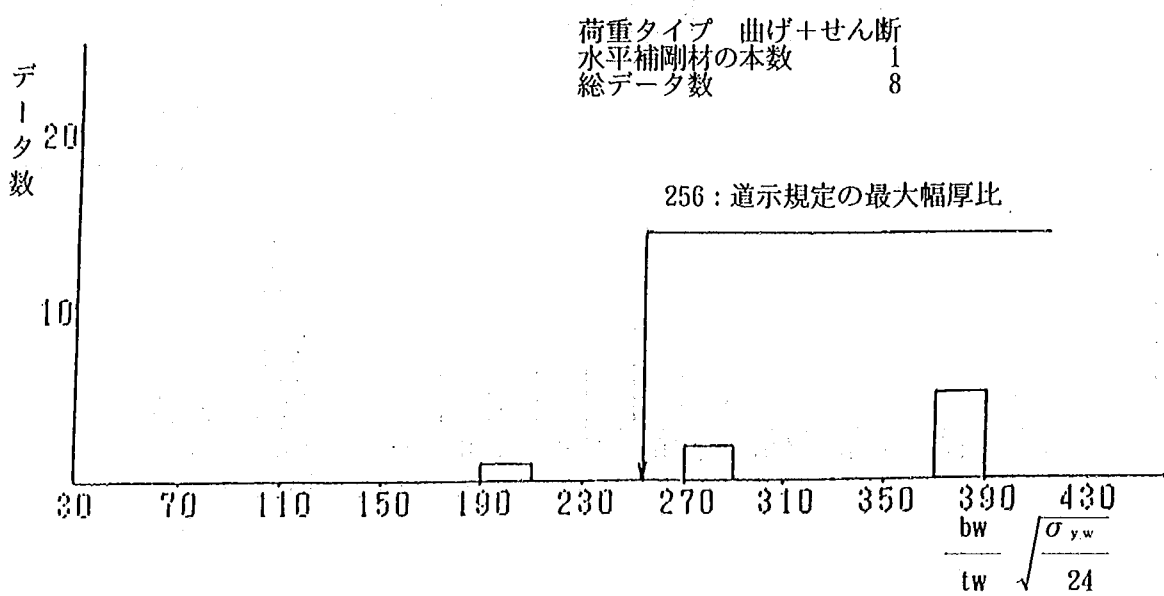
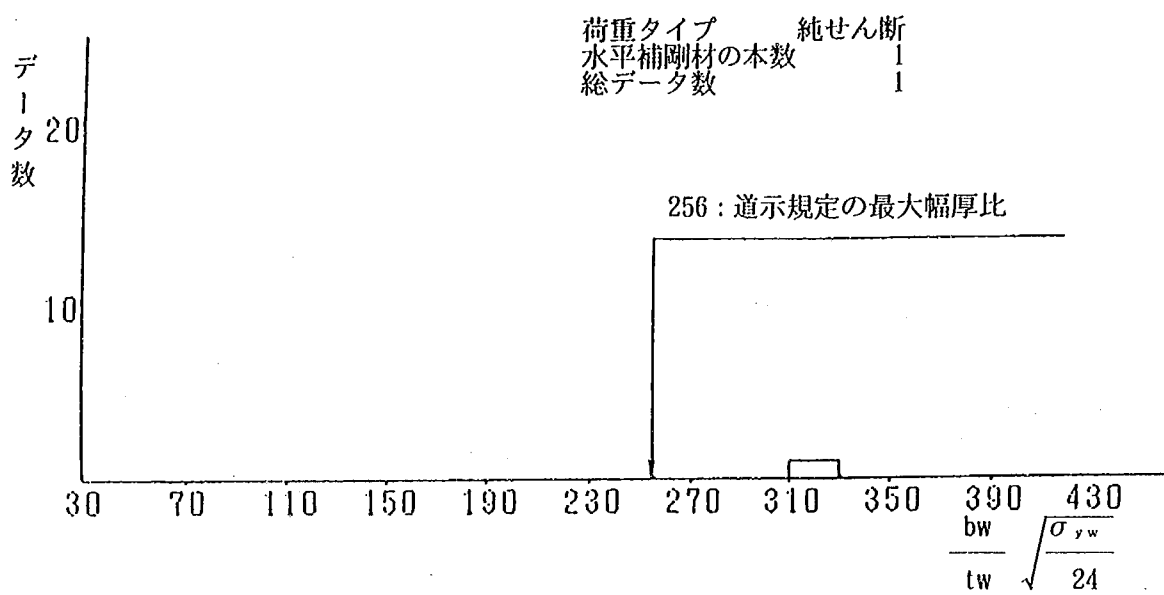
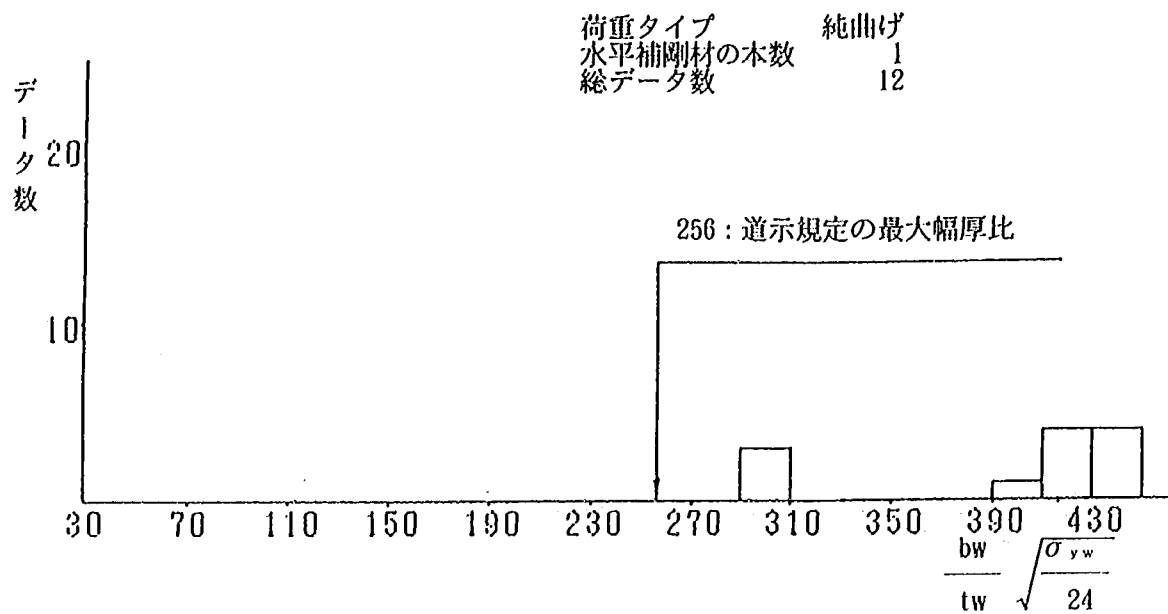


図-2.3 ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材の配置が道示と同じもの)

(3) ウェブ高とデータ数の関係

図-2.4 に水平補剛材の本数によって分類したウェブ高とデータ数の関係を示す。

以下に、水平補剛材の本数と対象となったウェブ高の範囲および平均値を示す。

- ①水平補剛材 2 本の場合：bw=500～2200mm 平均 880mm
- ②水平補剛材 1 本の場合：bw=600～2200mm 平均1080mm
- ③水平補剛材 0 本の場合：bw= 50～1900mm 平均 770mm

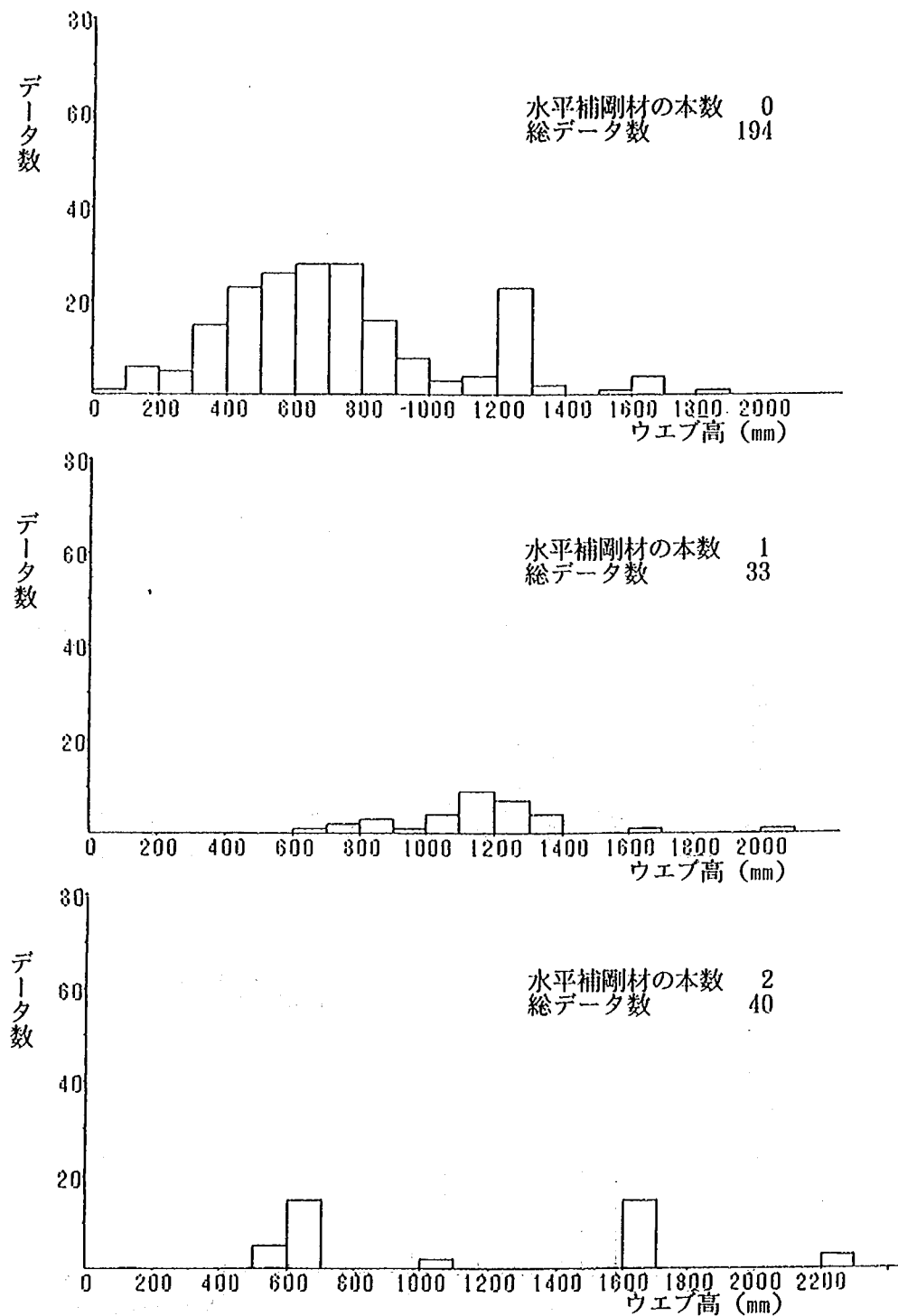


図-2.4 ウェブ高とデータ数の関係

(4) ウェブ厚とデータ数の関係

図-2.5 に水平補剛材の本数によって分類したウェブ厚とデータ数の関係を示す。

以下に、水平補剛材の本数と対象となったウェブ厚の範囲および平均値を示す。

①水平補剛材 2 本の場合： $tw=2.0 \sim 5.0\text{mm}$ 平均 2.9mm

②水平補剛材 1 本の場合： $tw=2.0 \sim 9.5\text{mm}$ 平均 4.3mm

③水平補剛材 0 本の場合： $tw=0.5 \sim 10.0\text{mm}$ 平均 4.6mm

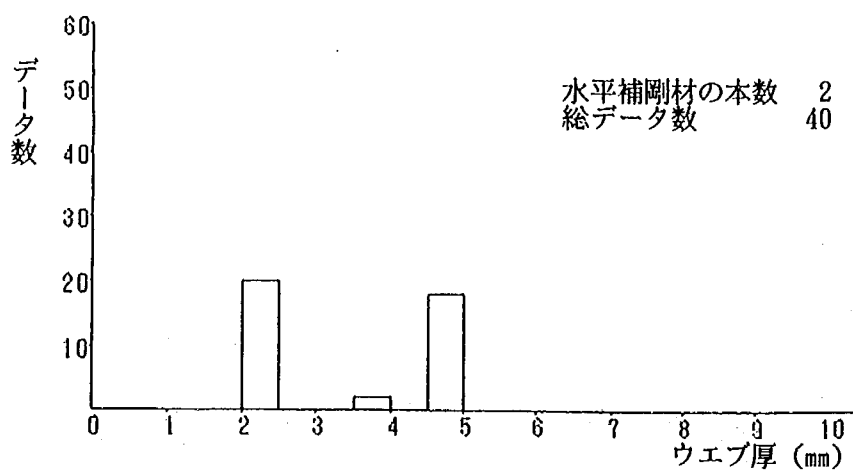
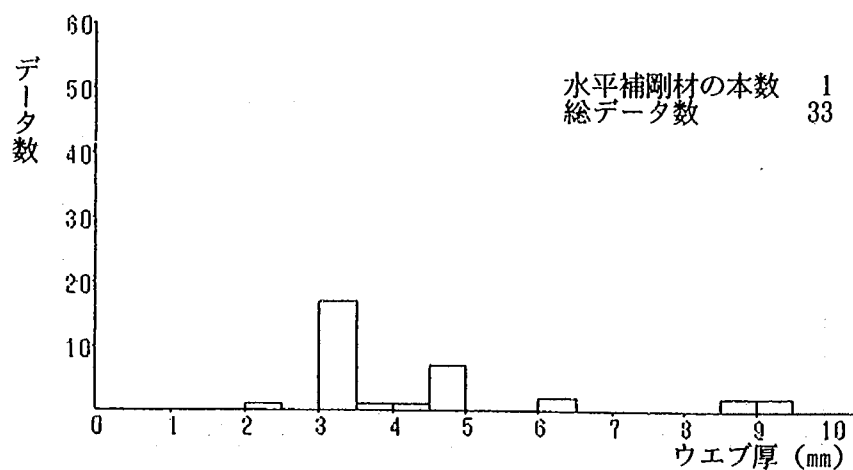
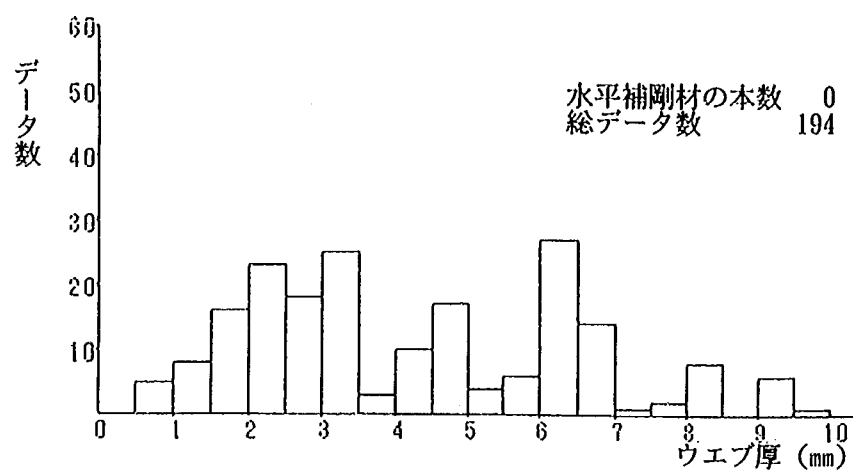


図-2.5 ウェブ厚とデータ数の関係

(5) ウェブ高とウェブ厚の関係

図-2.6 に水平補剛材の本数によって分類したウェブ高とウェブ厚の関係を示す。水平補剛材が0本の供試体の場合、ウェブ高が2000mm以下及びウェブ厚が10mm以下の範囲内でウェブ高とウェブ厚の組合せは多種多様である。水平補剛材を1本有する供試体の場合、データ数は少ないが、ウェブ高とウェブ厚の組合せは上記と同様に多種多様である。水平補剛材を2本有する供試体の場合、ウェブ厚は5mm以下と薄く、ウェブ高としては2200mmまで適用していることから、かなり幅厚比の大きい範囲まで着目していると考えられる。

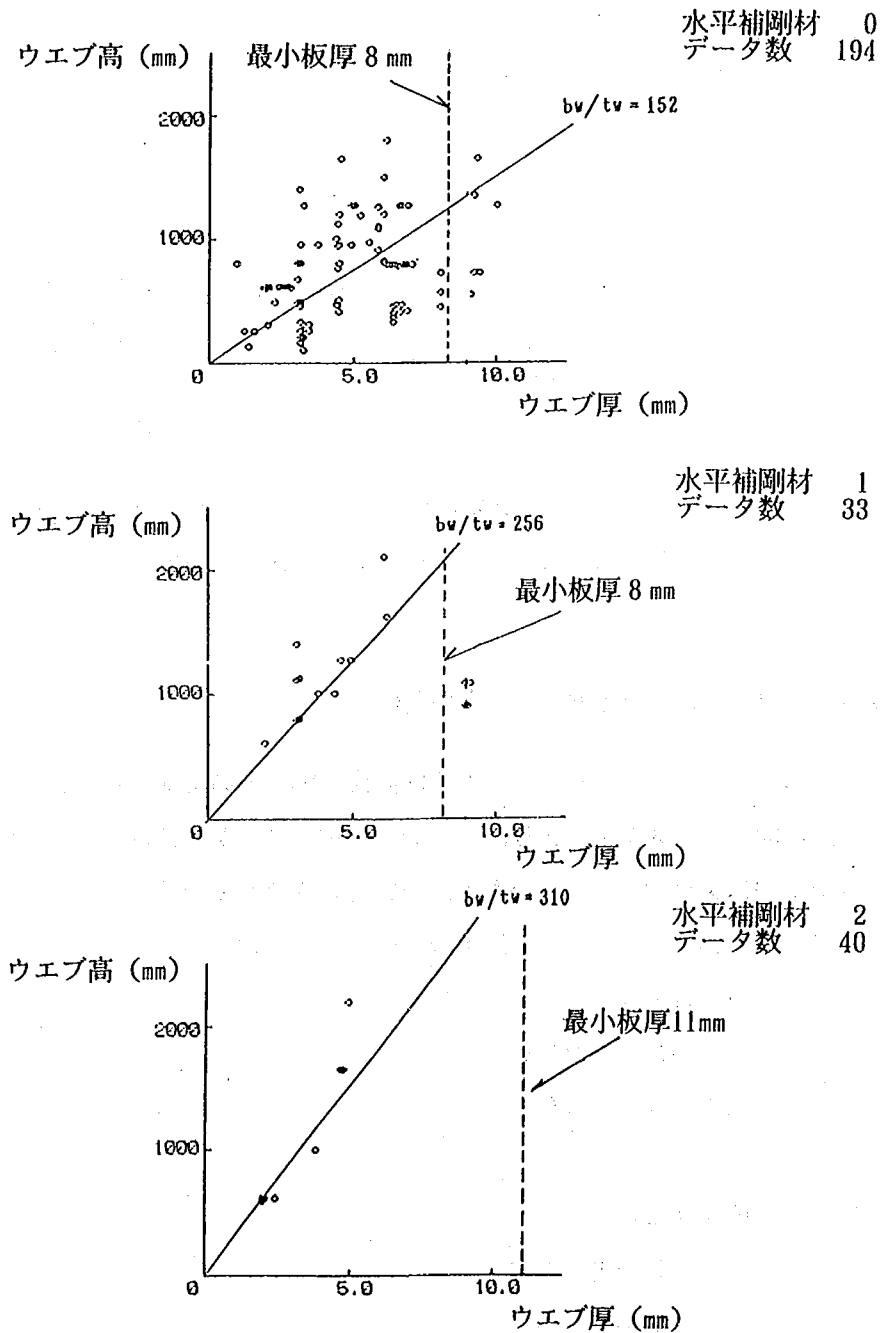


図-2.6 ウェブ高とウェブ厚の関係

2.3 座屈パラメータと耐荷力の関係

本節では各実験データの耐荷力が何れの座屈の影響を受けているかについて調べるために、以下に示す4つの座屈パラメータを用いて整理した。

① フランジねじれ座屈パラメータ λ_{TB}

曲げ耐荷力の実験値に対するフランジのねじれ座屈の影響を調べるために用いたパラメータである。圧縮フランジ（幅bf，厚さtf）を幅bf/2，厚さtfの自由突出板と考えると終局圧縮強度を計算すれば，圧縮フランジのねじれ座屈強度 σ_{crf} は文献44)により算定される。ここで $\lambda_{TB} (= \sqrt{\sigma_{yf}/\sigma_{crf}})$ は圧縮フランジのねじれ座屈強度 σ_{crf} に対する降伏強度 σ_{yf} の比である。

② フランジ水平座屈（横倒れ座屈）パラメータ λ_{LB}

曲げ耐荷力の実験値に対するフランジの水平座屈の影響を調べるために用いたパラメータである。圧縮フランジを柱と考えると，圧縮フランジの水平座屈強度 σ_{crl} は文献44)により算定される。ここで $\lambda_{LB} (= \sqrt{\sigma_{yf}/\sigma_{crl}})$ は圧縮フランジの水平座屈強度 σ_{crl} に対する降伏強度 σ_{yf} の比である。

③ ウェブ曲げ座屈パラメータ λ_o

曲げ耐荷力の実験値に対するウェブ曲げ座屈の影響を調べるために用いたパラメータである。ここで $\lambda_o (= \sqrt{\sigma_{ywi}/\sigma_{crlwi}})$ は周辺単純支持された単一パネルの弾性曲げ座屈強度 σ_{crlwi} に対する降伏強度 σ_{ywi} の比である。

④ ウェブせん断座屈パラメータ λ_r

せん断耐荷力の実験値に対するウェブせん断座屈の影響を調べるために用いたパラメータである。ここで $\lambda_r (= \sqrt{\tau_{yw}/\tau_{crlwi}})$ は周辺単純支持された単一パネルの弾性せん断座屈強度 τ_{crlwi} に対する降伏強度 τ_{yw} の比である。

(1) フランジねじれ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

図-2.7にフランジねじれ座屈パラメータ λ_{TB} と曲げ耐荷力 M_u/M_y の関係を示す。ここで， M_u は終局曲げモーメント， M_y は降伏曲げモーメントであり，ここでは荷重タイプが純曲げのデータのみについて整理しているが， σ_{yf} 等が不明により計算できないものについては省略している。

なお，フランジのねじれ座屈パラメータは，以下の式によって算出した。

$$\lambda_{TB} = \sqrt{\sigma_{yf}/\sigma_{crf}} \quad (2.1)$$

$$\sigma_{crf} = k c \frac{\pi^2 E}{12 (1 - \nu^2)} \left(\frac{2tf}{bf} \right)^2 \quad (2.2)$$

ここに，

σ_{yf} : フランジの降伏点

E : 弾性係数 ($= 2.1 \times 10^6 \text{ kg/cm}^2$)

ν : ポアソン比 ($= 0.3$)

bf : フランジの幅

tf : フランジの厚さ

k_c : 座屈係数

$$k_c = \frac{bf}{2L} + \frac{b(1-\nu)}{\pi^2} \quad (2.3)$$

L (フランジの固定間距離) $\rightarrow \infty$ と考えると $k_c = 0.425$

ゆえに,

$$\lambda_{TB} = 0.807 \frac{bf}{tf} \sqrt{\frac{\sigma_{yf}}{E}} \quad (2.4)$$

文献42)では, フランジねじれ座屈の生じない範囲について $\lambda_{TB} \leq 0.72$ と記述されている。図-2.7に示すとおりフランジねじれ座屈パラメータは全て1以下である。また λ_{TB} に対して曲げ耐荷力 M_u/M_y が極端に低いデータは見られない。

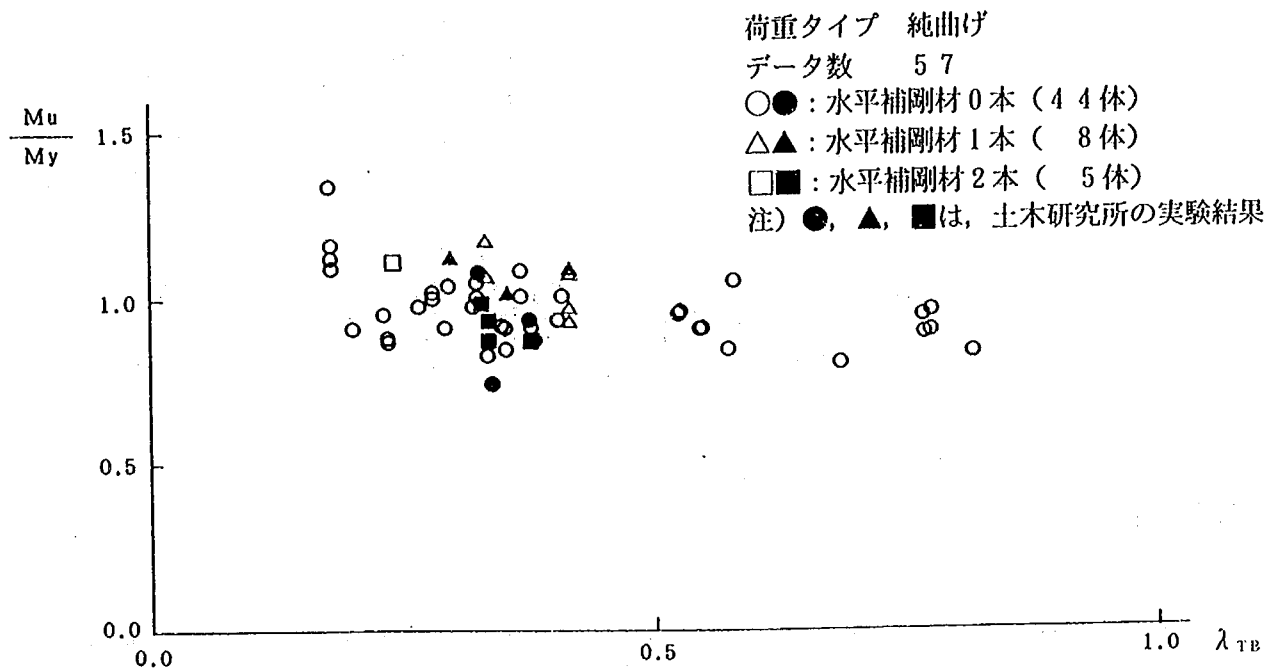


図-2.7 フランジねじれ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

(2) フランジ水平座屈 (横座屈) パラメータと曲げ耐荷力の関係

図-2.8にフランジ水平座屈パラメータ λ_{LB} と曲げ耐荷力 M_u/M_y の関係を示す。ここでも荷重タイプが純曲げのもののみについて整理しているが, σ_{yf} 等が不明により計算できないものについては省略している。

なお, フランジ水平座屈パラメータは, 以下の式によって算出した。

$$\lambda_{LB} = \sqrt{\sigma_{yf}/\sigma_{crit}} \quad (2.5)$$

$$\sigma_{crit} = \frac{\pi^2 E}{12} \left(\frac{bf}{L} \right)^2 \quad (2.6)$$

ここに,

σ_{yf} : フランジの降伏点

E : 弾性係数 ($=2.1 \times 10^6 \text{ kg/cm}^2$)

L : 圧縮フランジの水平座屈に関する固定間距離

bf : 圧縮フランジの幅

$$\text{ゆえに, } \lambda_{LB} = 1.216 \frac{L}{bf} \sqrt{\frac{\sigma_{yi}}{E}} \quad (2.7)$$

図-2.8に示すとおりフランジ水平座屈パラメータは全て1以下である。フランジねじれ座屈パラメータで整理した場合と同様に曲げ耐荷力 M_u/M_y が極端に低いデータは見られない。ここに示すデータはフランジねじれ座屈パラメータおよびフランジ水平座屈パラメータとも1以下のデータであることから、ウェブの曲げ座屈の影響を受けているものと考えられる。

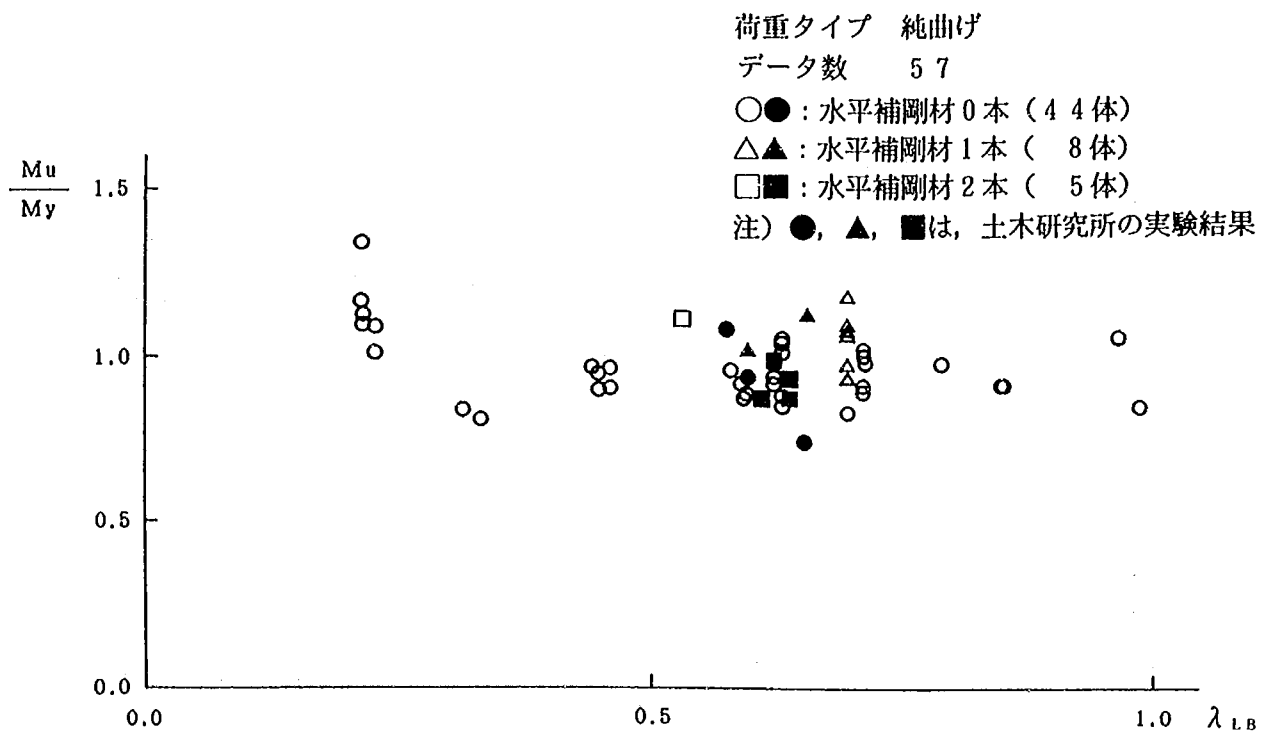


図-2.8 フランジ水平座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

(3) ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

図-2.9(a)~(c)に水平補剛材の本数別にウェブ曲げ座屈パラメータ λ_w と曲げ耐荷力 M_u/M_y の関係を示す。また参考までに表-2.7に図中のデータの供試体名および座屈パラメータ, M_u/M_y の値を示す。

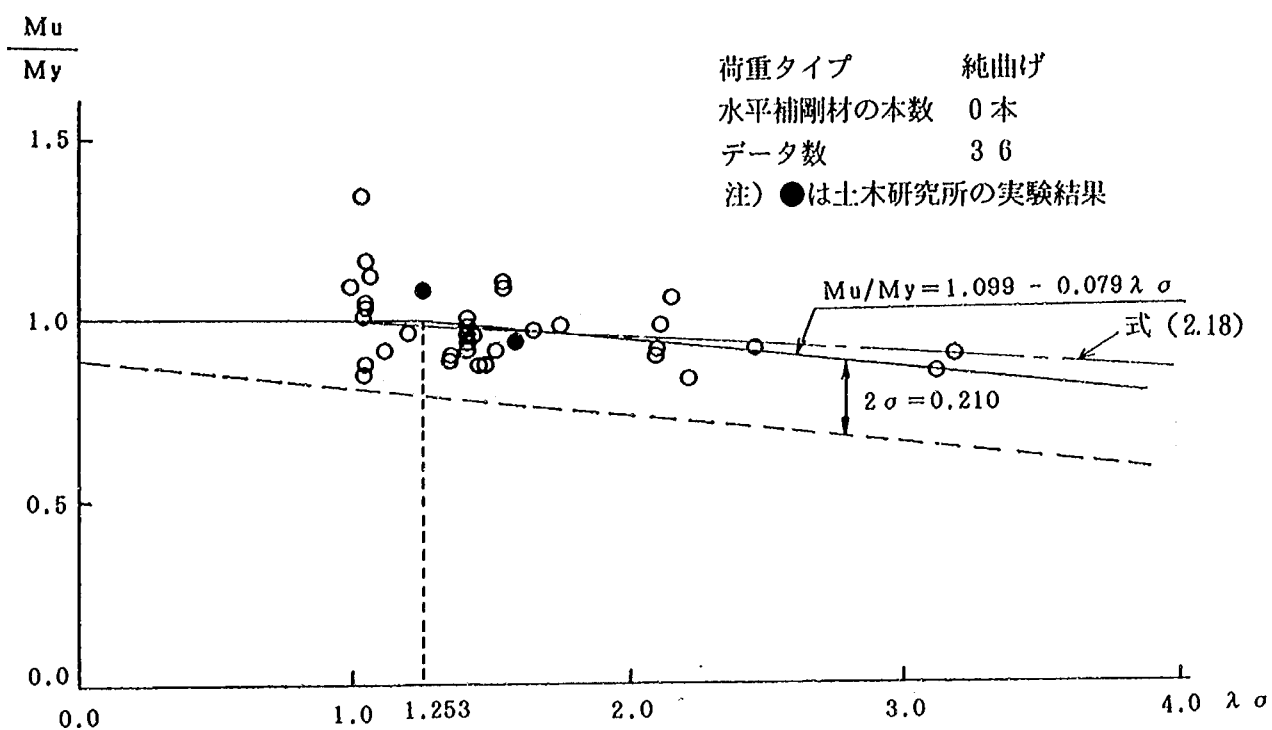


図-2.9(a) ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係 (水平補剛材 0 本)

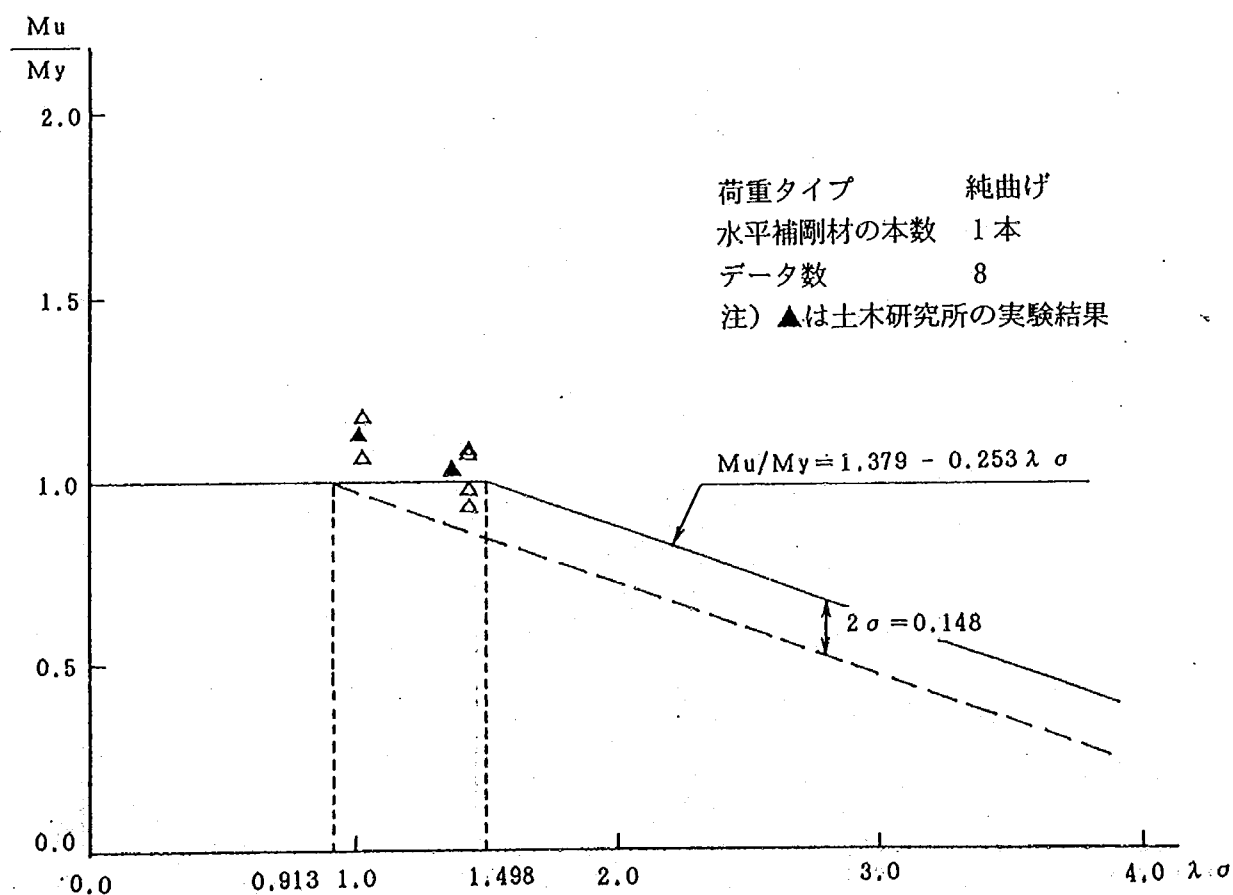


図-2.9(b) ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係 (水平補剛材 1 本)

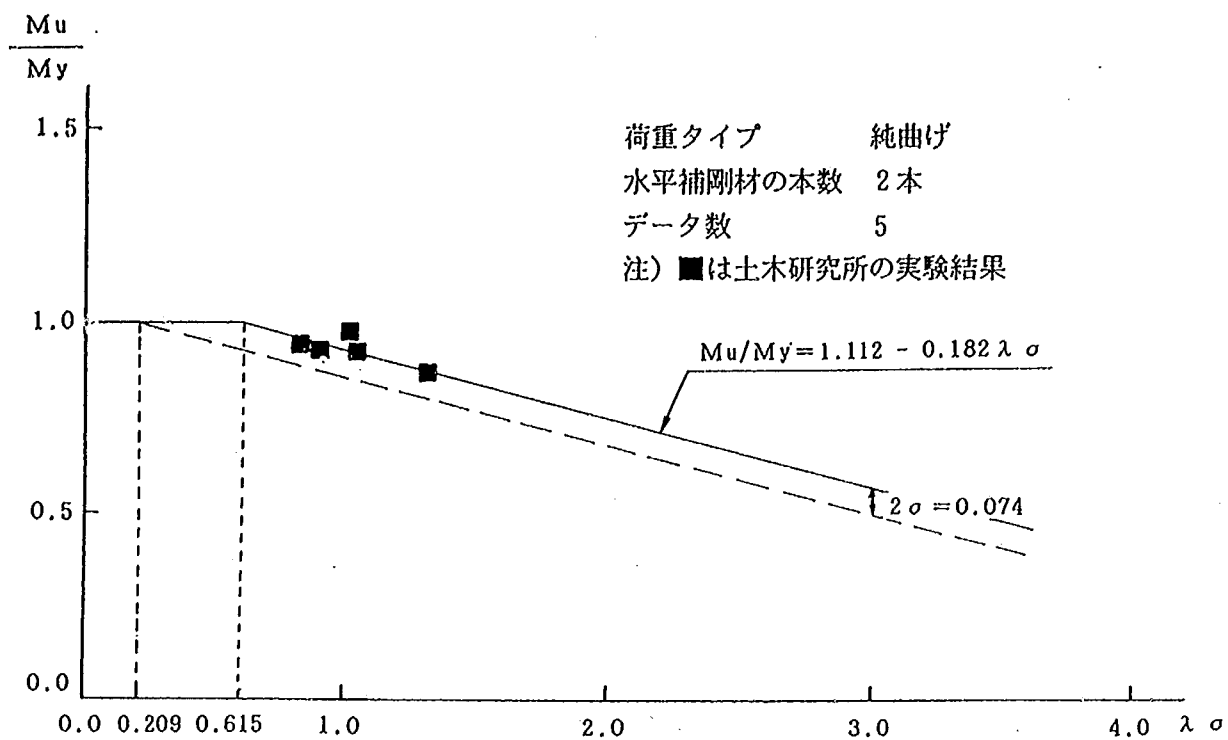


図-2.9(c) ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係 (水平補剛材2本)

表-2.7 フランジねじれ座屈, フランジ水平座屈, 及び

ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

供試体名	水平補剛材 本数	λ_{TB}	λ_{LB}	λ_{σ}	M_u/M_y	備考
AQBX1	0	0.238	0.592	1.485	0.874	
AQBX2	0	0.237	0.594	1.459	0.876	
AQBY1	0	0.236	0.596	1.359	0.883	
AQBY2	0	0.233	0.579	1.444	0.955	
GBX1	0	0.179	0.217	0.991	1.094	
GBX2	0	0.180	0.215	1.048	1.163	
GBY1	0	0.179	0.216	1.063	1.124	
GBY2	0	0.178	0.215	1.029	1.342	
GBY117	0	0.368	0.228	1.547	1.089	
GBY217	0	0.368	0.228	1.550	1.012	
M.AC2	0	0.581	0.966	2.145	1.056	
M.AC1	0	0.549	0.846	1.527	0.917	
M.AA1	0	0.551	0.849	2.448	0.916	
M.AA2	0	0.576	0.989	3.110	0.850	
B.150.1	0	0.297	0.630	1.045	1.041	
B.150.2	0	0.325	0.630	1.047	1.049	
B.150.3	0	0.354	0.630	1.042	0.852	
B.150.4	0	0.383	0.630	1.045	0.881	
B.150.5	0	0.411	0.630	1.042	1.012	
B.209.1	0	0.293	0.622	1.423	0.913	
B.209.2	0	0.321	0.622	1.420	0.979	
B.209.3	0	0.349	0.622	1.423	0.921	
B.209.4	0	0.378	0.622	1.117	0.914	
B.209.5	0	0.406	0.622	1.420	0.938	
B1	0	0.528	0.444	1.656	0.970	土木研究所
B2	0	0.527	0.443	1.206	0.960	土木研究所
G2.T1	0	0.780	0.461	1.369	0.902	
G2.T2*	0	0.780	0.461	1.369	0.962	
G4.T1	0	0.772	0.449	3.175	0.895	
G4.T2*	0	0.772	0.449	3.175	0.948	
A	0	0.201	0.589	2.095	0.915	
C	0	0.269	0.787	2.100	0.980	
A.	0	0.820	0.315	2.100	0.838	
B.	0	0.688	0.333	2.100	0.807	
B.25.0	0	0.335	0.695	2.207	0.831	
B-17-A*	0	0.283	0.710	1.424	1.023	
B-17-B	0	0.283	0.710	1.424	1.003	
B-21-A*	0	0.325	0.710	1.756	1.002	
B-21-B	0	0.324	0.712	1.756	0.980	
B-25-A*	0	0.354	0.710	2.089	0.915	
B-25-B	0	0.354	0.710	2.091	0.899	
B-1	0	0.376	0.595	1.594	0.936	
B-2	0	0.328	0.575	1.262	1.082	
B-01*	0	0.339	0.650	3.049	0.744	
B.25.1	1	0.335	0.695	1.024	1.061	
B.25.5	1	0.335	0.695	1.024	1.173	
B.35.1	1	0.419	0.695	1.435	0.973	
B.35.1A	1	0.419	0.695	1.435	1.085	
B.35.1E	1	0.419	0.695	1.437	0.931	
B.35.5	1	0.419	0.695	1.437	1.076	
B-12	1	0.356	0.595	1.377	1.024	土木研究所
B-11	1	0.300	0.652	1.006	1.129	土木研究所
PC**	2	0.242	0.532	0.956	1.108	
B-21**	2	0.337	0.638	1.036	0.874	土木研究所
B-22	2	0.337	0.638	1.036	0.930	土木研究所
B-23	2	0.329	0.621	1.011	0.986	土木研究所
B-24	2	0.378	0.610	1.316	0.875	土木研究所
B-25***	2	0.625	0.327	0.836	0.945	土木研究所
B-26***	2	0.625	0.327	0.908	0.933	土木研究所

注1) λ_{TB} : フランジねじれ座屈パラメータ。2) λ_{LB} : フランジ水平座屈(横座屈)パラメータ。3) λ_{σ} : ウェブ曲げ座屈パラメータ。

4) 土木研究所で用いた供試体は備考欄に明記している。

5) *印の供試体は、ウェブが垂直補剛材で補剛されているため、図-2.9(a)では使用していない。

6) **印の供試体は、水平補剛材の剛度が道示の水平補剛材の必要剛度未満のため、図-2.9(c)では使用していない。

7) ***印の供試体は、データベースには未登録であるが、図-2.9(c)にのみ参考値として用いた。

ここでは、テストパネル部が水平もしくは垂直補剛材で補剛されていない無補剛板（テストパネル部両端の垂直補剛材は除く）で、かつ荷重タイプが純曲げのものについて整理したが、 σ_{yw} 等が不明により計算できないものについては省略している。なお、ウェブ曲げ座屈パラメータ λ_o は、以下の式によって計算した。

$$\lambda_{oi} = \frac{bi}{tw} \sqrt{\frac{\sigma_{ywi} \cdot 12(1-\nu^2)}{\pi^2 E \cdot k_{oi}}} \quad (2.8)$$

ここに、

i : パネルの番号

σ_{ywi} : ウェブの上端が下降伏点に達したときのパネル i の上縁の応力

bi : パネル i の高さ

tw : ウェブの厚さ

E : 弾性係数 ($=2.1 \times 10^6 \text{ kg/cm}^2$)

ν : ポアソン比 ($=0.3$)

k_{oi} : パネル i の座屈係数

$$\begin{cases} 23.9 \left(\frac{1 - \phi_i}{2} \right)^2 & (-7 \leq \phi_i \leq -1) \quad (2.9.1) \end{cases}$$

$$\begin{cases} 10\phi_i^2 - 6.264\phi_i + 7.636 & (-1 < \phi_i < 0) \quad (2.9.2) \end{cases}$$

$$\begin{cases} \frac{8.4}{1.1 + \phi_i} & (0 \leq \phi_i \leq 1) \quad (2.9.3) \end{cases}$$

ϕ_i : パネル i の下縁と上縁の応力比

$$\lambda_o = \max(\lambda_{oi}) \quad (2.10)$$

ここでは、 $k_{oi} = 23.9$ ($\phi_i = -1$) より

$$\lambda_o = 0.215 \frac{bi}{tw} \sqrt{\frac{\sigma_{yw}}{E}} \quad (2.11)$$

図-2.9(a)中の実線は次式(2.12.1), (2.12.2)に示すように、それぞれ全データのうち計算可能なデータ(計算に必要な諸元等の整っているデータ)に対して最小2乗法により求めた回帰式である。破線はこの式に対して 2σ (σ :標準偏差)の範囲を示している。

$$Mu/My = 1.0 \quad (\lambda_o < 1.253) \quad (2.12.1)$$

$$Mu/My = 1.099 - 0.079\lambda_o \quad (\lambda_o \geq 1.253) \quad (2.12.2)$$

図中の $\lambda_o = 1.253$ の点は、 $Mu/My = 1$ と回帰式の交点の値である。図中には参考として東海鋼構造研究グループによる実験式⁴⁵⁾を一点鎖線で示している。東海鋼構造研究グループによる実験式は、文献⁴³⁾のデータベースに記載されている水平補剛材なしの供試体を対象に行った曲げ耐荷力実験データの中から、幾何学的特性が実用断面を代表していると考えられるデータ15個を選定し最小2乗法により求めた回帰式である。選定した15個のデータの中にウェブが垂直補剛材で補剛されたデータも含まれているため、(2.12.2)式と若干異なっている。

水平補剛材が0本の場合、ウェブ曲げ座屈パラメータ λ_0 が大きくなっても曲げ耐荷力はほとんど低減していない。また、ウェブの降伏強度をSS41材相当($\sigma_{yw}=2400\text{kg/cm}^2$)、テストパネル上下縁の応力比を $\phi=-1$ とすると、 $\lambda_0=1.253$ に相当する幅厚比 b_w/t_w は172となり、(2.11)式より道示値152よりも大きくなっている。

図-2.9(b)(c)中の実線も、最小2乗法により求めた回帰式であり、破線は、回帰式に対して 2σ (σ :標準偏差)の範囲を示している。

水平補剛材が1, 2本については、補剛材の剛度が影響してくるので、ウェブ曲げ座屈パラメータ λ_0 のみで議論出来ないが、曲げ座屈パラメータ $\max(\lambda_0)$ が1.0付近の実験が行われている。

(4) ウェブせん断座屈パラメータとせん断耐荷力の関係

図-2.10にウェブせん断座屈パラメータ λ_τ とせん断耐荷力 V_u/V_y の関係を示す。また参考までに表-2.8に図中のデータの供試体名およびプロットした値を示す。

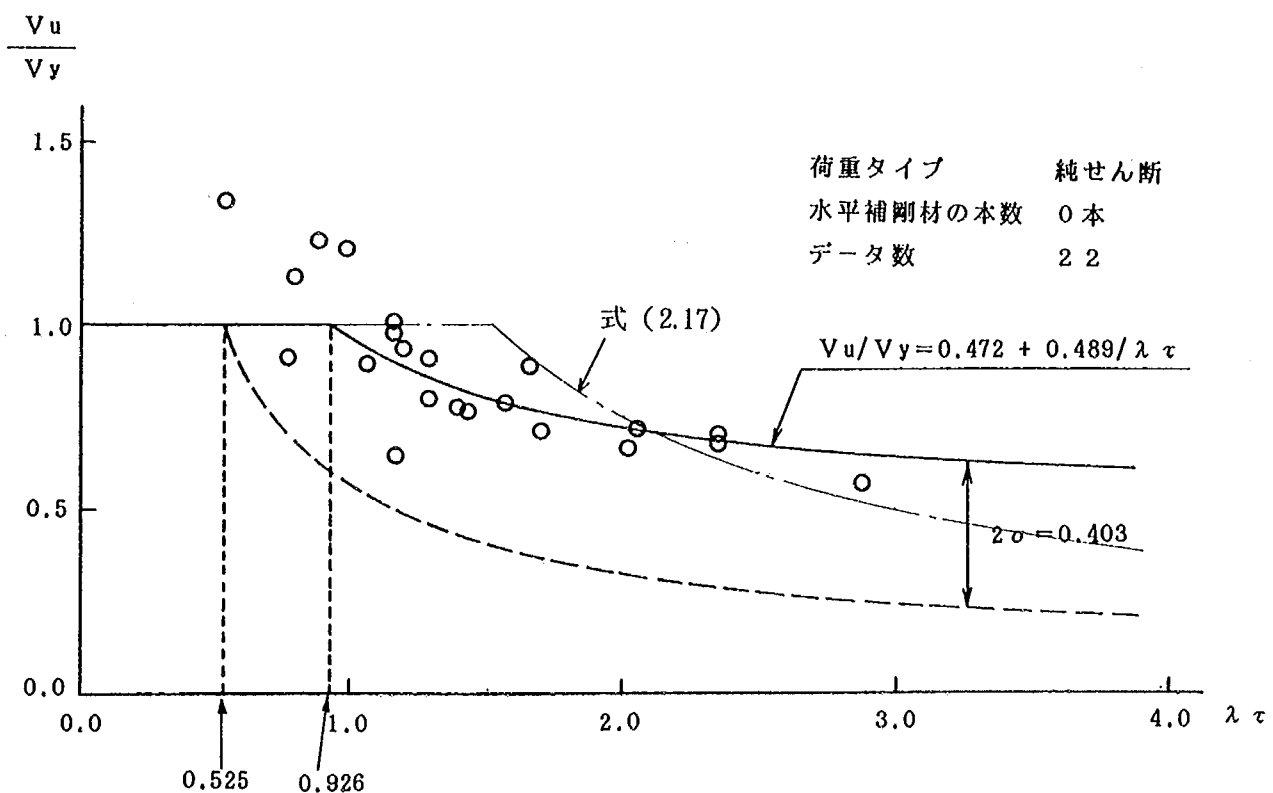


図-2.10 ウェブせん断座屈パラメータとせん断耐荷力の関係

表-2.8 ウェブせん断座屈パラメータとせん断耐荷力の関係

供試体名	G6. T1	G7. T1	G7. T2	AQSX1	AQSY1	GSX1	GSX2	GSY1
$\alpha (= a/bw)$	1.500	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	4.000
$\lambda \tau$	2.876	2.338	2.338	1.566	1.653	1.284	1.196	1.160
V_u/V_y	0.567	0.673	0.697	0.783	0.886	0.903	0.931	1.001
供試体名	BSY1	F10-P1	F10-P5	S-1	S-2	S-3	A-1	A-2
$\alpha (= a/bw)$	1.000	1.500	1.200	3.630	1.820	1.220	1.990	2.400
$\lambda \tau$	1.160	2.045	2.015	0.768	1.390	1.694	1.430	1.288
V_u/V_y	0.975	0.712	0.662	0.910	0.775	0.710	0.762	0.799
供試体名	A-3	A-4	A-5	A-1'	A-2'	A-3'		
$\alpha (= a/bw)$	3.000	4.030	6.030	2.000	2.410	3.020		
$\lambda \tau$	1.066	0.789	0.527	1.172	0.987	0.880		
V_u/V_y	0.893	1.128	1.332	0.645	1.206	1.227		

ここで、 V_u は終局せん断力、 V_y は降伏せん断力であり、テストパネル部が水平もしくは垂直補剛材で補剛されていない無補剛板（テストパネル部両端の垂直補剛材は除く）で、荷重タイプが純せん断のデータのみについて整理しているが、 τ_{yw} 等が不明で計算できないものについては省略している。

なお、ウェブせん断座屈パラメータ λ_r は以下の式によって算出した。

$$\lambda_r = \frac{b_i}{t_w} \sqrt{\frac{\tau_{yw} \cdot 12(1-\nu^2)}{\pi^2 E \cdot k_{r,i}}} \quad (2.13)$$

ここに、

i : パネルの番号

τ_{yw} : せん断降伏応力 ($= \sigma_{yw}/\sqrt{3}$)

b_i : パネル i の高さ

t_w : ウェブの厚さ

E : 弾性係数 ($= 2.1 \times 10^9 \text{ kg/cm}^2$)

ν : ポアソン比 ($= 0.3$)

$k_{r,i}$: パネル i の座屈係数

$$\begin{cases} 5.34 + \frac{4.00}{\alpha^2} & (\alpha \geq 1) \\ 4.00 + \frac{5.34}{\alpha^2} & (\alpha < 1) \end{cases} \quad (2.14, 1) \quad (2.14, 2)$$

a : パネル i の幅

α : アスペクト比 ($= a/b_i$)

$$\lambda_r = \max(\lambda_{r1}) \quad (2.15)$$

図中の実線は次式 (2.16.1), (2.16.2) に示すように全データ22に対して最小2乗法により求めた回帰式であり、破線はこの式に対して 2σ (σ : 標準偏差) の範囲を示している。また、図中には参考として東海鋼構造研究グループによる実験式¹⁵⁾を一点鎖線で示している。東海鋼構造研究グループによる実験式は、文献¹³⁾のデータベースに記載されている水平補剛材なしの供試体を対象に行ったせん断耐力実験データの中から、幾何学的特性が実用断面を代表していると考えられるデータ16個を選んで最小2乗法により求めた回帰式である。選んだ16個のデータの中に、フランジにカバープレートが付いているデータ、ウェブが垂直補剛材で補剛されたデータ、およびテストパネル中央で曲げとせん断が作用しているデータも含まれているため、式 (2.16.2) と若干異なっていると考えられる。図中の $\lambda_r = 0.926$ の点は、式 (2.16.1) と式 (2.16.2) の交点である。

$$V_u/V_y = 1.0 \quad (\lambda_r < 0.926) \quad (2.16.1)$$

$$V_u/V_y = 0.472 + 0.489/\lambda_r \quad (\lambda_r \geq 0.926) \quad (2.16.2)$$

実験値に対して最小2乗法で求めたウェブせん断座屈パラメータ λ_r とせん断耐力の回帰式より、 λ_r が大きくなってもせん断耐力は極端に低下しない傾向がみられる。また、ウェブの降伏強度をSS41材相当 ($\tau_{yw} = \sigma_{yw}/\sqrt{3} = 1386 \text{ kg/cm}^2$)、ウェブのアスペクト比 α を一般のプレートガーダーの設計において、適用される場合の多い0.50~0.78の中央値近傍である0.6とすると、 $\lambda_r = 0.926$ に相当するウェブの幅厚比 bw/tw は148となり、道示の規定値152に対して若干小さくなっている。

図-2.11にウェブせん断座屈パラメータとせん断耐力の関係を、腹板の縦横比 α ($=a/bw$) をパラメータとして示す。図中の記号□~▽は、実験値をプロットしたものである。図中の曲線は次式 (2.16.3) に示すとおり、 α をとりこんだ式を仮定し実験値に対して最小2乗法により求めた回帰式である。

$$V_u/V_y = 0.459 - 0.0255\alpha + 0.572/\lambda_r \quad (2.16.3)$$

図-2.11の曲線の傾向をみると、 λ_r が一定の場合 α の変化に対してせん断耐力の変化はわずかであり大きくない ($\lambda_r = 2$, $\alpha = 1 \sim 5$ の変化に対して14%) ことがわかる。

また、次式に $V_u/V_y = 1.0$ における腹板の縦横比 α と幅厚比 bw/tw の関係を示す。

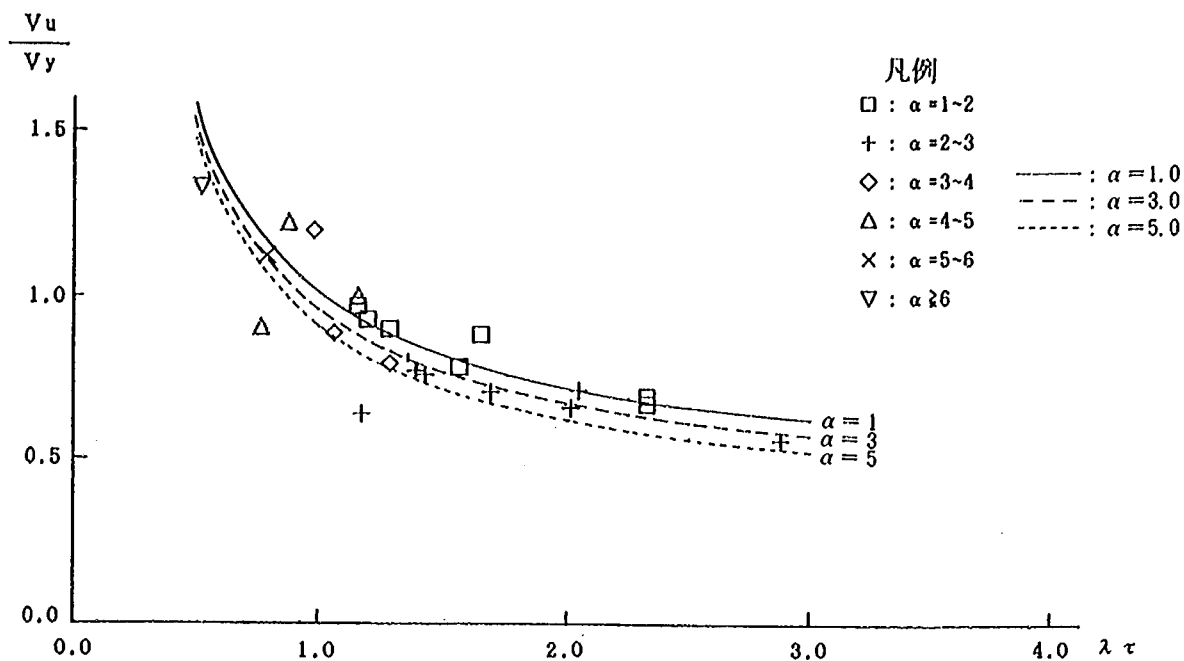
$$788(tw/bw)\sqrt{k_r/\tau_{yw}} - 0.0255\alpha = 0.541 \quad (2.16.4)$$

あるいは、 $\tau_{yw} = 1386 \text{ kg/cm}^2$ (SS41材相当) で整理して、

$$21.167(tw/bw)\sqrt{4.00 + 5.34/\alpha^2} - 0.0255\alpha = 0.541 (\alpha < 1.0) \quad (2.16.5)$$

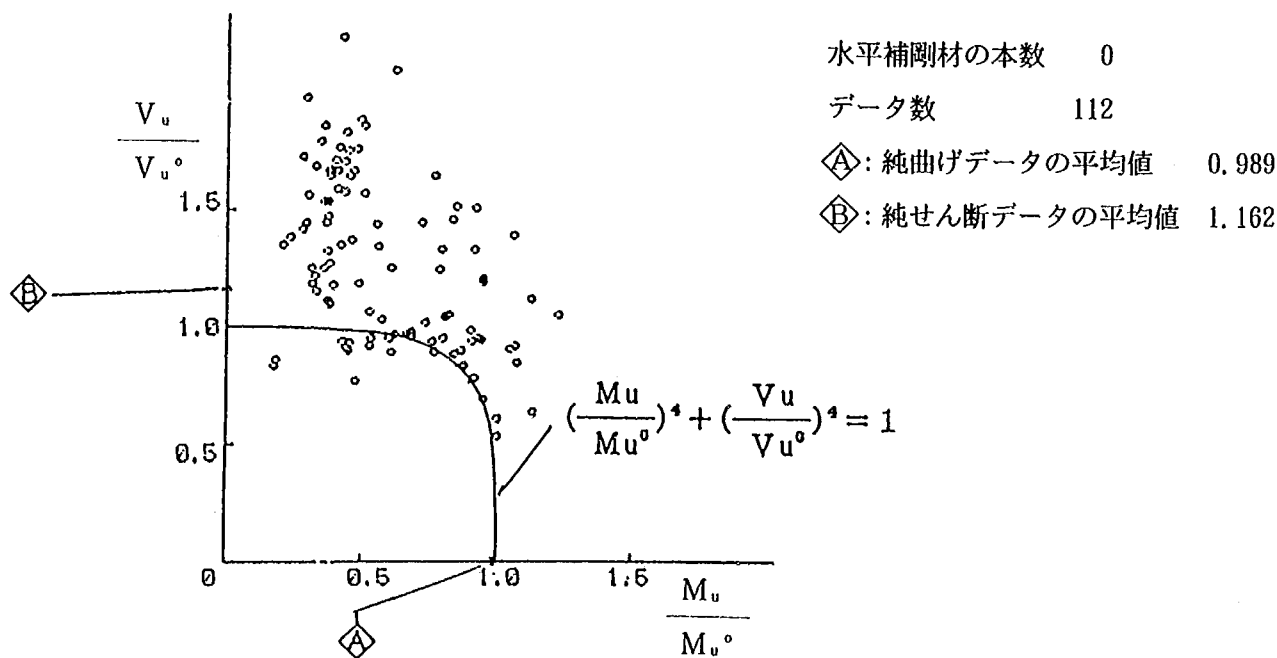
$$21.167(tw/bw)\sqrt{5.34 + 4.00/\alpha^2} - 0.0255\alpha = 0.541 (\alpha \geq 1.0) \quad (2.16.6)$$

式 (2.16.3) より、ウェブの降伏強度をSS41材相当、ウェブの幅厚比を道示の規定値152とすると、 α の変化 ($\alpha = 1 \sim 5$) に対してせん断耐力の変化は23%となる。



2.4 曲げ耐力とせん断耐力の相関関係

図-2.12に水平補剛材の本数が0本のものについての曲げ耐力とせん断耐力の相関関係を示す。



ここで、 V_{u^0} 、 M_{u^0} は東海鋼構造研究グループによる実験式^{4,5)}により計算されるせん断耐力、曲げ耐力であり、その実験式は、以下に示すとおりである。

$$V_{u^0}/V_y = 1.507/\lambda, \quad (2.17)$$

$$M_{u^0}/M_y = 1.044 - 0.044\lambda. \quad (2.18)$$

ここに,

V_y : 降伏せん断力

M_y : 降伏曲げモーメント

λ_r : ウェブせん断座屈パラメータ

λ_o : ウェブ曲げ座屈パラメータ

なお, 荷重タイプが純曲げおよび純せん断のものについては, それぞれ M_u/M_u^0 , V_u/V_u^0 の平均値を算出し, M_u/M_u^0 軸, V_u/V_u^0 軸上にプロットしているが, それぞれ0.989, 1.162となっている。実線は, 次式を示している。

$$(M_u/M_u^0)^4 + (V_u/V_u^0)^4 = 1 \quad (2.19)$$

相関式は実験値に対して下限値側に近い値を与えている。せん断耐荷力は, 曲げに比べてばらつきが大きく, 相関式の値に比べて1～2倍程度大きい。

3 上下フランジ非対称プレートガーダーの耐荷力実験データの分析結果

3.1 供試体の寸法諸元および耐荷力の一覧

表-3.1に供試体を構成する寸法諸元データを，表-3.2に荷重の載荷状態やウェブやフランジの幅厚比をはじめとするパラメトリックデータを，表-3.3に耐荷力の実験値および文献(44)で提案された耐荷力算定式による耐荷力の計算値の一覧表を示す。これらの値は表-1.1に示されているデータ項目から求めたものである。なお，水平補剛材本数が3本の場合のデータが含まれているが，この場合圧縮フランジ側から3本目の水平補剛材については，水平補剛材の間隔を b_4 ，水平補剛材の位置を y_3 として，それぞれ表-1.1の項目18.，20.の後に追記している。

表-3.1(b) 寸法諸元データ

データ 番 号	旧データ 番 号	大 小 番 号	尺 寸 規 格	容 積 フラスコ bfc	容 積 フラスコ tfc	容 積 フラスコ bft	容 積 フラスコ tft	ウレ 基 bw	ウレ 基 tw	本 年 加増分 の値	本 年 加増分 の割合	本 年 基 礎 的 の 容 量	前 年 加増分 の割合	前 年 基 礎 的 の 容 量	全 年 加増分と 前年加増分の 割合	備 考		
31	-	48	A-4	3	200.0	10.0	105.0	4.6	830.0	3.2	1	S	0.48:0.48	0	N	400.0	Y	SN50A
32	-	48	A-5	3	200.0	10.0	105.0	4.6	830.0	3.2	2	S	0.32:0.32:0.32	0	N	400.0	Y	SN50A
33	-	48	B-1	1	200.0	10.0	200.0	11.0	675.0	3.3	1	S	0.19:0.76	0	N	640.0	Y	SN50A
34	-	48	B-2	1	200.0	10.0	200.0	11.0	670.0	3.4	1	S	0.19:0.76	0	N	320.0	Y	SN50A
35	-	48	B-3	1	200.0	10.0	200.0	11.0	750.0	3.4	1	S	0.19:0.77	0	N	720.0	Y	SN50A
36	-	48	B-4	1	200.0	10.0	200.0	11.0	750.0	3.3	1	S	0.19:0.77	0	N	360.0	Y	SN50A
37	-	48	B-5	1	200.0	10.0	200.0	11.0	830.0	3.4	1	S	0.19:0.77	0	N	800.0	Y	SN50A
38	-	48	B-8	1	200.0	10.0	200.0	11.0	830.0	3.4	1	S	0.19:0.77	0	N	400.0	Y	SN50A
39	-	48	C-1	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1165.0	3.2	2	S	0.19:0.29:0.49	0	N	660.0	Y	SN50A
40	-	48	C-2	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1165.0	3.2	3	S		0	N	560.0	Y	SN50A
41	-	48	C-3	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1165.0	3.2	2	S	0.19:0.29:0.49	0	N	280.0	Y	SN50A
42	-	48	C-4	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1235.0	3.2	2	S	0.19:0.29:0.49	0	N	600.0	Y	SN50A
43	-	48	C-5	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1235.0	3.2	3	S		0	N	600.0	Y	SN50A
44	-	48	C-8	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1235.0	3.2	2	S	0.19:0.29:0.49	0	N	300.0	Y	SN50A
45	-	48	C-7	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1315.0	3.2	2	S	0.19:0.29:0.49	0	N	640.0	Y	SN50A
46	-	48	C-8	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1315.0	3.2	3	S		0	N	640.0	Y	SN50A
47	-	48	C-9	3	200.0	10.0	200.0	14.0	1315.0	3.2	2	S	0.19:0.29:0.49	0	N	320.0	Y	SN50A

荷重状態 1 : 純曲げ, 2 : 純せん断, 3 : 曲げ+せん断
補剛材の取付 N : なし, S : 片側, D : 両側
補剛材の取り合い N : 離れている, Y : 溶接している, 空白 : 不明

表-3.2(a) データ項目一覧表 (Parametric Data)

チ-ク 番号	文庫 番号	表 紙 号 番 号	所長 状態	bw / lw	bf / lf	Aw / Afc	Aw / Aft	a / bl	a / b2	a / b3	a / b4	a / bw	L / bw	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	Ny	Vy
1	5	GI.T1	1	185	48	1.54	1.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.324	0.000	0.00	37.01	221.1	116.7
2	5	GI.T2	1	185	48	1.54	1.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.324	0.000	0.00	0.00	221.1	116.7
3	14	G-1	3	182	11	1.37	2.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.901	2.647	0.00	0.00	432.6	226.8
4	14	G-2	3	144	13	1.31	1.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	1.505	2.098	0.00	0.00	281.0	179.6
5	9	AL1	1	141	16	1.26	2.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.532	0.000	0.00	0.00	104.3	56.3
6	9	AL2	1	188	16	1.67	2.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.710	0.000	0.00	0.00	144.0	75.1
7	9	AL3	1	234	16	2.09	3.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.887	0.000	0.00	0.00	186.1	93.8
8	9	AL4	1	281	16	2.51	4.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.065	0.000	0.00	0.00	230.6	112.6
9	9	BL.1	1	141	16	1.26	2.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.532	0.000	0.00	0.00	104.3	56.3
10	9	BL.2	1	188	16	1.67	2.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.710	0.000	0.00	0.00	144.0	75.1
11	9	BL.3	1	234	16	2.09	3.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.887	0.000	0.00	0.00	186.1	93.8
12	9	BL.4	1	281	16	2.51	4.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.065	0.000	0.00	0.00	230.6	112.6
13	25	UG4.1	3	404	13	0.76	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.77	3.744	5.407	0.00	0.00	171.7	82.9
14	25	UG4.2	3	264	9	0.48	1.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.15	2.460	3.156	0.00	0.00	385.4	128.2
15	25	UG4.3	3	404	13	0.76	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.46	3.764	5.203	0.00	0.00	172.0	83.8
16	25	UG4.4	3	264	13	1.16	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.77	1.985	2.866	0.00	0.00	171.9	83.4
17	25	UG4.5	3	264	9	0.48	1.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.83	1.985	2.156	0.00	0.00	369.6	83.4
18	25	UG4.6	3	264	9	0.48	1.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.77	1.985	2.866	0.00	0.00	369.6	83.4

チ-ク 番号	文庫 番号	表 紙 号 番 号	所長 状態	bw / lw	bf / lf	Aw / Afc	Aw / Aft	a / bl	a / b2	a / b3	a / b4	a / bw	L / bw	$\lambda \sigma$	$\lambda \tau$	γ_h / γ_{hr}	γ_v / γ_{vr}	Ny	Vy
19	25	UG5.1	3	404	13	0.76	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.77	2.080	4.213	36.8	1670.1	173.3	84.0
20	25	UG5.2	3	404	13	0.76	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.15	2.136	4.017	56.9	699.3	175.0	88.6
21	25	UG5.3	3	404	13	0.76	0.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.40	2.136	4.213	44.7	1132.7	175.0	88.6
22	25	UG5.4	3	262	13	1.16	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.77	1.084	2.196	10.4	457.5	173.1	83.3
23	25	UG5.5	3	262	13	1.16	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.83	1.084	1.852	22.1	101.3	173.1	83.3
24	25	UG5.6	3	262	13	1.16	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.77	1.084	2.196	10.4	457.5	173.1	83.3
25	7	EBYI-1302	1	132	6	0.88	2.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	1.196	0.000	0.00	0.00	162.5	102.6
26	7	EBYI-2201	1	200	13	1.08	4.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.607	0.000	0.00	0.00	280.8	121.6
27	7	EBYI-3001	1	300	12	1.47	1307	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.465	0.000	0.00	0.00	438.1	189.1
28	46	A-1	3	209	20	1.07	4.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.615	1.168	2.25	0.00	61.0	53.7
29	46	A-2	3	234	20	1.20	4.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.832	1.337	2.00	0.00	69.6	60.1
30	46	A-3	3	234	20	1.20	4.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.408	1.021	2.00	0.00	69.6	60.1
31	46	A-4	3	259	20	1.33	5.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2.048	1.485	1.80	0.00	78.8	66.6
32	46	A-5	3	259	20	1.33	5.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.570	1.134	1.80	0.00	78.8	66.6
33	46	B-1	1	201	20	1.12	1.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.755	0.000	10.6	0.00	61.4	56.8
34	46	B-2	1	199	20	1.13	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.749	0.000	10.1	0.00	61.5	56.3
35	46	B-3	1	221	20	1.28	1.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.848	0.000	8.89	0.00	70.4	63.8
36	46	B-4	1	225	20	1.25	1.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.861	0.000	9.10	0.00	70.2	62.7

表一 3. 2 (b) データ項目一覧表 (Parametric Data)

[illegible]

表-3.3(a) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

シート 番号	文庫 番号	異試体 番号	異種 異種	Mu_1	Mu_2	Mu_3	Vu	Mu_1 / My	Mu_2 / My	Mu_3 / My	Vu / Vy	Mu_{11}	Vu_{11}	Mu_1 / Mu_{11}	Mu_2 / Mu_{11}	Mu_3 / Mu_{11}	Vu / Vu_{11}
1	5	G1.T1	1	139.8	139.8	139.8	0.0	0.632	0.632	0.000	0.000	118.6	34.4	1.178	1.178	1.178	0.000
2	5	G1.T2	1	124.3	124.3	124.3	0.0	0.562	0.562	0.000	0.000	118.6	88.2	1.047	1.047	1.047	0.000
3	14	G-1	3	356.4	267.3	267.3	198.0	0.824	0.618	0.873	0.873	360.2	32.4	0.742	0.742	0.811	6.109
4	14	G-2	3	279.3	209.5	209.5	196.0	0.994	0.746	1.092	1.092	246.5	40.9	0.850	0.850	0.928	4.787
5	9	AL1	1	130.0	130.0	130.0	0.0	1.246	1.246	0.000	0.000	93.3	55.3	1.393	1.393	1.393	0.000
6	9	AL2	1	170.0	170.0	170.0	0.0	1.181	1.181	0.000	0.000	124.3	66.5	1.367	1.367	1.367	0.000
7	9	AL3	1	232.0	232.0	232.0	0.0	1.247	1.247	0.000	0.000	154.8	73.8	1.499	1.499	1.499	0.000
8	9	AL4	1	274.0	274.0	274.0	0.0	1.188	1.188	0.000	0.000	184.7	78.5	1.484	1.484	1.484	0.000
9	9	BL.1	1	125.0	125.0	125.0	0.0	1.198	1.198	0.000	0.000	93.3	45.1	1.339	1.339	1.339	0.000
10	9	BL.2	1	170.0	170.0	170.0	0.0	1.181	1.181	0.000	0.000	124.3	47.1	1.367	1.367	1.367	0.000
11	9	BL.3	1	220.0	220.0	220.0	0.0	1.182	1.182	0.000	0.000	154.8	49.7	1.421	1.421	1.421	0.000
12	9	BL.4	1	257.0	257.0	257.0	0.0	1.115	1.115	0.000	0.000	184.7	53.7	1.392	1.392	1.392	0.000
13	25	UG4.1	3	79.8	42.5	42.5	37.0	0.465	0.248	0.446	0.446	140.4	2.8	0.303	0.303	0.419	13.010
14	25	UG4.2	3	192.1	155.9	155.9	54.0	0.498	0.405	0.421	0.421	377.9	12.9	0.413	0.413	0.426	4.191
15	25	UG4.3	3	152.7	128.0	128.0	28.6	0.888	0.744	0.342	0.342	144.0	3.1	0.888	0.888	0.925	9.234
16	25	UG4.4	3	168.9	135.6	135.6	31.7	0.982	0.789	0.379	0.379	134.5	10.2	1.009	1.009	1.083	3.113
17	25	UG4.5	3	195.0	165.7	165.7	61.6	0.529	0.448	0.738	0.738	362.5	17.9	0.457	0.457	0.463	3.433
18	25	UG4.6	3	96.6	51.5	51.5	44.7	0.261	0.139	0.536	0.536	356.0	10.2	0.145	0.145	0.200	4.398

表-3.3(b) データ項目一覧表 (Test and Analysis Data)

子-号 番 号	父 号 番 号	典 以 号 番 号	所 属 机 型	M_{U_1}	M_{U_2}	M_{U_3}	Y_U	M_{U_1} / M_Y	M_{U_2} / M_Y	M_{U_3} / M_Y	Y_U / Y_Y	$M_{U_{11}}$	$Y_{U_{11}}$	M_{U_1} / $M_{U_{11}}$	M_{U_2} / $M_{U_{11}}$	M_{U_3} / $M_{U_{11}}$	Y_U / $Y_{U_{11}}$
19	25	UC5.1	3	95.0	51.0	70.4	44.3	0.552	0.294	0.408	0.527	156.9	32.2	0.603	0.325	0.449	1.377
20	25	UC5.2	3	190.1	154.3	159.5	53.5	1.086	0.882	0.912	0.603	165.9	45.4	1.146	0.930	0.961	1.178
21	25	UC5.3	3	223.5	187.3	195.0	41.9	1.277	1.070	1.115	0.473	162.5	38.6	1.376	1.153	1.200	1.086
22	25	UC5.4	3	233.8	187.8	201.0	43.8	1.351	1.085	1.165	0.526	152.8	38.9	1.530	1.229	1.320	1.126
23	25	UC5.5	3	196.0	166.0	168.3	61.7	1.132	0.959	0.972	0.741	159.4	57.5	1.230	1.042	1.056	1.074
24	25	UC5.6	3	109.3	58.2	80.5	50.6	0.631	0.337	0.465	0.608	152.8	38.9	0.715	0.381	0.627	1.301
25	7	EBY1-130	1	133.6	133.6	133.6	0.0	0.878	0.878	0.878	0.000	141.3	33.0	0.946	0.946	0.946	0.000
26	7	EBY1-220	1	255.9	255.9	255.9	0.0	0.911	0.911	0.911	0.000	277.3	31.9	0.923	0.923	0.923	0.000
27	7	EBY1-300	1	305.5	305.5	305.5	0.0	0.697	0.697	0.697	0.000	410.7	21.3	0.744	0.744	0.744	0.000
28	46	A-1	3	20.3	20.3	21.7	56.5	0.482	0.334	0.350	1.053	50.5	44.7	0.520	0.360	0.384	1.264
29	46	A-2	3	21.9	21.9	23.5	57.5	0.463	0.314	0.337	0.957	64.3	46.9	0.501	0.340	0.365	1.220
30	46	A-3	3	22.4	22.4	24.1	59.0	0.475	0.322	0.346	0.982	64.1	52.9	0.516	0.350	0.376	1.115
31	46	A-4	3	25.2	25.2	27.3	63.0	0.481	0.321	0.347	0.948	72.5	48.2	0.521	0.348	0.376	1.306
32	46	A-5	3	25.4	25.4	27.5	63.5	0.485	0.323	0.350	0.955	72.2	55.7	0.528	0.352	0.381	1.141
33	46	B-1	1	123.6	123.6	123.6	0.0	2.013	2.013	2.013	0.000	56.7	32.2	2.179	2.179	2.179	0.000
34	46	B-2	1	120.1	120.1	120.1	0.0	1.953	1.953	1.953	0.000	56.8	47.0	2.112	2.112	2.112	0.000
35	46	B-3	1	132.1	132.1	132.1	0.0	1.876	1.876	1.876	0.000	64.3	34.5	2.056	2.056	2.056	0.000
36	46	B-4	1	144.0	144.0	144.0	0.0	2.052	2.052	2.052	0.000	64.0	48.4	2.252	2.252	2.252	0.000

[illegible]

3.2 データ内容の分析結果

(1) 作用力別データの内訳

表-3.4 に補剛材本数，テストパネルへの作用力，および国内外別の供試体データの内訳を示す。表では47体のデータを，垂直補剛材の有無，水平補剛材の本数（0本，1本，2本），荷重載荷状態（純曲げ，純せん断，曲げ+せん断）によって分類している。表-3.4 からわかるようにデータの半分は水平補剛材1本を有する供試体のデータ（23体）であり，無補剛供試体のデータ（13体）のデータと水平補剛材2本を有する供試体のデータ（8体）はそれぞれ全データの1/4程度である。

これらのデータのうち，水平補剛材の配置間隔比が道示の規定値（水平補剛材1本の場合20：80，水平補剛材2本の場合14：22：64）と同一の供試体は，水平補剛材1本を有する供試体は8体（全て純曲げ）あるが，水平補剛材2本を有する供試体はない。また，水平補剛材と垂直補剛材とをウェブをはさんで反対側に取り付けけた供試体はなかった。

表-3.4 データの内訳

水平補剛材の本数	垂直補剛材の有無	荷重タイプ	国 内	国 外	不 明	合 計
0 本	無	純 曲 げ	3	1	0	4
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	2	6	0	8
	有	純 曲 げ	0	1	0	1
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	0	0	0	0
1 本	無	純 曲 げ	14	0	0	14
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	3	6	0	9
	有	純 曲 げ	0	0	0	0
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	0	0	0	0
2 本	無	純 曲 げ	0	0	0	0
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	8	0	0	8
	有	純 曲 げ	0	0	0	0
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	0	0	0	0
3 本	無	純 曲 げ	0	0	0	0
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	3	0	0	3
	有	純 曲 げ	0	0	0	0
		純 せん断	0	0	0	0
		曲げ+せん断	0	0	0	0
合 計	—	—	33	14	0	47

(2) ウェブ幅厚比とデータ数の関係

図-3.1にウェブの無次元幅厚比 ($bw/tw\sqrt{\sigma_{yw}/24}$) とデータ数の関係を載荷状態で分類して示す。また、図-3.2(a)~(d)に水平補剛材の本数と載荷状態で分類したものを、図-3.3に水平補剛材の配置が道示の規定と同じデータのみについてまとめたものを示す。水平補剛材の本数によらず、道示に規定されるウェブの最大幅厚比より大きい幅厚比のことが多い。

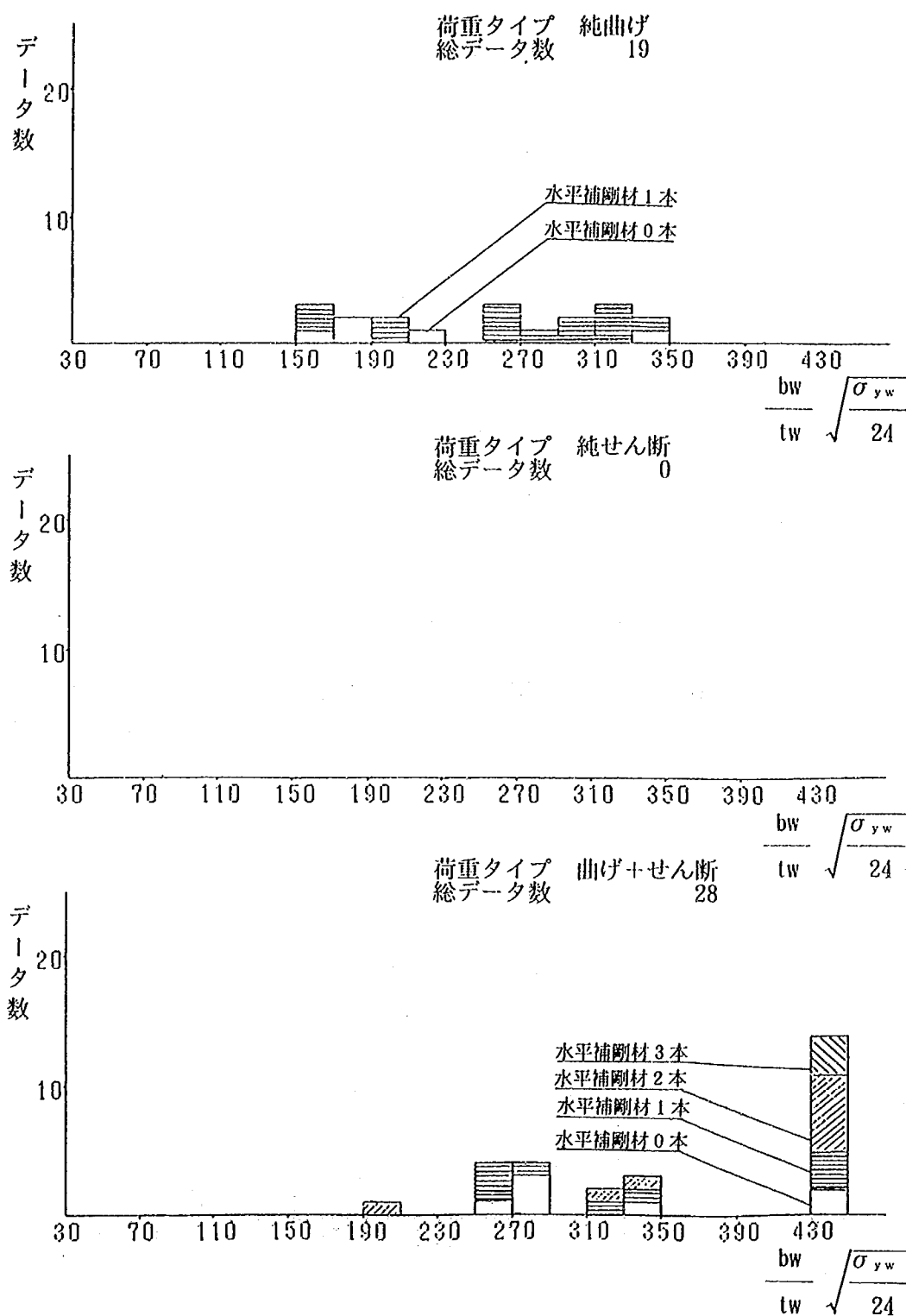


図-3.1 ウェブ幅厚比とデータ数の関係

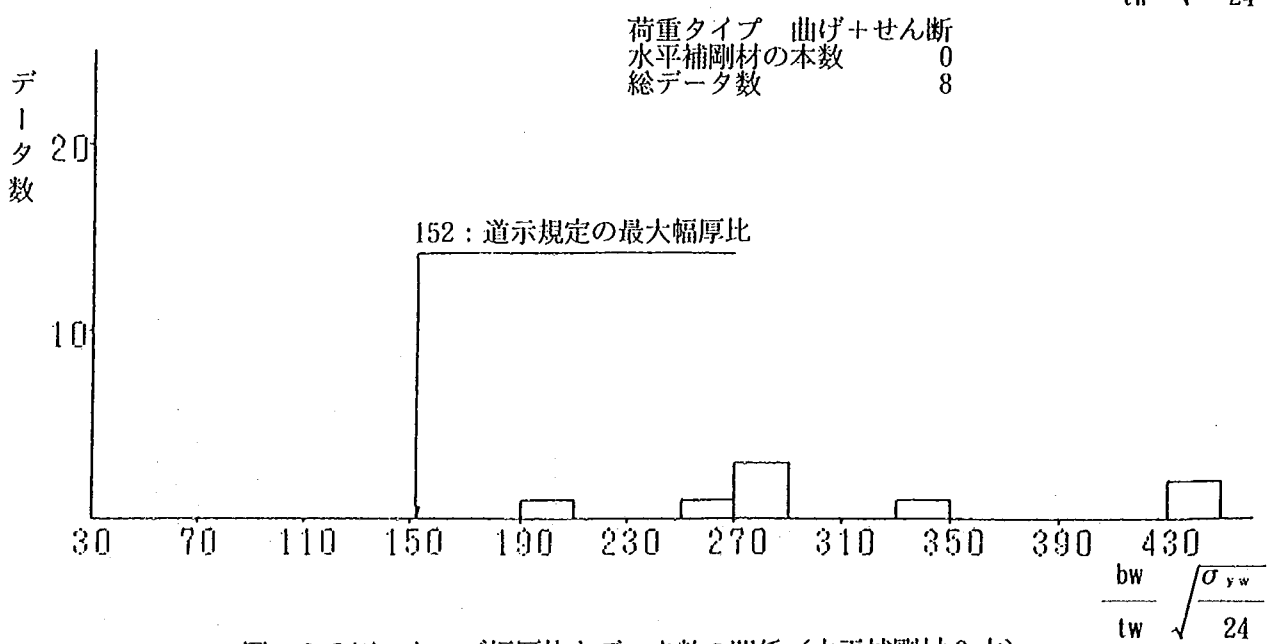
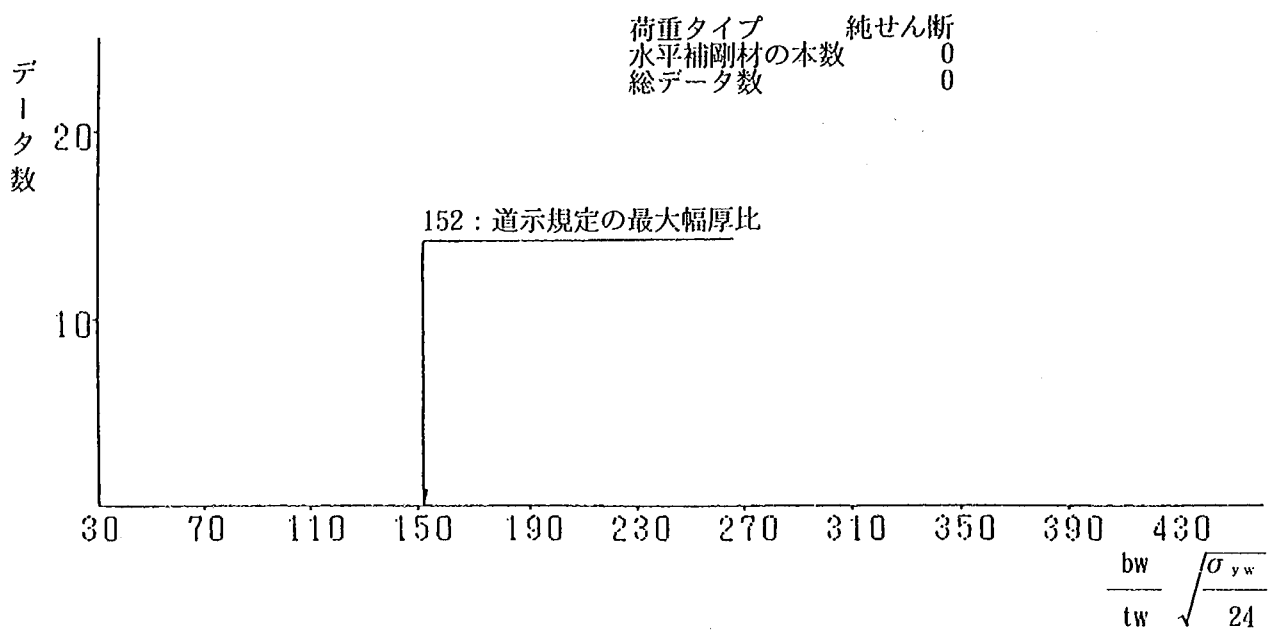
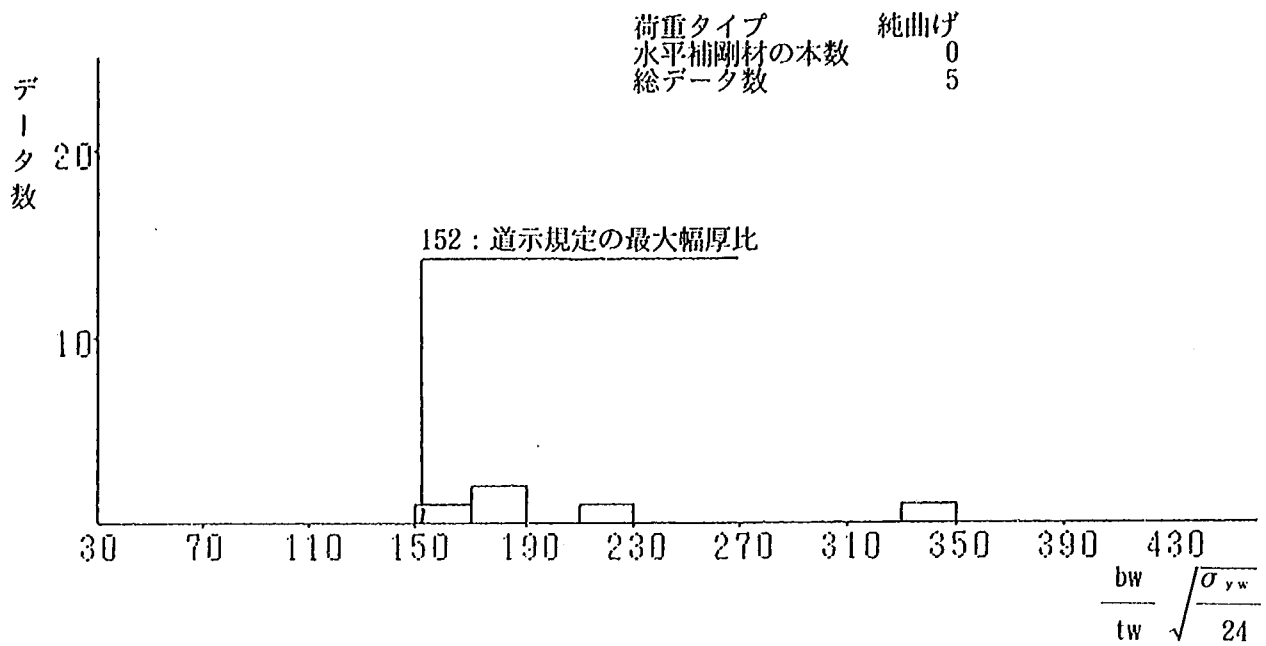
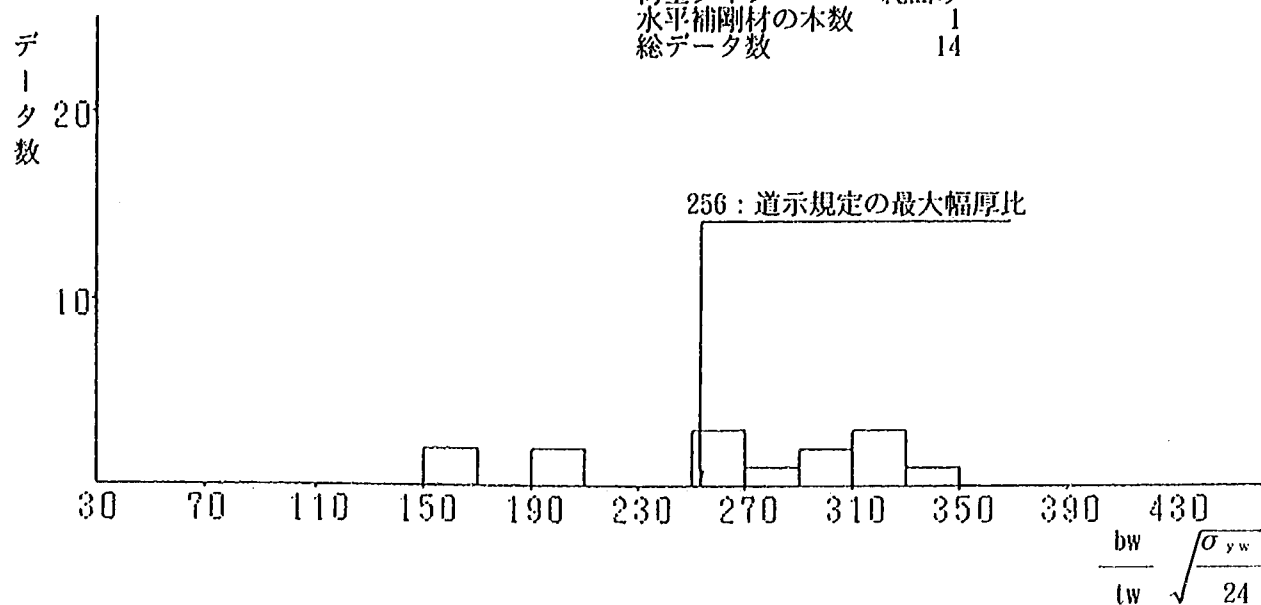
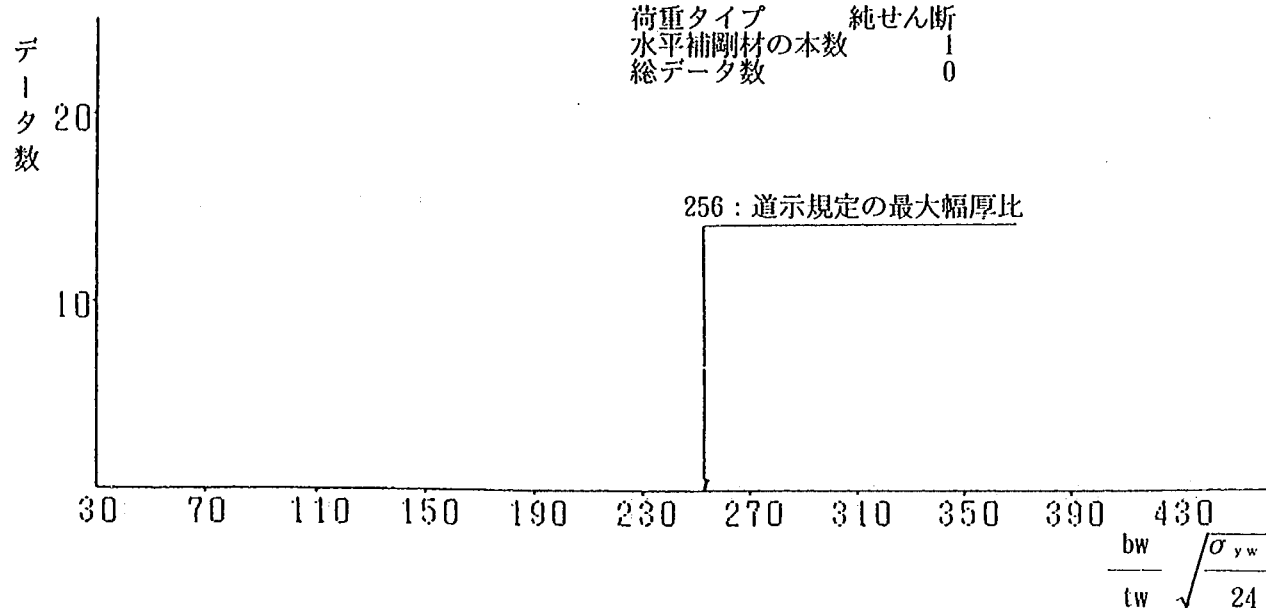


図-3.2(a) ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材 0 本)

荷重タイプ 純曲げ
水平補剛材の本数 1
総データ数 14



荷重タイプ 純せん断
水平補剛材の本数 1
総データ数 0



荷重タイプ 曲げ+せん断
水平補剛材の本数 1
総データ数 9

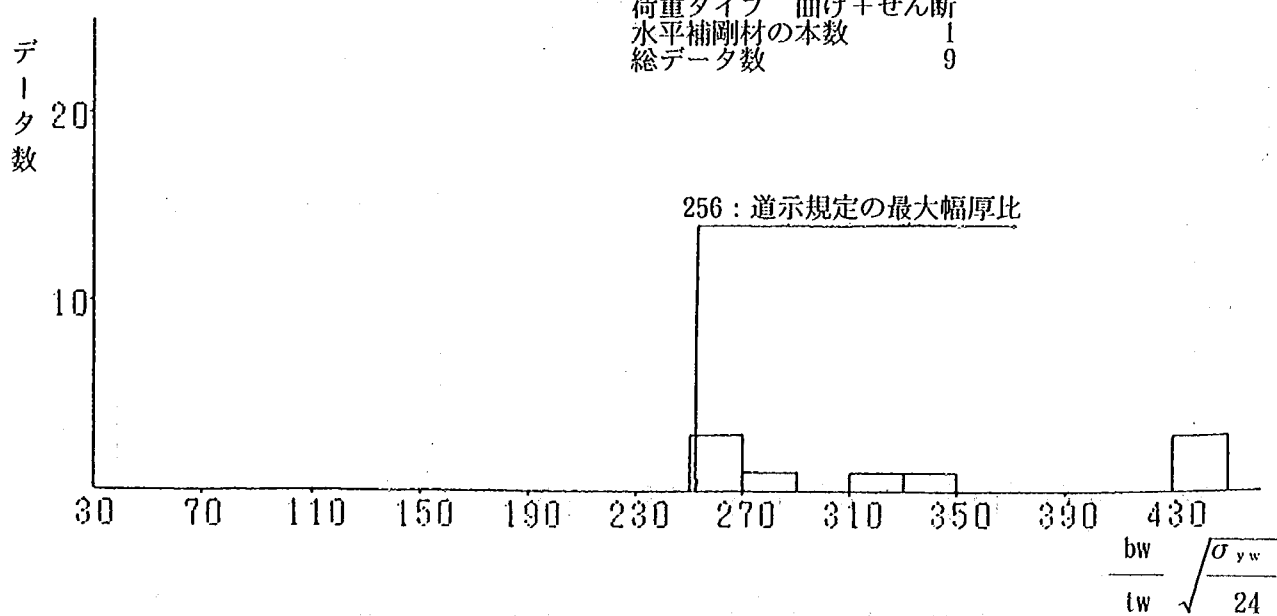


図-3.2(b) ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材 1 本)

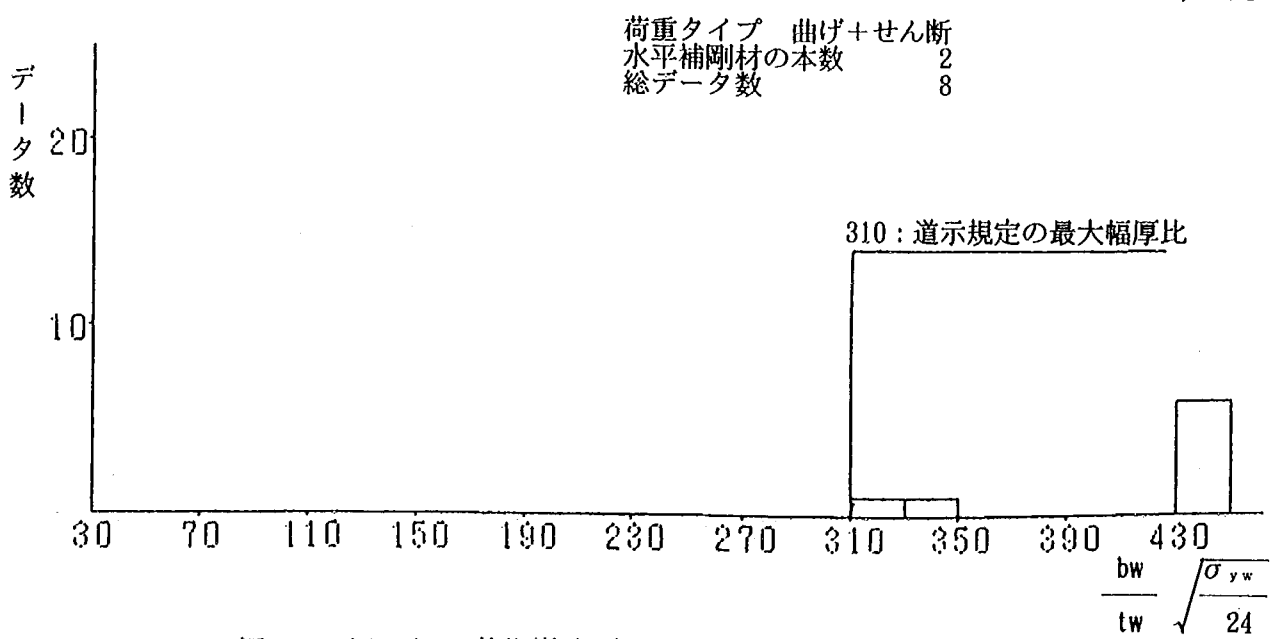
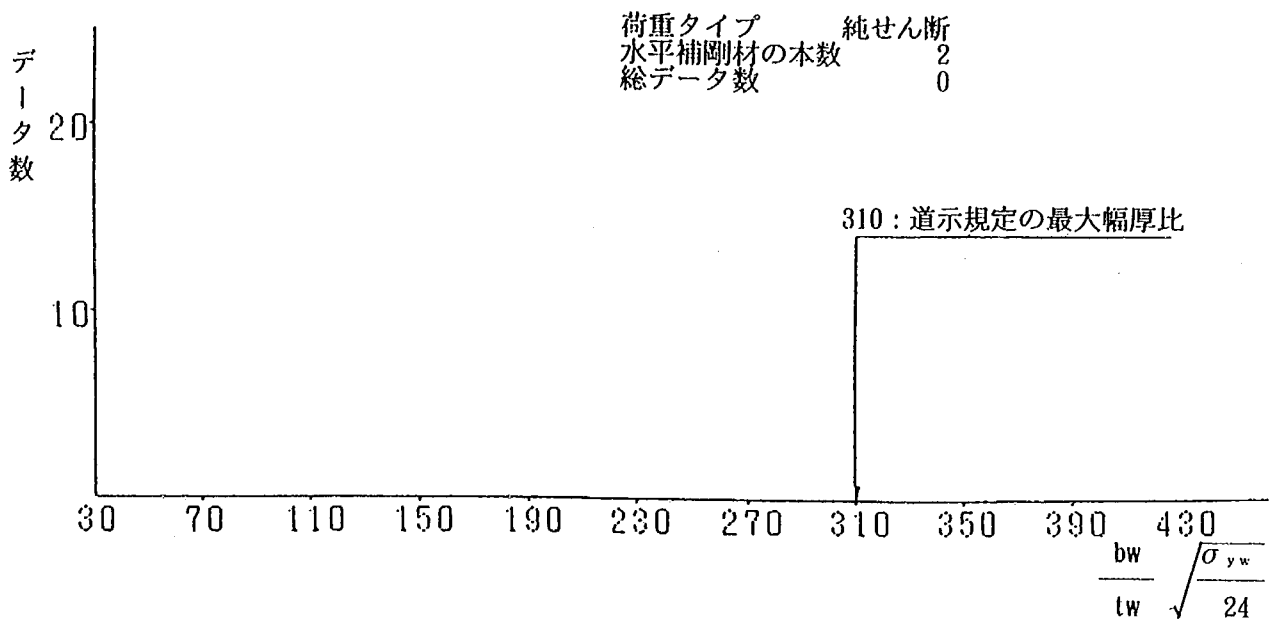
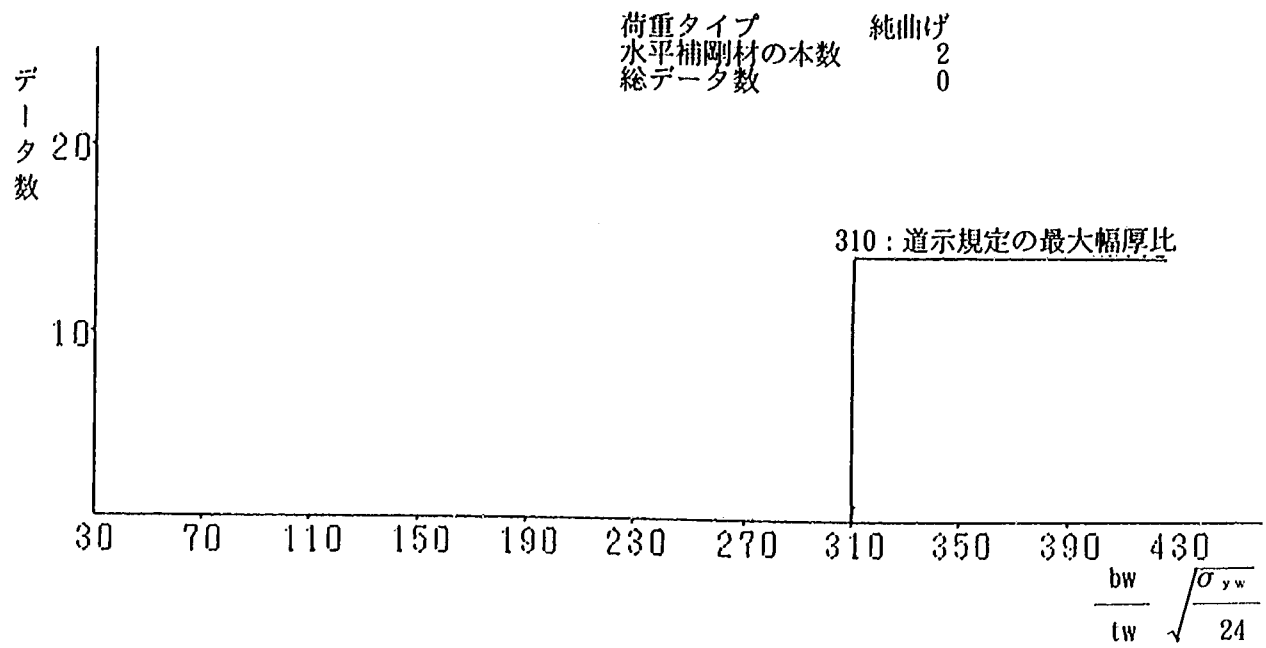


図-3.2(c) ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材 2 本)

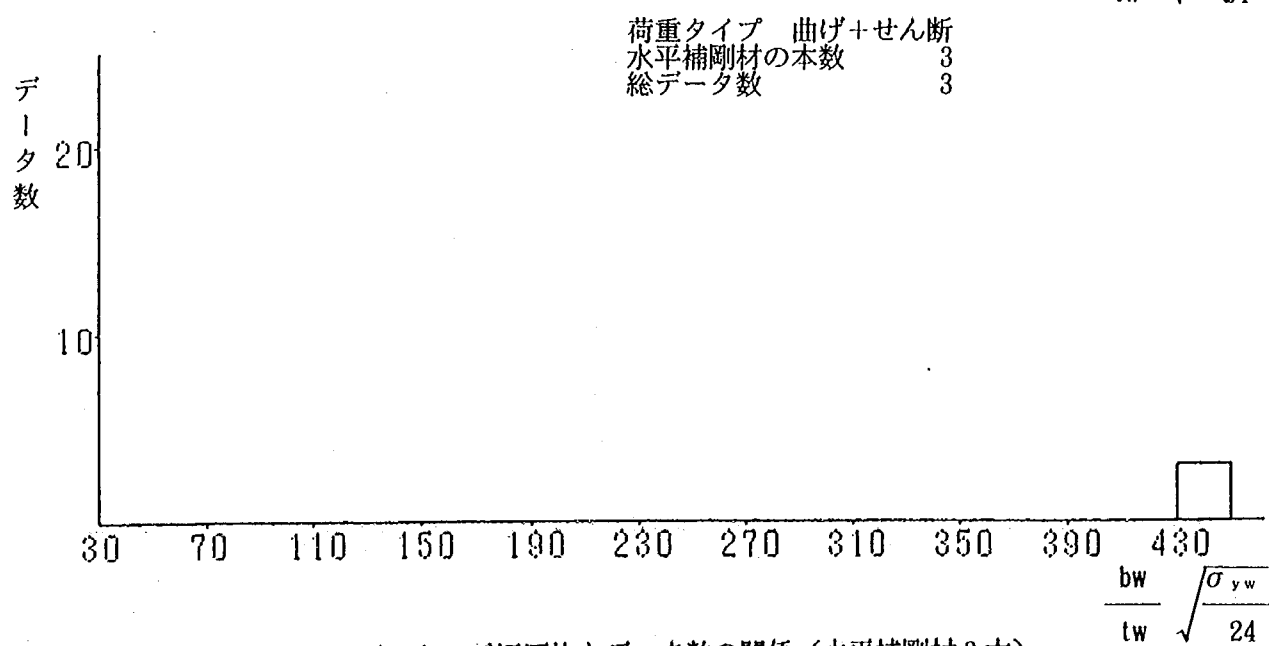
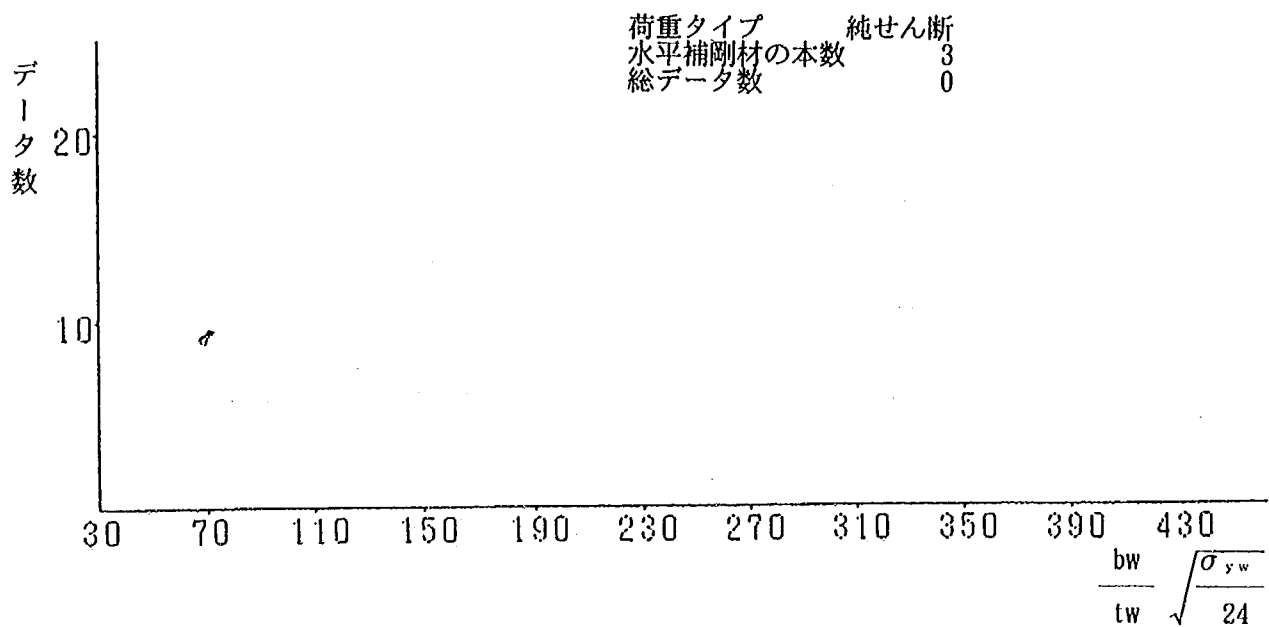
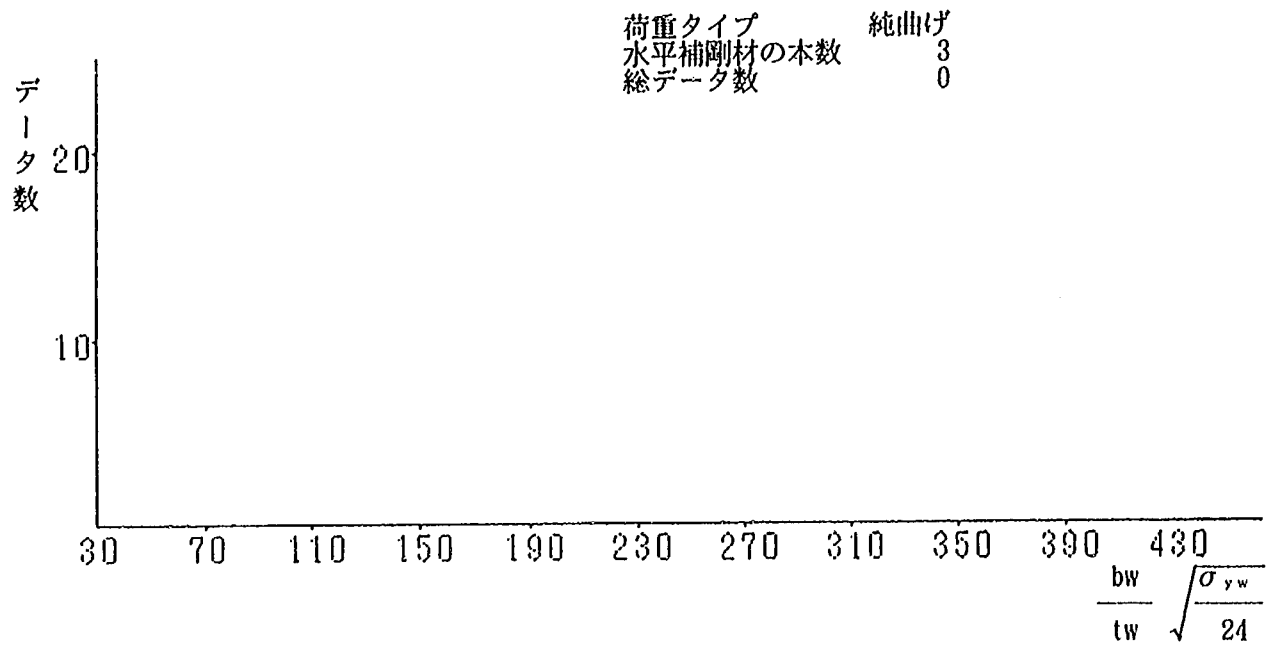


図-3.2(d) ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材3本)

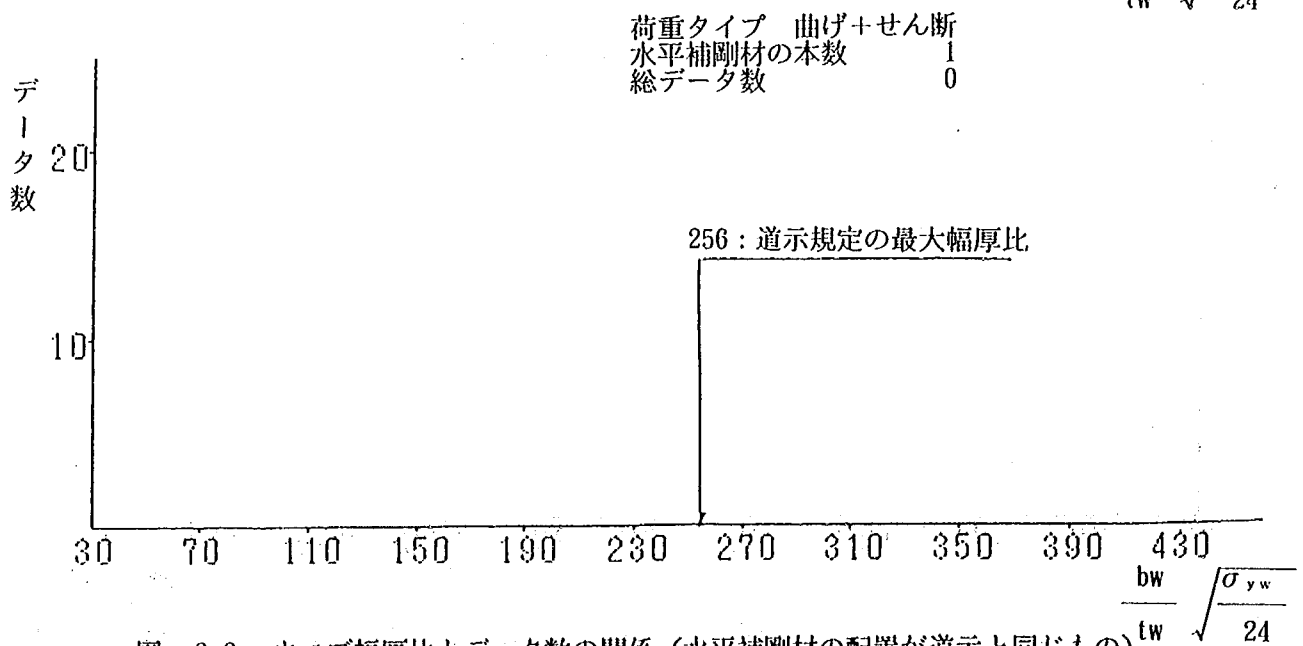
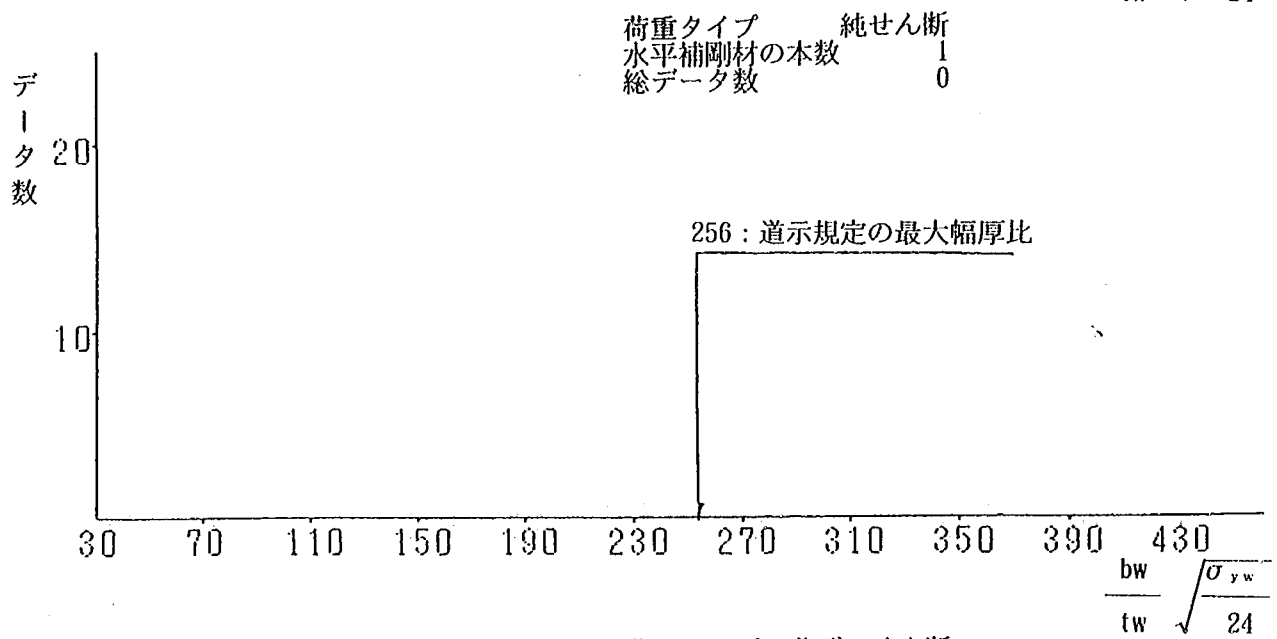
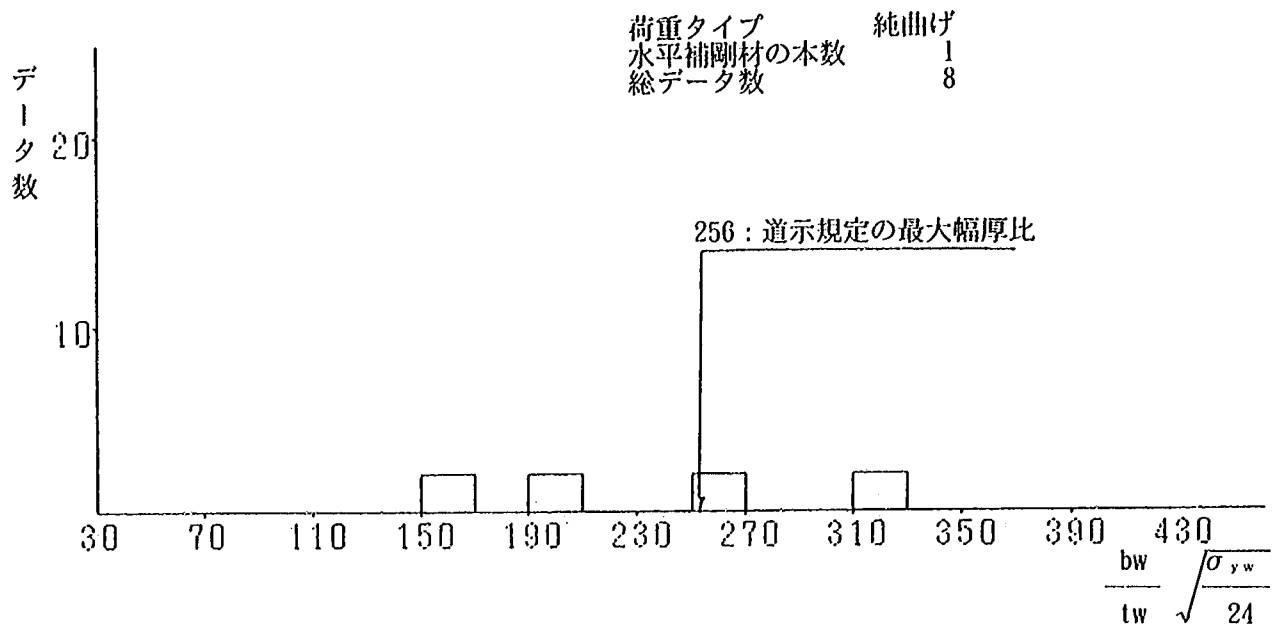


図-3.3 ウェブ幅厚比とデータ数の関係 (水平補剛材の配置が道示と同じもの)

(3) ウェブ高とデータ数の関係

図-3.4に水平補剛材の本数によって分類したウェブ高とデータ数の関係を示す。

以下に、水平補剛材の本数と対象となったウェブ高の範囲を示す。

- ①水平補剛材 3 本の場合：bw=1100～1400mm
- ②水平補剛材 2 本の場合：bw= 500～1400mm
- ③水平補剛材 1 本の場合：bw= 600～1400mm
- ④水平補剛材 0 本の場合：bw= 700～1300mm

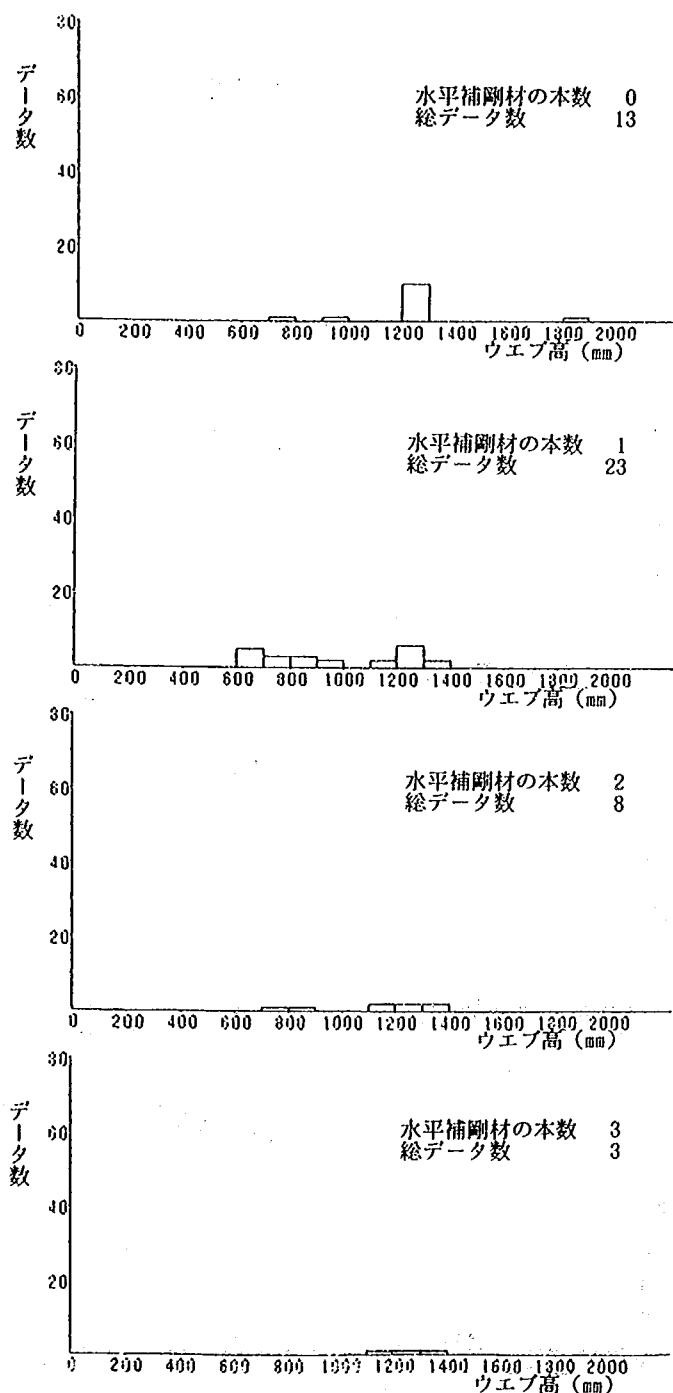


図-3.4 ウェブ高とデータ数の関係

(4) ウェブ厚とデータ数の関係

図-3.5 に水平補剛材の本数によって分類したウェブ厚とデータ数の関係を示す。

以下に、水平補剛材の本数と対象となったウェブ厚の範囲を示す。

- 1) 水平補剛材 3 本の場合 : $tw=3.0\sim3.5\text{mm}$
- 2) 水平補剛材 2 本の場合 : $tw=3.0\sim3.5\text{mm}$
- 3) 水平補剛材 1 本の場合 : $tw=3.0\sim5.0\text{mm}$
- 4) 水平補剛材 0 本の場合 : $tw=3.0\sim7.0\text{mm}$

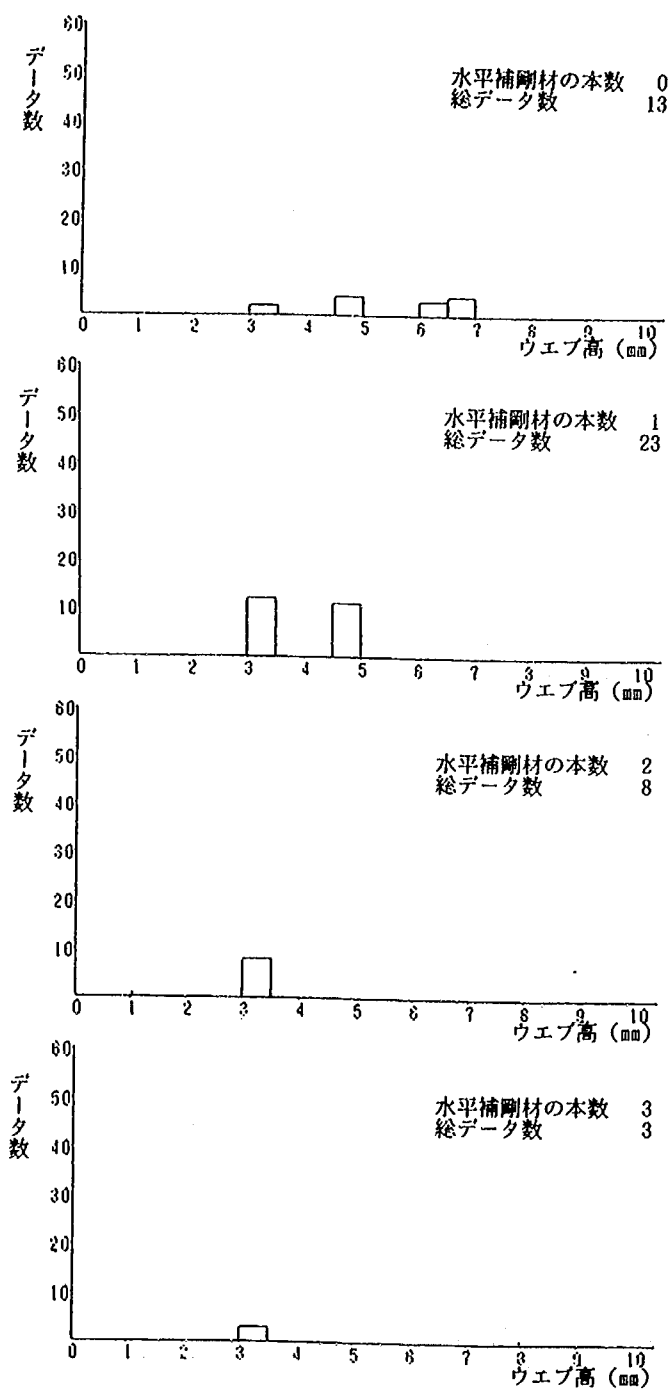


図-3.5 ウェブ厚とデータ数の関係

(5) ウェブ高とウェブ厚の関係

図-3.6 に水平補剛材の本数によって分類したウェブ高とウェブ厚の関係を示す。実験データは水平補剛材の本数によらず、道示に規定されるウェブの最大幅厚比の関係式付近に分布している。

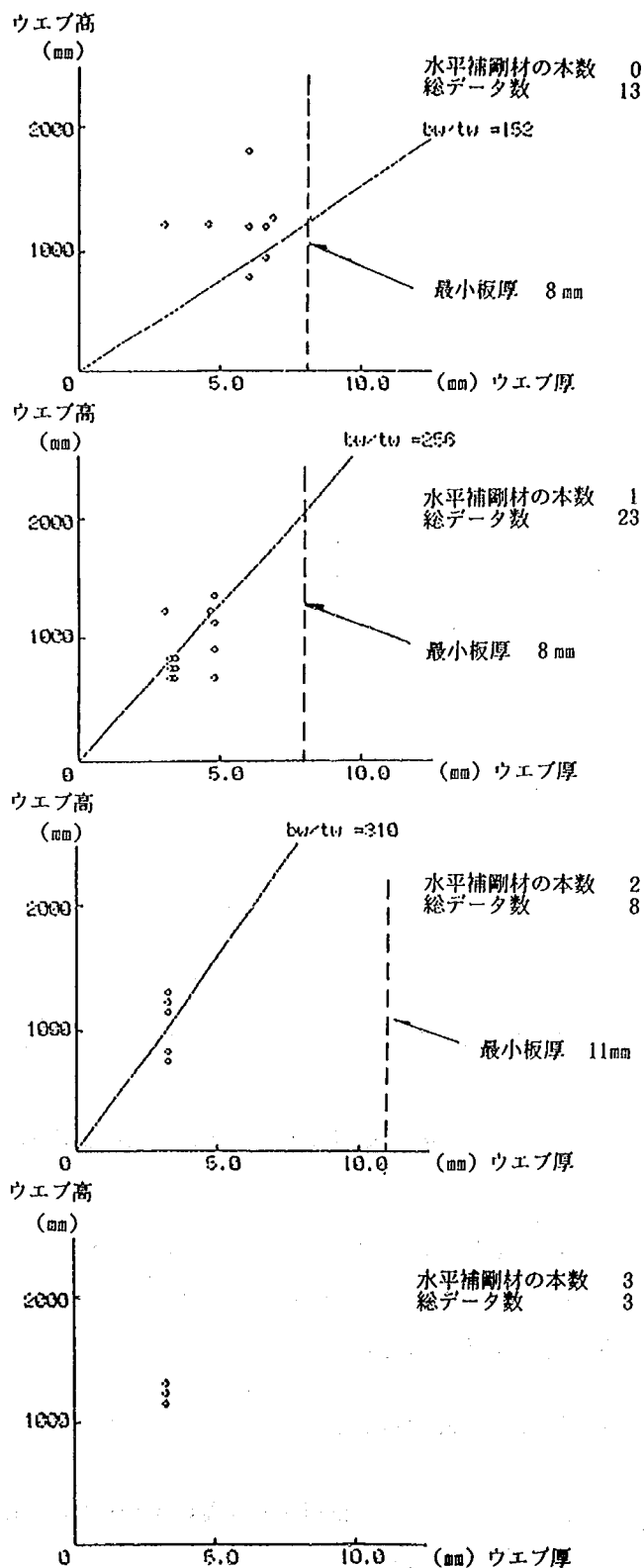


図-3.6 ウェブ高とウェブ厚の関係

3.3 座屈パラメータと耐荷力の関係

2.3 節と同様に、耐荷力実験データを座屈パラメータを用いて整理した。なお、水平補剛材の本数が 0 本で、荷重載荷状態が純せん断の供試体は存在しなかったため、ウェブせん断座屈パラメータとせん断耐荷力の関係については整理していない。

(1) フランジねじれ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

図-3.7 にフランジねじれ座屈パラメータ λ_{TB} と曲げ耐荷力 M_u/M_y の関係を示す。図中の実線は実験値に対して最小 2 乗法により求めた回帰式である。

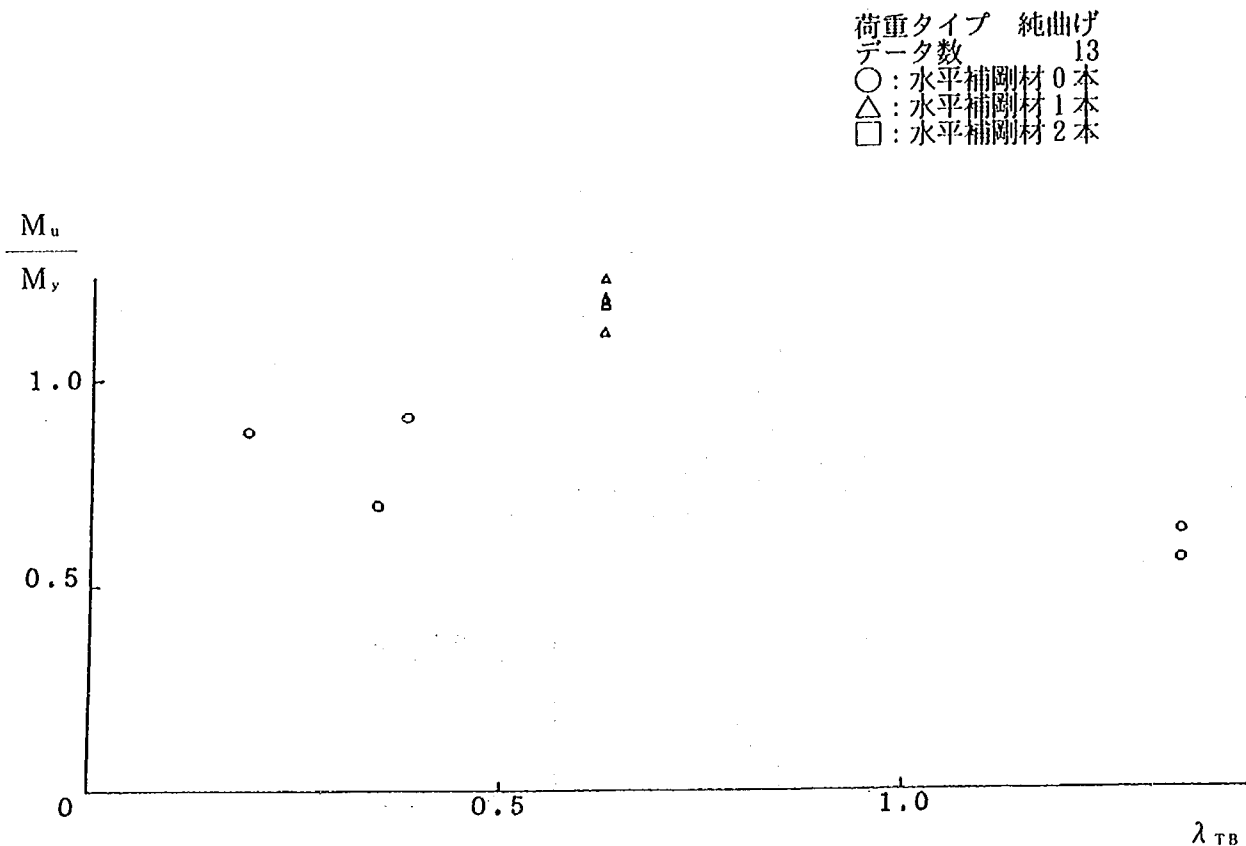


図-3.7 フランジねじれ座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

曲げ耐荷力値の低いものが 3 体みられる。フランジねじれ座屈パラメータが 1 以上の 2 体についてはフランジねじれ座屈の影響を受けていると考えられる。またフランジねじれ座屈パラメータが 0.5 以下で曲げ耐荷力 M_u/M_y が低い供試体が 1 体見られる。

(2) フランジ水平座屈パラメータと曲げ耐荷力の関係

図-3.8 にフランジ水平座屈パラメータ λ_{LB} と曲げ耐荷力 M_u/M_y の関係を示す。図中の実線は実験値に対して最小 2 乗法により求めた回帰式である。

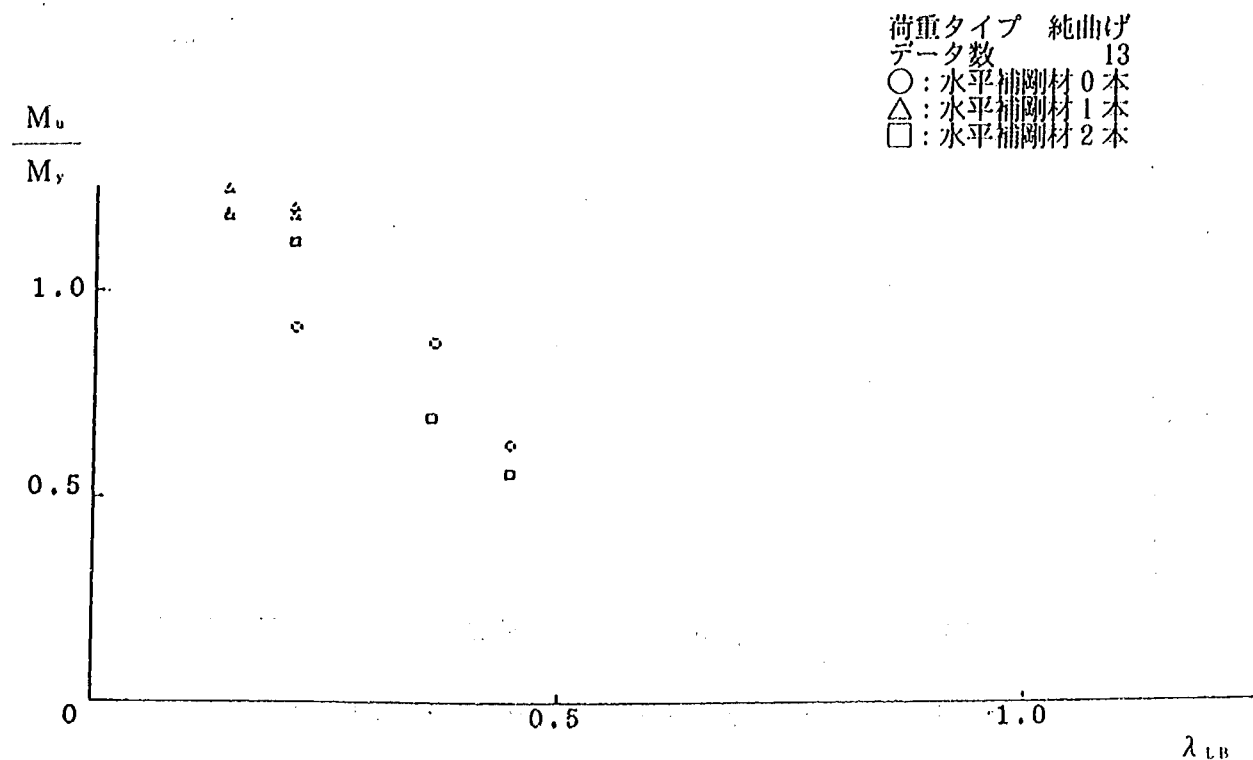


図-3.8 フランジ水平座屈パラメータと曲げ耐力の関係

フランジ水平座屈パラメータは全てのデータについて0.5以下であるが、曲げ耐力値が低いものが3体みられる。このうち2体については3.3(1)で述べたようにフランジねじれ座屈の影響を受けていると考えられる。残りの1体についてはフランジねじれ座屈パラメータ、フランジ水平座屈パラメータともに0.5以下であることからウェブ曲げ座屈の影響を受けていると考えられる。

(3) ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐力の関係

図-3.9にウェブ曲げ座屈パラメータ λ_w と曲げ耐力 M_u/M_y の関係を示す。図中の実線は実験値に対して最小2乗法により求めた回帰式である。

曲げ耐力 M_u/M_y が低いものが2体見られるが、これら2体は3.3(1)で述べたようにフランジねじれ座屈の影響を受けていると考えられる。

荷重タイプ 純曲げ
水平補剛材 0本
データ数 5

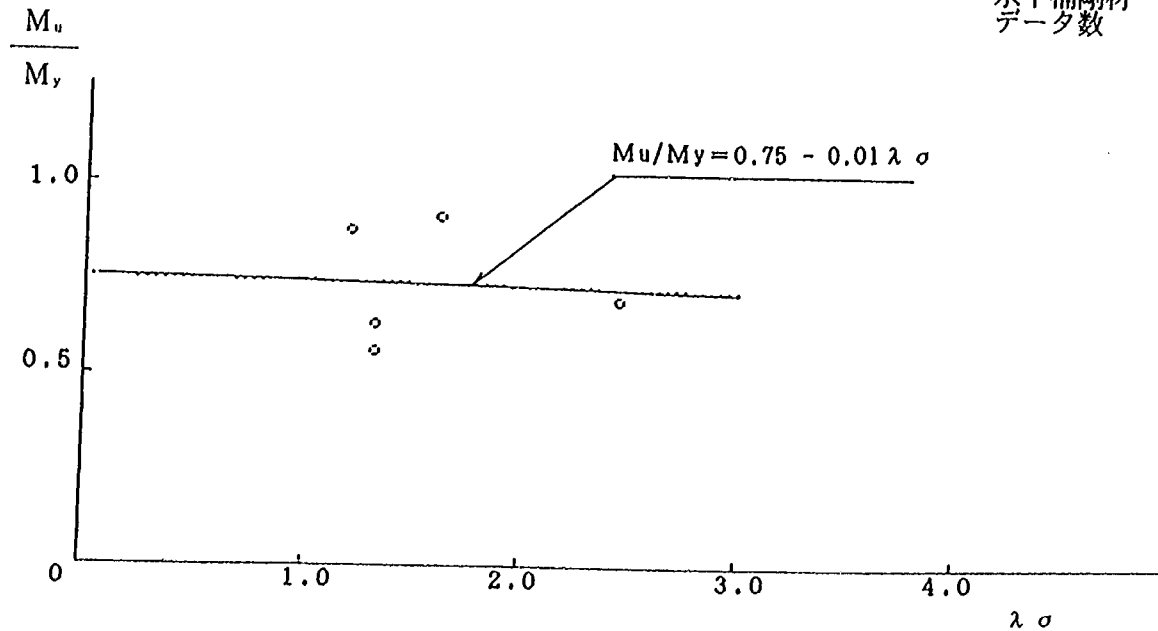


図-3.9 ウェブ曲げ座屈パラメータと曲げ耐力の関係

3.4 曲げ耐力とせん断耐力の相関関係

図-3.10に水平補剛材の本数が0本のものについての曲げ耐力とせん断耐力の相関関係を示す。

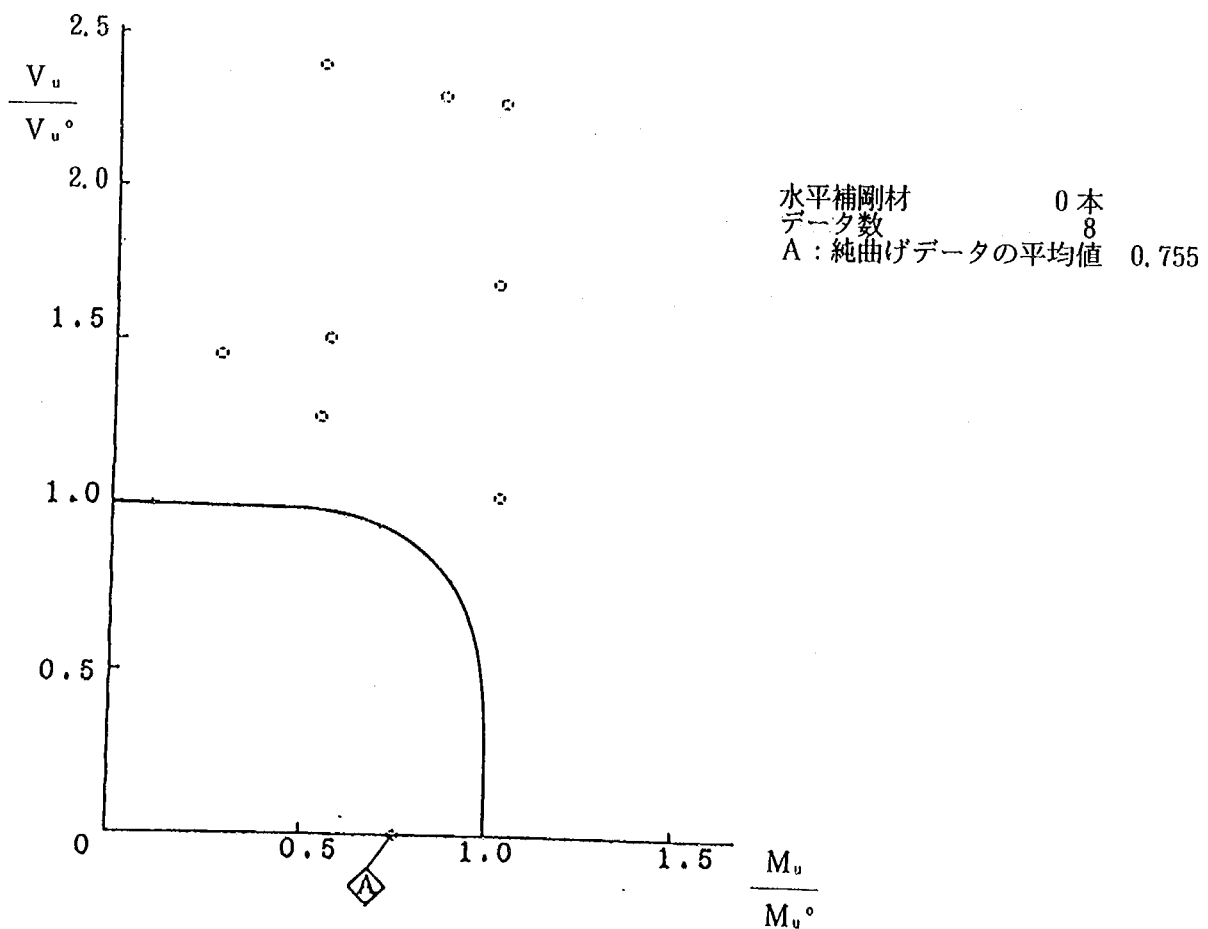


図-3.10 曲げ耐力とせん断耐力の相関関係

ここで、 V_u^0 、 M_u^0 は東海鋼構造研究グループによる実験式^{4,5)}により計算されるせん断耐力、曲げ耐力である(2.4節参照)。

なお、荷重タイプが純曲げのものについては、それぞれ M_u/M_u^0 、 V_u/V_u^0 の平均値を算出し、 M_u/M_u^0 軸、 V_u/V_u^0 軸上にプロットしているが、純曲げの耐力の平均値は0.755となっている。

実線は、次式を示している。

$$(M_u/M_u^0)^4 + (V_u/V_u^0)^4 = 1 \quad (3.1)$$

曲げ耐力の平均値は、フランジのねじれ座屈の影響を受けている供試体が含まれていることから小さくなっていると考えられる。せん断耐力については、かなりばらついている。

4 水平補剛材と垂直補剛材の交差部の溶接の有無による耐荷力の相違

4.1 交差部の処理の現状

水平補剛材と垂直補剛材の交差部の処理については諸外国の基準によれば次のとおりである。

イギリス : 腹板の水平補剛材の強度計算において、水平補剛材の連続及び不連続に対して、それぞれ異なる係数が与えられている。また、支点以外の腹板垂直補剛材の規定において“水平補剛材を貫通させるため垂直補剛材に切欠きを設けた場合、垂直補剛材の切欠きの少なくとも片側は、水平補剛材に連結しなければならない”と記述されている。

ドイツ : 垂直補剛材が1つの水平補剛材と連結されていないか、あるいははずれて連結されている場合の考え方が示されている。実情としては、交差部を連結しているようである。⁵⁵⁾

米国 : “水平補剛材は常に腹板の片側のみに取り付けられる。水平補剛材は連続させる必要はなく、垂直補剛材との交差部において切断しても良い”と記述されている。

我が国の道路橋においては、過去において交差部を溶接していたが、現在では溶接施工性を考慮して水平補剛材と垂直補剛材を溶接せず離しておく構造を採用している。道示⁵²⁾(8.6.1 水平補剛材の位置)の解説には“水平補剛材と垂直補剛材は腹板の同じ側に設ける必要はないが、同じ側に設ける場合は、水平補剛材は垂直補剛材間になるべく幅広く設けるのがよい。しかし、垂直補剛材を通して連続あるいは垂直補剛材と密着させなくてもよい”と記述されている。鋼道路橋設計便覧⁵³⁾には、図-4.1に示すように“30mm程度”と記述されている。座屈設計ガイドライン¹⁷⁾には耐荷力を算定する際、水平補剛材と垂直補剛材の交差部が連結されているか否かによる補剛腹板の強度差を考慮する式が示されている。

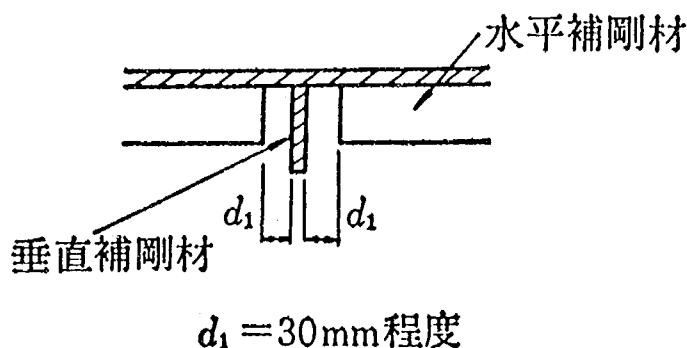


図-4.1 水平補剛材と垂直補剛材の交差部⁵³⁾

4.2 交差部の溶接の有無による耐荷力の相違

水平補剛材と垂直補剛材の交点を溶接により連続構造とするか否かによる耐荷力差について比較検討を行った。検討に用いたデータの寸法諸元と耐荷力を表-4.1~4.3に示す。表中の供試体は、交差部の処理方法が文献の中で明示されている供試体で、かつ道示に規定される水平補剛材の必要剛比以上の水平補剛材を有する供試体である。なお交点を溶接せず、水平補剛材と垂直補剛材を不連続構造とした上下フランジ非対称プレートガーダー供試体の実験データはなかった。表の備考欄には水平補剛材と垂直補剛材の間隔(mm)を示す。なお数値を記入していないものは元文献を調べたが不明であった。

表中の M_u , V_u は、終局耐荷力を示しているが、添字の-maxおよび-cはそれぞれテストパネル内で最大となる位置および中央位置での値を示している

表-4.1 上下フランジ対称プレートガーダーの諸元と耐荷力一覧(交差部を溶接しない)

供試体名	水平補剛材		ウエブ			$M_{u\max}/M_{ult}$	$V_{u\max}/V_{ult}$	f_1	M_{uc}/M_{ult}	V_{uc}/V_{ult}	f_2	国別の分類	備考
	剛度	配置	高さ(mm)	厚さ(mm)	幅厚比								
B-35-1E	1.26	S-1	1115	3.10	360	1.071	0.000	1.071	1.071	0.000	1.071	ヨーロッパ	5mm
PBI	1.03	S-1	800	0.96	833	1.144	1.133	1.354	0.870	1.133	1.221	ヨーロッパ	
MS1	4.07	S-1	608	2.01	302	0.672	1.269	1.293	0.366	1.269	1.271	ヨーロッパ	
LS1-B	1.02	S-2	608	2.10	290	0.597	0.908	0.948	0.302	0.908	0.911	ヨーロッパ	
LS8-B	1.34	S-2	609	2.02	301	0.755	1.120	1.174	0.380	1.120	1.124	ヨーロッパ	
LS5-A	1.54	S-2	608	2.43	250	0.844	0.997	1.124	0.439	0.997	1.006	ヨーロッパ	
LS2-B	1.66	S-2	608	2.10	290	0.680	1.063	1.105	0.340	1.063	1.066	ヨーロッパ	
LS7-B	2.23	S-2	608	2.05	297	0.819	1.223	1.281	0.410	1.223	1.227	ヨーロッパ	
LS3-B	2.38	S-2	608	2.46	247	0.882	1.063	1.171	0.438	1.063	1.071	ヨーロッパ	
LS5-B	3.35	S-2	608	2.43	250	0.962	1.087	1.225	0.478	1.087	1.097	ヨーロッパ	
LS4-A	3.97	S-2	608	2.46	247	0.932	1.054	1.188	0.463	1.054	1.064	ヨーロッパ	
LS4-B	5.11	S-2	608	2.46	247	0.979	1.117	1.254	0.492	1.117	1.127	ヨーロッパ	
SD4	7.26	S-2	594	2.00	297	0.469	1.096	1.105	0.236	1.096	1.097	ヨーロッパ	
PA1	1.24	S-2	1000	3.38	261	1.193	0.967	1.305	0.910	0.967	1.118	ヨーロッパ	
MS2	4.07	S-2	608	2.01	302	0.838	1.121	1.200	0.419	1.121	1.126	ヨーロッパ	
B-22	0.93	S-2	1650	4.67	353	1.020	0.000	1.020	1.020	0.000	1.020	日本	30mm
B-23	4.15	S-2	1650	4.76	347	1.066	0.000	1.066	1.066	0.000	1.066	日本	30mm
B-25	0.83	S-2	1395	4.80	291	1.015	0.000	1.015	1.015	0.000	1.015	日本	30mm
B-26	0.83	S-2	1395	4.80	291	1.045	0.000	1.045	1.045	0.000	1.045	日本	30mm
C-23	4.15	S-2	1650	4.76	347	1.081	0.894	1.190	0.714	0.894	0.974	日本	30mm
C-24	0.90	S-2	1650	4.76	347	1.096	0.906	1.206	0.724	0.906	0.987	日本	30mm
C-26	0.91	S-2	1650	4.73	349	1.073	0.621	1.102	0.817	0.621	0.878	日本	30mm
C-27	0.91	S-2	1650	4.73	349	1.113	0.695	1.153	0.828	0.950	1.065	日本	30mm
C-28	0.91	S-2	1650	4.73	349	1.126	0.806	1.194	0.795	0.806	0.952	日本	30mm
C-29	0.88	S-2	1395	4.60	303	1.116	0.825	1.101	0.794	0.825	0.963	日本	30mm
C-30	0.88	S-2	1395	4.60	303	1.163	0.810	1.226	0.827	0.810	0.974	日本	30mm
S-24	0.91	S-2	1650	4.73	349	0.517	1.036	1.052	0.258	1.036	1.037	日本	30mm
S-25	4.23	S-2	1650	4.73	349	0.502	1.007	1.022	0.251	1.007	1.008	日本	30mm
S-27	0.88	S-2	1395	4.60	303	0.584	1.167	1.185	0.292	1.167	1.168	日本	30mm
S-28	0.88	S-2	1395	4.60	303	0.606	1.169	1.190	0.303	1.169	1.170	日本	30mm
平均値								1.155			1.064		

表-4.2 上下フランジ対称プレートガーダーの諸元と耐荷力一覧(交差部を溶接)

供試体名	水平補剛材		ウエブ			$M_{u\max}/M_{ult}$	$V_{u\max}/V_{ult}$	f_1	M_{uc}/M_{ult}	V_{uc}/V_{ult}	f_2	国別の分類	備考
	剛度	配置	高さ(mm)	厚さ(mm)	幅厚比								
B-25-1	1.34	D-1	795	3.1	256	1.158	0.000	1.158	1.158	0.000	1.158	日本	
B-25-5	9.42	D-1	795	3.1	256	1.280	0.000	1.280	1.280	0.000	1.280	日本	
B-35-1	1.22	D-1	1114	3.1	359	1.122	0.000	1.122	1.122	0.000	1.122	日本	
B-35-1A	1.23	D-1	1114	3.1	359	1.250	0.000	1.250	1.250	0.000	1.250	日本	
B-35-5	8.63	D-1	1115	3.1	360	1.239	0.000	1.239	1.239	0.000	1.239	日本	
S-25-0	9.60	D-1	800	3.2	250	0.622	1.552	1.562	0.409	1.552	1.554	日本	
S-25-5	5.66	D-1	800	3.2	250	0.796	1.370	1.407	0.523	1.370	1.377	日本	
S-35-1	4.88	D-1	1120	3.2	350	0.867	1.373	1.425	0.540	1.373	1.381	日本	
S-35-1A	4.88	D-1	1120	3.2	350	0.867	1.373	1.425	0.540	1.373	1.381	日本	
S-35-5	4.88	D-1	1120	3.2	350	0.857	1.358	1.409	0.534	1.358	1.366	日本	
S-35-1D	4.32	D-1	1120	3.2	350	0.933	1.219	1.312	0.581	1.219	1.234	日本	
S-35-1F	2.88	D-1	1120	3.2	350	1.110	1.208	1.382	0.692	1.208	1.239	日本	
平均値								1.331			1.299		

表-4.3 上下フランジ非対称プレートガーダーの諸元と耐荷力一覧（交差部を溶接）

供試体名	水平補剛材		ウエブ			Mumax/Mult	Vumax/Vult	f1	Muc/Mult	Vuc/Vult	f2	国別の分類	備考
	剛度	配置	高さ(mm)	厚さ(mm)	幅厚比								
AL1	1.68	D-1	675.0	4.8	141	1.393	0.000	1.393	1.393	0.000	1.393	ヨーロッパ	
AL2	1.79	D-1	900.0	4.8	188	1.367	0.000	1.367	1.367	0.000	1.367	ヨーロッパ	
AL3	1.96	D-1	1125.0	4.8	234	1.499	0.000	1.499	1.499	0.000	1.499	ヨーロッパ	
AL4	2.18	D-1	1350.0	4.8	281	1.484	0.000	1.484	1.484	0.000	1.484	ヨーロッパ	
BL1	3.60	D-1	675.0	4.8	141	1.339	0.000	1.339	1.339	0.000	1.339	ヨーロッパ	
BL2	3.37	D-1	900.0	4.8	188	1.367	0.000	1.367	1.367	0.000	1.367	ヨーロッパ	
BL3	3.32	D-1	1125.0	4.8	234	1.421	0.000	1.421	1.421	0.000	1.421	ヨーロッパ	
BL4	3.35	D-1	1350.0	4.8	281	1.392	0.000	1.392	1.392	0.000	1.392	ヨーロッパ	
UG5.1	36.80	D-1	1219.2	3.0	406	0.609	1.377	1.390	0.325	1.377	1.378	ヨーロッパ	
UG5.2	56.90	D-1	1219.2	3.0	406	1.146	1.178	1.382	0.930	1.178	1.279	ヨーロッパ	
UG5.3	44.70	D-1	1219.2	3.0	406	1.376	1.086	1.494	1.153	1.086	1.333	ヨーロッパ	
UG5.4	10.40	D-1	129.2	4.7	27	1.530	1.126	1.632	1.229	1.126	1.404	ヨーロッパ	
UG5.5	22.10	D-1	1219.2	4.7	259	1.230	1.074	1.379	1.042	1.074	1.259	ヨーロッパ	
UG5.6	10.40	D-1	1219.2	4.7	259	0.715	1.301	1.330	0.381	1.301	1.303	ヨーロッパ	
A-1	2.25	S-1	670.0	3.2	209	0.520	1.264	1.273	0.360	1.264	1.266	日本	
A-2	2.00	S-1	750.0	3.2	234	0.501	1.226	1.234	0.340	1.226	1.228	日本	
A-3	2.00	S-2	750.0	3.2	234	0.516	1.115	1.128	0.350	1.115	1.118	日本	
A-4	1.80	S-1	830.0	3.2	259	0.521	1.306	1.314	0.348	1.306	1.308	日本	
A-5	1.80	S-2	830.0	3.2	259	0.528	1.141	1.154	0.352	1.141	1.144	日本	
B-1	10.60	S-1	670.0	3.3	203	2.179	0.000	2.179	2.179	0.000	2.179	日本	
B-2	10.10	S-1	670.0	3.4	197	2.112	0.000	2.112	2.112	0.000	2.112	日本	
B-3	8.89	S-1	750.0	3.4	221	2.056	0.000	2.056	2.056	0.000	2.056	日本	
B-4	9.10	S-1	750.0	3.3	227	2.252	0.000	2.252	2.252	0.000	2.252	日本	
B-5	8.36	S-1	830.0	3.4	244	2.131	0.000	2.131	2.131	0.000	2.131	日本	
B-6	7.76	S-1	830.0	3.4	244	2.251	0.000	2.251	2.251	0.000	2.251	日本	
平均値								1.558			1.530		

注1) 水平補剛材の剛度：道示規定の必要剛比に対する比

2) 水平補剛材の配置：Sはウェブの片側に配置，Dはウェブの両側に配置，1は1段，2は2段配置していることを示す。

3) Mumax, Muc：それぞれテストパネル位置における最大曲げモーメント，テストパネル中央位置における曲げモーメントの実験値を示す。

4) Vumax, Vuc：テストパネル位置におけるせん断力の実験値を示す。

5) Mult, Vult：供試体テストパネル部諸元に対する曲げ耐荷力，せん断耐荷力の計算値を示す。

6) f1, f2：曲げとせん断を受ける場合の実験値と計算値との比。4次の理論相関曲線による値を1とした場合の実験値の比率で示す。

$$f_1 = \sqrt[4]{\left(\frac{Mumax}{Mult}\right)^4 + \left(\frac{Vumax}{Vult}\right)^4}$$

$$f_2 = \sqrt[4]{\left(\frac{Muc}{Mult}\right)^4 + \left(\frac{Vuc}{Vult}\right)^4}$$

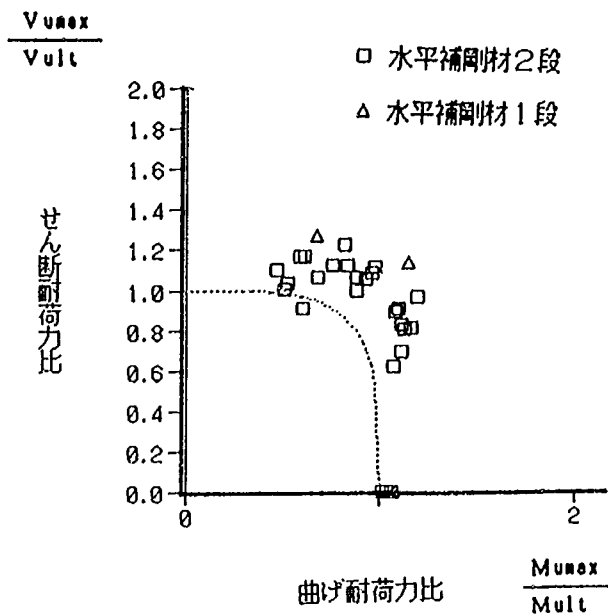
図-4.2～4.4の内容はそれぞれ次のとおりである。

図-4.2：交差部を溶接せず，水平補剛材と垂直補剛材を不連続構造とした上下フランジ対称プレートガーダー供試体に対する曲げ耐荷力とせん断耐荷力の相関関係

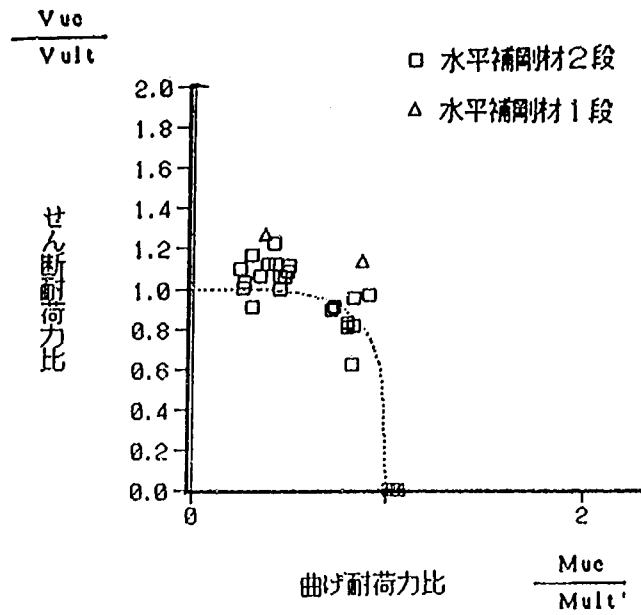
図-4.3：交差部を溶接し，水平補剛材と垂直補剛材を連続構造とした上下フランジ対称プレートガーダー供試体に対する曲げ耐荷力とせん断耐荷力の相関関係

図-4.4：交差部を溶接し，水平補剛材と垂直補剛材を連続構造とした上下フランジ非対称プレートガーダー供試体に対する曲げ耐荷力とせん断耐荷力の相関関係

図の横軸および縦軸の曲げ及びせん断耐荷力は，実験値Mumax, VumaxあるいはMuc, Vucを計算値Mult, Vult⁵⁾で無次元化して示した値である。図中には，縦軸と横軸の相関式を示してある。

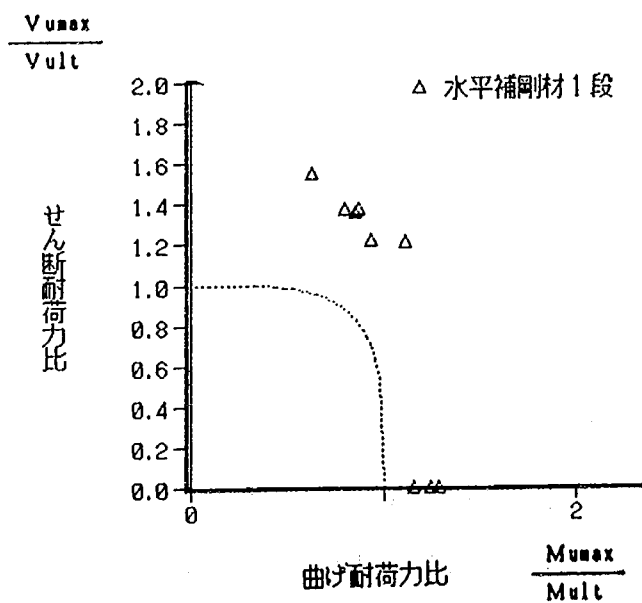


(a) 曲げモーメントはテストパネル部最大値

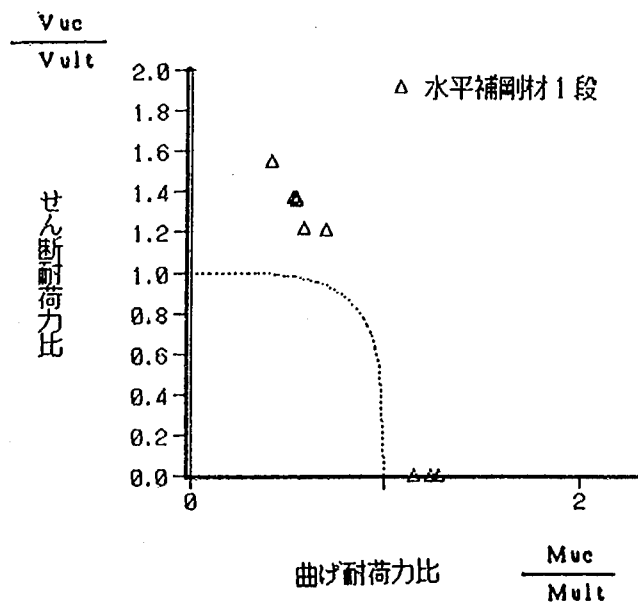


(b) 曲げモーメントはテストパネル部中央位置での値

図-4.2 上下フランジ対称プレートガーダーの曲げ耐力とせん断耐力の相関関係
(交差部は溶接なし)

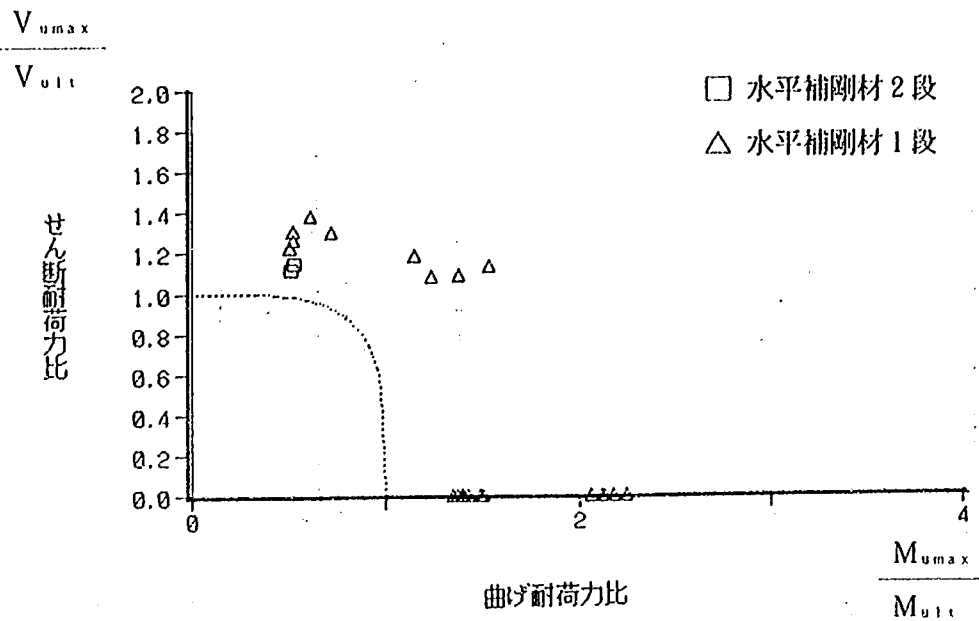


(a) 曲げモーメントはテストパネル部最大値

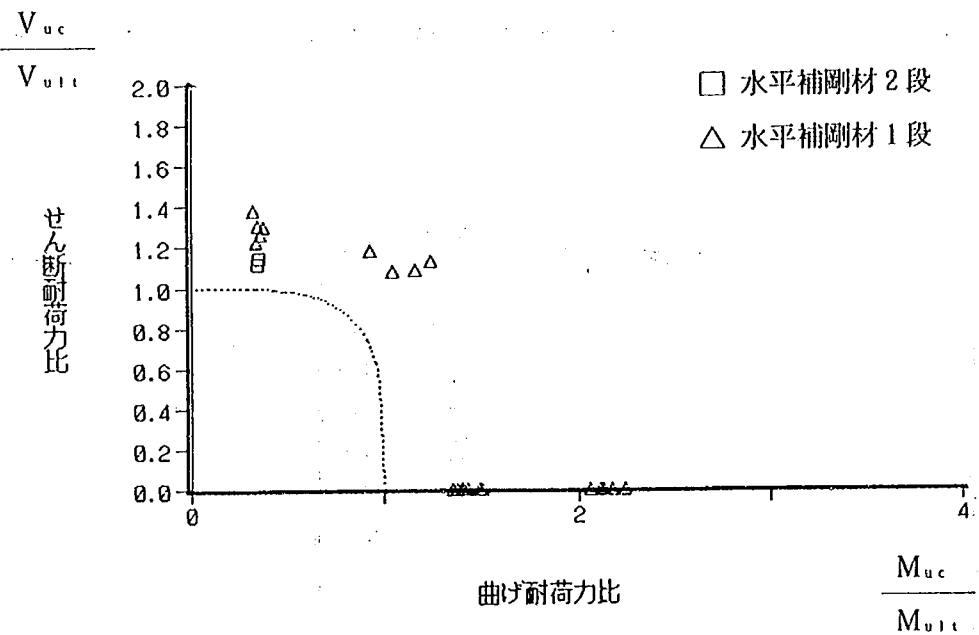


(b) 曲げモーメントはテストパネル部中央位置での値

図-4.3 上下フランジ対称プレートガーダーの曲げ耐力とせん断耐力の相関関係
(交差部は溶接)



(a) 曲げモーメントはテストパネル部最大値



(b) 曲げモーメントはテストパネル部中央位置での値

図-4.4 上下フランジ非対称フレートガーダーの曲げ耐力とせん断耐力の相関関係
(交差部は溶接)

これらの図によれば、交差部を溶接した方が若干耐力は大きくなる傾向にある。水平補剛材と垂直補剛材の交点の溶接の有無による強度差を表-4.1, 4.2中に示す f_2 (表-4.1~4.3の注を参照)の平均値を用いて比較すると、両者の f_2 の差は22%($1.22 \approx 1.299/1.064$)であり、溶接により水平補剛材と垂直補剛材を連続構造とすることによって f_2 が増す傾向にある。ただし f_2 の差は同一の諸元の供試体について比較したものでなく、これらのデータから耐力力の差が交差部の処理方法の相違のみによるとは必ずしも言い難い。

ここで表-4.2の供試体名がB-0-0およびS-0-0の供試体は長谷川等の実験⁸⁾によるものであるが、B-35-0シリーズについては、次のとおりほぼ同一諸元の供試体となっている。

B-35-1 供試体：水平補剛材1段をウェブの両側に配置 ($\gamma_h/\gamma_{hreq}=1.22$) し、水平補剛材と垂直補剛材の交点を溶接している供試体。

B-35-1E 供試体：B-35-1供試体と同一形状で、水平補剛材の剛比として同程度の剛比とし、水平補剛材1段をウェブの片側に配置 ($\gamma_h/\gamma_{hreq}=1.26$) し、水平補剛材と垂直補剛材の交点を溶接しないで不連続構造とした供試体。交差部の間隔は5mm。

B-35-5 供試体：水平補剛材1段をウェブの両側に配置 ($\gamma_h/\gamma_{hreq}=8.50$) し、水平補剛材と垂直補剛材の交点を溶接している供試体。

B-35-1A 供試体：水平補剛材1段をウェブの両側に配置 ($\gamma_h/\gamma_{hreq}=1.24$) し、水平補剛材と垂直補剛材の交点を溶接している供試体。(焼鈍により残留応力を除去した供試体)

ここに、 γ_h ：水平補剛材の剛比、 γ_{hreq} ：道示に規定される水平補剛材の必要剛比

断面形状および交差部の構造を図-4.5に示す。また図-4.6に荷重-変位曲線、図-4.7に荷重-たわみ曲線を示す。

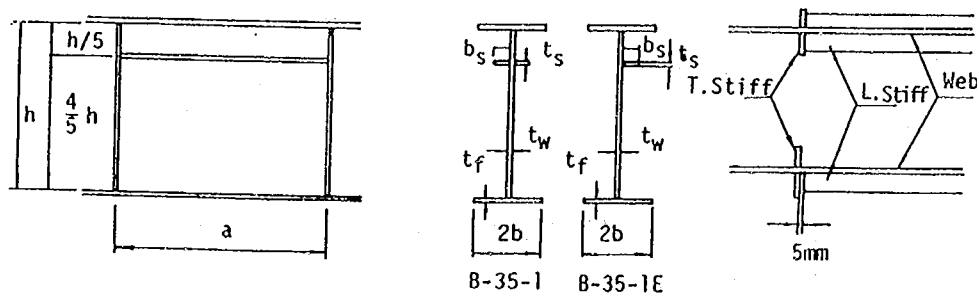


図-4.5 断面形状および交差部の構造⁸⁾

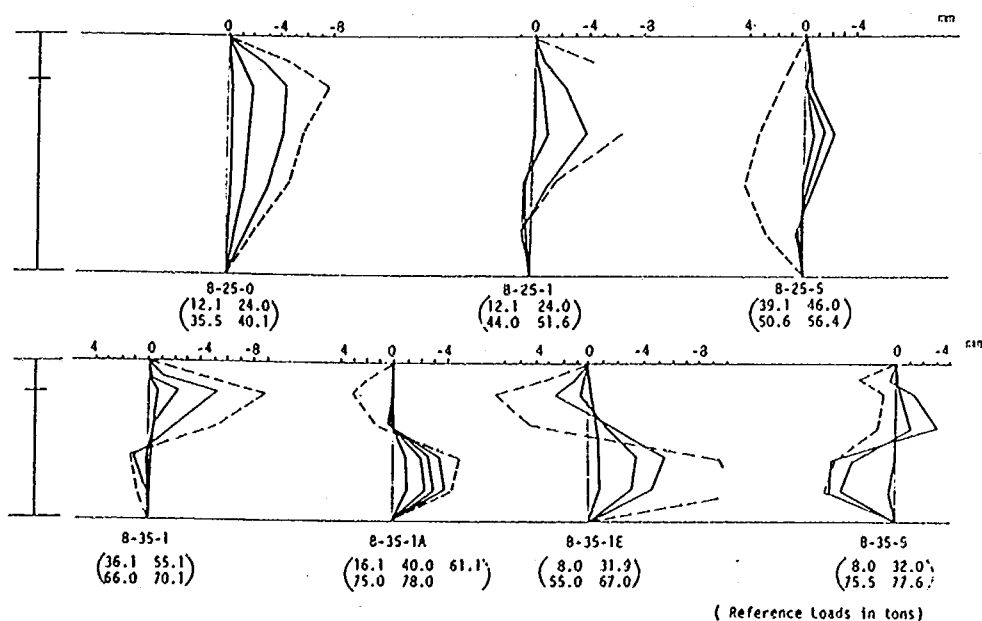


図-4.6 ウェブの面外変位⁸⁾

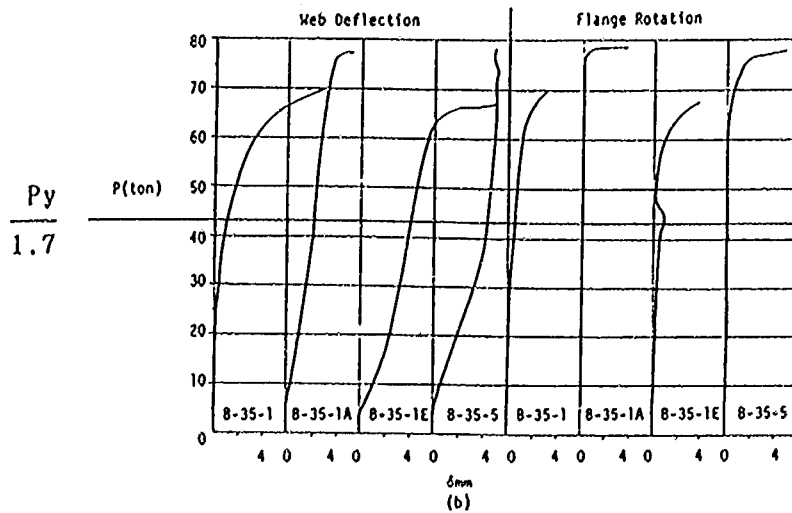


図-4.7 荷重—たわみ曲線⁸⁾

文献8)によればB-35-1E供試体の曲げ耐荷力はB-35-1供試体に比べ約5%耐荷力が低く、面内曲げ終局時におけるウェブの面外変位も大きくなっている。またB-35-1E供試体の曲げ耐荷力が低下したのは、ウェブに対する面内曲げが補剛ウェブに対しては偏心曲げになったためと推測している。またその原因について片側取付けというより、垂直補剛材の不連続構造に起因し、水平補剛材が垂直補剛材と連続している場合には、構造的に水平補剛材が非対称配置されていても力学的には面内曲げに対する偏心は存在せず、非対称配置でかつ垂直補剛材と連続していない場合にのみその偏心が発生することによると推測している。

ここで、載荷荷重の低い段階 ($P_y/1.7$ 程度の荷重；フランジが許容応力度に達する荷重) に着目すると、図-4.6、図-4.7よりB-35-1、B-35-1E、B-35-5について変位およびたわみに大きな差は見られない。特にB-35-1と同一構造で水平補剛材の剛度のみ7倍であるB-35-5とB-35-1Eの違いは見られないことから、交差部の溶接の有無による面外変形の差については設計上、問題にならないと考えられる。

また、B-35-1とB-35-1Eは、水平補剛材の取付け方も両側配置と片側配置と異なっており、B-35-1について水平補剛材の剛度を同じにして片側配置した場合には、交差部の溶接の有無による耐荷力の差は5%よりもさらに小さくなると考えられる。

5 ま と め

過去に国内外で行なわれたプレートガーダー供試体314体のデータについて、上下フランジが対称な桁計267体と上下フランジが非対称な桁計47体に分けて分析を行なった。以下に主な結果を示す。

(1) データ内訳

①対称桁について

- ・テストパネル部に水平および垂直補剛材を有しない供試体（以下、無補剛供試体と呼ぶ）は194体、水平補剛材1本の供試体は33体、2本の供試体は40体である。
- ・水平補剛材2本の供試体40体のうち、18体は土木研究所で実施した実験データである。
- ・水平補剛材と垂直補剛材をウェブをはさんで反対側の面に取り付けた供試体はない。
- ・水平補剛材の配置間隔比が道示の規定（水平補剛材1本の場合20：80，水平補剛材2本の場合14：22：64）と同一の供試体は、水平補剛材1本の供試体は21体（純曲げ12体，純せん断1体，曲げせん断8体）あるが，水平補剛材2本の供試体はない。

②非対称桁について

- ・無補剛供試体は13体，水平補剛材1本の供試体は23体，水平補剛材2本を有する供試体は8体である。
- ・水平補剛材の配置間隔比が道示の規定（水平補剛材1本の場合20：80，水平補剛材2本の場合14：22：64）と同一の供試体は，水平補剛材1本の供試体は8体（全て純曲げ）あるが，水平補剛材2本の供試体はない。
- ・水平補剛材が0本で，荷重載荷状態が純せん断の供試体はない。
- ・水平補剛材と垂直補剛材をウェブをはさんで反対側の面に取り付けた供試体はない。

(2) 座屈パラメータと耐荷力の関係

次の座屈パラメータを用いて耐荷力との関係を調べた結果を示す。

- フランジねじれ座屈パラメータ λ_{TB}
- フランジ水平座屈（横倒れ座屈）パラメータ λ_{LB}
- ウェブ曲げ座屈パラメータ λ_o
- ウェブせん断座屈パラメータ λ_s

①対称桁について

- ・フランジねじれ座屈折パラメータおよびフランジ水平座屈パラメータの値は全データについて1以下であり，各桁はこれらの座屈の影響を受けていないと考えられる。
- ・無補剛供試体の曲げ耐荷力 M_u/M_y とウェブ曲げ座屈パラメータ λ_o との関係は，最小2乗法により次式で表される。

$$M_u/M_y = 1.0 \quad (\lambda_o < 1.253)$$

$$M_u/M_y = 1.099 - 0.079 \lambda_o \quad (\lambda_o \geq 1.253)$$

- ・上式の直線の傾きは比較的小さく、ウェブ曲げ座屈パラメータ λ_r の増加に対して曲げ耐荷力はあまり低下しない。
- ・上式について、ウェブの降伏強度をSS41材相当 ($\sigma_{yw}=2400\text{kg/cm}^2$)、テストパネル上下縁の応力比を $\phi=-1$ とすると、 $M_u/M_y=1.0$ に相当するウェブ幅厚比 b_w/t_w は172となり、道示の規定値152よりも大きくなっている。
- ・無補剛供試体のせん断耐荷力 V_u/V_y とウェブせん断座屈パラメータ λ_r との関係は、最小2乗法により次式で表わされる。

$$V_u/V_y=1.0 \quad (\lambda_r < 0.926)$$

$$V_u/V_y=0.472+0.489/\lambda_r \quad (\lambda_r \geq 0.926)$$

- ・上式について、ウェブの降伏強度をSS41材相当 ($\tau_{yw}=\sigma_{yw}/\sqrt{3}=1386\text{kg/cm}^2$)、ウェブのアスペクト比を $\alpha=0.606$ とすると、 $V_u/V_y=1.0$ に相当するウェブの幅厚比 b_w/t_w は148となり、道示の規定値152に対して若干小さくなっている。
- ・ウェブせん断座屈パラメータが同一の場合には、ウェブのアスペクト比 α が変化しても耐荷力はほとんど変わらない。

②非対称桁の場合

- ・フランジねじれ座屈パラメータが1以上の供試体が2体存在し、これらの供試体についてはフランジねじれ座屈の影響を受けていると考えられる。

(3) 水平補剛材と垂直補剛材の交差部の溶接の有無による耐荷力の相違

- ・同一の諸元の供試体で交差部の構造のみが異なるものは長谷川等の実験データのみであった。
- ・寸法諸元の異なる供試体を含めて、交差部を溶接した供試体と交差部を溶接せずに離れた供試体とを比較した結果、交差部を溶接した供試体の方が終局耐荷力は若干大きくなる傾向にある。
- ・長谷川等の実験結果によると、以下に示すB-35-1E供試体の曲げ耐荷力はB-35-1供試体に比べ約5%低く、終局荷重時におけるウェブの面外変位も大きくなっている。

B-35-1 供試体：水補剛材1段をウェブの両側に配置し、水平補剛材と垂直補剛材の交点を溶接している供試体。 ($\gamma_h/\gamma_{hreq}=1.22$)

B-35-1E 供試体：B-35-1供試体と同一形状で、水平補剛材の剛比として同程度の剛比とし、水平補剛材1段をウェブの片側に配置し、水平補剛材と垂直補剛材の交点を溶接しないで不連続構造とした供試体。交差部の間隔は5mm。 ($\gamma_h/\gamma_{hreq}=1.26$)

ここに、 γ_h は水平補剛材の剛比、 γ_{hreq} は道示に規定される水平補剛材の必要剛比を示す。

しかしながら載荷荷重の低い段階 ($P_y/1.7$ 程度の荷重；フランジが許容応力度に達する荷重) に着目すると、B-35-1、B-35-1E、B-35-5(B-35-1と同一構造で水平補剛材の剛度のみ約7倍) の3体の間にウェブの面外変形量、桁のたわみ量の違いが見られないことから、設計荷重の範囲ではほとんど交差部の溶接の有無による面外変形および耐荷力の低下は問題にならないと考えられる。

謝 辞

既存の耐荷力実験データを分析するにあたり、大阪大学の福本教授、中部大学の塩見助教授から333体の既存のプレートガーダー耐荷力実験データのデータベース⁴²⁾を拝借し利用させていただいた。ここに感謝致します。

参 考 文 献

1. 森脇良一・藤野真之：初期不整を有するプレートガーダーの純曲げ強度に関する実験的研究，土木学会論文報告集，No.264，1977年8月。
2. P. S. Carskaddan : Bending of Deep Girders with A514 Steel Flanges, Proc. of ASCE, Vol. 95, No. ST 10, Oct., 1969.
3. H. Shiomi : Static Ultimate Strength of Plate Girders in Bending Memoirs of Chubu Institute of Technology, Vol. 14-A, Dec., 1978, pp. 119-128.
4. 秋田好男・藤井登喜夫：座屈を考慮した最小重量設計第2報，日本造船学会論文集No.120，1966年12月。
5. K. Basler, B. T. Yen, J. A. Muller, and B. Thurlimann : Web Buckling Tests on Welded Plate Girders, WRC Bulletin, Series No. 64, Sept., 1960.
6. 小西一郎・米沢博・三上市蔵：プレートガーダーの曲げ弾性座屈，土木学会論文集，No. 143，1967年7月。
7. 森脇良一・藤野真之・森修：プレートガーダーのフランジ剛度が耐荷力に及ぼす影響に関する実験的研究，橋梁の極限設計研究班研究資料 No. 122.
8. 長谷川彰夫・西野文雄・奥村敏恵：水平補剛材を有するプレートガーダーの曲げ耐荷力実験，土木学会論文報告集，No. 234，1975年2月。
9. 前田幸雄・川井豊：上下非対称水平補剛材を有する完全ハイブリッドプレートガーダーの曲げ耐荷力に関する実験的研究，大阪大学，1971年6月。
10. M. A. D Apice, D. J. Fielding, and P. B. Cooper : Static Test on Longitudinally Stiffened Plate Girders, Bulletin No. 117, Welding Research Council, New York N. Y., Oct., 1966.
11. P. J. Patterson, J. A. Corrade, J. S. Huang, and B. T. Yen : Proof-Tests of Two Slender-Web Welded Plate Girders, Fritz Engineering Laboratory Report, No. 327. 7, 1969.
12. 森脇良一・藤野真之：初期不整を有するプレートガーダーのせん断強度に関する実験的研究，土木学会論文報告集，No. 249，1976年5月。
13. P. B. Cooper, H. S. Lew, and B. T. Yen : Welded Constructional Alloy Steel Plate Girders, Proc. of ASCE, Vol. 90, Stl, Feb., 1964, pp. 1-36.
14. 坂井藤一・土井和彦・西野文雄・奥村敏恵：大型試験体によるプレートガーダーの耐荷力実験，第21回土木学会年講概要集，1966年5月。
15. 坂井藤一・越川正彦・関沢昭房・西野文雄・奥村敏恵：桁高の低いプレートガーダーのせん断耐荷力実験，第22回土木学会年講概要集，1967年5月。
16. 奥村敏恵・森下光政・佐伯晃一：プレートガーダーの座屈後挙動について，第20回土木学会年講概要集，1965年5月。
17. 関西橋梁鉄骨溶接研究会：プレートガーダーの耐荷力に関する理論と実験，1965年7月。
18. 佐伯晃一：プレートガーダーのウェブのせん断強さについて，東大奥村研究室研修報告（未発表），1975年5月。
19. 森脇良一・藤野真之：初期不整を有するプレートガーダーの組み合わせ強度に関する実験的研究，土

木学会論文報告集, No.269, 1978年1月.

20. E. Longbottom, and J. Heyman : Experimental Verification of the Strengths of Plate Girders Designed in Accordance with the Revised British Standard 153 Tests on Full-Size and on Model plate Girders, Proc. of ICE, Vol.5, Part III, 1956, pp.462-521.
21. 藤井登喜男 : I H I 実験データ, 日本鋼構造協会座屈小委員会プレートガーダー班資料No.20, 1967年, 未公刊.
22. K. C. Rockey, and M. Skaloud : The Ultimate Load Behaviour of Plate Girders Loaded in Shear, The Structural Engineer, Vol.50, No.1, Jan., 1972.
23. P. B. Cooper : Strength of Longitudinally Stiffened Plate Girders, Proc. of ASCE, Vol.93, No.ST2, April, 1967.
24. 長谷川彰夫・西野文雄・奥村敏恵 : 水平補剛材を有するプレートガーダーのせん断耐荷力, 土木学会論文報告集, No.235, 1975年3月.
25. W. Schueller and A. Ostapenko : Tests on a Transversely Stiffened and on a Longitudinally Stiffened Unsymmetrical Plate Girder, Fritz Engineering Laboratory Reprint, No.70-21, Nov1970.
26. F. Nishino, and T. Okumura : Experimental Investigation of Strength of Plate Girders in Shear, 8th Congress IABSE, New York, 1968.
27. J. R. Dimitri and A. Ostapenko : Pilot Tests on the Static Strength of Unsymmetrical Plate Girders, Fritz Engineering Laboratory Reprint, No.70-21 Nov, 1970.
28. I. Lyse, and H. J. Godfrey : Investigation of Web Buckling in Steel Beams, Trans. ASCE, Vol. 100, 1935.
29. K. H. Tang, and H. R. Evans, Transverse Stiffeners for plate Girder Webs-an Experimental Study, J. of Constructional Steel Research, Vol.4, No.4, 1984.
30. K. C. Rockey, and G. Valtinat : The Design of Transverse Stiffeners on Webs Loaded in Shear-an Ultimate Load Approach, Proc. Instn. Civ. Engrs, Part 2, Vol.71, Dec., 1981. pp.1069-1099.
31. S. Komatsu : Ultimate Strength of Stiffened Plate Girders Subjected to Shear, Final Report, Proc. 8th Congress, IABSE, New York, Sept., 1971, pp.49-65.
32. P. S. Carskaddan : Shear Buckling of Unstiffened Hybrid Beams, J. of Structural Div., Proc. of ASCE, Vol. 94, No.ST8, Aug., 1968.
33. 長谷川彰夫・和田耕造・西野文雄 : ウェブの剛性に注目したプレート・ガーダーの曲げ耐荷力実験, 土木学会論文報告集, No.305号, 1981年1月.
34. 土木研究所資料 第2533号 プレートガーダー耐荷力実験報告, 1987年12月.
35. H. R. Evans and K. H. Tang : The Influence of Longitudinal Web Stiffeners Upon the Collapse Behaviour of Plate Girders, J. of Construct. Steel Research, No.4, 1984.
36. H. Nakai and M. Sakano : An Experimental and Analytical Study on Ultimate Strength of End Transverse Stiffener in Plate Girder Bridges, Memoirs of the Faculty of Engineering, Osaka City University, Vol.26, Dec. 1985, pp.207-231.

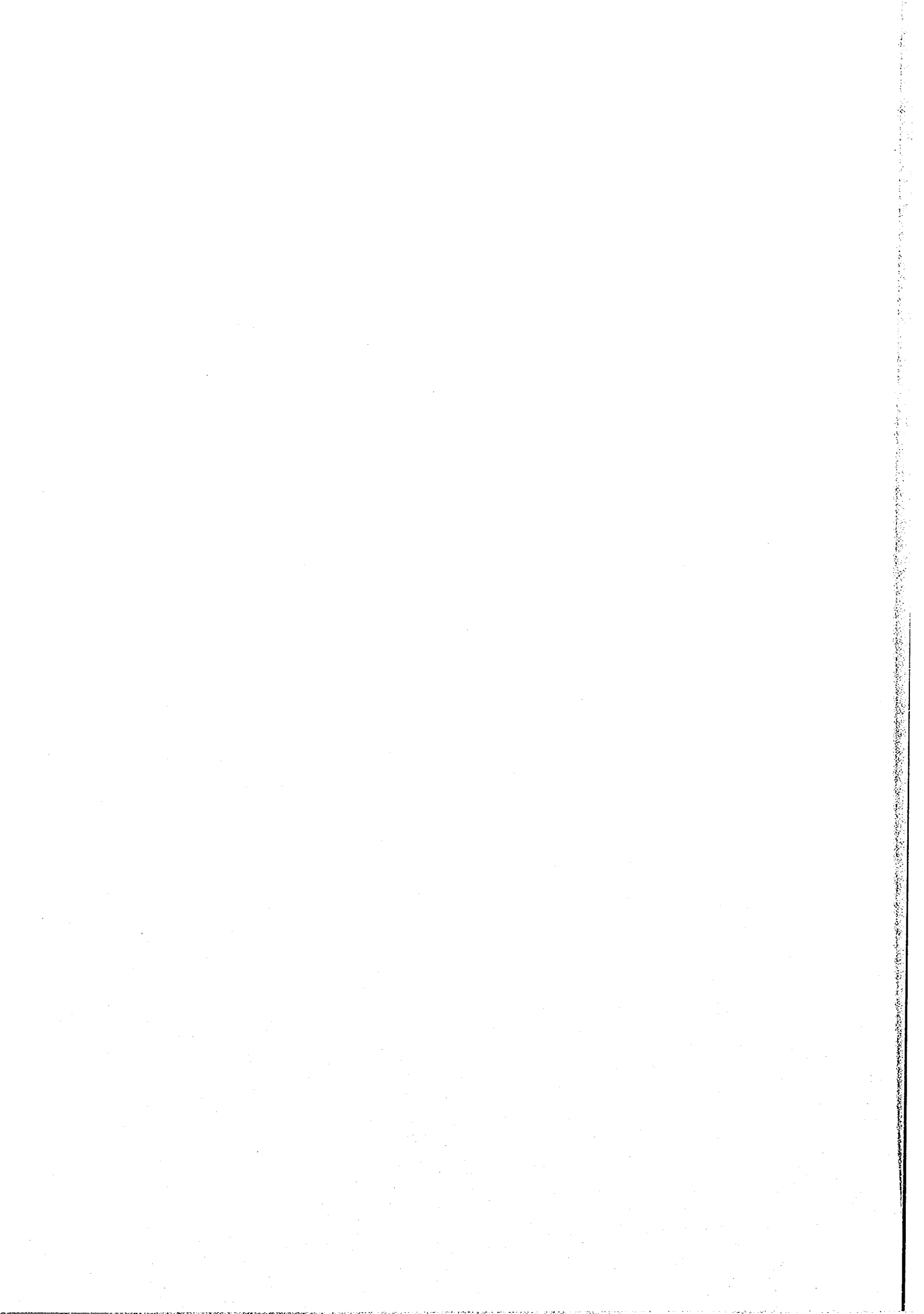
37. H. R. Evans : An appraisal, by Full-Scale Testing of New Design Procedures for Steel Girders subjected to Shear and Bending, Proc. Inst. Civ. Engrs, Part2, June 1986.
38. H. R. Evans and K. H. Tang : Longitudinal Stiffeners for Girder Webs ; Their Behaviour and Design, J. of Constr. Steel Research, No6, 1986.
39. K. C. Rockey, H. R. Evans, and D. M. Porter : Tests on Longitudinally Reinforced Plate Girders Subjected to Shear, Stability of Steel Structures Preliminary Report, Liege 13~15 Apr. 1977.
40. T. Hoglund : Simply Supported Long Thin Plate I Girders without Web Stiffeners Subjected to Distributed Transverse Load, IABSE Colloquium, London, 1971.
41. 土木研究所, (S55~58, 63年度供試体) 未発表.
42. 塩見弘幸・伊藤義人・福本喙士 : プレートガーダーの耐荷力実験データの調査, 構造工学論文集, Vol. 33A, 1987年3月.
43. 福本喙士・伊藤義人 : 鋼構造部材の耐荷力評価システムのための数値データバンクの作成と利用, 土木学会論文報告集, 第312号, 1981年8月.
44. 三上・木村・山田 : 設計のためのプレートガーダーの終局強度の算定法, 構造工学論文集, Vol. 35A, 1989年3月.
45. 東海鋼構造研究グループ : 鋼構造部材の抵抗強度の評価と信頼性への適用 (下), 橋梁と基礎, 1980年12月.
46. 南港大橋実験データ.
47. 土木学会 : 座屈設計ガイドライン, 1987年10月.
48. 塩見弘幸・福本喙士 : 実験データによるプレートガーダーの終局限界強度式の検討, 構造工学論文集, Vol. 34A, 1988年3月.
49. BS5400 : Steel, Concrete and Composite Bridges, Part3. Code of Practice for Design of Steel Bridges, British Standards Institution, 1982. ((注)建設コンサルタンツ協会近畿支部長大鋼橋研究委員会訳 : BS5400 3編 鋼橋の設計指針, 1982年4月)
50. DAST-Richtlinie 012 Beulsicherheitsnachweise für Platten, Deutscher Ausschuss für Stahlbau, Oktober, 1979. ((注)建設コンサルタンツ協会近畿支部長大鋼橋研究委員会訳 : DAST指針012板の座屈安全度の照査, 1981年12月)
51. AASHTO : Standard Specifications for Highway Bridges, 1977. ⁱ(長大橋技術研究会設計分科会訳 : 米国道橋示方書 (訳) 鋼橋上部工関連部分の抜粋, 1979年10月)
52. 日本道路協会 : 道路橋示方書・同解説, I 共通編・II 鋼橋編, 1990年2月.
53. 日本道路協会 : 鋼道路橋設計便覧, 1980年8月.
54. 長大橋技術研究会 : 鋼道路橋設計資料, 基準・標準図の比較, 1989年11月.
55. ドイツ鋼構造委員会 (Deutscher Ausschuss für Stahlbau) 委員, 同座屈委員会委員長のScheer西独ブラウンシュバイク工科大学教授コメント (1989年3月土研来所時)
56. 三上市蔵編 : 薄板構造の強度と設計に関する調査研究, 土木学会関西支部共同研究グループ最終報告書, 1989年6月.

付録

1. 耐荷力実験に関する既存の文献
2. 載荷状態とテストパネルの形状一覧
3. データベースに登録されているデータ

注) ・参考文献 10 番は未入手のため，付録の 1.， 2. には記載していない。
・付録 1 の供試体名，供試体数の欄で，（ ）で示される供試体は，本報告書では対象外としており，データベースにも登録していない。

1. 耐荷力実験に関する既存の文献



文献番号	No. 1
文献名, 著者名	初期不整を有するプレートガーダーの純曲げ強度に関する実験的研究 (土木学会論文報告集264号, 1975. 1) 森脇良一, 藤野真之
実験目的	ウェブの溶接によるやせ馬が0～6mm(ウェブ厚相当)のプレートガーダーに発生する残留応力と, プレートガーダーの純曲げ強度との関係を純曲げ試験により把握する。さらに本研究によって得られたプレートガーダーの曲げ座屈強度および崩壊強度に関する実験式と道路橋示方書を比較し, プレートガーダーの設計・製作を適性化するための一つの方向付けを行う。 実験に用いた供試体の種類は以下のとおり。 ①ウェブパネルの形状 ウェブの幅厚比130～300の4種(130標準) ②使用材料 SM41B, SM50B, SM58Q, SM58N ③圧縮フランジのねじれ剛性 AQ, E, G, Hの4種類 ④横構間隔 $L=0.79\sim7.00\text{m}$の6種類
実験結果	(1)供試体の初期変形は, 2～3体を除けばいずれも一方向に半波の波形を呈する。 (2)荷重の増加に伴って生ずるウェブの変形は, 初期変形と同一方向に生ずる。 (3)崩壊モードは本実験の範囲($4.6\leq\phi\leq11.4$, $-1.7\leq C\leq-1.0$, $0.4\leq\lambda_1\leq3.5$, $0.35\leq\lambda_T\leq0.6$)では, 圧縮フランジの水平座屈とねじれ座屈の2種類で垂直座屈は生じない。 (4)ウェブの純曲げ強度の実験式は, 弾性座屈領域ではウェブの座屈パラメーター(ϕ), 上下縁応力比(C), 最大初期変位量δ_wの関数で与えられ, 非弾性座屈領域では, さらに残留応力σ_wを加えた関数により示される。 (5)道示と比較すると, 弾性域では実験式の方が座屈強度が大きい, 非弾性域では必ずしもそうならない。崩壊強度は実験式の方が数%～30%高い。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	AQBX1, AQBX2, AQBY1, AQBY2, GBX1, GBX2, GBY1, GBY2, GBY11T, GBY21T, (EBX2), (EBY1), (EBY2), (EBY1-20-1), (EBY1-20-2), (EBY1-20-3), (EBY1-20-4), (EBY1-30), (EBY1-11), (EBY1-2), 水平補剛材なし 10体 ()内は対象外

文献番号	No. 2
文献名, 著者名	Bending of Deep Girders With A514 Steel Flanges Journal of the Structural Division Ost. 1969 Phillip S. Carskaddan
実験目的	純曲げを受ける鋼プレートガーダーについては、鉛直座屈を起こさない様なウェブの幅厚比 β を決定する式がAISCで規定されている。 A514鋼フランジを有するプレートガーダーに適用すると β の限界値は、130となるが、著者らは、もっと高い β の値を用いても安全で、経済性も向上すると考える。 これを証明し、更にウェブの応力の非線形性を考慮した式が現実的であることを示すため、前述のプレートガーダーについて $\beta = 200 \sim 300$ のものを実験した。
実験結果	A514のフランジを持つプレートガーダーが同種のウェブを持つものを2コ (M-AA1, M-AA2), 異種のウェブを持つものを2コ (M-AC1, M-AC2) 用いた。崩壊は全て圧縮フランジでおこったが、結果は、M-AA1 ($\beta = 192$) は、パネルのnorth側端近くの局部座屈、M-AA2 ($\beta = 252$) は、パネル全体の局部座屈、M-AC1 ($\beta = 212$) は、局部、鉛直座屈の連成、M-AC2 ($\beta = 300$) はパネル中央の鉛直座屈となった。又、ステフナーがウェブ高と同量の面積を持つ時、$\beta = 250$ 程度で圧縮フランジが座屈をおこす前に降伏モーメントに達した。
国別の分類	1. Europe ② North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	M-AA1, M-AA2, M-AC1, M-AC2 水平補剛材なし 4体 計4体

文献番号	No. 3																						
文献名, 著者名	Static Ultimate Strength of Plate Girders in Bending H. Shiomi Des. 1978. Memoirs of Chubu Institute of Technology																						
実験目的	内容：曲げを受けるプレートガーダーの静的終局強度について特に圧縮フランジが鉛直座屈をおこす時のウェブの座屈挙動について実験した。 注目点：(1)ウェブの初期たわみと荷重の増加によるたわみの方向。 (2)板としての座屈係数と曲げによるプレートガーダーの静的終局強度との関係。 (3)ウェブの幅厚比の変化と材料定数との関係。 供試体：h/tw=150, 209 それぞれa/h=0.5, 0.75, 1.0, 1.25, 1.50の計2×5=10ケース ここでh：ウェブ高, tw：ウェブ厚, a：テストパネル長																						
実験結果	1. 結果 <table><tr><td>a/h</td><td>0.5</td><td>0.75</td><td>1.0</td><td>1.25</td><td>1.50</td></tr><tr><td>150シリーズ</td><td>1.02</td><td>1.03</td><td>0.89</td><td>0.86</td><td>0.99</td></tr><tr><td>209シリーズ</td><td>0.90</td><td>0.96</td><td>0.91</td><td>0.90</td><td>0.92</td></tr></table> 値は, must/myで示した。must：実験値 my：降伏モーメント 150シリーズでは, a/h=0.5, 0.75で降伏モーメントを越えた。 209シリーズでは, ほぼmust/my0.9～0.96の間である。 2. 注目点の考察 (1)ウェブの初期たわみは, 曲げによる静的終局強度に影響しない。 (2)上の表から板としてのa/hは静的終局強度に影響しない。 (3)h/twを定数として, ウェブの終局座屈強度を得ることが可能。					a/h	0.5	0.75	1.0	1.25	1.50	150シリーズ	1.02	1.03	0.89	0.86	0.99	209シリーズ	0.90	0.96	0.91	0.90	0.92
a/h	0.5	0.75	1.0	1.25	1.50																		
150シリーズ	1.02	1.03	0.89	0.86	0.99																		
209シリーズ	0.90	0.96	0.91	0.90	0.92																		
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan																						
供試体名, 供試体数	B. 150.1, B. 150.2, B. 150.3, B. 150.4, B. 150.5, B. 209.1, B. 209.2, B. 209.3, B. 209.4, B. 209.5 水平補剛材なし 10体 計10体																						

文献番号	No. 4
文献名, 著者名	On Ultimate Strength of Plate Girders. Japan Shipbuilding & Marine Engineering May, 1968. Y. Akita, T. Fujii
実験目的	・ポストバックリングレンジのガーダーの終局強度を見い出す新しい手法について明らかにすることを目的とし, 実験結果を理論値と比較する。 ・2体の対称プレートガーダーを供試体として用い, 純曲げ試験を行ない, 他の人が行なった試験結果を合わせて理論値と比較をする。 また, 他の人が行なった結合(Combine)せん断や曲げの試験結果についても理論値と比較を行なう。
実験結果	<u>純曲げ試験</u> Basler, Thurliman, 小西やその他の人による純曲げを受けるガーダーの実験結果を曲げモーメントや終局モーメントの値について理論値と比較するとポストバックリング強度もせん断強さの場合と同じになった。しかしウェブの曲げモーメントは終局モーメントにはほとんど効力がない。 <u>結合モーメント及びせん断の比較</u> 他の人たちの実験結果と理論値は, ほぼ一致した。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	B 1, B 2 水平補剛材なし 2体 計2体

文献番号	No. 5
文献名, 著者名	Web Buckling Tests on Welded Plate Girders K. Basler, B. T. Yen, J. A. Muller, B. Thurlimann WRC Bulletin, Series No.64
実験目的	・溶接されたプレートガーダーの静的強度の決定を目的として, 純曲げ, 純せん断, せん断曲げ試験を行った。 ・ウェブ幅厚比, 垂直補剛材間隔とウェブ高の比 ($=a/b$) は以下のとおりである。 純 曲 げ…ウェブ幅厚比 : 185, 388, $\alpha : 0.75, 1.5$ 純 せん 断…ウェブ幅厚比 : 255, 259, $\alpha : 0.75, 1.5$ せん断曲げ…ウェブ幅厚比 : 99, 128, 131, 254, 381, $\alpha : 0.5, 0.75, 1.0, 1.5, 3.0$
実験結果	・座屈理論による値P_{cr}と実験結果のP_uとではあまり対応せず, ウェブの座屈理論はプレートガーダーの静的強度の決定には使えない。 ・スティフナーを用いないプレートガーダーに対するU. S. Sの規定に対してa/tの値を大きくすべきだと述べられている。
国別の分類	1. Europe ② North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	G1. T1, G1. T2, G2. T1, G2. T2, G4. T1, G4. T2, G6. T1, G6. T2, G6. T3, G7. T1, G7. T2, G8. T1, G8. T2, G8. T3, G9. T1, G9. T2, G9. T3, (B1-T1), (B1-T2), (B1-T3), (B1-T4), (B2-T1), (B2-T2), (E4-T1), (E4-T2), (E4-T3) 計26体 G1 : 上下フランジが非対称 水平補剛材なし 15体 計15体 () 内は対象外, E : カバープレート有

文献番号	No. 6
文献名, 著者名	プレートガーダーの曲げ弾性座屈 土木学会論文集第143号 昭和42. 7 小西一郎, 米沢 博, 三上市蔵
実験目的	純曲げを受けるプレートガーダーの腹板が, 鉛直補剛材とともに一体となって弾性座屈する場合を理論的に解析し, その妥当性を検討するために, 模型の座屈実験を行った。
実験結果	• $P \approx 15.4 \text{ t}$ で腹板と補剛材とが一体となって座屈したと見られるが, この座屈荷重は $P = 15.1 \text{ t}$ なる理論値とよく一致する。 • 模型は $P = 17.8 \text{ t}$ で, 上フランジに塑性水平曲げ座屈が生じて破壊したが, その場合の破壊荷重を腹板部の座屈と関連させて理論的に推定すると, $P = 17.5 \text{ t}$ となり, 実験値とよく一致する。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	A. B. 計2体

文献番号	No. 7
文献名, 著者名	プレートガーダーのフランジ剛度が耐荷力に及ぼす影響に関する実験的研究 森脇良一, 藤野真之, 森 修 橋梁の極限設計研究班研究資料
実験目的	・ウェブプレートが曲げ座屈した後の曲げ抵抗モーメントは, 圧縮フランジとウェブプレートの一部からなるT断面柱の圧縮座屈に近似されるという考え方に基づき, 圧縮フランジの剛度と曲げ耐荷力の関係を把握することを目的とし, 各種のフランジ断面を有する供試体で実験を行う。 ・座屈パラメータ B_r/L^2 (B_r: 圧縮フランジの水平曲げ剛性, L: 横倒れ防止間隔) は, $4.2 \times 10^5 \text{ kg}$, $4.8 \times 10^5 \text{ kg}$, $1.2 \times 10^5 \text{ kg}$, $1.5 \times 10^5 \text{ kg}$, 座屈パラメータ C_r/γ_o^2 (C_r: 圧縮フランジのねじれ剛性, γ_o: 断面極2次モーメントに対する断面2次半径) は $3.0 \times 10^5 \text{ kg}$, $6.8 \times 10^5 \text{ kg}$, $13.4 \times 10^5 \text{ kg}$
実験結果	・横座屈したものの M_u/M_y は B_r/L^2 が大きいほど大きく, ねじれ座屈したものの M_u^o/M_y も C_r/γ_o^2 が大きくなるほど大きくなる。 ・崩壊時での e_w と座屈パラメータとの関係は, B_r/L^2 あるいは C_r/γ_o^2 が大きくなれば e_w も徐々に増加する傾向が見られる。 ・e_w は M^o/M_u^o が増加するにつれて減少し, 中立軸の移動量は, 引張フランジ側に移行する現象が認められる。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	EBY1-1302, EBY1-2001, EBY1-3001, (HBY1-1301), (HBY1-2001), (HBY1-1302) Eシリーズは上下フランジが非対称 () 内は対象外, H: ウェブが異なる鋼種で組立て 計6体

文献番号	No. 8		
文献名, 著者名	水平補剛材を有するプレート・ガーダーの曲げ耐荷力実験 土木学会論文集第234号, 1975. 2 長谷川彰夫, 西野文雄, 奥村敏恵		
実験目的	水平補剛材を有する溶接プレートガーダーの曲げ耐荷力に関する問題を明らかにする目的で, ・ウェブの幅厚比 (h/t_w は250, 350) ・水平補剛材の有無, 剛性の大小 (補剛なし, 最小剛比 γ^* , $5\gamma^*$) ・残留応力の影響 (同一形状で, 焼鈍した供試体) ・補剛材の取付方法の影響 (片側配置で, 垂直補剛材との交点を不連続構造とし, 面内曲げの偏心性を顕著にする) これらに注目し, 曲げ耐荷力実験を実施した。		
実験結果	・ウェブ幅厚比250の場合, M_{ust}/M_y の値は, 1.063~1.177, 350の場合0.975~1.075となり, 水平補剛材1本を有するプレートガーダーのウェブ幅厚比を350程度まで薄くしても降伏モーメント以上の耐荷能力をもたせることができる。 ・水平補剛材の剛比 $5\gamma^*$ のものは γ^* に比べ, 曲げ耐荷力は約10%上昇した。 ・焼鈍桁は非焼鈍桁に比べ約10%曲げ耐荷力が上昇した。 ・水平補剛材を片側配置で不連続構造としたものの曲げ耐荷力は約5%低下した。		
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan		
供試体名, 供試体数	B-25-0, B-25-1, B-25-5, B-35-1, B-35-1A, B-35-1B, B-35-5 水平補剛材なし 1体 水平補剛材あり 6体 計7体		

文献番号	No. 9
文献名, 著者名	上下非対称 水平補剛材を有する完全ハイブリット・プレートガーダーの曲げ耐荷力に関する実験的研究 前田幸雄, 川井 豊 大阪大学
実験目的	・上下非対称完全混成桁の曲げ性状及び, その耐荷力を実験的に研究する。 ・静的載荷時の曲げ性状 ・圧縮フランジ, 引張フランジの釣り合い断面積比 ・腹板の細長比の変化が最終耐荷力に及ぼす影響 ・水平補剛材の効果及び応力負担度 ・腹板のアスペクト比が最終耐荷力に及ぼす影響 ・供試体の腹板アスペクト比は0.5, 1.0 腹板細長比は150~300まで50ごと
実験結果	・腹板の降伏がフランジの降伏に先行するため, フランジの枠組としての働きは均質桁より厳しく, 破壊は急激である。 ・垂直座屈を起こす限界腹板細長比 (150~100) は, 均質桁のそれ (345~407) よりかなり低い値である。 ・水平補剛材は, 剛なものを用い, 完全な軸力伝達を行なうように配置すれば, 一種の副フランジとして働き, 耐荷力の向上に役立つ。 ・アスペクト比を小さくすることにより, わずかながら耐荷力の向上が期待できる。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	AL1, AL2, AL3, AL4, BL. 1, BL. 2, BL. 3, BL. 4 全て上下フランジ非対称 計8体

文献番号	No.11
文献名, 著者名	Proof-Tests of Two Slender-Web Welded Plate Girders P. J. Patterson, D.J. Fielding, P. B. Cooper
実験目的	文献No.31からデータのみを引き抜いた。
実験結果	
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	F10-P1, F10-P5 水平補剛材なし 2体 計2体

文献番号	No.12
文献名, 著者名	初期不整を有するプレートガーダーのせん断強度に関する実験的研究 土木学会論文集第249号, 1976. 5 森脇良一, 藤野真之
実験目的	ウェブのやせ馬変形が0～6mm(ウェブ厚相当)のプレートガーダーに発生する残留応力を実物体試験体により実験的に検討すると共に, プレートガーダーのせん断破壊試験を行い, プレートガーダーのせん断強度と初期不整, 残留応力の関係を把握する。これより得られた実験式と道示式を比較し, 考案を加える。実験に用いた供試体の種類は以下のとおり。 ①ウェブの縦横比 $\alpha = 1, 2$ の2通り ($\alpha = 1$ 標準) ②使用材料 SM41B, SM58Q (SM58N) ③フランジ剛性 フランジの全塑性モーメント $M_{pr} = 0.27 \sim 0.81 \text{ tm}$ (3種) ④鉛直補剛材の剛性 $10\gamma^*$, $0.87\gamma^*$ (γ^*: Bleichの最小剛比) (2種) ⑤初期不整 拘束治具, スポットヒーティング, $\delta = tw/3$, tw (4通り)
実験結果	(1)プレートガーダーの軸方向の残留応力は, 降伏点, 最大初期変位量, ウェブに施したスポットヒーティング数の関数で与えられ, $-0.2 \sim 0.7\sigma_y$程度となる。 (2)$P-\delta^2$法によって推定したせん断座屈強度は, パネル形状, 降伏点, ウェブの残留応力の関数で与えられ, ウェブの初期変形量が $\delta_{\max} \leq tw$であれば $\delta_{\max}$の影響をあまり受けない。また, せん断崩壊強度は初期不整の影響をほとんど受けない。 (3)プレートガーダーの崩壊過程は, ウェブの座屈後斜張力場が形成され, 最終的には鉛直補剛材部の引張フランジが塑性変形して崩壊する。 (4)得られた実験式と道示を比較すると $\alpha = 1$, $4.6 \leq \Psi \leq 6.5$, $0 \leq \delta_m \leq tw$の範囲であれば道示の式は安全であることが判った。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	AQSX1, AQSY1, GSX1, GSX2, GSY1, BSY1 (ESX2), (ESY1), (ESX1-11), (ESY1-2) 水平補剛材なし 6体 () 内は対象外

文献番号	No.13																									
文献名, 著者名	Welded Constructional Alloy Steel Plate Girders P. B. Cooper, H. S. Lew, B. T. Yen																									
実験目的	近年発展してきた“SHEAR STRENGTH THEORY”による耐荷力の評価が安全なものかを、4種の溶接alloy-steelプレートガーダーの実験で調査した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>供試体名</th><th>垂直補剛材位置</th><th>カバープレート (mm)</th><th>パネル寸法比</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H1T1</td><td>支間を1/2(図参照)</td><td>Top PL 432.6×24.9×4114.8 Bottom PL 432.6×24.9×4114.8</td><td>3.0</td></tr> <tr> <td>H1T2</td><td>支間を1/4</td><td>”</td><td>1.5</td></tr> <tr> <td>H2T1</td><td>支間を1/6</td><td>Top PL 433.3×25.6×8407.4 Bottom PL 434.0×25.6×8407.4</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>H2T2</td><td>支間を1/12</td><td>”</td><td>0.5</td></tr> </tbody> </table>	供試体名	垂直補剛材位置	カバープレート (mm)	パネル寸法比	H1T1	支間を1/2(図参照)	Top PL 432.6×24.9×4114.8 Bottom PL 432.6×24.9×4114.8	3.0	H1T2	支間を1/4	”	1.5	H2T1	支間を1/6	Top PL 433.3×25.6×8407.4 Bottom PL 434.0×25.6×8407.4	1.0	H2T2	支間を1/12	”	0.5					
供試体名	垂直補剛材位置	カバープレート (mm)	パネル寸法比																							
H1T1	支間を1/2(図参照)	Top PL 432.6×24.9×4114.8 Bottom PL 432.6×24.9×4114.8	3.0																							
H1T2	支間を1/4	”	1.5																							
H2T1	支間を1/6	Top PL 433.3×25.6×8407.4 Bottom PL 434.0×25.6×8407.4	1.0																							
H2T2	支間を1/12	”	0.5																							
実験結果	“SHEAR STRENGTH THEORY”から、せん断強度はその材料の降伏点に関係している。この法則は、今回の実験及び過去の実験(文献5)から、あらゆる鋼からなるガーダーに適用可能である。 柱の強度から決定される曲げ強度及び“SHEAR STRENGTH THEORY”から求まるせん断強度によって、両者の相関曲線を得る。これによりプレートガーダー桁の耐荷力の評価が可能であるとしている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>test</th><th>寸法比</th><th>実験降伏荷重</th><th>上記法則解(k)</th><th>誤差</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H1-T1</td><td>3.0</td><td>1260(k)</td><td>946</td><td>33%</td></tr> <tr> <td>H1-T2</td><td>1.5</td><td>1538(k)</td><td>1420</td><td>8%</td></tr> <tr> <td>H2-T1</td><td>1.0</td><td>1834(k)</td><td>1750</td><td>5%</td></tr> <tr> <td>H2-T2</td><td>0.5</td><td>2250(k)</td><td>2286</td><td>2%</td></tr> </tbody> </table>	test	寸法比	実験降伏荷重	上記法則解(k)	誤差	H1-T1	3.0	1260(k)	946	33%	H1-T2	1.5	1538(k)	1420	8%	H2-T1	1.0	1834(k)	1750	5%	H2-T2	0.5	2250(k)	2286	2%
test	寸法比	実験降伏荷重	上記法則解(k)	誤差																						
H1-T1	3.0	1260(k)	946	33%																						
H1-T2	1.5	1538(k)	1420	8%																						
H2-T1	1.0	1834(k)	1750	5%																						
H2-T2	0.5	2250(k)	2286	2%																						
国別の分類	1. Europe ② North America 3. Japan																									
供試体名, 供試体数	(H1-T1), H1-T2, (H2-T1), (H2-T2) (計4体) 水平補剛材なし 1体 ()内は対象外 カバープレート有																									

文献番号	No.14
文献名, 著者名	大型試験体によるプレートガーダーの耐力実験 坂井藤一, 土井和彦, 西野文雄, 奥村敏恵 第21回土木学会年次学術講演会講演概要集第1部 昭和41. 5
実験目的	せん断応力をうける腹板の座屈後の挙動及び張力場理論との比較検討を試みるために, 実物大の模型(テストパネルの寸法, 腹板の幅厚比の違う2種類の桁)により, 溶接プレートガーダーのせん断実験を行った。
実験結果	・最終耐力の実験値と, Baslerの部分張力場の考え方で算出した計算値は, 実験値/理論値の値が, G-1桁で1.05~1.22, G-2桁で1.10~1.37とかなり合っているようである。 ・初期たわみが破壊時の最大たわみの1/3~1/6と大きく, 実験桁の腹板の挙動には, 座屈に特有な現象は見られず, 腹板の座屈値と耐力とは必ずしも直接関連しない事が確かめられた。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	G-1, G-2 フランジ非対称 計2体

文献番号	No.15
文献名, 著者名	桁高の低いプレートガーダーのせん断耐力実験 坂井藤一, 越川正彦, 関沢明秀, 西野文雄, 奥村敏恵 第11回土木学会年次学術講演会講演概要集第一部 昭42, 5
実験目的	・ウェブ幅厚比が55, 70, 90の3種類のガーダーについて, フランジ断面積を変え, ガーダーのせん断耐荷力を求め, 座屈荷重と耐荷力の関係, 残留変形の生ずる限界等について, 実験と理論の比較検討を行う。 ・ウェブ幅厚比70のものは, スパンを変化させ, その影響を調べる。 ・ウェブ幅厚比70のものは, 比較のため, フランジにT型钢を用いたものも加えた。
実験結果	・せん断耐荷力は, いずれの場合も理論座屈荷重以上の値を示した。 ・ウェブの弾性挙動の限界を表面の降伏に置くとすれば, ウェブ幅厚比55, 70の領域では, 最大せん断応力は座屈曲線より幾分低く, 90の所では座屈曲線より高い値を示す。 ・同一断面を有する桁では, フランジにT型钢を用いたもののほうが, 耐荷力及び変形能力に秀れている
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名,	G-1, G-2, G-3, G-4, G-5, G-6, G-7, (G-8), G-9 水平補剛材なし 8体
供試体数	()内は対象外 G-8: 横だおれ座屈の影響大旧データ番号 No.61

文献番号	No.16
文献名, 著者名	プレートガーダーの座屈後挙動について 奥村敏恵, 森下光政, 佐伯晃一 第20回土木学会年次学術講演会講演概要集第1部 昭和40. 5
実験目的	プレートガーダーの局部座屈として, フランジの捩れ座屈, ウェブの剪断座屈(張力場)に注目して実験を行ない, 理論との比較検討を行なう。
実験結果	・高張力鋼を用いる場合, 実験桁のような巾の広いフランジは, 弾性座屈をする。 ・張力場の換算剪断剛性G_eに関して, Lehighの仮定と, 筆者が考案した仮定とを比較してみると, 荷重たわみ曲線はLehighの仮定が妥当であるように思われる。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	No.1. 1, No.1. 2, No.2. 1, No.2. 2 計4体 (文献には2供試体しか出てない)

文献番号	No.17
文献名, 著者名	プレートガーダーの耐荷力に関する理論と実験 昭和40年7月 関西橋梁鉄骨溶接研究会
実験目的	薄い腹板を持つプレートガーダーの耐荷力に関する諸問題を究明するために、材質とウェブ厚の異なる3本の桁について実験を行った。主な実験目的は以下の通りである。 1) プレートガーダーの極限耐荷力と腹板座屈荷重との関係 2) 腹板の後座屈領域における変形、膜応力などの状態 3) 純曲げを受けるパネルの後座屈領域における腹板の有効幅 4) 純せん断を受けるパネルの張力場作用 など
実験結果	・ A, C 供試体では、曲げパネルの圧縮フランジのねじれ座屈で、それぞれ46.5 t, 96 t で破壊し、B 供試体はせん断パネルの斜張力に起因する下フランジの破壊によって76 t で破壊した。 ・ 供試体の耐荷力は最も小さいもので、周辺単純支持の板の線形理論による極限値の約3.6 倍であり、かなり大きな後座屈強度が期待できる。 ・ 破壊がいずれもフランジの破壊によるものであり、 a) 純せん断を受けるパネルでは、斜張力作用の影響を受けるフランジの破壊 b) 純曲げを受けるパネルでは、圧縮フランジの柱としての座屈 が耐荷力を決定する要因となったと言える。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	A, B, C 水平補剛材なし 3 体

文献番号	No.18
文献名, 著者名	プレートガーダーのウェブのせん断強さについて 佐伯晃一 (未発表)
実験目的	データのみ記述あり
実験結果	
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	G-2, G-3, G-4 水平補剛材なし 3体 計3体

文献番号	No.19
文献名, 著者名	初期不整を有するプレートガーダーの組合せ強度に関する実験的研究 (土木学会論文報告集269号) 1978. 5 藤野真之
実験目的	ウェブの溶接によるやせ馬が0~6mm(ウェブ厚相当)のプレートガーダーに発生する初期歪みと残留応力と, プレートガーダーのせん断と曲げの組合せ強度との関係を実物大試験により把握する。実験に用いた供試体の種類は以下のとおり。 ①ウェブの幅厚比 130の一種類に統一 ②ウェブの縦横比 $\alpha = 1.0, 0.63, 2.0$の3種 ($\alpha = 1.0$標準) ③横構間隔 試験体スパンの1/2 ④試験体スパン $\ell = 2.25 \sim 6.0\text{m}$ (せん断が支配的~曲げが支配的) ⑤使用材料 SM41B, SM58Q (SM58N) ⑥垂直補剛材の I $I = 133, 44, 11\text{ cm}^4$ ($I = 133\text{ cm}^4$標準)
実験結果	(1)今回の試験体の初期変形の波形モードは半波~一波半と多種多様であった。 (2)ウェブが曲げ座屈した桁は, 圧縮フランジの水平座屈, ねじれ座屈のいずれかで, せん断座屈した桁はAQタイプを除きすべてせん断座屈した。AQタイプはウェブがせん断座屈した後, 圧縮フランジのねじれ座屈によって桁が崩壊した。 (3)組合せ荷重下におけるせん断座屈強度は, $\delta_{\max}/lw \leq 1.0$の範囲では初期変形の影響を受けない。 (4)$P - \delta^2$法により推定したウェブの組合せ座屈強度を楕円式で与えた実験式は実験値より0~15%程度低く算定する。一方, 直線式で与え崩壊強度実験式は実験値とよく一致する。 (5)$\delta_{\max}/lw = 3/4$を許容値とすれば, 道示基準によって設計しても安全である。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	AQCY1.4.1, AQCY1.4.2, AQCY1.3.6, AQCY1.2.8, GCX1.4, GCX2.4, GCY1.5, GCY1.4, GCY1.3.6, GCY1.2.3, (ECY1-6-1), (ECY1-6-2), (ECY1-44-1), (ECY1-44-2), (ECY1-4-1), (ECY1-4-2), (ECY1-3), (ECY1-2-8), (ECY1-23-1), (ECY1-23-2), (ECY1-23-3) 水平補剛材なし 10体 計10体 ()内は対象外

文献番号	No.20
文献名, 著者名	Experimental Verification of the Strengths of Plate Girders Designed in Accordance with the Revised British Standard 153 : Tests on Full-Size and On Model Plate Girders. Proc. of ASCE Vol5 Part3. 1956
実験目的	改訂されたBS153に従って設計されたプレートガーダーの強度を確認する目的で, せん断一曲げ試験を行なった。 供試体はウェブの幅厚比$d/t=94$ ($d=133.3\text{mm}$, $t=1.42\text{mm}$) フランジ幅$D_f=25.4\text{mm}$厚さ$t_f=6.35\text{mm}$であり, スパンはA.1 $L=35.56\text{cm}$ A.2 $L=55.88\text{cm}$ A.3 $L=114.3\text{cm}$である。
実験結果	A.1 : B. S153による値3.53ton 実験値5.76ton ウェブ破壊 A.2 : B. S153による値2.68ton 実験値4.85ton フランジ破壊 A.3 : B. S153による値1.31ton 実験値2.98ton フランジ破壊
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	A.1, A.2, A.3 水平補剛材なし 3体 計3体

文献番号	No.21
文献名, 著者名	1111実験データ: 藤井登喜男 日本鋼構造協会座屈小委員会プレートガーダー班資料
実験目的	データのみで記述なし
実験結果	
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	S-1, S-2, S-3, A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-1', A-2', A-3' 水平補剛材なし 11体 計11体

文献番号	No.22																																																																					
文献名, 著者名	The ultimate load behaviour of Plate girders loaded in shear K. C. Rockey, M. Skaloud.																																																																					
実験目的	(目的) ウェブプレートの局部座屈におけるフランジの剛性の影響を考慮した終局荷重に対する設計法の提案のために実験を行なった。 (供試体) 3 シリーズ (I, II, III) に分かれている (I) アーク溶接 1 パネル対称 TG10~TG41, TG13; $\alpha=1.0$ ($\alpha=b/d$) b:ウェブ幅 d:ウェブ高 TG50~TG61; $\alpha=1.5$ TG90~TG100; $\alpha=2.0$ (II) CO ₂ 溶接 2 パネル対称 TG200~250, $\alpha=1.0$ (III) アーク溶接 2 パネル対称 STG2, 4 $\alpha=1.98$																																																																					
実験結果	(I) 実験値 <table><tr><td>$\alpha=1.0$</td><td>TG10</td><td>TG11</td><td>TG20</td><td>TG21</td><td>TG30</td><td>TG31</td><td>TG40</td><td>TG41</td><td>TG13</td></tr><tr><td>最大荷重 (ton)</td><td>22.6</td><td>24.0</td><td>25.2</td><td>23.5</td><td>28.5</td><td>27.0</td><td>31.8</td><td>30.3</td><td>41.7</td></tr><tr><td>$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$</td><td>1.47</td><td>1.47</td><td>3.50</td><td>3.50</td><td>27.9</td><td>27.9</td><td>54.5</td><td>54.5</td><td>224.0</td></tr><tr><td>$\alpha=1.5$</td><td>TG50</td><td>TG51</td><td>TG60</td><td>TG61</td><td colspan="2">$\alpha=2.0$</td><td>TG90</td><td>TG91</td><td>TG100</td></tr><tr><td>最大荷重 (ton)</td><td>23.5</td><td>26.0</td><td>28.4</td><td>26.7</td><td colspan="2">最大荷重(t)</td><td>22.6</td><td>24.1</td><td>25.7</td></tr><tr><td>$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$</td><td>7.35</td><td>7.35</td><td>34.0</td><td>34.0</td><td colspan="2">$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$</td><td>3.10</td><td>3.10</td><td>14.3</td></tr></table> ・ウェブの降伏, 終局せん断応力はフランジ剛性パラメータ (ℓ/b^3t) に依存する。 (II) パネルの連続性について検討したが, (I) の結果を満足した。 (III) 破壊後の挙動を追跡。圧縮フランジの塑性ヒンジが形成された。 (II) の実験値 TG 200 210 220 230 240 250 (III) STG 2 4 荷重(t) 10.23 14.25 15.8 16.3 19.3 20.8 荷重(t) 7.9 7.0										$\alpha=1.0$	TG10	TG11	TG20	TG21	TG30	TG31	TG40	TG41	TG13	最大荷重 (ton)	22.6	24.0	25.2	23.5	28.5	27.0	31.8	30.3	41.7	$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$	1.47	1.47	3.50	3.50	27.9	27.9	54.5	54.5	224.0	$\alpha=1.5$	TG50	TG51	TG60	TG61	$\alpha=2.0$		TG90	TG91	TG100	最大荷重 (ton)	23.5	26.0	28.4	26.7	最大荷重(t)		22.6	24.1	25.7	$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$	7.35	7.35	34.0	34.0	$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$		3.10	3.10	14.3
$\alpha=1.0$	TG10	TG11	TG20	TG21	TG30	TG31	TG40	TG41	TG13																																																													
最大荷重 (ton)	22.6	24.0	25.2	23.5	28.5	27.0	31.8	30.3	41.7																																																													
$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$	1.47	1.47	3.50	3.50	27.9	27.9	54.5	54.5	224.0																																																													
$\alpha=1.5$	TG50	TG51	TG60	TG61	$\alpha=2.0$		TG90	TG91	TG100																																																													
最大荷重 (ton)	23.5	26.0	28.4	26.7	最大荷重(t)		22.6	24.1	25.7																																																													
$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$	7.35	7.35	34.0	34.0	$\ell/b^3t(\times 10^{-6})$		3.10	3.10	14.3																																																													
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan																																																																					
供試体名, 供試体数	TG. 10, TG. 11, TG. 20, TG. 21, TG. 30, TG. 31, TG. 40, TG. 41, TG. 13, TG. 50, TG. 51, TG. 60, TG. 61, TG. 90, TG. 91, TG. 100, TG. 200, TG. 210, TG. 220, TG. 230, TG. 240, TG. 250, STG. 2, STG. 4, (TG. 70), (TG. 71), (TG. 80), (TG. 81), (TG. 110), (TG. 120), (TG. 121) 水平補剛材なし 24体 計24体 () 内は対象外 カバープレート有																																																																					

文献番号	No.23												
文献名, 著者名	Strength of longitudinally stiffened plate girders P. B. Cooper Journal of the Structural Division.												
実験目的	水平補剛材のあるプレートガーダーの曲げ強度とせん断強度についてそれぞれ明らかにする。せん断については下表参照。 基礎とした示方書…AISC (文献6)												
	供試体名	パネル寸法比	ウェブ幅厚比	水平補剛材位置 (比)	必要な垂直補剛材断面面積 (比)	実際の垂直補剛材断面面積 (比)	γ^*_{L1}	γ_L	必要な水平補剛材断面面積 (比)	実際の水平補剛材断面面積 (比)	終局荷重 (理論)	終局荷重 (実験値)	
	Test	α	β	η_1	δ^*_{T1}	δ_T			δ^*_{L1}	δ_L	P^*_{L1} in kips	P^*_{L2} in kips	P^*_{L1}/P^*_{L2}
	LS1-T2	1.0	256	0.33	0.212	0.315	8	264	0.238	0.502	375.0	414.0	1.10
	LS2-T1	1.0	275	0.33	0.210	0.315	8	164	0.238	0.288	296.0	315.5	1.06
	LS3-T1	1.5	276	0.33	0.160	0.275	32	49	0.275	0.208	253.0	278.5	1.10
	LS3-T2	1.5	276	0.33	0.160	0.275	32	116	0.275	0.262	253.0	296.0	1.17
	LS3-T3	0.75	276	0.33	0.232	0.342	2.5	116	0.201	0.262	315.8	338.0	1.07
	LS4-T1	1.0	260	0.20	0.258	0.235	17	116	0.302	0.262	381.0	380.5	1.00
	LS4-T2	1.0	260	0.50	0.143	0.315	35	116	0.090	0.262	312.6	403.5	1.18
実験結果	水平補剛材のあるプレートガーダーのせん断強度の解析法を提示し、以下の様な結果を得た。 パネルの寸法比0.75・1.0・1.5, ウェブ高さに対する圧縮フランジから水平補剛材までの距離の比, 0.2・0.33・0.5の試験体のせん断強度が求められた。 補剛材の最適位置はウェブの幅厚比で決まり、せん断強度の増加はパネルの寸法比とウェブの幅厚比から決まる。この比の選び方によって40%以上のせん断強度の増加が得られ、10%の増加であれば、水平補剛材の位置、パネルの寸法比を適当に採ることで、ウェブの幅厚比100～400の範囲で達することができる。												
	国別の分類	1. Europe ② North America 3. Japan											
	供試体名, 供試体数	LS1T2, LS2T1, LS3T1, LS3T2, LS3T3, LS4T1, LS4T2 水平補剛材 1本 7体 計7体											

文献番号	No.24
文献名, 著者名	水平補剛材を有するプレートガーダーのせん断耐荷力 長谷川彰夫, 西野文雄, 奥村敏恵 土木学会論文報告集第235号 1975, 3
実験目的	ウェブの幅厚比, 中間補剛材の間隔および剛性の大小がせん断耐荷力に与える影響を明らかにする目的で実験を行った。 ・ウェブの幅厚比 h/t_wは250, 350の2通り ・中間補剛材の間隔は, 中間補剛材なし, 1本, 2本の3通り ・中間補剛材の剛性は, 最小剛比 γ^*と5 γ^*の2通り その他比較供試体として, フランジの剛性をかえたもの, 残留応力の影響を明らかにするために焼鈍したものも製作した。
実験結果	1) 水平補剛材剛度を5 γ^*とした場合, ウェブ幅厚比250, 350のどちらとも, せん断耐荷力は全塑性せん断力に達していない。 2) 中間補剛材の間隔は, せん断耐荷力に大きく影響を与え, 中間補剛材1本のものは配置しないものより28%, 2本のものは1本のものより7.5%せん断耐荷力が上昇した。 3) 中間補剛材の剛性が γ^*と5 γ^*のものを比較すると, 耐荷力はほぼ同じである。 4) 2), 3) より中間補剛材は剛性とともにより必要面積が必要である。 5) 焼鈍桁は非焼鈍桁と比べせん断耐荷力に相違はなく, 残留力がせん断耐荷力に与える影響は比較的小さい。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	S-25-0, S-25-5, S-35-1, S-35-1A, S-35-5, S-35-1D, S-35-1F 水平補剛材 1本 7体 計7体

文献番号	No.25
文献名, 著者名	Static Tests on Unsymmetrical Plate Girders. W. Schueller, A. Ostapenko Fritz, Engineering Laboratory Report
実験目的	非対称断面を有するプレートガーダーの耐荷力に及ぼす水平補剛材の影響を調べる目的で、水平補剛材を有する桁とそれを有しない桁の耐荷力実験を実施した。 また、Chern, C. & Ostapenko, A. によって提案された非対称プレートガーダーの耐荷力評価の理論から得られる耐荷力の信頼性を実測結果との比較によって明らかにする。 ・ウェブの幅厚比は269, 414 ・パネルのアスペクト比は, 0.833, 1.15, 1.46, 1.77 ・断面の図心位置は桁高のほぼ3分の1
実験結果	・水平補剛材をつけることによる耐荷力の増加率は、せん断が卓越する桁端パネルでは20%及び13%であるのに対して、せん断及び曲げが共に大きくなる桁中央パネルでは39%及び46%と相対的に大きい。 ・水平補剛材がある場合、ウェブには2つの張力場が形成される。その方向は水平軸に対してほぼ45°の方向となる。 ・理論的耐荷力と実測された耐荷力との差は、平均で約5%, 最大でも12%であり、理論の有効性が確認された。
国別の分類	1. Europe ② North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	UG4.1, UG4.2, UG4.3, UG4.4, UG4.5, UG4.6, UG5.1, UG5.2, UG5.3, UG5.4, UG5.5, UG5.6 全て上下フランジ非対称

文献番号	No.26																																			
文献名, 著者名	Experimental Investigation of Strength of Plate Girders in shear F. Nishino, T. Okumura 8th Congress IABSE																																			
実験目的	(目的) 中間の補剛材が全くないプレートガーダーの座屈に対する安全率を決定するためにせん断試験を行なう。 (供試体) ・ $d/tw=60, 80, 100, 120$ の4種類 ($tw=9\text{ mm}$ 固定) ・ それぞれの d/tw についてフランジ面積2種 ($l=22\text{mm}$) ここで面積小: 曲げによるフランジ崩壊が起こる ” 大: せん断によるウェブ崩壊が起こる ・ 水平補剛材は, $d/tw=100, 120$ のみに, 2つのパネルのうち片方に取付けた。 (材料強度) フランジ: $\sigma_y = 44\text{kg/mm}^2$, ウェブ $\sigma_y = 38\text{kg/mm}^2$ とともに $\sigma_u = 57\text{kg/mm}^2$ (σ_y : 降伏応力, σ_u : 耐荷力)																																			
実験結果	<table><tr><td></td><td>G1</td><td>G2</td><td>G3</td><td>G4</td><td>G5</td><td>G6</td><td>G7</td><td>G8</td></tr><tr><td>P_{max} 実験値</td><td>221</td><td>208</td><td>249</td><td>299</td><td>247</td><td>218</td><td>254</td><td>224</td></tr><tr><td>P_{cr} 純せん断座屈荷重 (計算値)</td><td colspan="2">213</td><td colspan="2">227</td><td colspan="2">182</td><td colspan="2">151</td></tr></table> ・ スパン中央のたわみは P_{max} 点で 40mm 程度。 ・ ウェブパネルの横たわみは, d/tw に支配される。 G1~G4 : P_{cr} 付近で発生。それまではなし。 G5~G8 : P_{cr} 以前で発生。荷重の増加とともに変形大。 ・ フランジ大 (G1, G3, G5, G7) はせん断変形, フランジ小 (G4, G6, G8) は, 圧縮フランジの不安定による破壊が認められた。G2は, せん断変形による破壊がみられたが, 圧縮フランジの応力は, 降伏応力を越えていた。										G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	P_{max} 実験値	221	208	249	299	247	218	254	224	P_{cr} 純せん断座屈荷重 (計算値)	213		227		182		151	
	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8																												
P_{max} 実験値	221	208	249	299	247	218	254	224																												
P_{cr} 純せん断座屈荷重 (計算値)	213		227		182		151																													
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan																																			
供試体名, 供試体数	G1, G2, G3, G4, G5, G6, G7, G8 水平補剛材なし 4体 水平補剛材1本 4体 計8体																																			

文献番号	No.27
文献名, 著者名	Pilot Tests on the Static Strength of Unsymmetrical Plate Girders J. R. Dimitri and A. Ostapenco Fritz Engineering Laboratory Report
実験目的	水平補剛材をもたないプレートガーダーにおいて中立軸を移動させた形, すなわち非対称形にした場合の終局荷重に及ぼす影響を明らかにすることを目的とし, 対称プレートガーダーにおける実験データと比較する。 ここでは, 3体の非対称プレートガーダーを用い, 8つの試験(純曲げ×2, 純せん断×3, 曲げ+せん断×3)を実施した。
実験結果	曲げ ・終局荷重は, 圧縮フランジの破壊強さで決まる。 ・終局荷重は, 対称プレートガーダーより, それぞれ6%, 9%上昇 せん断 ・破壊は, ウェブの引張部分から, そこに発生する波状模様に沿っておこる。 ・終局荷重は, 対称なものよりそれぞれ12, 17, 19%上昇 曲げ ・せん断卓越は, ウェブの引張部より, 曲げ卓越はフランジのcolumn stressとウェ +せん断 ブの引張斜材から降伏し破壊する。 ・対称プレートガーダーにおける相互破壊包絡線では, 非対称なものの終局荷重を推測するのは不可能である。 ・小さなモーメントに上るせん断強さの減少は明らかである。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	(UG1.1), (UG2.1), (UG2.2), (UG3.1), (UG3.2), (UG3.3), (UG1.2), (UG2.3) ()内は対象外 カバープレート有

文献番号	No.28
文献名, 著者名	Investigation of web Buckling in Steel Beams I. Lyse, H. J. Godfrey ASCE Vol. 100
実験目的	ウェブにおいて明確な破壊を観測できるように, 2つにはりのグループを分けて実験した。Group A(WB-1, WB-2, WB-3) は, スチール板を溶接して作られたはりのグループである。Group B (WB-6, WB-7, WB-8, WB-9, WB-10) もGroup Aと同じように溶接されていて, 石灰塗料を塗られている。 降伏と座屈の関係をくわしく調べるため, ウェブの側方たわみも観測する。(垂直たわみも調べる) そしてせん断応力と, h/lの関係を調べるために, ゲージをはり, ひずみを測定し, せん断応力を計算して, h/lとのグラフを作る。(WB-1;56.5) (WB-2;54.9) (WB-3;58.9) (WB-6;70.0) (WB-7;60.6) (WB-8;59.7) (WB-9;50.0) (WB-10;49.4)
実験結果	・降伏時に計算された最大せん断応力と材料のせん断の降伏点是一致的。 ・$h/l \leq 70$の間は座屈はまだ起こらず, $h/l=80$ぐらいで起こったと考えられる。 ・最大荷重よりもはりの降伏点を安全性に対する基準と考えるべきである。 ・ひずみ曲線の最初の様子は, はりの降伏点と何の関係もない。 ・降伏点はh/lによらない。最大荷重は, h/lの増加に対し減少する。 ・材料のせん断降伏点応力は, すべてのはりにとって重要な要因である。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	WB-1, WB-2, WB-3, WB-6, WB-7, WB-8, WB-9, WB-10 水平補剛材なし 8体 計8体

文献番号	No.29
文献名, 著者名	Transverse Stiffeners for Plate Girder Webs-an Experimental Study- K. H. Tang, H. R. Evans J. of Constructional Steel Research
実験目的	・水平補剛材をもたないプレートガーダーの垂直補剛材間隔が、桁の耐荷力に及ぼす影響を明らかにする目的で、耐荷力実験を実施した。 ・張力場メカニズム手法によって推定される耐荷力や破壊モード、BS (British Standards)によって評価される耐荷力と実測結果を比較する。 ・Rockeyらによって提案された方法やBSによって評価される垂直補剛材の設計荷重の妥当性を実測結果により調べる。ウェブの幅厚比は833(PA, PBシリーズ), 800(PC, PDシリーズ) パネルのアスペクト比は0.75(PA), 0.625(PB), 1.25(PC), 0.938(PC, PD)
実験結果	・十分剛な垂直補剛材を有する桁の耐荷力は、張力場メカニズム手法によって5%以内の誤差で推定できる。 ・十分剛な垂直補剛材を有する桁の破壊モードは、張力場メカニズム手法によって推定できる。 ・剛性が不十分な垂直補剛材を有する桁の場合、補剛材がないと仮定して張力場メカニズム手法によって得られる耐荷力が、桁の耐荷力の下限值を与える。 ・BS5400により評価される耐荷力は実測値より9%~19%小さめの値となる。 ・垂直補剛材の設計荷重は、Rockeyらによる方法で精度よく推定できるが、BS5400により評価される値は小さめの値となる。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	PA1, PA2, PA3, PB1, PB2, PC1/2, PD1/2, PD3, PC3 水平補剛材なし 9体 計9体

文献番号	No.30							
文献名, 著者名	The design of transverse stiffeners on webs loaded in shear-an ultimate load approach k. C. Rockey, G. Vallinal Proc. Instn. Civ. Engrs, P2							
実験目的	垂直補剛材で補強されたプレートガーダーの挙動を調べるために11体の供試体を載荷実験した。中間の垂直補剛材の条件以外は統一してある。							
	TGV1-1	○	bs×ts		TGV7-1	×	bs×ts	
	-2	○	79.9×10.01	有	-2	×	12.4×5.75	有
	2-1	○	16.4×2.08		8-1	×	25.2×5.10	
	-2	○	20.3×3.28	有	-2	×	20.5×3.22	
	3-1	○	10.5×2.03		9-1	×	16.0×5.71	△
	-2	○	30.8×5.08	有	-2	×	25.5×3.25	
	4-1	×	29.8×4.95	有	10-1	×	20.4×5.74	有
	-2	×	40.3×4.97	有	-2	×	16.7×3.30	有
	5-1	×	50.5×5.01	有	-2	○	17.0×6.17	有
-2	×	60.5×6.47	有	11-1	×	—		
6-1	×	45.3×4.99	有	-2	×	30.0×6.09	有	
-2	×	79.8×9.89	有					
実験結果	・補剛材が有効に働いたものを荷重－変位曲線から判断した（上表中“有”）。							
	・上記の表からもわかるように、中間補剛材の耐荷力の評価は複雑なものであるが、安全側となる照査を提案している。これは仮定1) 補剛材の圧縮力が一定値 $P_N=V_{u11}-V_{cr}$ をとる。 2) 補剛材の有効長 ℓ_e が $d_b \leq \ell_e \leq d$ が成り立つと考えて、偏心荷重を除きトラスの柱と同じように照査をするものである。							
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan							
供試体名,	TGV1-1, TGV1-2, TGV2-1, TGV2-2, TGV3-1, TGV3-2, TGV4-1, TGV4-2, TGV5-1, TGV5-2, TGV6-1, TGV6-2, TGV7-1, TGV7-2, TGV8-1, TGV8-2, TGV9-1, TGV9-2, TGV10-1, TGV10-2, TGV11-2							
供試体数	水平補剛材なし 21体 計21体							

文献番号	No.31
文献名, 著者名	Ultimate Strength of Stiffened Plate Girders Subjected to Shear S. KOMATSU Proc, 8th Congress, IABSE
実験目的	・ ウェブ (厚さ3.33mm, 幅厚比200(A-1), 225(A-2, A-3) 250(A-4, A-5)) に垂直補剛材と等間隔に, 1本(A-1, A-2, A-4) or 2本(A-3, A-5)の水平補剛材を取りつけた。7mのプレートガーダーを使い, セン断パネルの極限強度の理論の確立のため, 具体的には, 上下フランジ非対称プレートガーダーのせん断による極限強度の新理論の確立のために5種類 (A-1, A-2, A-3, A-4, A-5)のテストガーダーを使う。 尚, A-3, A-5は2つの片側水平補剛材他は, 1つの片側水平補剛材を持つ。(パネルが変化する。)
実験結果	1) 上下両フランジの水平ひずみは, ウェブのせん断座屈によって急激に増加する。 2) セン断座屈の理論値は許容できると考えられる。 3) ウェブの座屈の後, 水平補剛材は, A-4を除いてすべて上方に曲がった。(これは, 上フランジの方が下フランジに比べて剛性が大きいためである。) 4) 垂直補剛材ひずみはフランジと同様に, ウェブの座屈後急増した。 5) 極限荷重の実験値Q_{ex}と理論値Q_{th}は非常によく一致した。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	A-1, A-2, A-3, A-4, A-5 全て上下フランジが非対称 計5体

文献番号	No.32
文献名, 著者名	Shear buckling of unstiffened hybrid beams Phillip S. Carskaddan
実験目的	曲げおよびせん断を受けるスティフナーのないhybrid桁を対象として, 全面降伏が生じる前に座屈が生じないような最大のウェブ幅厚比 (ウェブ高さ/板厚, β) の限界値を明らかにする。 パラメータ, ウェブ幅厚比, ウェブの材質 ・ウェブ幅厚比 69, 71, 102, 103, 143 ・フランジの材質 ASTM A514 ($\sigma_y \approx 110\text{ksi}$) ・ウェブの材料 ASTM A36 ($\sigma_y \approx 34\text{ksi}$) ASTM A441 ($\sigma_y \approx 50\text{ksi}$)
実験結果	※ウェブが座屈: ウェブをA36鋼とした幅厚比102, 103, 143の試験体 ※全面降伏: ウェブをA36鋼とした幅厚比71, A441鋼とした幅厚比69 実験結果と解析的検討より, 安全側の幅厚比の限界値として, ウェブA36 鋼に対して 67 ウェブA441鋼に対して 54 を提案している
国別の分類	1. Europe ② North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	C-AC1, C-AC2, C-AC3, C-AC4, C-AC5, C-AH1 水平補剛材なし 6体 計6体 Test section内でフランジ幅, 厚さが変化している

文献番号	No.33
文献名, 著者名	ウェブの剛性に注目したプレートガーダーの曲げ耐荷力実験 長谷川彰夫, 和田耕造, 西野文雄 土木学会論文報告集第305号 1981. 1
実験目的	水平補剛材をもたないプレートガーダーのウェブ幅厚比, 垂直補剛材間隔が, 桁の曲げ耐荷力に及ぼす影響を明らかにすることを目的とし, 静的曲げ耐荷力実験を実施した。 ・ウェブ幅厚比h/t_wは, 170, 210, 250 ・垂直補剛材とウェブ高の比は, 0.75, 1.5
実験結果	・曲げ耐荷力と降伏モーメントの比M_{ult}/M_yは, h/t_wが170の場合1.01~1.03, 210の場合0.98~1.00, 250の場合0.90~0.92となり, 実用的な立場で降伏モーメントを期待できる限界のウェブ幅厚比は210程度と判断される。 ・ウェブの幅厚比が250程度までのプレートガーダーの曲げ耐荷力は垂直補剛材間隔とウェブ高さの比が0.5~1.5の範囲にある限り, 垂直補剛材間隔の影響は大きくない。実験では0.75の場合, 1.5の場合に比べ2%程度曲げ耐荷力が上昇する程度である。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	B-17-A, B-17-B, B-21-A, B-21-B, B-25-A, B-25-B 水平補剛材なし 6体 計6体

文献番号	No.34
文献名, 著者名	プレートガーダー耐荷力実験報告 土木研究所 橋梁研究室
実験目的	以下の項目がプレートガーダーの耐荷力に及ぼす影響を検討するために水平補剛材2本を有する大型供試体について、載荷実験を行った。 1) 作用外力（曲げ, せん断, 曲げとせん断の組合せ） 2) ウェブの幅厚比（道示規定値の20%増と60%増） 3) 水平補剛材の剛度（$0.5 \gamma hreq$, $1.0 \gamma hreq$, $5.0 \gamma hreq$） 4) 水平補剛材の配置（10 : 15 : 75, 20 : 30 : 50） 5) 垂直補剛材の剛度（$1.0 \gamma vreq$, $2.0 \gamma vreq$）
実験結果	・ 曲げ耐荷力は、幅厚比が大きくなっても弾性座屈理論ほど極端に低下することはなく、せん断耐荷力は、幅厚比が大きい範囲では、弾性座屈理論に対して3～5倍大きい値をとった。 ・ $0.5 \gamma hreq$と$1.0 \gamma hreq$では、曲げで6～12%, せん断で16%ほど、$1.0 \gamma hreq$のほうが耐荷力は大きい、$1.0 \gamma hreq$と$5.0 \gamma hreq$では、差はあまり見られない。 ・ 水平補剛材の位置では、耐荷力に差は見られない。 ・ $1.0 \gamma vreq$と$2.0 \gamma vreq$では、$2.0 \gamma vreq$が曲げで1%, せん断で3%程度高い程度で有意な差は見られない。
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan
供試体名, 供試体数	B-21, B-22, B-23, B-24 C-21, C-22, C-23, C-24, C-25, C-26, C-27, C-28 S-21, S-22, S-23, S-24, S-25, S-26 水平補剛材 2本 18体 計18体

文献番号	No.35
文献名, 著者名	The influence of longitudinal web stiffeners upon the collapse behaviour of Plate girders. H. R. Evans, K. H. Tang
実験目的	プレートガーダーの破壊挙動における水平補剛材の影響を明らかにすることを目的とし、以下に示す4つのグループについて曲げ-せん断試験を行なった。また、実験結果をイギリスおよびアメリカの規定と比較した結果も示してある。 グループ1：水平補剛材を用いないもの。 “ 2：剛性の低い水平補剛材（実験の最大荷重で2つとも破壊）を用いるもの。 “ 3：中程度の剛性をもつ水平補剛材（片方が破壊）を用いるもの。 “ 4：剛性の高い水平補剛材（どちらも原形を保つ）を用いるもの。
実験結果	グループ1：せん断破壊を示した。最大荷重M_{max}は座屈荷重V_{cr}の4.059および3.370倍。 グループ2：せん断破壊を示したが、破壊後ウェブに座屈が観測された。尚、強度は、補剛材がない場合より21~59%増加。 グループ3：上側の補剛材のみが破壊し、破壊後荷重は急激に低下した。尚、強度は、44~73%増加。 グループ4：破壊モードは、安定している。尚、強度は56~87%増加。 ・イギリスの規定は剛性の低い補剛材を用いたものについては、20~24%、高いものについては、21~45%安全側であり、アメリカの規定については、それぞれ37~46%、25~38%安全側である。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	LS1-A, LS3-A, LS8-A, LS2-A, LS7-A, LS6-B, LS6-A, LS1-B, LS8-B, LS5-A, LS2-B, LS7-B, LS3-B, LS5-B, LS4-A, LS4-B, SD3, SD4 計18体 (水平補剛材なし 3体, 2本 15体)

文献番号	No.36										
文献名, 著者名	An Experimental and Analytical Study on Ultimate Strength of End Transverse Stiffener in Plate Girder Bridges. H. Nakai, M. Sakano										
実験目的	JSIB及びBS5400によって設計された, 2つのプレートガーダー桁で, ウェブの座屈後座屈挙動を調査, さらに端部を垂直補剛されているこのプレートガーダーの端部の破壊挙動から現行のJSIBの規定を検討する。 bs×ts(mm) <table><tr><td>No. 1 (JSIB)</td><td>端部垂直補剛材</td><td>55×9</td><td>ウェブ両側×1</td></tr><tr><td>No. 2 (BS5400)</td><td>"</td><td>65×6</td><td>" ×2</td></tr></table>			No. 1 (JSIB)	端部垂直補剛材	55×9	ウェブ両側×1	No. 2 (BS5400)	"	65×6	" ×2
No. 1 (JSIB)	端部垂直補剛材	55×9	ウェブ両側×1								
No. 2 (BS5400)	"	65×6	" ×2								
実験結果	- ウェブのせん断座屈を卓越させるために$tw=b/178$とした。結果せん断座屈強度は理論値+15% - 垂直補剛材の最大変位は上フランジから0.2bであることがわかった。 - 柱モデルでの有効座屈長は$\ell=0.71b$, ウェブプレートの有効幅は, パラメータηが供試体No. 1で$\eta=15$, No.2で$\eta=6$ - P/Pu~M/Myの相関曲線で検討すると, BSによる端部補剛材の設計は安全であるが, JSIBによるものは限界状態では安全でないことがわかった。										
国別の分類	1. Europe	2. North America	③ Japan								
供試体名, 供試体数	No. 1, No. 2 水平補剛材なし 2体 計2体										

文献番号	No.37
文献名, 著者名	An Appraisal, by full-scale testing, of new design procedures for steel girders subjected to shear and bending. H. R. EVANS Proc, Inst C. E. Part 2
実験目的	せん断および曲げを同時に受けるガーダーの全体的な挙動, および垂直, 水平補剛材の挙動を調査することを目的に, せん断-曲げ試験を行なった。また, 結果を, BS5400および著者らが提案した簡易強度相関曲線を用いた設計法による値と比較している。 また供試体は, ・ PB3(せん断卓越), 垂直補剛材 1 本のみ ・ PA3(せん断卓越), 垂直補剛材 1 本, 水平補剛材 1 本(0.5d) ・ PB1(せん断-曲げ) " " (0.2d) ・ PA1(せん断-曲げ) " , 水平補剛材 2 本(0.123d, 0.4d) ・ PC (純曲げ) , 水平補剛材 2 本(0.123d, 0.4d)
実験結果	PB3:規定による予測値は, 338KNであり, 実測値388KNより13%安全側である。また簡易相関曲線は399KNであり, 1 %危険側である。 PA3:規定による予測値は, 270KNであり, 実測値505KNより46%安全側である。簡易曲線による値は514KNであり, 2 %危険側である。 PB1:規定による予測値は, 260KNであり, 実測値395KNより34%安全側である。簡易曲線による値は336KNであり, 15%安全側である。 PA1:規定による予測値は, 367KNであり, 実測値425KNより14%安全側である。簡易曲線による値は362KNで15%安全側である。 PC :規定による予測値は, 268KNであり, 実測値402KNより33%安全側である。簡易曲線による値は368KNであり, 8 %安全側である。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	PB3, PA3, PB1, PA1, PC 水平補剛材なし 1 体 " 1 本 2 体 " 2 本 2 体 計 5 体

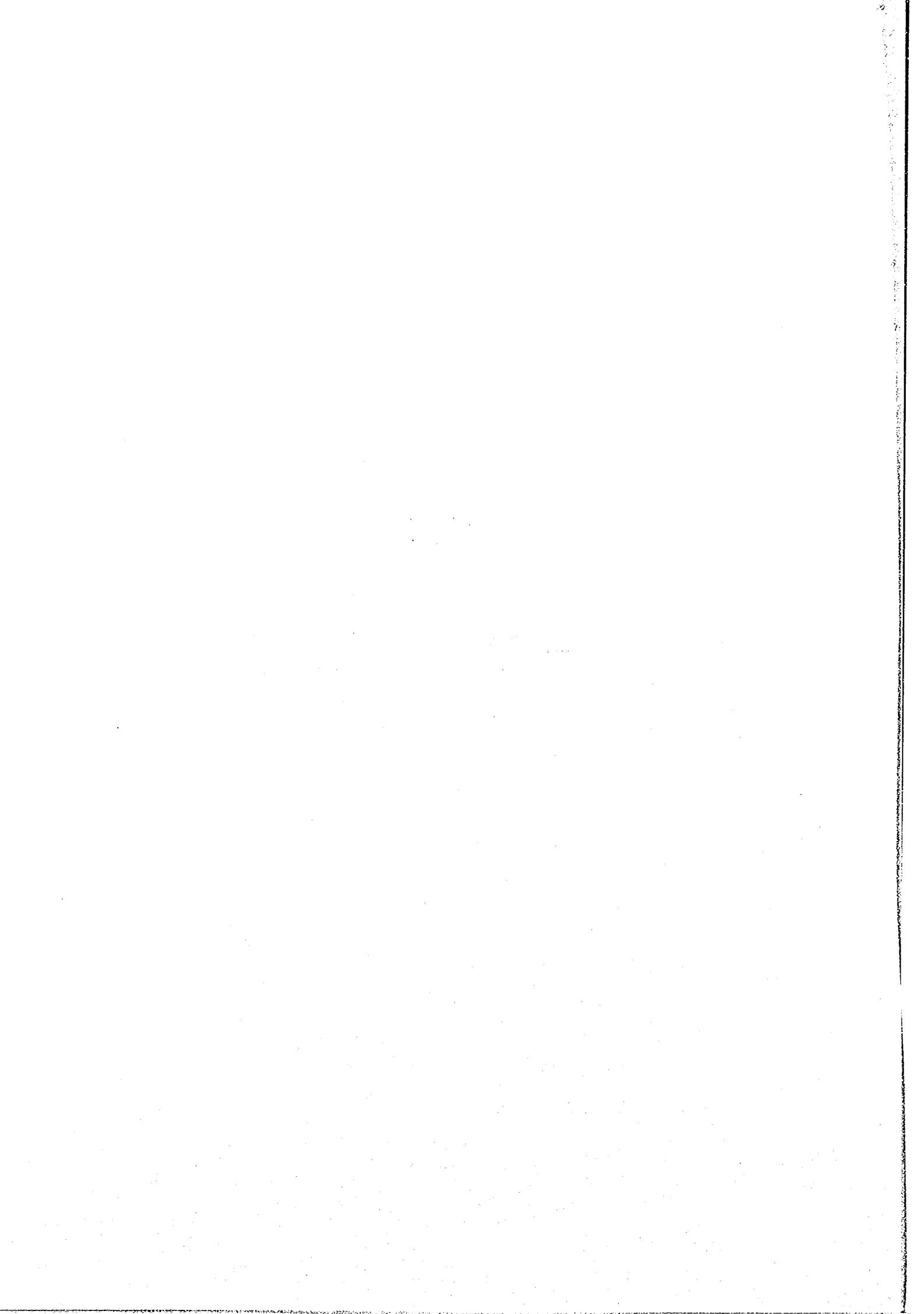
文献番号	No.38
文献名, 著者名	Longitudinal stiffeners for girders webs; their behaviour and design H. R. Evans, K. H. Tang
実験目的	プレートガーダーのウェブに取り付けられた水平補剛材に関する現行の設計基準はtension field theoryの適用を認めていないため複雑な計算を要し, また安全側すぎる傾向を示している。この理論を適用できない理由として, プレートガーダー全体および補剛材自身の挙動に関する知識の不足が挙げられるため, 本研究ではせん断力の卓越した曲げせん断試験を行ない, それらの挙動を明らかにすることによって, 補剛材の最適の大きさおよび, 耐力の算出法を確立することを目的としている。
実験結果	・水平補剛材の剛性が小さい場合 ($\sigma/\sigma^* < 0.3$) 最大荷重時に両方の補剛材とも破壊を越えしまたウェブは, 補剛材を通りこして座屈した。しかし, 強度は補剛材を用いない場合より最高で59%上昇した。 ・補剛材の剛性が中程度の場合 ($0.3 < \sigma/\sigma^* < 0.6$) 片方の補剛材のみ破壊し, ウェブは全高の2/3まで座屈を起こした。 ・補剛材の剛性が高い場合 ($\sigma/\sigma^* > 0.6$) 最大荷重時においても補剛材は, まっすぐである。 ・補剛材の剛性をあまり高くしても (SDパネルで $\sigma/\sigma^* \geq 0.328$) ガーダーの強度はあがらない。 ・実験結果とtension field theoryはよく一致しており, 水平補剛材を用いたプレートガーダーの設計にこの理論を適用すべきであると書かれている。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	SD5, SD6, SD7, SD8 水平補剛材 2本 4体 計4体

文献番号	No.39
文献名, 著者名	Test on Longitudinally Reinforced Plate Girders Subjected to Shear. K. C. Rockey, H. R. Evans, D. M. Porter
実験目的	せん断力と曲げモーメントを同時に受けるプレートガーダーの破壊荷重の算出方法として著者らが提案している簡易法と実験結果を比較することにより, その妥当性を検討することを目的にし, せん断-曲げ試験を行なっている。 供試体はMSタイプがウェブ幅, 高さ, 厚さが $b=947\text{mm}$ $d=608\text{mm}$ $t=201\text{mm}$ フランジ幅, 厚が $bf=102\text{mm}$, $t_f=10.1\text{mm}$で水平補剛材を等間隔で0~3本取り付けてある。 SDタイプは $b=d=594\text{mm}$ $t=2.0\text{mm}$ $bf=250\text{mm}$ $t_f=12\text{mm}$で水平補剛材を$d/4$の位置に1本または$4/d$および$d/2$に1本ずつ取り付けてある。
実験結果	・MSタイプの理論値はMS0, MS1, MS2, MS3の順にそれぞれ88.6KN, 120KN, 166.2KN, 179.3KNであり, また実験値は93.5KN, 122.0, 153.0, 180.0で誤差は, -5~+9%である。 ・SDタイプの理論値はSD1~SD6の順にそれぞれ, 135KN, 139, 151, 168, 168, 168であり, 実験値は, 129KN, 136, 156, 176, 174, 172であり, 誤差は-5~+5%である。 以上の結果より著者らの提案する方法は, プレートガーダーの設計に十分有効であると述べられている。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	MS0, MS1, MS2, SD1 水平補剛材なし 2体 " 1本 1体 " 2本 1体 計4体

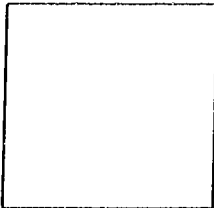
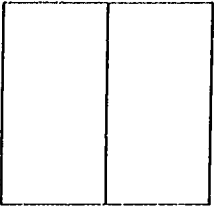
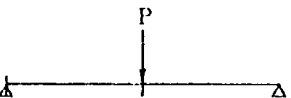
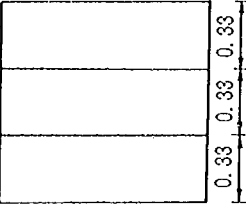
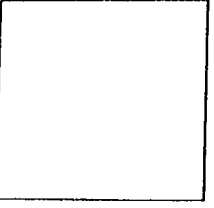
文献番号	No.40
文献名, 著者名	Simply Supported Long thin Plate I-Girders without web Stiffeners Subjected to Distributed Transverse Load. T. Höglund
実験目的	I 型鋼は、取り付け、溶接に手作業を要するウェブのスティフナーを必要としないために、ここ十年間、屋根型設造物に用いられるケースが著しく増加している。しかし、せん断力、曲げモーメント、端荷重すべてが組み合わされた場合の研究は、まだ行なわれていない。そこで本研究では支点にスティフナーを持つ単純支持の I 型プレートガーダーが分布荷重を受ける場合を取り扱っている。 尚、供試体は、ウェブ高 h 一定 (600mm)、ウェブ厚 d 2.86 および 2.0mm、フランジ幅 b 226 および 151mm、フランジ厚 t 9.9 および 6.1mm の断面をもち、スパンが 9 m および 6 m について実験を行なった。また荷重 P の間隔は $5/3h = 1$ m である。
実験結果	- ウェブの幅厚比 h/d を 210 から 300 にすると耐荷力 P_{br} は 51% ($3.25\text{Mp} \rightarrow 1.58\text{Mp}$) 低下する。また最大たわみは、10mm ($45\text{mm} \rightarrow 55\text{mm}$) 増加する。 - せん断座屈荷重とせん断降伏応力の比 t_{cr}/t_y は 10.5 ($\alpha = 3.24$) から 14.3 ($\alpha = 3.78$) となる。また最大せん断力 t_u は 38% 低下する。t_u/t_{cr} は 3.69 $\rightarrow$ 4.68 に増加する。 - スパンを 9 m から 6 m にすることにより、P_{br} は 62% ($3.25\text{Mp} \rightarrow 5.28\text{Mp}$) 増加する。また最大たわみは、30mm ($45\text{mm} \rightarrow 15\text{mm}$) 減少する。 - 最大せん断力 t_u の増加は 8% ($8.53\text{kp/cm}^2 \rightarrow 924\text{kp/cm}^2$) 程度である。
国別の分類	① Europe 2. North America 3. Japan
供試体名, 供試体数	B1, B4, K1 水平補剛材なし 3 体 計 3 体

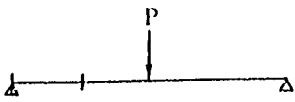
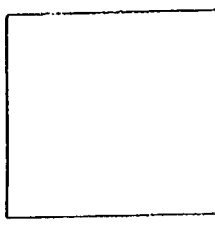
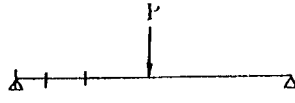
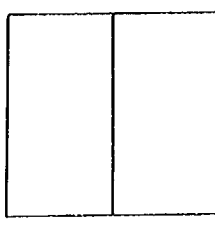
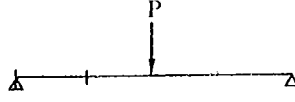
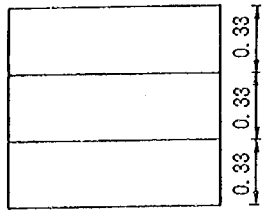
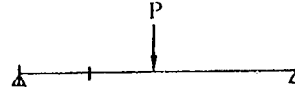
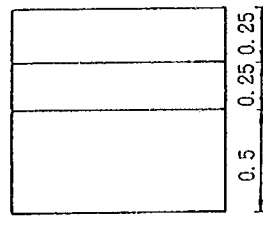
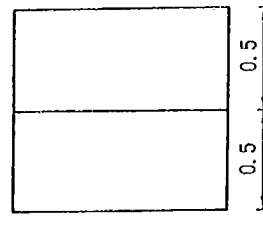
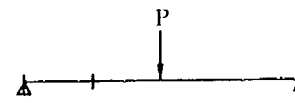
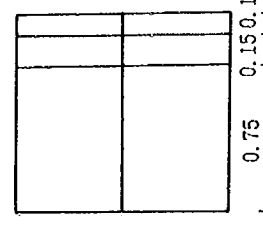
文献番号	No.41		
文献名, 著者名	土木研究所 実験データ (追加)		
実験目的			
実験結果			
国別の分類	1. Europe 2. North America ③ Japan		
供試体名, 供試体数	B-1, B-2, B-11, B-12, C-1, C-2, C-3, S-1, S-2, B-01, S-01 水平補剛材なし 9体, 1本 2体 計11体		

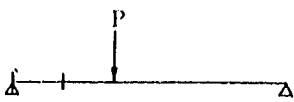
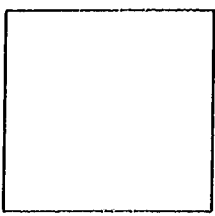
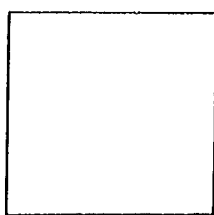
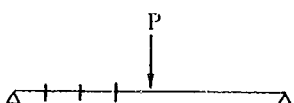
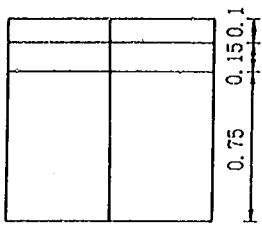
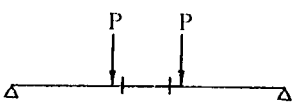
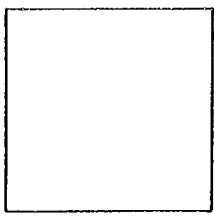
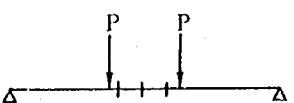
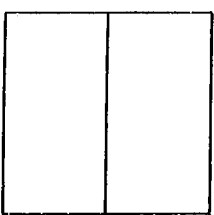
2. 載荷状態とテストパネルの形状一覧

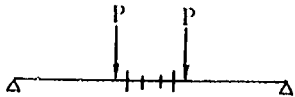
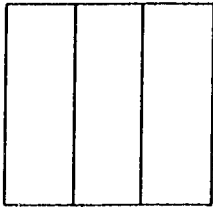
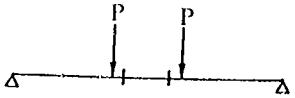
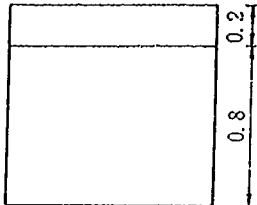
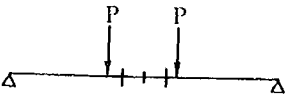
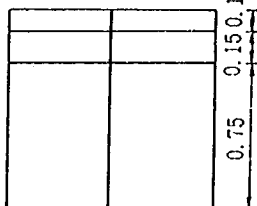
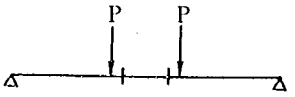
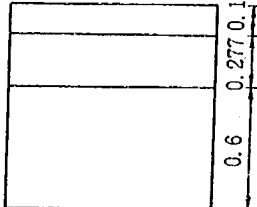
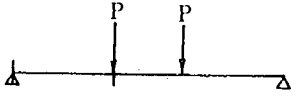
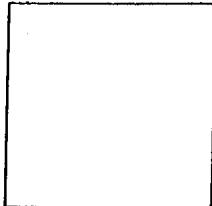
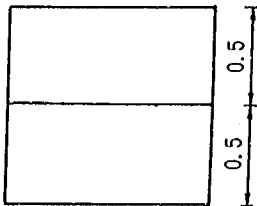


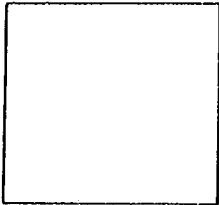
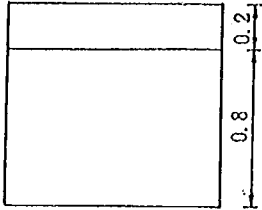
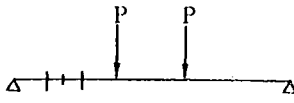
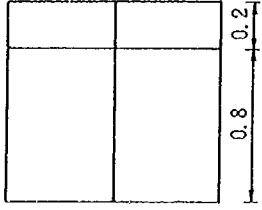
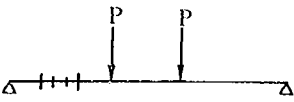
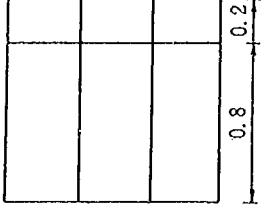
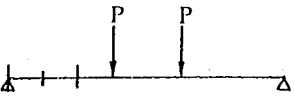
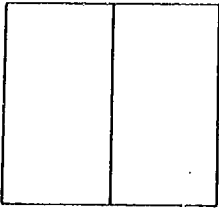
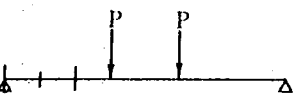
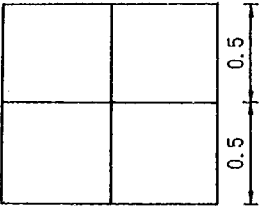
載荷状態とテストパネルの形状一覧表

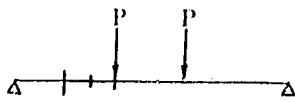
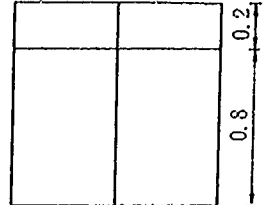
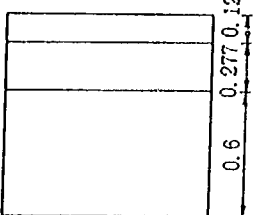
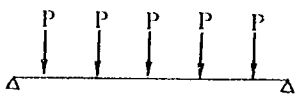
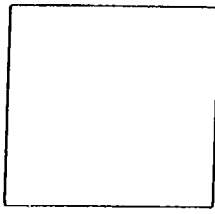
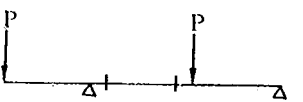
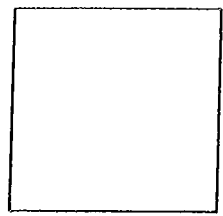
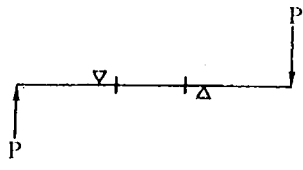
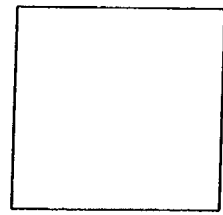
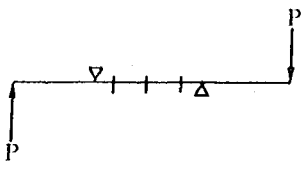
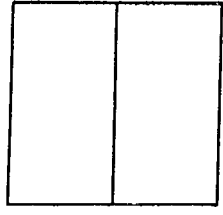
文 献 番 号	載 荷 状 態	テ ス ト パ ネ ル 形 状
5 (G8, T1, G9, T1), 20 22 (TG10, TG11, TG20, TG21, TG30, TG31, TG40, TG41, TG13, TG51, TG50, TG60, TG61, TG91, TG100, TG90), 30 (TGV1-1), 35 (LS1-A, LS3-A, SP3)		
5 (G8, T2, G9, T2) 30(TGV1-2, TGV2-1, TGV2-2, TGV3-1, TGV3-2, TGV4-1, TGV4-2, TGV5-1, TGV5-2, TGV6-1, TGV6-2, TGV7-1, TGV7-2, TGV8-1, TGV8-2, TGV9-1, TGV9-2, TGV10-1, TGV10-2, TGV11-2)		
35 (LS8-A, LS2-A, LS7-A, LS6-B, LS6-A, LS1-B, LS8-B, LS5-A, LS2-B, LS7-B, LS3-B, LS5-B, LS4-A, LS4-B, SD4)		
5 (G8, T3, G9-T3), 19 22 (TG200, TG210, TG220, TG230, TG240, TG250) 29 (PA1, PB1, PC1/2, PD1/2)		

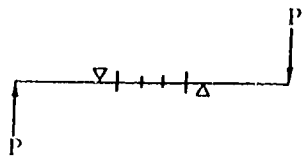
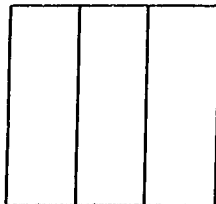
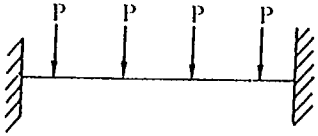
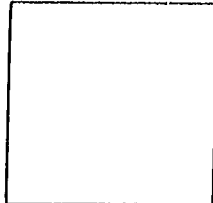
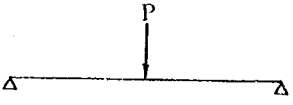
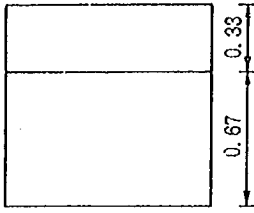
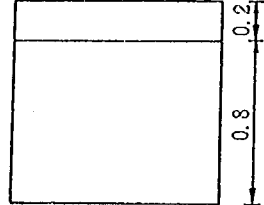
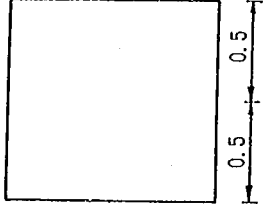
文 献 番 号	載 荷 状 態	テ ス ト パ ネ ル 形 状
13, 29 (PC3) 39 (MS0)		
41 (S-01)		
39 (MS2)		
38		
39 (MS1)		
34 (S-21, S-22, S-23, S-24, S-25, S-26)		

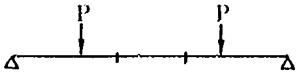
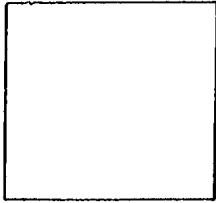
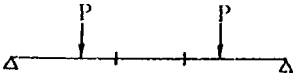
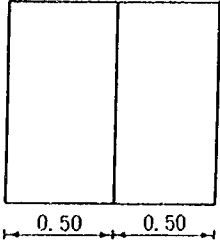
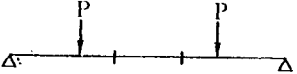
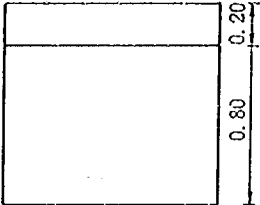
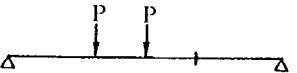
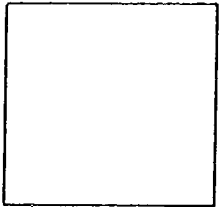
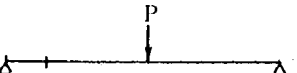
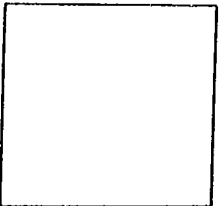
文 献 番 号	載 荷 状 態	テストパネル形状
36		
28 (WB-6, WB-7, WB-8, WB-9, WB-10) 29 (PA2, PA3, PB2, PD3) 41 (C-1, C-2, C-3, S-1, S-2)		
34 (C-21, C-22, C-23, C-24, C-25, C-26, C-27, C-28)		
2, 3, 4, 5 (G2, T1, G4, T1), 8 (B-25-D), 17 (A), 21 (A-1, A-2, A-3, A-4, A-5), 33(B-17-B, B-21-B, B-25-B) 41(B-1, B-2)		
5 (G2, T2, G4, T2) 33(B-17-A, B-21-A, B-25-A) 41(B-01)		

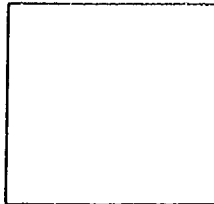
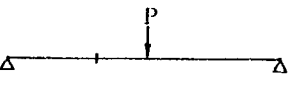
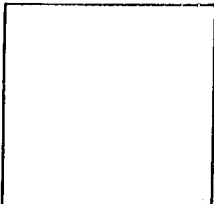
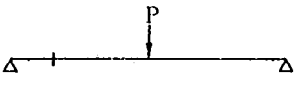
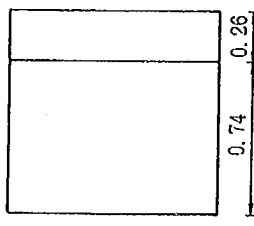
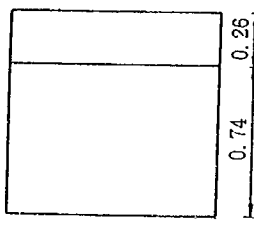
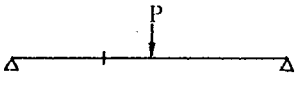
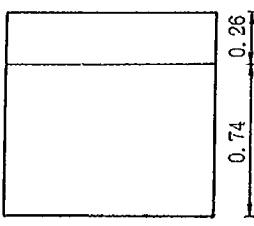
文 献 番 号	載 荷 状 態	テ ス ト パ ネ ル 形 状
6, 21 (A-1, A-2, A-3)		
8 (B-25-1, B-25-5, B-35-1, B-35-1A, B-35-1E, B-35-5), 41 (B-11, B-12)		
34 (B-21, B-22, B-23, B-24)		
37 (PC)		
1, 15, 16, 17 (B), 18, 26 (G1, G2, G3, G4), 32		
26 (G5, G6, G7, G8)		

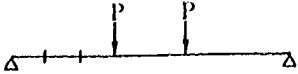
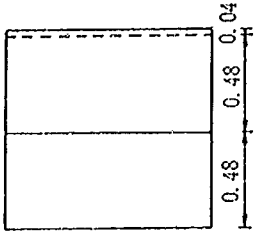
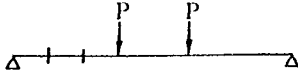
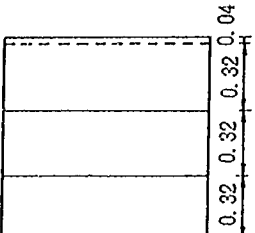
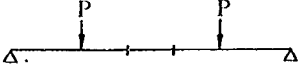
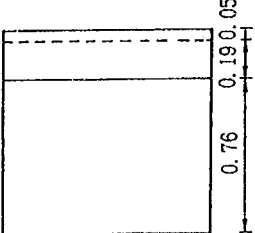
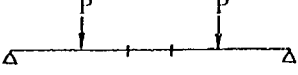
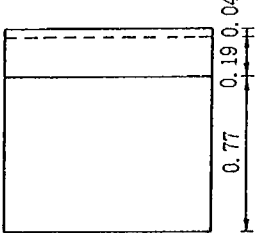
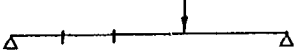
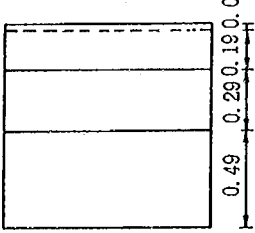
文 献 番 号	載 荷 状 態	テストパネル形状
28 (WB-1, WB-2, WB-3)		
24 (S-25-0)		
24(S-25-5, S-35-1, S-35-1A, S-35-5, S-35-1F)		
24 (S-35-1D)		
37 (PB3)		
37 (PA3)		

文献番号	載荷状態	テストパネル形状
37 (PB1)		
37 (PA1)		
40		
12		
5 (G6, T1, G7, T1, G7, T2)		
5 (G6, T2)		

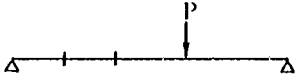
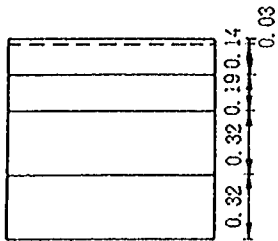
文 献 番 号	載 荷 状 態	テ ス ト パ ネ ル 形 状
5 (G6, T3)		
21 (S-1, S-2, S-3)		
23 (LS1T2, LS2T1, LS3T1, LS3T2, LS3T3)		
23 (LS4T1)		
23 (LS4T2)		
7, 9, 10, 14, 25, 27, 31	な し	
11, 39 (SD1)	載 荷 状 態 な し	

文 献 番 号	載 荷 状 態	テ ス ト パ ネ ル 形 状
5 (G1. T1) 7 (EBY ₁ -130-2, EBY ₁ -220-1, EYB ₁ -300-1)		
5 (G1. T2)		
9 (AL-1, AL-2, AL-3, AL-4, BL-1, BL-2, BL-3, BL-4)		
14 (G-1, G-2)		
25 (UG4. 1, UG4. 6)		

文 献 番 号	載 荷 状 態	テ ス ト パ ネ ル 形 状
25 (UG4. 2, UG4. 5)		
25 (UG4. 3, UG4. 4)		
25 (UG5. 1, UG5. 6)		
25 (UG5. 2, UG5. 5)		
25 (UG5. 3, UG5. 4)		

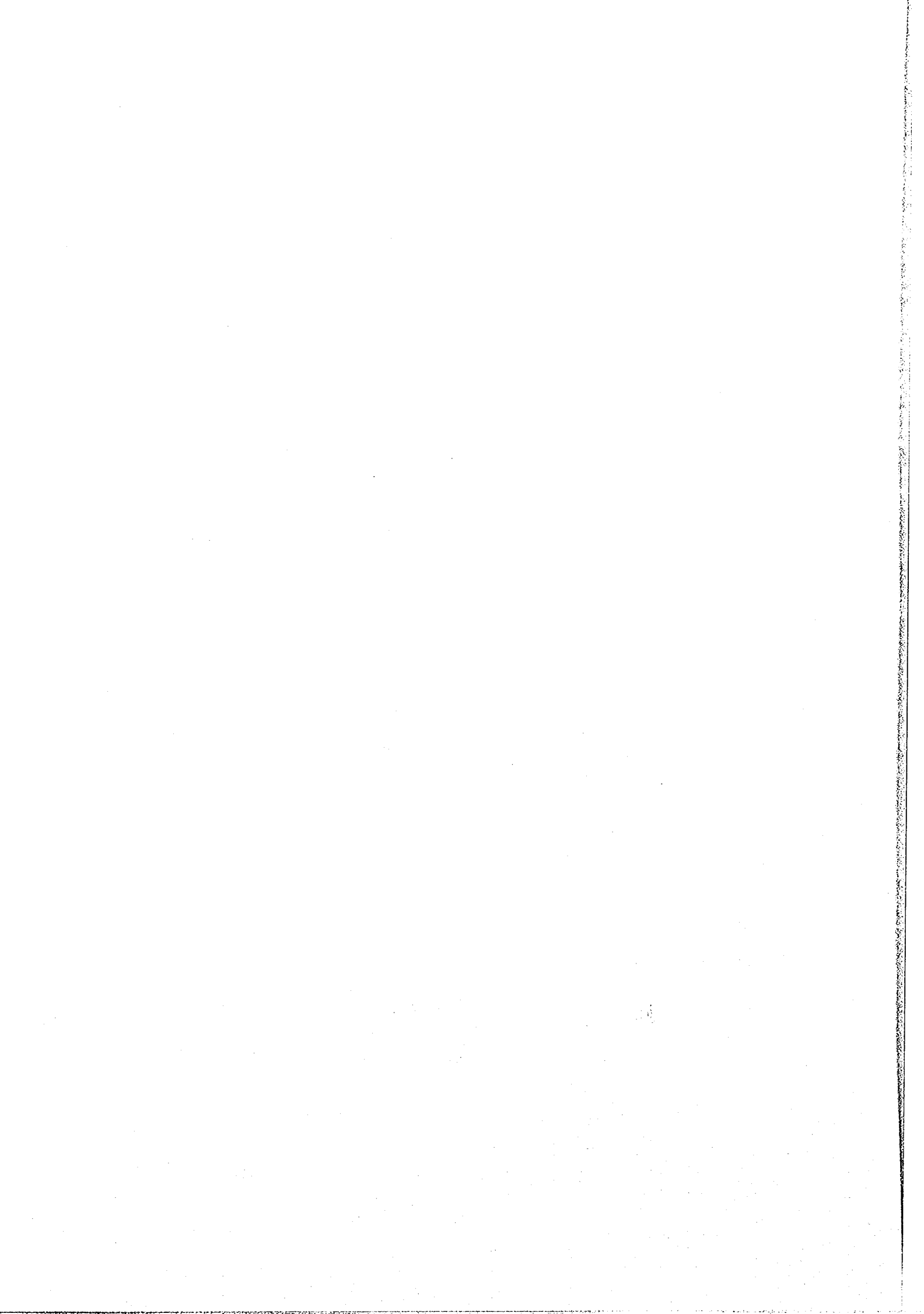
文 献 番 号	載 荷 状 態	テ ス ト パ ネ ル 形 状
46 (A-1, A-2, A-4)		
46 (A-3, A-5)		
46 (B-1, B-2)		
46 (B-3, B-4, B-5, B-6)		
46 (C-1, C-3, C-4, C-6, C-7, C-9)		

注) はコーナープレート位置を示す。

文 献 番 号	載 荷 状 態	テストパネル形状
46 (C-2, C-5, C-8)		

3. データベースに登録されているデータ

3.1 上下フランジ対称プレートガーダー



1. データ番号	=	1
2. 文献番号	=	1
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AQRX1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 194.600
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 194.600
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 804.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.000
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	0
12. 水平補剛材の取付け	=	N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27. 鋼種	=	SM58Q
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	59.300
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	59.300
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	55.700
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	=	147.900
34. 終局せん断力 (t)	=	0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 6000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 790.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2250.000
40. 荷目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	テスト* 初
41. テスト* 初荷目点 (テスト* 初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42. テスト* 初荷目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	1

1. データ番号	=	2
2. 文献番号	=	1
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AQRX2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 195.400
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 195.400
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 804.500
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.000
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	0
12. 水平補剛材の取付け	=	N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27. 鋼種	=	SM58Q
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	59.300
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	59.300
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	53.700
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	=	148.800
34. 終局せん断力 (t)	=	0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 6000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 790.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2250.000
40. テスト* 初荷目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	テスト* 初
41. テスト* 初荷目点 (テスト* 初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42. テスト* 初荷目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	2

1. データ番号	=	3
2. 文献番号	=	1
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AQBY1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 196.100
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 196.100
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 789.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.100
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	0
12. 水平補剛材の取付け	=	N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27. 鋼種	=	SM58Q
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	59.300
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	59.300
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	50.100
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	=	147.400
34. 終局せん断力 (t)	=	0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 6000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 790.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2250.000
40. テスト* 初荷目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	
41. テスト* 初荷目点 (テスト* 初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42. テスト* 初荷目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	3

1. データ番号	=	4
2. 文献番号	=	1
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AQBY2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 195.300
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 195.300
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 789.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.400
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	0
12. 水平補剛材の取付け	=	N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27. 鋼種	=	SM58Q
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	57.200
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	57.200
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	62.200
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	=	155.800
34. 終局せん断力 (t)	=	0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 6000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 790.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2250.000
40. テスト* 初荷目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	
41. テスト* 初荷目点 (テスト* 初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42. テスト* 初荷目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	4

1.データ番号	=	5
2.文献番号	=	1
3.荷重タイプ	=	1.
4.供試体名	=	GBX1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 182.100
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 182.100
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 779.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.500
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.鋼種	=	SM41B
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	29.300
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	29.300
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	31.000
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	136.100
34.終局せん断力 (t)	=	0.000
35.支間長 l (mm)	=	6000.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	790.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	790.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	=	2250.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43.国別の分類	=	J
44.旧データ番号	=	5

1.データ番号	=	7
2.文献番号	=	1
3.荷重タイプ	=	1.
4.供試体名	=	GBY1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 181.500
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 181.500
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 789.500
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.200
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.鋼種	=	SM41B
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	29.300
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	29.300
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	31.600
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	140.600
34.終局せん断力 (t)	=	0.000
35.支間長 l (mm)	=	6000.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	790.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	790.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	=	2250.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43.国別の分類	=	J
44.旧データ番号	=	7

1.データ番号	=	6
2.文献番号	=	1
3.荷重タイプ	=	1.
4.供試体名	=	GBX2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 180.300
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 180.300
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 789.900
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.200
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.鋼種	=	SM41B
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	29.300
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	29.300
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	30.700
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	144.700
34.終局せん断力 (t)	=	0.000
35.支間長 l (mm)	=	6000.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	790.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	790.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	=	2250.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43.国別の分類	=	J
44.旧データ番号	=	6

1.データ番号	=	8
2.文献番号	=	1
3.荷重タイプ	=	1.
4.供試体名	=	GBY2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 180.400
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 24.900
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 180.500
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 24.900
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 789.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.400
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.鋼種	=	SM41B
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	28.500
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	28.500
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	31.600
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	160.900
34.終局せん断力 (t)	=	0.000
35.支間長 l (mm)	=	6000.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	790.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	790.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	=	2250.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	
43.国別の分類	=	J
44.旧データ番号	=	8

1. データ番号 = 9
 2. 文献番号 = 1
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = GBY117
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 181.600
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.900
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 181.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.900
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1098.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 5.800
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1100.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い
 27. 鋼種 = SM418
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.200
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.200
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 30.300
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 235.800
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 6000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 1500.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1100.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 2250.000
 40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ初着目点 (フストハ初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 9

1. データ番号 = 11
 2. 文献番号 = 2
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = M.AC2
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 260.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 13.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 260.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 13.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 951.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 89.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 9.500
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 914.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = N
 27. 鋼種 = A514
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 75.300
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 75.300
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 23.640
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 294.000
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 9601.200
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2286.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 914.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 3429.000
 40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ初着目点 (フストハ初中央) X2 (mm) = 4800.600
 42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = N
 44. 旧データ番号 = 11

1. データ番号 = 10
 2. 文献番号 = 1
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = GBY217
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 181.500
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.900
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 181.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.900
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1100.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 5.800
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1100.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い
 27. 鋼種 = SM418
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.200
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.200
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 30.300
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 219.400
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 6000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 1500.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1100.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 2250.000
 40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ初着目点 (フストハ初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 10

1. データ番号 = 12
 2. 文献番号 = 2
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = M.AC1
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 275.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 15.700
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 275.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 15.700
 9. ウェブ高 bv (mm) = 952.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 4.500
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 89.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 9.500
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 914.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = N
 27. 鋼種 = A514
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 75.300
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 75.300
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 23.640
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 330.900
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 9601.200
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2286.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 914.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 3429.000
 40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ初着目点 (フストハ初中央) X2 (mm) = 4800.600
 42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = N
 44. 旧データ番号 = 12

1.データ番号		= 13
2.文献番号		= 2
3.荷重タイプ		= 1
4.供試体名		= 4.AA1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 274.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 15.600
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 274.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 15.700
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 949.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.300
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 89.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.500
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 914.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= A514
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 75.300
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 75.300
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 72.480
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 330.700
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 9601.200
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2286.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 914.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 3429.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 4800.600
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 13

1.データ番号		= 14
2.文献番号		= 2
3.荷重タイプ		= 1
4.供試体名		= 4.AA2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 262.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.800
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 262.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 13.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 949.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 89.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.500
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 914.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= A514
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 75.300
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 75.300
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 70.370
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 240.200
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 9601.200
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2286.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 914.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 3429.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 4800.600
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 14

1.データ番号		= 15
2.文献番号		= 3
3.荷重タイプ		= 1
4.供試体名		= B.150.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 180.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 180.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 480.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 240.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.000
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.000
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 30.000
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 4240.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1240.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 240.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2120.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 15

1.データ番号		= 16
2.文献番号		= 3
3.荷重タイプ		= 1
4.供試体名		= B.150.2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 180.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 180.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 481.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 360.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.000
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.000
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 30.300
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 4360.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1360.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 360.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2180.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 16

1.データ番号	= 17
2.文献番号	= 3
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B.150.3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 479.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 480.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	= SM41
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 32.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 32.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 22.000
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 24.500
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 4480.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 1480.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 480.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 2240.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 17

1.データ番号	= 18
2.文献番号	= 3
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B.150.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 480.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	= SM41
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 32.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 32.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 22.000
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 25.400
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 4600.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 1600.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 600.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 2300.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 18

1.データ番号	= 19
2.文献番号	= 3
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B.150.5
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 479.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 720.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	= SM41
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 32.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 32.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 22.000
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 29.100
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 4720.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 1720.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 720.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 2360.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 19

1.データ番号	= 20
2.文献番号	= 3
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B.209.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 481.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.300
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 240.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	= SM41
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 31.160
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 31.160
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 20.990
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 24.700
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 4240.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 1240.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 240.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 2120.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 20

1.データ番号		= 21
2.文献番号		= 3
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= 8,209.2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 180.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.300
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 360.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 20.990
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 26.400
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 4360.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1360.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 360.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 2180.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 21

1.データ番号		= 23
2.文献番号		= 3
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= 8,209.4
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 479.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.300
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 20.990
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 24.600
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 4600.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1600.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 600.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 2300.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 23

1.データ番号		= 22
2.文献番号		= 3
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= 8,209.3
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 481.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.300
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 480.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 20.990
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 24.300
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 4480.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1430.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 480.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 2240.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 22

1.データ番号		= 24
2.文献番号		= 3
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= 8,209.5
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 180.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 480.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.300
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 720.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 20.990
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 25.300
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 4720.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1720.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 720.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 2360.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 24

1.データ番号 = 25
 2.文献番号 = 4
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = B1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 9.800
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 9.800
 9.ウェブ高 bv (mm) = 658.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.100
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv =
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 70.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 10.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 660.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.100
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.100
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 26.800
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 31.870
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 5000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 660.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 1500.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 2500.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 25

1.データ番号 = 26
 2.文献番号 = 4
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = B2
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 9.800
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 9.800
 9.ウェブ高 bv (mm) = 468.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.100
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv =
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 70.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 10.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 468.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.000
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 27.500
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 21.380
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 5000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 468.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 1500.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 2500.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 26

1.データ番号 = 27
 2.文献番号 = 5
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = G2.T1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 310.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.500
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 310.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 19.700
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 6.860
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1905.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.140
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.010
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 24.820
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 233.020
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 13716.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 6096.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1905.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 3810.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 5905.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = N
 44.旧データ番号 = 29

1.データ番号 = 28
 2.文献番号 = 5
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = G2.T2
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 310.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.500
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 310.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 19.700
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 6.860
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 1
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 952.500
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.140
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.010
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 24.820
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 248.530
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 13716.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 6096.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) = 952.500
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1905.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 3810.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 5905.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = N
 44.旧データ番号 = 30

1.データ番号		= 29
2.文献番号		= 5
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= G4.T1
5.圧縮フランジ幅	bf (mm)	= 309.000
6.圧縮フランジ厚	tf (mm)	= 19.700
7.引張フランジ幅	bf (mm)	= 310.000
8.引張フランジ厚	tf (mm)	= 19.400
9.ウェブ高	bv (mm)	= 1270.000
10.ウェブ厚	tv (mm)	= 3.280
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh (mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th (mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1 (mm)	=
17.水平補剛材の間隔	b2 (mm)	=
18.水平補剛材の間隔	b3 (mm)	=
19.水平補剛材の位置	y1 (mm)	=
20.水平補剛材の位置	y2 (mm)	=
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv (mm)	= 101.600
24.垂直補剛材の厚さ	tv (mm)	= 6.350
25.垂直補剛材の間隔	a (mm)	= 1905.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.430
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.010
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.510
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 203.640
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長	l (mm)	= 13716.000
36.フランジの固定間距離	le (mm)	= 6096.000
37.部分パネルの長さ	a (mm)	=
38.全体パネルの長さ	L (mm)	= 1905.000
39.載荷点位置	Xa (mm)	= 3810.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 5905.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	=
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 31

1.データ番号		= 31
2.文献番号		= 5
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= G6.T1
5.圧縮フランジ幅	bf (mm)	= 308.100
6.圧縮フランジ厚	tf (mm)	= 19.800
7.引張フランジ幅	bf (mm)	= 308.100
8.引張フランジ厚	tf (mm)	= 19.800
9.ウェブ高	bv (mm)	= 1270.000
10.ウェブ厚	tv (mm)	= 4.900
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh (mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th (mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1 (mm)	=
17.水平補剛材の間隔	b2 (mm)	=
18.水平補剛材の間隔	b3 (mm)	=
19.水平補剛材の位置	y1 (mm)	=
20.水平補剛材の位置	y2 (mm)	=
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv (mm)	= 101.600
24.垂直補剛材の厚さ	tv (mm)	= 6.350
25.垂直補剛材の間隔	a (mm)	= 1905.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.640
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.640
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.800
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 52.540
35.支間長	l (mm)	= 6096.000
36.フランジの固定間距離	le (mm)	= 6096.000
37.部分パネルの長さ	a (mm)	=
38.全体パネルの長さ	L (mm)	= 1905.000
39.載荷点位置	Xa (mm)	= 3048.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1143.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 2095.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 1717.449
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 33

1.データ番号		= 30
2.文献番号		= 5
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= G4.T2
5.圧縮フランジ幅	bf (mm)	= 309.000
6.圧縮フランジ厚	tf (mm)	= 19.700
7.引張フランジ幅	bf (mm)	= 310.000
8.引張フランジ厚	tf (mm)	= 19.400
9.ウェブ高	bv (mm)	= 1270.000
10.ウェブ厚	tv (mm)	= 3.280
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh (mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th (mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1 (mm)	=
17.水平補剛材の間隔	b2 (mm)	=
18.水平補剛材の間隔	b3 (mm)	=
19.水平補剛材の位置	y1 (mm)	=
20.水平補剛材の位置	y2 (mm)	=
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv (mm)	= 101.600
24.垂直補剛材の厚さ	tv (mm)	= 6.350
25.垂直補剛材の間隔	a (mm)	= 952.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.430
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.010
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.510
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 215.760
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長	l (mm)	= 13716.000
36.フランジの固定間距離	le (mm)	= 6096.000
37.部分パネルの長さ	a (mm)	= 952.500
38.全体パネルの長さ	L (mm)	= 1905.000
39.載荷点位置	Xa (mm)	= 3810.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 5905.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	=
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 32

1.データ番号		= 32
2.文献番号		= 5
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= G6.T2
5.圧縮フランジ幅	bf (mm)	= 308.100
6.圧縮フランジ厚	tf (mm)	= 19.800
7.引張フランジ幅	bf (mm)	= 308.100
8.引張フランジ厚	tf (mm)	= 19.800
9.ウェブ高	bv (mm)	= 1270.000
10.ウェブ厚	tv (mm)	= 4.900
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh (mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th (mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1 (mm)	=
17.水平補剛材の間隔	b2 (mm)	=
18.水平補剛材の間隔	b3 (mm)	=
19.水平補剛材の位置	y1 (mm)	=
20.水平補剛材の位置	y2 (mm)	=
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv (mm)	= 101.600
24.垂直補剛材の厚さ	tv (mm)	= 6.350
25.垂直補剛材の間隔	a (mm)	= 952.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.640
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.640
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.800
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 67.950
35.支間長	l (mm)	= 6096.000
36.フランジの固定間距離	le (mm)	= 6096.000
37.部分パネルの長さ	a (mm)	= 952.500
38.全体パネルの長さ	L (mm)	= 1905.000
39.載荷点位置	Xa (mm)	= 3048.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1143.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 2095.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 1717.449
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 34

1. データ番号		= 33
2. 文献番号		= 5
3. 荷重タイプ		= 2
4. 供試体名		= G6.T3
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 308.100
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 19.800
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 308.100
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 19.800
9. ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 4.300
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 2
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 6.350
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 635.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 綱種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.640
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.640
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.800
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34. 終局せん断力	(t)	= 80.180
35. 支間長	l	(mm) = 6096.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 6096.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) = 635.000
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 1905.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 3048.000
40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1143.000
41. フストハ初着目点 (フストハ初中央)	X2	(mm) = 2095.500
42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 1717.449
43. 国別の分類		= N
44. 旧データ番号		= 35

1. データ番号		= 35
2. 文献番号		= 5
3. 荷重タイプ		= 2
4. 供試体名		= G7.T2
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 309.600
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 19.500
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 309.600
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 19.500
9. ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 4.980
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 6.350
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1270.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 綱種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.430
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.430
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.800
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34. 終局せん断力	(t)	= 65.690
35. 支間長	l	(mm) = 6096.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 6248.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 1270.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 3048.000
40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1143.000
41. フストハ初着目点 (フストハ初中央)	X2	(mm) = 1778.000
42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 1673.808
43. 国別の分類		= N
44. 旧データ番号		= 37

1. データ番号		= 34
2. 文献番号		= 5
3. 荷重タイプ		= 2
4. 供試体名		= G7.T1
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 309.600
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 19.500
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 309.600
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 19.500
9. ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 4.380
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 6.350
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1270.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 綱種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.430
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.430
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.800
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34. 終局せん断力	(t)	= 63.420
35. 支間長	l	(mm) = 6096.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 6248.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 1270.600
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 3048.000
40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1143.000
41. フストハ初着目点 (フストハ初中央)	X2	(mm) = 1778.000
42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 1673.808
43. 国別の分類		= N
44. 旧データ番号		= 36

1. データ番号		= 36
2. 文献番号		= 5
3. 荷重タイプ		= 3
4. 供試体名		= G8.T1
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 304.800
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 19.100
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 304.800
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 19.000
9. ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 5.000
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 6.350
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 3810.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 綱種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.900
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 146.690
34. 終局せん断力	(t)	= 38.500
35. 支間長	l	(mm) = 8077.200
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 3810.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 4038.600
40. フストハ初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 3810.000
41. フストハ初着目点 (フストハ初中央)	X2	(mm) = 1905.000
42. フストハ初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 3025.692
43. 国別の分類		= N
44. 旧データ番号		= 38

1.データ番号 = 37
 2.文献番号 = 5
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = G8.T2
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.100
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 19.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 5.000
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 1
 22.垂直補剛材の取付け = 0
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1905.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.000
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 26.900
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 86.680
 34.終局せん断力 (t) = 45.500
 35.支間長 l (mm) = 8077.200
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) = 1905.000
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 3810.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 4038.600
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 3810.000
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 1905.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 3025.692
 43.国別の分類 = N
 44.旧データ番号 = 39

1.データ番号 = 39
 2.文献番号 = 5
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = G9.T1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.200
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 18.900
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.320
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = 0
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 3810.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.400
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.400
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 31.300
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 81.920
 34.終局せん断力 (t) = 21.500
 35.支間長 l (mm) = 8077.200
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 3810.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 4038.600
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 3810.000
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 1905.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 3025.692
 43.国別の分類 = N
 44.旧データ番号 = 41

1.データ番号 = 38
 2.文献番号 = 5
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = G8.T3
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.100
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 19.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 5.000
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = 0
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1905.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.000
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 26.900
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 201.930
 34.終局せん断力 (t) = 53.000
 35.支間長 l (mm) = 8077.200
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1905.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 4038.600
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 3810.000
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 2857.500
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 3121.783
 43.国別の分類 = N
 44.旧データ番号 = 40

1.データ番号 = 40
 2.文献番号 = 5
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = G9.T2
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.200
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 18.900
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.320
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 1
 22.垂直補剛材の取付け = 0
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1905.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.400
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.400
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 31.300
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 64.770
 34.終局せん断力 (t) = 34.000
 35.支間長 l (mm) = 8077.200
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) = 1905.000
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 3810.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 4038.600
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 3810.000
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 1905.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 3025.692
 43.国別の分類 = N
 44.旧データ番号 = 42

1.データ番号 = 41
 2.文献番号 = 5
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = G9. I3
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.200
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 304.800
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 18.900
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.320
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1905.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.400
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.400
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 31.300
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 137.160
 34.終局せん断力 (t) = 36.000
 35.支間長 l (mm) = 8077.200
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1905.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 4038.600
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 3810.000
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 1905.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 3121.783
 43.国別の分類 = N
 44.旧データ番号 = 43

1.データ番号 = 42
 2.文献番号 = 12
 3.荷重タイプ = 2.
 4.供試体名 = AQSY1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 195.500
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 195.500
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 789.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 7.000
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 789.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 = SM58Q
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 57.500
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 57.500
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 59.200
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34.終局せん断力 (t) = 147.800
 35.支間長 l (mm) = 4000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 790.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 44

1.データ番号 = 43
 2.文献番号 = 12
 3.荷重タイプ = 2.
 4.供試体名 = AQSY1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 196.400
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 14.100
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 196.100
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 14.100
 9.ウェブ高 bv (mm) = 789.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 6.100
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 789.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 = SM58Q
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 59.300
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 59.300
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 50.100
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34.終局せん断力 (t) = 123.400
 35.支間長 l (mm) = 4000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 790.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 45

1.データ番号 = 44
 2.文献番号 = 12
 3.荷重タイプ = 2.
 4.供試体名 = GSX1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 179.500
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.300
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 179.600
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 25.300
 9.ウェブ高 bv (mm) = 790.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 6.400
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 790.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 = SM41B
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.300
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 33.200
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 33.200
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34.終局せん断力 (t) = 87.500
 35.支間長 l (mm) = 4000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 790.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 46

1.データ番号		= 45
2.文献番号		= 12
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= GSX2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 179.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 24.900
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 181.300
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 789.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 789.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41B
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.800
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.600
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.600
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 94.000
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 47

1.データ番号		= 47
2.文献番号		= 12
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= BSY1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 195.100
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.200
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 195.400
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.200
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 790.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM58N(f) SM41B(v)
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 47.100
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.600
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.600
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 92.500
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 49

1.データ番号		= 46
2.文献番号		= 12
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= GSY1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 179.600
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 179.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.300
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 790.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41B
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.300
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.600
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.600
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 95.000
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 48

1.データ番号		= 48
2.文献番号		= 13
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= H1.T2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 458.700
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 24.800
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 458.700
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1270.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 9.980
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.530
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1905.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= N-A-XTRA100
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 71.710
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 77.890
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 75.990
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 663.890
34.終局せん断力	(t)	= 348.500
35.支間長 l	(mm)	= 7874.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1905.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 3937.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1905.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 952.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1330.551
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 51

1. データ番号		= 49
2. 文献番号		= 15
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= G.1
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 160.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 160.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
9. ウェブ高	bv	(mm) = 140.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 8.000
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1150.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= HICON 36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 108.390
34. 終局せん断力	(t)	= 94.250
35. 支間長	l	(mm) = 2600.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 1150.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 1150.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1150.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2 (mm)	= 575.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 894.591
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 54

1. データ番号		= 51
2. 文献番号		= 15
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= G.3
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 160.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 160.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
9. ウェブ高	bv	(mm) = 560.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 8.000
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1500.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= HICON 36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 162.000
34. 終局せん断力	(t)	= 108.000
35. 支間長	l	(mm) = 3300.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 1500.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 1500.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1500.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2 (mm)	= 750.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 1171.331
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 56

1. データ番号		= 50
2. 文献番号		= 15
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= G.2
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
9. ウェブ高	bv	(mm) = 140.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 8.000
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1150.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= HICON 36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 104.650
34. 終局せん断力	(t)	= 91.000
35. 支間長	l	(mm) = 2600.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 1150.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 1150.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1150.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2 (mm)	= 575.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 894.591
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 55

1. データ番号		= 52
2. 文献番号		= 15
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= G.4
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 250.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 250.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 30.000
9. ウェブ高	bv	(mm) = 560.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 8.000
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 2000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= HICON 36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 221.000
34. 終局せん断力	(t)	= 110.500
35. 支間長	l	(mm) = 4300.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 2000.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 2000.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 2000.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2 (mm)	= 1000.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 1625.988
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 57

1.データ番号		= 53
2.文献番号		= 15
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= G.5
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 560.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 8.000
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1500.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= HICON 36
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 161.250
34.終局せん断力	(t)	= 107.500
35.支間長 l	(mm)	= 3300.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1500.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1500.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 750.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1171.331
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 58

1.データ番号		= 55
2.文献番号		= 15
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= G.7
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 560.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 8.000
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1500.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= HICON 36
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 185.630
34.終局せん断力	(t)	= 123.750
35.支間長 l	(mm)	= 3300.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1500.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1500.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 750.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1171.331
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 60

1.データ番号		= 54
2.文献番号		= 15
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= G.6
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 560.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 8.000
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 700.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= HICON 36
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 84.350
34.終局せん断力	(t)	= 120.500
35.支間長 l	(mm)	= 1700.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 700.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 700.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 700.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 350.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 466.619
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 59

1.データ番号		= 56
2.文献番号		= 15
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= G.9
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 30.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 720.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 8.000
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 2000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= HICON 36
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 42.000
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 243.000
34.終局せん断力	(t)	= 121.500
35.支間長 l	(mm)	= 4300.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 1000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1570.464
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 62

1.データ番号 = 57
 2.文献番号 = 16
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = NO.1.1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 500.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 1.500
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 14.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1100.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 30.800
 34.終局せん断力 (t) = 28.000
 35.支間長 l (mm) = 2500.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1100.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 1100.000
 40.テスト¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 1100.000
 41.テスト¹ 初着目点 (テスト¹ 初中央) X2 (mm) = 550.000
 42.テスト¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 831.379
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 63

1.データ番号 = 58
 2.文献番号 = 16
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = NO.1.2
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 150.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 500.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 1.500
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 14.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1100.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 31.350
 34.終局せん断力 (t) = 28.500
 35.支間長 l (mm) =
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) =
 39.載荷点位置 Xa (mm) =
 40.テスト¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト¹ 初着目点 (テスト¹ 初中央) X2 (mm) =
 42.テスト¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 64

1.データ番号 = 59
 2.文献番号 = 16
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = NO.2.1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 160.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 4.500
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 160.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 4.500
 9.ウェブ高 bv (mm) = 400.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 4.500
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 50.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 10.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 800.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 13.600
 34.終局せん断力 (t) = 17.000
 35.支間長 l (mm) = 2000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 800.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 800.000
 40.テスト¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 800.000
 41.テスト¹ 初着目点 (テスト¹ 初中央) X2 (mm) = 400.000
 42.テスト¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 594.110
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 65

1.データ番号 = 60
 2.文献番号 = 16
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = NO.2.2
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 160.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 4.500
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 160.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 4.500
 9.ウェブ高 bv (mm) = 400.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 4.500
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = D
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 50.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 10.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 800.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.網種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 34.000
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 14.000
 34.終局せん断力 (t) = 17.500
 35.支間長 l (mm) =
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) =
 39.載荷点位置 Xa (mm) =
 40.テスト¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト¹ 初着目点 (テスト¹ 初中央) X2 (mm) =
 42.テスト¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 66

1. データ番号 = 61
 2. 文献番号 = 17
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = A
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 240.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 12.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 240.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 12.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1200.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 1.500
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = D
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 120.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 9.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1200.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 = SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.000
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.000
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 28.000
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 116.250
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 10000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1200.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 5000.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 67

1. データ番号 = 63
 2. 文献番号 = 17
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = C
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 240.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 12.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 240.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 12.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1200.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.000
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = D
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 120.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 9.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1200.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 = HT60
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 50.000
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 50.000
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 50.000
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 240.000
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 10000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1200.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 5000.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 69

1. データ番号 = 62
 2. 文献番号 = 17
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = B
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 240.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 12.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 240.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 12.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1200.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 4.500
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = D
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 120.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 9.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1200.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 = HT60
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 50.000
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 50.000
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 50.000
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 106.400
 34. 終局せん断力 (t) = 76.000
 35. 支間長 l (mm) = 10000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1200.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 1400.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 800.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 926.515
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 68

1. データ番号 = 64
 2. 文献番号 = 18
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = G-2
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 22.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 22.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 820.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.000
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け =
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 97.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 12.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 2100.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 35.000
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 35.000
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 37.800
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 157.500
 34. 終局せん断力 (t) = 75.000
 35. 支間長 l (mm) = 1600.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 2100.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2100.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2100.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 1050.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 1628.344
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 70

1.データ番号	= 65
2.文献番号	= 18
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= G-3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 22.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 22.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 970.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 5.500
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 97.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 12.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 2475.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 35.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 35.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 42.500
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 158.400
34.終局せん断力 (t)	= 64.000
35.支間長 l (mm)	= 3350.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 2475.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 2475.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 2475.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 1237.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 1917.989
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 71

1.データ番号	= 66
2.文献番号	= 18
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= G-4
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 22.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 22.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1190.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 5.200
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 37.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 12.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 3050.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 35.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 35.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 42.500
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 196.730
34.終局せん断力 (t)	= 64.500
35.支間長 l (mm)	= 6500.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 3050.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 3050.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 3050.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 1525.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 2365.278
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 72

1.データ番号	= 67
2.文献番号	= 19
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= AQCY1.4.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 195.800
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 14.100
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 195.400
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 14.100
9.ウェブ高 bv	(mm) = 790.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 6.100
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	= SM58Q
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 59.300
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 59.300
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 50.100
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 147.800
34.終局せん断力 (t)	= 88.000
35.支間長 l (mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 790.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 1875.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 1480.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 1520.941
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 73

1.データ番号	= 68
2.文献番号	= 19
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= AQCY1.4.2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 194.100
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 13.800
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 194.800
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 14.100
9.ウェブ高 bv	(mm) = 790.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 6.200
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= D
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 60.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 790.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	= SM58Q
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 55.500
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 55.500
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 53.700
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 131.300
34.終局せん断力 (t)	= 79.600
35.支間長 l (mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 790.000
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 1875.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 1480.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 1520.941
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 74

1. データ番号		= 69
2. 文献番号		= 19
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= AQCY1.3.6
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 195.300
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 195.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.200
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 790.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.400
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= SM58Q
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 57.200
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 57.200
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 56.700
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 148.800
34. 終局せん断力	(t)	= 99.200
35. 支間長 l	(mm)	= 3600.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1800.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1800.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1675.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1280.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1325.829
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 75

1. データ番号		= 71
2. 文献番号		= 19
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= GCX1.4
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 179.800
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 25.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 180.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 790.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.400
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= SM41B
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.300
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 33.200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 93.800
34. 終局せん断力	(t)	= 75.000
35. 支間長 l	(mm)	= 4000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2000.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1875.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1480.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1520.941
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 77

1. データ番号		= 70
2. 文献番号		= 19
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= AQCY1.2.8
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 195.100
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 194.500
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 789.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.700
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= SM58Q
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 55.600
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 55.600
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 58.300
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 125.900
34. 終局せん断力	(t)	= 121.100
35. 支間長 l	(mm)	= 2800.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1400.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1275.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 880.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 940.207
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 76

1. データ番号		= 72
2. 文献番号		= 19
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= GCX2.4
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 181.100
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 25.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 180.600
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.200
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 788.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.300
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 790.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= SM41B
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.800
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.800
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.900
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 97.300
34. 終局せん断力	(t)	= 70.000
35. 支間長 l	(mm)	= 4000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 790.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2000.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1875.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1480.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1520.941
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 78

1. データ番号 = 73
 2. 文献番号 = 19
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = GCY1.5
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 180.800
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.200
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 180.700
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.300
 9. ウェブ高 bv (mm) = 788.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 790.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 = SM41B
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.500
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.500
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 37.800
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 109.400
 34. 終局せん断力 (t) = 62.500
 35. 支間長 l (mm) = 5000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2500.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 790.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2375.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 1980.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2012.322
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 79

1. データ番号 = 74
 2. 文献番号 = 19
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = GCY1.1
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 180.500
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.300
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 180.600
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.300
 9. ウェブ高 bv (mm) = 789.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.800
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 790.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 = SM41B
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.300
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.300
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 30.600
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 96.900
 34. 終局せん断力 (t) = 77.500
 35. 支間長 l (mm) = 4000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 790.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 1875.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 1480.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 1520.941
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 80

1. データ番号 = 75
 2. 文献番号 = 19
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = GCY1.3.6
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 181.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 181.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 789.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.300
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 790.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 = SM41B
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.800
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.800
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 29.700
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 89.400
 34. 終局せん断力 (t) = 74.500
 35. 支間長 l (mm) = 3600.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 1800.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 790.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 1800.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 1675.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 1280.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 1325.829
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 81

1. データ番号 = 76
 2. 文献番号 = 19
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = GCY1.2.3
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 179.200
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 24.900
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 181.300
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 789.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.800
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 60.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 500.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 = SM41B
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.800
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.800
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 30.600
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 72.800
 34. 終局せん断力 (t) = 112.000
 35. 支間長 l (mm) = 2300.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 1130.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 500.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2250.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 1125.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 750.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 780.750
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 82

1.データ番号	= 77
2.文献番号	= 20
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= A.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 25.400
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 6.350
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 25.400
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 6.350
9.ウェブ高 bv	(mm) = 133.300
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 1.420
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 177.800
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.830
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.830
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 25.890
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t·m)	= 0.510
34.終局せん断力 (t)	= 2.880
35.支間長 l	(mm) = 355.600
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 177.800
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 177.800
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 177.800
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 88.900
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 120.580
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 83

1.データ番号	= 79
2.文献番号	= 20
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= A.3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 25.400
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 6.350
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 25.400
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 6.350
9.ウェブ高 bv	(mm) = 133.300
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 1.420
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 571.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.830
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.830
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 25.890
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t·m)	= 0.850
34.終局せん断力 (t)	= 1.490
35.支間長 l	(mm) = 1143.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 571.500
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 571.500
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 571.500
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 285.750
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 474.816
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 85

1.データ番号	= 78
2.文献番号	= 20
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= A.2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 25.400
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 6.350
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 25.400
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 6.350
9.ウェブ高 bv	(mm) = 133.300
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 1.420
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 279.400
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.830
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.830
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 25.890
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t·m)	= 0.680
34.終局せん断力 (t)	= 2.430
35.支間長 l	(mm) = 558.800
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 279.400
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 279.400
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 279.400
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 139.700
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 209.297
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 84

1.データ番号	= 80
2.文献番号	= 6
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= A.
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 84.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 8.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 84.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 8.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 800.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 2
22.垂直補剛材の取付け	= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 14.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 3.200
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 560.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	= SS41
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 32.000
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t·m)	= 21.360
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 6120.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 1680.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) = 560.000
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 1680.000
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 1200.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 3060.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 86

1.データ番号		= 81
2.文献番号		= 6
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B.
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 100.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 100.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 800.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 3.200
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 2
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 40.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 3.200
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 560.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SS41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 29.000
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 29.000
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 32.000
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 24.840
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 6120.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1680.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 560.000
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1680.000
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 1200.000
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 3060.000
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 87

1.データ番号		= 83
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TG.11
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 101.600
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 4.750
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 101.600
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 4.750
9.ウェブ高	bv	(mm) = 609.600
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.720
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.030
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.030
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 24.030
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 7.320
34.終局せん断力		(t) = 12.000
35.支間長	l	(mm) = 1219.200
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 609.600
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 609.600
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 609.600
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 304.800
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 89

1.データ番号		= 82
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TG.10
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 101.600
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 4.700
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 101.600
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 4.700
9.ウェブ高	bv	(mm) = 609.600
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.720
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 25.420
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 25.420
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 25.420
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 6.890
34.終局せん断力		(t) = 11.300
35.支間長	l	(mm) = 1219.200
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 609.600
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 609.600
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 609.600
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 304.800
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 88

1.データ番号		= 84
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TG.20
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 101.600
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 6.550
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 101.600
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 6.550
9.ウェブ高	bv	(mm) = 609.600
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.720
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 23.870
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 23.870
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 23.870
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 7.680
34.終局せん断力		(t) = 12.600
35.支間長	l	(mm) = 1219.200
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 609.600
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 609.600
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 609.600
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 304.800
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 90

1.データ番号		= 85
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= IG.21
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.430
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.430
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.720
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 24.410
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 24.410
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 24.410
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 7.160
34.終局せん断力 (t)		= 11.750
35.支間長 l (mm)		= 1209.200
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 609.600
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 609.600
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 609.600
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 304.800
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 91

1.データ番号		= 87
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= IG.31
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.620
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.620
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.740
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.370
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.370
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.370
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 8.230
34.終局せん断力 (t)		= 13.500
35.支間長 l (mm)		= 1219.200
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 609.600
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 609.600
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 609.600
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 304.800
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 93

1.データ番号		= 86
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= IG.30
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.570
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.570
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.740
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.270
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.270
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.270
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 8.690
34.終局せん断力 (t)		= 14.250
35.支間長 l (mm)		= 1219.200
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 609.600
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 609.600
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 609.600
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 304.800
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 92

1.データ番号		= 88
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= IG.40
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 15.880
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 15.880
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.720
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 22.940
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 22.940
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 22.940
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 9.690
34.終局せん断力 (t)		= 15.900
35.支間長 l (mm)		= 1219.200
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 609.600
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 609.600
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 609.600
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 304.800
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 94

1.データ番号		= 89
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.41
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 15.820
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 15.820
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.960
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.960
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.960
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 9.240
34.終局せん断力 (t)		= 15.150
35.支間長 l (mm)		= 1219.200
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 609.600
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 609.600
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 609.600
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 304.800
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 95

1.データ番号		= 91
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.50
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 203.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.500
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 203.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.500
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 914.400
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 29.190
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 29.190
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 29.190
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 11.890
34.終局せん断力 (t)		= 13.000
35.支間長 l (mm)		= 1828.800
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 914.400
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 914.400
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 914.400
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 457.200
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 638.665
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 97

1.データ番号		= 90
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.13
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 25.320
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 101.600
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 25.320
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 27.190
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 27.190
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 27.190
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 12.710
34.終局せん断力 (t)		= 20.850
35.支間長 l (mm)		= 1219.200
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 609.600
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 609.600
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 609.600
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 304.800
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 379.781
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 96

1.データ番号		= 92
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.51
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 203.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.520
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 203.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.520
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 914.400
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 26.350
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 26.350
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 26.350
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)		= 10.700
34.終局せん断力 (t)		= 11.700
35.支間長 l (mm)		= 1828.800
36.フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)		=
38.全体パネルの長さ L (mm)		= 914.400
39.載荷点位置 Xa (mm)		= 914.400
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 914.400
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)		= 457.200
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 638.665
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 98

1.データ番号	= 93
2.文献番号	= 22
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= 16.60
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 16.360
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 16.360
9.ウェブ高 bv	(mm) = 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 914.400
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.920
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.920
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.920
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 12.980
34.終局せん断力 (t)	= 14.200
35.支間長 l (mm)	= 1828.800
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	= 914.400
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 914.400
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 914.400
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 914.400
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 457.200
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 638.665
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 99

1.データ番号	= 95
2.文献番号	= 22
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= 16.90
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.850
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.850
9.ウェブ高 bv	(mm) = 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1219.200
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 26.730
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 26.730
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 26.730
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 14.970
34.終局せん断力 (t)	= 12.280
35.支間長 l (mm)	= 2438.400
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 1219.200
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 1219.200
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 1219.200
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 609.600
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 905.424
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 101

1.データ番号	= 94
2.文献番号	= 22
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= 16.61
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 16.130
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 16.130
9.ウェブ高 bv	(mm) = 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 914.400
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 25.270
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 25.270
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 25.270
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 12.210
34.終局せん断力 (t)	= 13.350
35.支間長 l (mm)	= 1828.800
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 914.400
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 914.400
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 914.400
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 457.200
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 638.665
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 100

1.データ番号	= 96
2.文献番号	= 22
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= 16.91
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.850
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 203.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.850
9.ウェブ高 bv	(mm) = 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1219.200
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.030
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.030
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.030
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 14.660
34.終局せん断力 (t)	= 12.030
35.支間長 l (mm)	= 2438.400
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 1219.200
39.載荷点位置 Xa (mm)	= 1219.200
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 1219.200
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 609.600
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 905.424
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 102

1.データ番号	=	97
2.文献番号	=	22
3.荷重タイプ	=	3.
4.供試体名	=	1G,100
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 203.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 16.260
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 203.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 16.260
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 609.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.620
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1219.200
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.網種	=	
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	26.660
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	26.660
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	26.660
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	15.670
34.終局せん断力 (t)	=	12.850
35.支間長 l (mm)	=	2438.400
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	1219.200
39.載荷点位置 xa (mm)	=	1219.200
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	1219.200
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	609.600
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	905.424
43.国別の分類	=	E
44.旧データ番号	=	103

1.データ番号	=	98
2.文献番号	=	22
3.荷重タイプ	=	3.
4.供試体名	=	1G,200
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 76.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 3.250
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 76.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 3.250
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 304.800
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.030
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 304.800
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.網種	=	
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	30.760
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	30.760
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	22.960
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	1.560
34.終局せん断力 (t)	=	5.120
35.支間長 l (mm)	=	1244.600
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	304.800
39.載荷点位置 xa (mm)	=	622.300
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	622.300
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	469.900
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	488.645
43.国別の分類	=	E
44.旧データ番号	=	104

1.データ番号	=	99
2.文献番号	=	22
3.荷重タイプ	=	3.
4.供試体名	=	1G,210
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 76.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 4.880
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 76.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 4.880
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 304.800
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.030
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 304.800
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.網種	=	
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	28.690
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	28.690
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	22.960
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	2.170
34.終局せん断力 (t)	=	7.130
35.支間長 l (mm)	=	1244.600
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	304.800
39.載荷点位置 xa (mm)	=	622.300
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	622.300
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	469.900
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	488.645
43.国別の分類	=	E
44.旧データ番号	=	105

1.データ番号	=	100
2.文献番号	=	22
3.荷重タイプ	=	3.
4.供試体名	=	1G,220
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 76.200
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.480
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 76.200
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.480
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 304.800
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.030
11.水平補剛材の本数 Nh	=	0
12.水平補剛材の取付け	=	N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=	
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22.垂直補剛材の取付け	=	N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 304.800
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	
27.網種	=	
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	33.870
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	=	33.870
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	=	22.960
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	=	0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	=	2.410
34.終局せん断力 (t)	=	7.900
35.支間長 l (mm)	=	1244.600
36.フランジの固定間距離 le (mm)	=	0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=	
38.全体パネルの長さ L (mm)	=	304.800
39.載荷点位置 xa (mm)	=	622.300
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=	622.300
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	=	469.900
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=	488.645
43.国別の分類	=	E
44.旧データ番号	=	106

1.データ番号		=101
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.230
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 76.200
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.220
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 76.200
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.220
9.ウェブ高	bv	(mm) = 304.800
10.ウェブ厚	tw	(mm) = 2.030
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 304.800
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.920
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.920
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.960
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 2.480
34.終局せん断力	(t)	= 8.150
35.支間長	l	(mm) = 1244.600
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 304.800
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 622.300
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 622.300
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 469.900
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 488.645
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 107

1.データ番号		=103
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.250
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 76.200
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 15.540
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 76.200
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 15.540
9.ウェブ高	bv	(mm) = 304.800
10.ウェブ厚	tw	(mm) = 2.030
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 304.800
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.890
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.890
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.960
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 3.170
34.終局せん断力	(t)	= 10.400
35.支間長	l	(mm) = 1244.600
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 304.800
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 622.300
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 622.300
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 469.900
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 488.645
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 109

1.データ番号		=102
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.240
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 76.200
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 12.350
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 76.200
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 12.350
9.ウェブ高	bv	(mm) = 304.800
10.ウェブ厚	tw	(mm) = 2.030
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 304.800
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.470
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.470
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.960
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 2.940
34.終局せん断力	(t)	= 9.650
35.支間長	l	(mm) = 1244.600
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 304.800
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 622.300
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 622.300
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 469.900
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 488.645
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 108

1.データ番号		=104
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= 16.240
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 127.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 6.350
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 127.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 6.350
9.ウェブ高	bv	(mm) = 253.000
10.ウェブ厚	tw	(mm) = 1.600
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 502.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.280
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.280
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.280
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 1.980
34.終局せん断力	(t)	= 3.950
35.支間長	l	(mm) = 1004.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 502.000
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 502.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 502.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 251.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 372.238
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 110

1.データ番号		=105
2.文献番号		= 22
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= STG.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.350
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.350
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 251.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.250
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 498.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.650
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.650
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.650
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 1.740
34.終局せん断力	(t)	= 3.500
35.支間長 l	(mm)	= 996.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 498.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 498.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 498.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 249.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 369.267
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 111

1.データ番号		=107
2.文献番号		= 23
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= LS2T1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 359.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 37.900
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 359.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 37.900
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1270.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.620
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 100.800
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 12.700
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.67
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 419.1
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 850.9
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 419.1
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 76.200
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.100
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1270.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.700
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.100
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.700
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 27.700
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 71.600
35.支間長 l	(mm)	=
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1270.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1270.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	=
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	=
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 113

1.データ番号		=106
2.文献番号		= 23
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= LS1T2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 359.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 38.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 359.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 38.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1270.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.350
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 102.600
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 25.800
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.67
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 419.1
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 850.9
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 419.1
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 76.200
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.100
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1270.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.400
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.200
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.900
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 32.900
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 93.600
35.支間長 l	(mm)	=
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1270.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1270.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	=
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	=
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 112

1.データ番号		=108
2.文献番号		= 23
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= LS3T1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 362.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 33.500
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 362.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 33.500
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1270.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.600
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 50.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 12.800
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.67
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 419.1
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 850.9
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 419.1
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.530
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1905.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.900
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.700
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.900
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 26.900
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 63.200
35.支間長 l	(mm)	=
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1905.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1905.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	=
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	=
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 114

1.データ番号		=109
2.文献番号		= 23
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= LS3T2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 362.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 33.500
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 362.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 33.500
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.600
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 87.400
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 13.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.67
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 419.1
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 850.9
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 419.1
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 127.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 9.530
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1905.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.900
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.700
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 26.900
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 26.900
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 0.000
34.終局せん断力		(t) = 67.200
35.支間長	l	(mm) =
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1905.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1905.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) =
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) =
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 115

1.データ番号		=111
2.文献番号		= 23
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= LS4T1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 359.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 38.400
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 359.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 38.400
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 4.880
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 88.100
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 13.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 254.0
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 1016.0
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 254.0
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 76.200
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 12.700
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1270.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 21.400
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 21.100
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 34.200
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 34.200
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 0.000
34.終局せん断力		(t) = 86.300
35.支間長	l	(mm) =
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1270.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1270.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) =
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) =
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 117

1.データ番号		=110
2.文献番号		= 23
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= LS3T3
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 362.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 33.500
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 362.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 33.500
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.600
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 87.400
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 13.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.67
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 419.1
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 850.9
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 419.1
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 127.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 12.700
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 953.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.900
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.700
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 26.900
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 26.900
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 0.000
34.終局せん断力		(t) = 76.700
35.支間長	l	(mm) =
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 953.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 953.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) =
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) =
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 116

1.データ番号		=112
2.文献番号		= 23
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= LS4T2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 359.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 38.400
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 359.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 38.400
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1270.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 4.880
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 88.900
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 13.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.50:0.50
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 635.0
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 635.0
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 635.0
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 114.300
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 12.700
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1270.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 21.400
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 21.100
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 34.200
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 34.200
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 0.000
34.終局せん断力		(t) = 92.000
35.支間長	l	(mm) =
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1270.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1270.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) =
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) =
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= N
44.旧データ番号		= 118

1.データ番号 =113
 2.文献番号 = 8
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = B.25.0
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 796.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.100
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1193.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27.鋼種 = SM41
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 33.500
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 40.000
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 6000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1193.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 119

1.データ番号 =114
 2.文献番号 = 3
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = B.25.1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 795.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.100
 11.水平補剛材の本数 Nh = 1
 12.水平補剛材の取付け = D
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 33.600
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 4.500
 15.水平補剛材の間隔比 = 0.20:0.80
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 159.000
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 636.000
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) = 159.000
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1193.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27.鋼種 = SM41
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 33.500
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 31.460
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 51.000
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 6000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1193.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 120

1.データ番号 =115
 2.文献番号 = 8
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = B.25.5
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 795.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.100
 11.水平補剛材の本数 Nh = 1
 12.水平補剛材の取付け = D
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 59.900
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 5.900
 15.水平補剛材の間隔比 = 0.20:0.80
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 159.000
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 636.000
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) = 159.000
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1192.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27.鋼種 = SM41
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 33.500
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 27.030
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 56.400
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 6000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1192.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 3000.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 121

1.データ番号 =116
 2.文献番号 = 8
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = B.35.1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 226.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 9.000
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1114.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.100
 11.水平補剛材の本数 Nh = 1
 12.水平補剛材の取付け = D
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 36.500
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 4.500
 15.水平補剛材の間隔比 = 0.20:0.80
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 222.800
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 891.200
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) = 222.800
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1674.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27.鋼種 = SM41
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.740
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 33.500
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 31.460
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 70.000
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) = 6500.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2500.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1674.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2000.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 3250.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 122

1.データ番号		=117
2.文献番号		= 3
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B.35.1A
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 226.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 226.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1114.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 3.100
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= 0
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 36.700
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 4.500
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 222.800
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 891.200
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 222.800
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1674.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.740
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.740
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 33.500
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 78.000
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 6500.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 2500.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1674.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 3250.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 123

1.データ番号		=119
2.文献番号		= 8
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B.35.5
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 226.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 226.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1115.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 3.100
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= 0
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 64.900
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 223.000
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 892.000
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 223.000
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1674.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.740
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.740
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 33.500
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 27.030
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 77.500
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 6500.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 2500.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1674.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 3250.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 125

1.データ番号		=118
2.文献番号		= 8
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B.35.1E
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 226.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 226.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 9.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1115.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 3.100
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 48.500
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 4.500
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 223.000
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 892.000
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 223.000
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= V
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1674.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.740
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.740
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 33.500
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 31.160
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 67.000
34.終局せん断力		(t) = 0.000
35.支間長	l	(mm) = 6500.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 2500.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1674.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) =
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 3250.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) =
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 124

1.データ番号		=120
2.文献番号		= 24
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= S.25.0
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 300.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 12.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 300.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 12.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 800.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 3.200
11.水平補剛材の本数	Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け		= 0
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 62.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 160.000
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 640.000
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) = 160.000
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1200.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 27.200
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 27.200
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 28.200
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 32.300
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 48.480
34.終局せん断力		(t) = 30.300
35.支間長	l	(mm) = 4300.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1200.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1200.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 2000.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1750.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 1150.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 1345.168
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 134

1. データ番号		=121
2. 文献番号		= 24
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= S.25.5
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 45.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 160.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 640.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 160.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 43.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.500
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 綱種		= SM41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 35.100
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 62.000
34. 終局せん断力	(t)	= 38.750
35. 支間長 l	(mm)	= 4300.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1200.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 600.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1200.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2000.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1750.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1150.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1345.168
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 135

1. データ番号		=122
2. 文献番号		= 24
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= S.35.1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1120.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 48.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 224.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 896.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 224.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 28.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.500
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 840.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 綱種		= SM41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 35.100
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 95.680
34. 終局せん断力	(t)	= 46.000
35. 支間長 l	(mm)	= 5260.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1680.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 840.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1680.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2480.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2230.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1390.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1676.784
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 136

1. データ番号		=123
2. 文献番号		= 24
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= S.35.1A
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1120.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 48.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 224.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 896.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 224.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 28.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.500
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 840.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 綱種		= SM41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 35.100
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 95.680
34. 終局せん断力	(t)	= 46.000
35. 支間長 l	(mm)	= 5260.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1680.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 840.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1680.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2480.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2230.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1390.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1676.784
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 137

1. データ番号		=124
2. 文献番号		= 24
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= S.35.5
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1120.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 48.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 224.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 896.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 224.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 48.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.500
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 840.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 綱種		= SM41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 35.100
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 94.640
34. 終局せん断力	(t)	= 45.500
35. 支間長 l	(mm)	= 5260.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1680.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 840.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1680.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2480.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2230.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1390.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1676.784
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 138

1. データ番号		=125
2. 文献番号		= 24
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= S.35.10
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1120.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= D
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 40.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 224.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 896.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 224.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 2
22. 垂直補剛材の取付け		= D
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 36.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.500
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 560.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= SM41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.200
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 35.100
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 102.960
34. 終局せん断力	(t)	= 49.500
35. 支間長 l	(mm)	= 5260.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1680.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 560.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1680.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2480.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2230.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1390.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1676.784
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 139

1. データ番号		=127
2. 文献番号		= 26
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= G1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 301.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 22.400
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 301.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 22.400
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 543.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 9.100
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1450.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= KH-36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 38.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 160.230
34. 終局せん断力	(t)	= 110.500
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1450.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1450.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1450.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 725.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1131.748
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 153

1. データ番号		=126
2. 文献番号		= 24
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= S.35.1F
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 225.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 225.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1120.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= D
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 40.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 224.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 896.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 224.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= D
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 28.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.500
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 840.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= SM41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.300
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 35.100
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 78.000
34. 終局せん断力	(t)	= 37.500
35. 支間長 l	(mm)	= 5260.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1680.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 840.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1680.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2480.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2230.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1390.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1676.784
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 140

1. データ番号		=128
2. 文献番号		= 26
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= G2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 220.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 22.400
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 220.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 22.400
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 543.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 9.100
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1450.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		= KH-36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 38.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 150.800
34. 終局せん断力	(t)	= 104.000
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1450.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1450.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1450.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 725.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1131.748
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 154

1.データ番号		=129
2.文献番号		= 26
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= G3
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 302.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 22.200
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 302.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 22.200
9.ウェブ高	bv	(mm) = 722.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 3.400
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1900.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= KH-36
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 44.000
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 44.000
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 38.000
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 236.550
34.終局せん断力		(t) = 124.500
35.支間長	l	(mm) =
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1900.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1900.000
40.フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1900.000
41.フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2	(mm) = 950.000
42.フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 1479.608
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 155

1.データ番号		=130
2.文献番号		= 26
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= G4
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 243.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 22.100
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 243.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 22.100
9.ウェブ高	bv	(mm) = 720.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 3.200
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1900.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= KH-36
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 44.000
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 44.000
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 38.000
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 217.550
34.終局せん断力		(t) = 114.500
35.支間長	l	(mm) =
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1900.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1900.000
40.フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1900.000
41.フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2	(mm) = 950.000
42.フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 1480.248
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 156

1.データ番号		=131
2.文献番号		= 28
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= WB-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 254.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 39.400
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 254.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 39.400
9.ウェブ高	bv	(mm) = 355.600
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 6.350
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 939.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 23.200
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 23.200
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 30.400
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 46.390
34.終局せん断力		(t) = 49.400
35.支間長	l	(mm) = 3276.600
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 939.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1092.200
40.フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1015.600
41.フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2	(mm) = 546.100
42.フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 801.724
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 208

1.データ番号		=132
2.文献番号		= 28
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= WB-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 254.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 39.600
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 254.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 39.600
9.ウェブ高	bv	(mm) = 355.600
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 6.350
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 939.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 23.200
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 23.200
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 33.600
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 54.460
34.終局せん断力		(t) = 54.460
35.支間長	l	(mm) = 3276.600
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 939.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1092.200
40.フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1015.600
41.フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央)	X2	(mm) = 546.100
42.フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 801.724
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 209

1.データ番号		=133
2.文献番号		= 28
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= VB-3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 255.500
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 255.500
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 407.200
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.860
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1042.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 34.900
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 65.650
34.終局せん断力	(t)	= 65.650
35.支間長 l	(mm)	= 3530.600
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1042.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1219.200
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1130.600
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 609.600
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 888.882
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 210

1.データ番号		=134
2.文献番号		= 28
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= VB-6
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.500
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 254.500
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 446.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.350
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1093.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.300
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 47.550
34.終局せん断力	(t)	= 43.500
35.支間長 l	(mm)	= 2540.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1093.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1270.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1181.500
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 635.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 922.285
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 211

1.データ番号		=135
2.文献番号		= 28
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= VB-7
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 255.800
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 255.800
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 389.600
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.350
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 978.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.700
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 42.050
34.終局せん断力	(t)	= 43.000
35.支間長 l	(mm)	= 2286.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 978.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1143.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1060.500
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 571.500
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 831.301
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 212

1.データ番号		=136
2.文献番号		= 28
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= VB-8
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 255.800
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 38.400
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 255.800
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 38.400
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 397.500
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.600
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 978.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.200
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.900
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 44.300
34.終局せん断力	(t)	= 45.300
35.支間長 l	(mm)	= 2286.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 978.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1143.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1060.500
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 571.500
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 828.785
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 213

1. データ番号		=137
2. 文献番号		= 28
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= 4B-9
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 255.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 255.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 317.500
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.350
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 851.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.200
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.200
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 21.300
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 35.490
34. 終局せん断力 (t)		= 41.700
35. 支間長 l	(mm)	= 2032.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 851.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1016.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 933.500
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 508.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 740.202
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 214

1. データ番号		=138
2. 文献番号		= 28
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= 4B-10
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.300
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 254.300
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 38.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 317.500
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.350
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 851.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.200
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.200
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 21.300
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 36.250
34. 終局せん断力 (t)		= 42.600
35. 支間長 l	(mm)	= 2032.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 851.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1016.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 933.500
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 508.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 740.222
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 215

1. データ番号		=139
2. 文献番号		= 29
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= PA1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 0.960
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 69.900
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 3.670
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 21.010
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 21.010
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 22.030
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 24.780
34. 終局せん断力 (t)		= 8.260
35. 支間長 l	(mm)	= 6150.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 6150.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 3075.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3000.000
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 2700.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2714.760
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 222

1. データ番号		=140
2. 文献番号		= 29
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= PA2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 0.960
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 95.500
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 3.670
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 21.010
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 21.010
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 22.030
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 20.540
34. 終局せん断力 (t)		= 8.560
35. 支間長 l	(mm)	= 6150.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 6150.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 3075.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2400.000
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 2100.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2118.450
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 223

1.データ番号		=141
2.文献番号		= 29
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= PA3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 0.960
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 95.500
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6.140
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.010
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.010
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.030
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 15.750
34.終局せん断力	(t)	= 8.750
35.支間長 l	(mm)	= 6150.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 6150.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 3075.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1800.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 1500.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1524.575
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 224

1.データ番号		=143
2.文献番号		= 29
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= PB2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 0.960
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 49.900
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 3.670
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 500.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.010
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.010
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.030
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 23.200
34.終局せん断力	(t)	= 9.280
35.支間長 l	(mm)	= 6150.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 6150.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 500.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 3075.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2500.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2250.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2262.300
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 226

1.データ番号		=142
2.文献番号		= 29
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= PB1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 249.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 0.960
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 75.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 3.660
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 500.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.010
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.010
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.030
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 27.270
34.終局せん断力	(t)	= 9.090
35.支間長 l	(mm)	= 6150.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 6150.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 500.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 3075.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2750.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2760.271
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 225

1.データ番号		=144
2.文献番号		= 29
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= PC1/2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.000
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 30.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 5.080
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.720
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.720
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.030
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 15.020
34.終局せん断力	(t)	= 5.460
35.支間長 l	(mm)	= 5650.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 5650.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 2825.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2750.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 1750.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2240.506
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 227

1. データ番号 = 145
 2. 文献番号 = 29
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = PD1/2
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 800.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 1.000
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 1
 22. 垂直補剛材の取付け = S
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 25.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 5.080
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 750.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.720
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.720
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 22.030
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 18.230
 34. 終局せん断力 (t) = 6.630
 35. 支間長 l (mm) = 5650.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 5650.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) = 750.000
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1500.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2825.000
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2750.000
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) = 2000.000
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2272.270
 43. 国別の分類 = E
 44. 旧データ番号 = 228

1. データ番号 = 146
 2. 文献番号 = 29
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = PD3
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 800.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 1.000
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = S
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 45.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 5.080
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 750.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.720
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.720
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 22.030
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 9.560
 34. 終局せん断力 (t) = 7.650
 35. 支間長 l (mm) = 5650.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 5650.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 750.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2825.000
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 1250.000
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) = 375.000
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 930.350
 43. 国別の分類 = E
 44. 旧データ番号 = 229

1. データ番号 = 147
 2. 文献番号 = 29
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = PC3
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 800.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 1.000
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = S
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 40.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 5.080
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 750.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.720
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.720
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 22.030
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 6.020
 34. 終局せん断力 (t) = 8.030
 35. 支間長 l (mm) = 5650.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 5650.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 750.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2825.000
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 750.000
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) = 375.000
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 467.250
 43. 国別の分類 = E
 44. 旧データ番号 = 230

1. データ番号 = 148
 2. 文献番号 = 10
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = LB1
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 305.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.200
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 305.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 19.200
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1397.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.150
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv =
 22. 垂直補剛材の取付け =
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 76.200
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 6.350
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1397.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.400
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 26.300
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 23.400
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 215.640
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) =
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 1397.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) =
 39. 載荷点位置 Xa (mm) =
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) =
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 =
 44. 旧データ番号 = 231

1. データ番号		=149
2. 文献番号		= 10
3. 荷重タイプ		= 1.
4. 供試体名		= 1B2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 305,000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19,100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 305,000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 19,100
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1397,000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3,120
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 50,800
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 3,100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 279,400
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=1117,600
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 279,400
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		=
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 76,200
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6,350
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1397,000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26,000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26,100
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 24,000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 209,480
34. 終局せん断力	(t)	= 0,000
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	=1397,000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	=
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	=
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	=
43. 国別の分類		=
44. 旧データ番号		= 232

1. データ番号		=151
2. 文献番号		= 10
3. 荷重タイプ		= 1.
4. 供試体名		= 1B4
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 304,000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19,200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 304,000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 19,200
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1397,000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3,120
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 50,800
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 3,100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 279,400
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=1117,600
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 279,400
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		=
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 76,200
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6,350
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=2096,000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24,500
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25,200
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25,200
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 209,040
34. 終局せん断力	(t)	= 0,000
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	=2096,000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	=
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	=
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	=
43. 国別の分類		=
44. 旧データ番号		= 234

1. データ番号		=150
2. 文献番号		= 10
3. 荷重タイプ		= 1.
4. 供試体名		= 1B3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 304,000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19,100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 304,000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 19,100
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1397,000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3,120
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 63,500
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 3,100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 279,400
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=1117,600
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 279,400
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		=
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 76,200
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6,350
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1397,000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25,300
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25,400
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 24,300
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 203,860
34. 終局せん断力	(t)	= 0,000
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	=1397,000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	=
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	=
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	=
43. 国別の分類		=
44. 旧データ番号		= 233

1. データ番号		=152
2. 文献番号		= 10
3. 荷重タイプ		= 1.
4. 供試体名		= 1B5
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 305,000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19,200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 305,000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 19,200
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1397,000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3,120
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 50,800
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 3,100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 279,400
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=1117,600
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 279,400
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		=
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 76,200
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6,350
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1048,000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24,800
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25,000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25,000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0,000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 208,610
34. 終局せん断力	(t)	= 0,000
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	=1048,000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	=
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	=
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	=
43. 国別の分類		=
44. 旧データ番号		= 235

1.データ番号		=153
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV1-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 600.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.070
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1200.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.綱種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 21.120
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 10.160
34.終局せん断力		(t) = 8.470
35.支間長	l	(mm) = 2400.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1200.000
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 1200.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1200.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央)	X2	(mm) = 600.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 891.166
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 236

1.データ番号		=154
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV1-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 600.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.070
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 80.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 10.010
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.綱種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 21.120
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 13.530
34.終局せん断力		(t) = 11.320
35.支間長	l	(mm) = 2400.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 600.000
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1200.000
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 1200.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1200.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央)	X2	(mm) = 600.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 891.166
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 237

1.データ番号		=155
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV2-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 600.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.080
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 16.400
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 2.080
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.綱種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 21.120
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 12.790
34.終局せん断力		(t) = 10.660
35.支間長	l	(mm) = 2400.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 600.000
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1200.000
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 1200.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1200.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央)	X2	(mm) = 600.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 891.166
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 238

1.データ番号		=156
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV2-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
9.ウェブ高	bv	(mm) = 600.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 2.080
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 20.300
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 3.280
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.綱種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 24.710
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 21.120
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t・m) = 14.080
34.終局せん断力		(t) = 11.730
35.支間長	l	(mm) = 2400.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 600.000
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1200.000
39.観荷点位置	Xa	(mm) = 1200.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1200.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央)	X2	(mm) = 600.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 891.166
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 239

1.データ番号		=157
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV3-1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 600.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.010
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 10.500
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 2.030
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.710
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.710
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.120
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 11.560
34.終局せん断力	(t)	= 9.640
35.支間長 l	(mm)	= 2400.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 600.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1200.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1200.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1200.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 600.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 891.166
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 240

1.データ番号		=159
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV4-1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.700
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.700
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 598.200
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.970
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 29.800
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.950
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 596.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.530
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.530
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.360
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 12.350
34.終局せん断力	(t)	= 10.350
35.支間長 l	(mm)	= 2386.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 596.500
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1193.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1193.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1193.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 596.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 885.485
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 242

1.データ番号		=158
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV3-2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 600.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.010
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 30.800
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 5.080
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.710
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.710
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.120
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 13.780
34.終局せん断力	(t)	= 11.480
35.支間長 l	(mm)	= 2400.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 600.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1200.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1200.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1200.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 600.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 891.166
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 241

1.データ番号		=160
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV4-2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.700
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.700
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 598.200
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.970
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.300
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.970
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 595.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.530
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.530
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.360
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 12.320
34.終局せん断力	(t)	= 10.350
35.支間長 l	(mm)	= 2380.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 595.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1190.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1190.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1190.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 595.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 882.832
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 243

1. データ番号		= 161
2. 文献番号		= 30
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= TGV5-1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.700
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.950
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.800
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 598.100
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.980
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.500
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 5.010
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 594.500
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.190
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.190
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.240
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 12.670
34. 終局せん断力 (t)		= 10.660
35. 支間長 l (mm)		= 2378.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)		= 594.500
38. 全体パネルの長さ L (mm)		= 1189.000
39. 載荷点位置 Xa (mm)		= 1189.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 1189.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)		= 594.500
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 881.976
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 244

1. データ番号		= 162
2. 文献番号		= 30
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= TGV5-2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.700
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.950
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.800
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 598.100
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.980
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 60.500
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6.470
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 597.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.190
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.190
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 23.240
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 12.730
34. 終局せん断力 (t)		= 10.660
35. 支間長 l (mm)		= 2388.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)		= 597.000
38. 全体パネルの長さ L (mm)		= 1194.000
39. 載荷点位置 Xa (mm)		= 1194.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 1194.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)		= 597.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 886.398
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 245

1. データ番号		= 163
2. 文献番号		= 30
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= TGV6-1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.600
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.600
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 598.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.970
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 45.300
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 4.990
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 594.500
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.360
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.360
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 22.780
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 12.240
34. 終局せん断力 (t)		= 10.300
35. 支間長 l (mm)		= 2378.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)		= 594.500
38. 全体パネルの長さ L (mm)		= 1189.000
39. 載荷点位置 Xa (mm)		= 1189.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 1189.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)		= 594.500
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 881.949
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 246

1. データ番号		= 164
2. 文献番号		= 30
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= TGV6-2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.600
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.600
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 598.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.970
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 79.800
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.890
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 595.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.360
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)		= 25.360
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)		= 22.780
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)		= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)		= 24.490
34. 終局せん断力 (t)		= 10.300
35. 支間長 l (mm)		= 2380.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)		= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)		= 595.000
38. 全体パネルの長さ L (mm)		= 1190.000
39. 載荷点位置 Xa (mm)		= 1190.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)		= 1190.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)		= 595.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)		= 882.832
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 247

1.データ番号		=165
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV7-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.600
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.100
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.700
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
9.ウェブ高	bv	(mm) = 599.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.380
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 12.400
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 5.750
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 595.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 25.030
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 25.030
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 22.120
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 11.420
34.終局せん断力		(t) = 9.590
35.支間長	l	(mm) = 2382.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 595.500
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1191.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1191.000
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1191.000
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 595.500
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 883.491
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 248

1.データ番号		=166
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV7-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.600
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.100
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.700
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
9.ウェブ高	bv	(mm) = 599.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.380
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 25.200
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 5.100
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 590.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 25.030
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 25.030
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 22.120
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 12.660
34.終局せん断力		(t) = 10.720
35.支間長	l	(mm) = 2362.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 590.500
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1181.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1181.000
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1181.000
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 590.500
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 874.653
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 249

1.データ番号		=167
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV8-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.400
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.400
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
9.ウェブ高	bv	(mm) = 598.700
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.920
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 20.500
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 3.220
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 595.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.140
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.140
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 21.830
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 10.930
34.終局せん断力		(t) = 9.180
35.支間長	l	(mm) = 2832.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 595.500
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1191.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1191.000
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1191.000
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 595.500
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 883.576
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 250

1.データ番号		=168
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV8-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.400
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.400
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
9.ウェブ高	bv	(mm) = 598.700
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.920
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 16.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 5.710
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 595.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.140
29.引張フランジの降伏点		(kg/mm ²) = 20.140
30.ウェブの降伏点		(kg/mm ²) = 21.830
31.水平補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
32.垂直補剛材の降伏点		(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント		(t·m) = 11.420
34.終局せん断力		(t) = 9.590
35.支間長	l	(mm) = 2382.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 595.500
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1191.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1191.000
40.フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 1191.000
41.フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2	(mm) = 595.500
42.フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 883.576
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 251

1.データ番号		=169
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV9-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.400
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.300
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.040
9.ウェブ高	bv	(mm) = 598.500
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.910
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 25.500
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 3.250
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 593.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.180
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.180
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.050
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 12.110
34.終局せん断力	(t)	= 10.200
35.支間長	l	(mm) = 2374.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 593.500
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1187.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1187.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1187.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 593.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 880.096
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 252

1.データ番号		=170
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV9-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.400
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.300
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.040
9.ウェブ高	bv	(mm) = 598.500
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.910
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 20.400
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 5.740
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 596.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.180
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.180
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.050
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 12.840
34.終局せん断力	(t)	= 10.770
35.支間長	l	(mm) = 2384.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 596.000
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1192.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1192.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1192.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 596.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 884.516
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 253

1.データ番号		=171
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV10-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.600
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.030
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.300
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
9.ウェブ高	bv	(mm) = 598.500
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.910
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 16.700
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 3.300
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 595.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.430
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.430
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.940
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 12.330
34.終局せん断力	(t)	= 10.350
35.支間長	l	(mm) = 2382.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 595.500
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1191.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1191.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1191.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 595.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 883.631
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 254

1.データ番号		=172
2.文献番号		= 30
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= TGV10-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.600
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.030
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 200.300
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 10.080
9.ウェブ高	bv	(mm) = 598.500
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 1.910
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け		= D
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 17.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 6.170
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 594.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.430
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.430
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.940
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 12.790
34.終局せん断力	(t)	= 10.760
35.支間長	l	(mm) = 2378.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) = 594.500
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1189.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 1189.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1189.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2 (mm)	= 594.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 881.863
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 255

1. データ番号		=173
2. 文献番号		= 30
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= TGV11-2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.020
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 599.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.910
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 30.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6.090
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 593.500
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 網種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.100
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.100
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.940
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 12.990
34. 終局せん断力	(t)	= 10.940
35. 支間長 l	(mm)	= 2374.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 593.500
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1187.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1187.000
40. テスト片初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 1187.000
41. テスト片初着目点 (テスト片中央) X2	(mm)	= 593.500
42. テスト片初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 879.955
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 256

1. データ番号		=174
2. 文献番号		= 32
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= C-AC1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 166.600
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.880
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 166.600
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.880
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 454.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.440
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		=
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 網種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 80.220
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 80.220
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.620
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 45.620
34. 終局せん断力	(t)	= 18.140
35. 支間長 l	(mm)	= 2515.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	=
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. テスト片初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41. テスト片初着目点 (テスト片中央) X2	(mm)	=
42. テスト片初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43. 国別の分類		= N
44. 旧データ番号		= 260

1. データ番号		=175
2. 文献番号		= 32
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= C-AC2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 140.200
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.730
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 140.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.730
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 454.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.180
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		=
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 網種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 76.840
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 76.840
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.510
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 30.460
34. 終局せん断力	(t)	= 12.110
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2515.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	=
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. テスト片初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41. テスト片初着目点 (テスト片中央) X2	(mm)	=
42. テスト片初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43. 国別の分類		= N
44. 旧データ番号		= 261

1. データ番号		=176
2. 文献番号		= 32
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= C-AC3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 215.800
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 13.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 215.800
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 13.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 455.400
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 6.450
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		=
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 609.600
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 網種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 75.930
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 75.930
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.660
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 101.760
34. 終局せん断力	(t)	= 40.460
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2515.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	=
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. テスト片初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41. テスト片初着目点 (テスト片中央) X2	(mm)	=
42. テスト片初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43. 国別の分類		= N
44. 旧データ番号		= 262

1. データ番号 =177
 2. 文献番号 = 32
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = C-AC4
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 201.400
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 16.230
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 201.400
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 16.230
 9. ウェブ高 bv (mm) = 155.400
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 1.440
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv =
 22. 垂直補剛材の取付け =
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 609.600
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 79.580
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 79.580
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 23.620
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 62.750
 34. 終局せん断力 (t) = 24.950
 35. 支間長 l (mm) =
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2515.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) =
 39. 観荷点位置 Xa (mm) =
 40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) =
 42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = N
 44. 旧データ番号 = 263

1. データ番号 =178
 2. 文献番号 = 32
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = C-AC5
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 197.900
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.020
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 197.900
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 19.020
 9. ウェブ高 bv (mm) = 156.200
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 4.420
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv =
 22. 垂直補剛材の取付け =
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 609.600
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 79.860
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 79.860
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 23.620
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 59.000
 34. 終局せん断力 (t) = 23.760
 35. 支間長 l (mm) =
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2515.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) =
 39. 観荷点位置 Xa (mm) =
 40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) =
 42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = N
 44. 旧データ番号 = 264

1. データ番号 =179
 2. 文献番号 = 32
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = C-AH1
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 211.700
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.400
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 211.700
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.400
 9. ウェブ高 bv (mm) = 456.200
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.630
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv =
 22. 垂直補剛材の取付け =
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 609.600
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 74.450
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 74.450
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 34.310
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 148.390
 34. 終局せん断力 (t) = 59.000
 35. 支間長 l (mm) =
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2515.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) =
 39. 観荷点位置 Xa (mm) =
 40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) =
 42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = N
 44. 旧データ番号 = 265

1. データ番号 =180
 2. 文献番号 = 11.
 3. 荷重タイプ = F10-P1
 4. 供試体名 =
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 395.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 32.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 395.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 32.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.650
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv =
 22. 垂直補剛材の取付け =
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1903.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 19.150
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 19.150
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 24.050
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34. 終局せん断力 (t) = 83.500
 35. 支間長 l (mm) =
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1903.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) =
 40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) =
 42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = E
 44. 旧データ番号 = 266

1. データ番号 = 181
 2. 文献番号 = 11
 3. 荷重タイプ = 2
 4. 供試体名 = F10-P5
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 407.500
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 25.400
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 407.500
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 25.400
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.530
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv =
 22. 垂直補剛材の取付け =
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1524.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 20.250
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 20.250
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 27.200
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34. 終局せん断力 (t) = 86.200
 35. 支間長 l (mm) =
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1524.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) =
 40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm) =
 42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 図別の分類 = E
 44. 旧データ番号 = 267

1. データ番号 = 183
 2. 文献番号 = 21
 3. 荷重タイプ = 2
 4. 供試体名 = S-2
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 100.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.500
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 100.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 10.500
 9. ウェブ高 bv (mm) = 319.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 48.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 10.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 580.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.800
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.800
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 35.900
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34. 終局せん断力 (t) = 16.400
 35. 支間長 l (mm) = 2900.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 580.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) =
 40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm) =
 42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 図別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 269

1. データ番号 = 182
 2. 文献番号 = 21
 3. 荷重タイプ = 2
 4. 供試体名 = S-1
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 100.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.400
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 100.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 10.400
 9. ウェブ高 bv (mm) = 160.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 48.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 10.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 580.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.700
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.700
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 34.200
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34. 終局せん断力 (t) = 9.200
 35. 支間長 l (mm) = 2900.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 580.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) =
 40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm) =
 42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 図別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 268

1. データ番号 = 184
 2. 文献番号 = 21
 3. 荷重タイプ = 2
 4. 供試体名 = S-3
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 101.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.500
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 101.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 10.500
 9. ウェブ高 bv (mm) = 477.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 48.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 10.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 580.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.700
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 27.700
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 32.300
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 0.000
 34. 終局せん断力 (t) = 20.200
 35. 支間長 l (mm) = 2900.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 0.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 580.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) =
 40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2 (mm) =
 42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 図別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 270

1.データ番号		=185
2.文献番号		= 21
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= A-1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.160
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.160
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 301.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.300
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.500
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.500
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.200
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 18.880
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1871.870
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 271

1.データ番号		=186
2.文献番号		= 21
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= A-2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 113.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.210
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 113.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.210
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 250.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.800
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.800
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 16.240
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1884.934
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 272

1.データ番号		=187
2.文献番号		= 21
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= A-3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 126.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.240
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 126.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.240
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 200.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.900
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.900
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.900
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 14.490
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1898.887
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 273

1.データ番号		=188
2.文献番号		= 21
3.荷重タイプ		= 2.
4.供試体名		= A-4
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 140.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.180
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 140.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.180
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 149.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		=
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.網種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.700
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.700
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 40.900
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 0.000
34.終局せん断力	(t)	= 12.700
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1914.730
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 274

1. データ番号		=189
2. 文献番号		= 21
3. 荷重タイプ		= 2.
4. 供試体名		= A-5
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 152.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.250
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 152.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.250
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 99.500
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.300
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 9.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.300
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 41.700
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 0.000
34. 終局せん断力	(t)	= 10.540
35. 支間長 l	(mm)	= 4000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39. 緩荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1932.522
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 275

1. データ番号		=191
2. 文献番号		= 21
3. 荷重タイプ		= 2.
4. 供試体名		= A-2'
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 112.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.230
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 112.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.230
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 249.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.500
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.300
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.100
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 0.000
34. 終局せん断力	(t)	= 18.880
35. 支間長 l	(mm)	= 4000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39. 緩荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1885.201
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 277

1. データ番号		=190
2. 文献番号		= 21
3. 荷重タイプ		= 2.
4. 供試体名		= A-1'
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.300
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.300
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 300.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.500
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.300
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.800
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 0.000
34. 終局せん断力	(t)	= 12.330
35. 支間長 l	(mm)	= 4000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39. 緩荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1872.117
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 276

1. データ番号		=192
2. 文献番号		= 21
3. 荷重タイプ		= 2.
4. 供試体名		= A-3'
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 127.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 6.110
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 127.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 6.110
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 199.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.300
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.100
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.100
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.100
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 0.000
34. 終局せん断力	(t)	= 14.930
35. 支間長 l	(mm)	= 4000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39. 緩荷点位置 Xa	(mm)	= 1400.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1700.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1899.769
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 278

1.データ番号		=193
2.文献番号		= 33
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-17-A
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 764.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.440
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 54.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6.080
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 573.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.060
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 90.700
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 5996.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 573.500
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1147.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 2001.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2998.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 279

1.データ番号		=194
2.文献番号		= 33
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-17-B
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 764.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.440
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1148.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.060
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 88.900
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 5995.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1148.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1999.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2997.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 280

1.データ番号		=195
2.文献番号		= 33
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-21-A
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 942.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.440
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 58.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6.080
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 706.500
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.060
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 113.000
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6300.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2300.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 709.500
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1419.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 2001.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3150.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 281

1.データ番号		=196
2.文献番号		= 33
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-21-B
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 289.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 289.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 942.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.440
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1416.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.060
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 110.900
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6298.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2300.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1416.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1998.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3149.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 282

1.データ番号		=197
2.文献番号		= 33
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-25-A
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.030
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.030
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1121.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.440
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 61.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 6.080
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 840.700
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.060
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 126.800
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6495.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2500.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 844.500
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1689.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1999.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3247.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 283

1.データ番号		=199
2.文献番号		= 34
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-21
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.070
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.070
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.670
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 40.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.850
15.水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.230
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.570
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.570
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.220
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.480
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.480
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 189.600
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1650.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 285

1.データ番号		=198
2.文献番号		= 33
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-25-B
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 288.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.090
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1122.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.440
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1687.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		= SM41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.660
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.060
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 124.700
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6495.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2500.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1687.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1997.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3247.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 284

1.データ番号		=200
2.文献番号		= 34
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-22
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.070
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.070
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.670
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 51.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.850
15.水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.230
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.570
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.570
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.220
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.480
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.480
33.終局曲げモーメント	(t·m)	= 201.800
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 1650.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 286

1.データ番号	=201
2.文献番号	= 34
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= C-21
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 12.070
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 12.070
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 4.650
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 40.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 5.850
15.水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け	= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 50.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.230
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 30.570
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 30.570
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 31.800
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 128.70000
34.終局せん断力	(t) = 66.000
35.支間長 l	(mm) = 6350.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) = 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 2950.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 2950.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 1950.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 2195.156
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 287

1.データ番号	=203
2.文献番号	= 34
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= S-21
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 300.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 21.580
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 300.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 21.580
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 4.650
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 40.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 5.850
15.水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け	= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 50.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.230
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.370
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.370
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 31.380
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 78.70000
34.終局せん断力	(t) = 78.700
35.支間長 l	(mm) = 6350.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) = 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 3900.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 2000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 1000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 1321.800
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 289

1.データ番号	=202
2.文献番号	= 34
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= C-22
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 12.070
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 12.070
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 4.650
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 40.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 5.850
15.水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け	= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 62.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.230
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 30.570
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 30.570
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 31.800
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 129.80000
34.終局せん断力	(t) = 66.600
35.支間長 l	(mm) = 6350.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) = 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 2950.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 2950.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 1950.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 2195.156
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 288

1.データ番号	=204
2.文献番号	= 34
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= S-22
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 300.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 21.580
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 300.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 21.580
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 4.650
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 40.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 5.850
15.水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 1
22.垂直補剛材の取付け	= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 62.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.230
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.370
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.370
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 31.380
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.480
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 81.50000
34.終局せん断力	(t) = 81.500
35.支間長 l	(mm) = 6350.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) = 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm) = 3900.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 2000.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 1000.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 1321.800
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 290

1. データ番号		=205
2. 文献番号		= 34
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= S-23
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 21.580
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 21.580
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1650.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.640
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 40.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.350
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.30:0.50
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 330.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 495.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 825.000
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 330.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 825.000
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.230
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		= S541
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.370
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.370
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.620
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.480
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.480
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 78.90000
34. 終局せん断力	(t)	= 78.900
35. 支間長 l	(mm)	= 6350.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 3900.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1000.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1321.800
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 291

1. データ番号		=207
2. 文献番号		= 35
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= LS3-A
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.030
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.030
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.460
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 947.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.860
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.860
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.530
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 9.811
34. 終局せん断力	(t)	= 10.361
35. 支間長 l	(mm)	= 1974.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 947.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 987.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 947.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 473.500
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 667.043
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 293

1. データ番号		=206
2. 文献番号		= 35
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= LS1-A
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.030
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.030
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.100
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 942.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.450
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.450
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 18.660
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 7.179
34. 終局せん断力	(t)	= 7.622
35. 支間長 l	(mm)	= 1964.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 942.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 982.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 942.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 471.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 662.960
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 292

1. データ番号		=208
2. 文献番号		= 35
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= LS8-A
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 98.500
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 98.500
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 609.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.020
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 10.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.330
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.33:0.33
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 203.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 203.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 203.000
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 203.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 406.000
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 946.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.550
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.550
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.850
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 17.060
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 10.108
34. 終局せん断力	(t)	= 10.686
35. 支間長 l	(mm)	= 1972.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 946.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 986.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 946.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 473.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 666.175
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 294

1.データ番号		=209
2.文献番号		= 35
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= LS2-A
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.020
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.020
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.100
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 12.100
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.320
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 947.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.270
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.270
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 17.790
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 17.160
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 10.550
34.終局せん断力	(t)	= 11.143
35.支間長 l	(mm)	= 1974.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 947.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 987.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 947.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 473.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 667.296
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 295

1.データ番号		=211
2.文献番号		= 35
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= LS6-B
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.430
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 22.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.310
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 937.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.160
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.160
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.510
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 18.510
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 15.424
34.終局せん断力	(t)	= 16.459
35.支間長 l	(mm)	= 1954.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 937.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 977.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 937.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 468.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 658.627
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 297

1.データ番号		=210
2.文献番号		= 35
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= LS7-A
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 98.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.110
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 98.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.110
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.050
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 18.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.330
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 947.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.090
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.090
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.190
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 17.660
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 12.476
34.終局せん断力	(t)	= 13.270
35.支間長 l	(mm)	= 1974.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 947.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 987.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 947.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 473.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 667.296
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 296

1.データ番号		=212
2.文献番号		= 35
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= LS6-A
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.060
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.430
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 28.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.310
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 937.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.160
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.160
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.510
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 18.510
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 14.849
34.終局せん断力	(t)	= 15.844
35.支間長 l	(mm)	= 1954.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 937.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 977.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 937.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 468.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 658.627
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 298

1.データ番号	=213
2.文献番号	= 35
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= LS1-B
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 100.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 10.030
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 100.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 10.030
9.ウェブ高 bv	(mm) = 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.100
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 25.700
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 4.320
15.水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 947.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 27.450
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 27.450
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 18.660
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 17.160
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 10.112
34.終局せん断力	(t) = 10.673
35.支間長 l	(mm) = 1974.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 947.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 987.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 947.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 473.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 667.296
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 293

1.データ番号	=215
2.文献番号	= 35
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= LS5-A
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 98.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 10.050
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 98.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 10.050
9.ウェブ高 bv	(mm) = 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.430
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 35.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 3.950
15.水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 936.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 28.540
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 28.540
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 22.510
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.670
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 15.673
34.終局せん断力	(t) = 16.749
35.支間長 l	(mm) = 1952.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 936.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 976.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 936.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 468.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 657.760
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 301

1.データ番号	=214
2.文献番号	= 35
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= LS8-B
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 98.500
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 10.060
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 98.500
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 10.060
9.ウェブ高 bv	(mm) = 609.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.020
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 27.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 4.330
15.水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 203.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 203.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 203.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 203.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 406.000
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 943.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 28.550
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 28.550
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 21.850
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 17.660
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 13.141
34.終局せん断力	(t) = 13.938
35.支間長 l	(mm) = 1966.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 943.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 983.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 943.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 471.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 663.574
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 300

1.データ番号	=216
2.文献番号	= 35
3.荷重タイプ	= 3
4.供試体名	= LS2-B
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 100.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 10.020
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 100.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 10.020
9.ウェブ高 bv	(mm) = 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.100
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 30.200
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 4.320
15.水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 946.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 27.270
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 27.270
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 17.790
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 17.160
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 0.000
33.終局曲げモーメント	(t·m) = 11.437
34.終局せん断力	(t) = 12.085
35.支間長 l	(mm) = 1972.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 946.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 986.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 946.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm) = 473.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 666.429
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 302

1. データ番号	=217
2. 文献番号	= 35
3. 荷重タイプ	= 3.
4. 供試体名	= LS7-B
5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 98.000
6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 10.110
7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 98.000
8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 10.110
9. ウェブ高 bv (mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv (mm)	= 2.050
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 32.500
14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 4.330
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 202.667
17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 202.667
18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 202.667
19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 202.667
20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 405.333
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け	= N
23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 947.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.090
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.090
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.190
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 17.660
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	= 14.427
34. 終局せん断力 (t)	= 15.234
35. 支間長 l (mm)	= 1974.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)	=
38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 947.000
39. 観荷点位置 Xa (mm)	= 987.000
40. フストハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 947.000
41. フストハ' 観荷点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)	= 473.500
42. フストハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 667.296
43. 国別の分類	= E
44. 旧データ番号	= 303

1. データ番号	=219
2. 文献番号	= 35
3. 荷重タイプ	= 3.
4. 供試体名	= LS5-B
5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 98.000
6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 10.050
7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 98.000
8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 10.050
9. ウェブ高 bv (mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv (mm)	= 2.430
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 42.000
14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 4.970
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 202.667
17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 202.667
18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 202.667
19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 202.667
20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 405.333
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け	= N
23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 935.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.540
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.540
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 22.510
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 36.270
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	= 17.057
34. 終局せん断力 (t)	= 18.248
35. 支間長 l (mm)	= 1950.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)	=
38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 935.000
39. 観荷点位置 Xa (mm)	= 975.000
40. フストハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 935.000
41. フストハ' 観荷点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)	= 467.500
42. フストハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 656.896
43. 国別の分類	= E
44. 旧データ番号	= 305

1. データ番号	=218
2. 文献番号	= 35
3. 荷重タイプ	= 3.
4. 供試体名	= LS3-B
5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 100.000
6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 10.090
7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 100.000
8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 10.090
9. ウェブ高 bv (mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv (mm)	= 2.160
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 39.900
14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 1.320
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 202.667
17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 202.667
18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 202.667
19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 202.667
20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 405.333
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け	= N
23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 947.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.860
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.860
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 20.530
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 17.160
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	= 16.050
34. 終局せん断力 (t)	= 16.949
35. 支間長 l (mm)	= 1974.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)	=
38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 947.000
39. 観荷点位置 Xa (mm)	= 987.000
40. フストハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 947.000
41. フストハ' 観荷点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)	= 473.500
42. フストハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 667.296
43. 国別の分類	= E
44. 旧データ番号	= 304

1. データ番号	=220
2. 文献番号	= 35
3. 荷重タイプ	= 3.
4. 供試体名	= LS4-A
5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 100.000
6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 9.790
7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 100.000
8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 9.790
9. ウェブ高 bv (mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv (mm)	= 2.460
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 45.000
14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 4.970
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 202.667
17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 202.667
18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 202.667
19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 202.667
20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 405.333
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け	= N
23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 936.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.000
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.000
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 20.470
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 36.270
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント (t・m)	= 15.651
34. 終局せん断力 (t)	= 16.714
35. 支間長 l (mm)	= 1952.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)	=
38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 936.000
39. 観荷点位置 Xa (mm)	= 976.000
40. フストハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 936.000
41. フストハ' 観荷点 (フストハ' 初中央) X2 (mm)	= 468.000
42. フストハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 657.760
43. 国別の分類	= E
44. 旧データ番号	= 306

1.データ番号		=221
2.文献番号		= 35
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= LS4-U
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 9.790
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 100.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 9.790
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.460
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 45.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.390
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 935.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取付け		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.000
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.000
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 20.470
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 27.220
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 16.510
34.終局せん断力	(t)	= 17.661
35.支間長 l	(mm)	= 1950.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 935.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 975.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 935.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 467.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 656.894
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 307

1.データ番号		=223
2.文献番号		= 35
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= S04
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 594.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.000
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 36.100
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 198.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 198.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 198.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 198.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 396.000
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 594.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取付け		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.630
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.630
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.160
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 28.160
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 18.538
34.終局せん断力	(t)	= 17.900
35.支間長 l	(mm)	= 1268.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 594.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 634.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 594.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 297.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 370.062
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 309

1.データ番号		=222
2.文献番号		= 35
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= S03
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 594.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.000
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 594.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取付け		= N
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.630
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 21.630
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.160
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 16.602
34.終局せん断力	(t)	= 15.989
35.支間長 l	(mm)	= 1268.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 594.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 634.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 594.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 297.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 370.062
43.国別の分類		= E
44.旧データ番号		= 308

1.データ番号		=224
2.文献番号		= 36
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= NO.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 280.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 280.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.500
11.水平補剛材の本数 Nh		= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 55.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 800.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取付け		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 41.900
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 41.900
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.700
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 30.300
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 26.160
34.終局せん断力	(t)	= 32.700
35.支間長 l	(mm)	= 4000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 800.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 1600.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 800.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 400.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 498.400
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 310

1. データ番号		=225
2. 文献番号		= 36
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= NO.2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 280.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 280.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 800.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.500
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= D
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 55.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 800.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 41.900
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 41.900
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.700
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 30.300
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 26.880
34. 終局せん断力	(t)	= 33.600
35. 支間長 l	(mm)	= 4050.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ l	(mm)	= 800.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 1650.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 850.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 450.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 542.594
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 311

1. データ番号		=226
2. 文献番号		= 37
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= PB3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 15.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 15.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1000.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.100
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= D
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 92.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 9.550
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 732.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.120
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.120
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 17.320
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 57.960
34. 終局せん断力	(t)	= 39.590
35. 支間長 l	(mm)	= 8590.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 732.000
38. 全体パネルの長さ l	(mm)	= 1464.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 3230.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1464.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 732.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 1016.587
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 312

1. データ番号		=227
2. 文献番号		= 37
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= PA3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 15.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 15.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1000.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.830
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 37.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 3.800
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.50:0.50
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 500.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 500.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 500.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= D
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 65.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 750.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.120
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.120
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.850
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 32.380
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 77.300
34. 終局せん断力	(t)	= 51.530
35. 支間長 l	(mm)	= 8590.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 750.000
38. 全体パネルの長さ l	(mm)	= 1500.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 3230.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 1500.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 750.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 1047.678
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 313

1. データ番号		=228
2. 文献番号		= 37
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= PB1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 15.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 15.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1000.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.400
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 47.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.000
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 200.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 800.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 200.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= D
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 47.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 5.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 750.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.120
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.120
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 17.320
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 29.140
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 130.200
34. 終局せん断力	(t)	= 40.310
35. 支間長 l	(mm)	= 8590.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 750.000
38. 全体パネルの長さ l	(mm)	= 1500.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 3230.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 3125.500
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 2375.500
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 2579.403
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 314

1. データ番号	=229	1. データ番号	=230
2. 文献番号	= 37	2. 文献番号	= 37
3. 荷重タイプ	= 3.	3. 荷重タイプ	= 1.
4. 供試体名	= PA1	4. 供試体名	= PC
5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 300.000	5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 300.000
6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 15.100	6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 15.100
7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 300.000	7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 300.000
8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 15.100	8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 15.100
9. ウェブ高 bv (mm)	= 1000.000	9. ウェブ高 bv (mm)	= 1000.000
10. ウェブ厚 tv (mm)	= 3.330	10. ウェブ厚 tv (mm)	= 3.860
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2	11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S	12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 44.000	13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 60.000
14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 5.000	14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 8.000
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.123:0.277:0.60	15. 水平補剛材の間隔比	= 0.123:0.277:0.60
16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 123.000	16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 123.000
17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 277.000	17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 277.000
18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 600.000	18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 600.000
19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 123.000	19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 123.000
20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 400.000	20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 400.000
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 1	21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け	= 0	22. 垂直補剛材の取付け	= N
23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 54.000	23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 5.000	24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 750.000	25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 1980.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N	26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	=	27. 鋼種	=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 23.120	28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 23.120
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 23.120	29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 23.120
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.850	30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.470
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 29.140	31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 29.140
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 29.140	32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 29.140
33. 終局曲げモーメント (t·m)	= 140.090	33. 終局曲げモーメント (t·m)	= 132.490
34. 終局せん断力 (t)	= 43.370	34. 終局せん断力 (t)	= 0.000
35. 支間長 l (mm)	= 8590.000	35. 支間長 l (mm)	= 8590.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000	36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)	= 750.000	37. 部分パネルの長さ a (mm)	=
38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 1500.000	38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 1980.000
39. 載荷点位置 Xa (mm)	= 3230.000	39. 載荷点位置 Xa (mm)	= 3230.000
40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 3161.500	40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	=
41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 2411.500	41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 4295.000
42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 2614.128	42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	=
43. 国別の分類	= E	43. 国別の分類	= E
44. 旧データ番号	= 315	44. 旧データ番号	= 316

1. データ番号	=231	1. データ番号	=232
2. 文献番号	= 38	2. 文献番号	= 38
3. 荷重タイプ	= 3.	3. 荷重タイプ	= 3.
4. 供試体名	= SD5	4. 供試体名	= SD6
5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 250.000	5. 圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 250.000
6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 12.000	6. 圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 12.000
7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 250.000	7. 引張フランジ幅 bf (mm)	= 250.000
8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 12.000	8. 引張フランジ厚 tf (mm)	= 12.000
9. ウェブ高 bv (mm)	= 594.000	9. ウェブ高 bv (mm)	= 594.000
10. ウェブ厚 tv (mm)	= 2.000	10. ウェブ厚 tv (mm)	= 2.000
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2	11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S	12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 26.600	13. 水平補剛材の幅 bh (mm)	= 20.300
14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 6.000	14. 水平補剛材の厚さ th (mm)	= 6.000
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.25:0.25:0.50	15. 水平補剛材の間隔比	= 0.25:0.25:0.5
16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 148.500	16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 148.500
17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 148.500	17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 148.500
18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 297.000	18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 297.000
19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 148.500	19. 水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 148.500
20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 297.000	20. 水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 297.000
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0	21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け	= N	22. 垂直補剛材の取付け	= N
23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000	23. 垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000	24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 594.000	25. 垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 594.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27. 鋼種	=	27. 鋼種	=
28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630	28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630	29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160	30. ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160	31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160	32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
33. 終局曲げモーメント (t·m)	= 18.335	33. 終局曲げモーメント (t·m)	= 18.154
34. 終局せん断力 (t)	= 17.695	34. 終局せん断力 (t)	= 17.516
35. 支間長 l (mm)	= 1188.000	35. 支間長 l (mm)	= 1188.000
36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000	36. フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a (mm)	=	37. 部分パネルの長さ a (mm)	=
38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 594.000	38. 全体パネルの長さ L (mm)	= 594.000
39. 載荷点位置 Xa (mm)	= 594.000	39. 載荷点位置 Xa (mm)	= 594.000
40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 594.000	40. テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 594.000
41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 297.000	41. テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm)	= 297.000
42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 370.062	42. テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 370.062
43. 国別の分類	= E	43. 国別の分類	= E
44. 旧データ番号	= 317	44. 旧データ番号	= 318

1.データ番号	=233
2.文献番号	= 38
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= S07
5.圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 12.000
7.引張フランジ幅 bf (mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf (mm)	= 12.000
9.ウェブ高 bv (mm)	= 594.000
10.ウェブ厚 tv (mm)	= 2.000
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh (mm)	= 14.300
14.水平補剛材の厚さ th (mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比	= 0.25:0.25:0.50
16.水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 148.500
17.水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 148.500
18.水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 297.000
19.水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 148.500
20.水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 297.000
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 594.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 18.245
34.終局せん断力 (t)	= 17.515
35.支間長 l (mm)	= 1188.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 594.000
39.観荷点位置 Xa (mm)	= 594.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 594.000
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2 (mm)	= 297.000
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 370.062
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 319

1.データ番号	=235
2.文献番号	= 26
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= G5
5.圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 291.000
6.圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 22.300
7.引張フランジ幅 bf (mm)	= 291.000
8.引張フランジ厚 tf (mm)	= 22.300
9.ウェブ高 bv (mm)	= 899.000
10.ウェブ厚 tv (mm)	= 9.000
11.水平補剛材の本数 Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け	= D
13.水平補剛材の幅 bh (mm)	= 75.000
14.水平補剛材の厚さ th (mm)	= 9.080
15.水平補剛材の間隔比	= 0.50:0.50
16.水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 449.500
17.水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 449.500
18.水平補剛材の間隔 b3 (mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 449.500
20.水平補剛材の位置 y2 (mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 2360.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= Y
27.鋼種	= KH-36
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 44.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 44.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 38.000
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 291.460
34.終局せん断力 (t)	= 123.500
35.支間長 l (mm)	=
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 2360.000
39.観荷点位置 Xa (mm)	= 2360.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 2360.000
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2 (mm)	= 1180.000
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 1837.123
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 321

1.データ番号	=234
2.文献番号	= 38
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= S08
5.圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 12.000
7.引張フランジ幅 bf (mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf (mm)	= 12.000
9.ウェブ高 bv (mm)	= 594.000
10.ウェブ厚 tv (mm)	= 2.000
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh (mm)	= 10.200
14.水平補剛材の厚さ th (mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比	= 0.25:0.25:0.50
16.水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 148.500
17.水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 148.500
18.水平補剛材の間隔 b3 (mm)	= 297.000
19.水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 148.500
20.水平補剛材の位置 y2 (mm)	= 297.000
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 594.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 17.575
34.終局せん断力 (t)	= 16.891
35.支間長 l (mm)	= 1188.000
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 594.000
39.観荷点位置 Xa (mm)	= 594.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 594.000
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2 (mm)	= 297.000
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 370.062
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 320

1.データ番号	=236
2.文献番号	= 26
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= G6
5.圧縮フランジ幅 bf (mm)	= 212.000
6.圧縮フランジ厚 tf (mm)	= 22.300
7.引張フランジ幅 bf (mm)	= 212.000
8.引張フランジ厚 tf (mm)	= 22.300
9.ウェブ高 bv (mm)	= 900.000
10.ウェブ厚 tv (mm)	= 8.900
11.水平補剛材の本数 Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け	= D
13.水平補剛材の幅 bh (mm)	= 75.000
14.水平補剛材の厚さ th (mm)	= 9.020
15.水平補剛材の間隔比	= 0.50:0.50
16.水平補剛材の間隔 b1 (mm)	= 450.000
17.水平補剛材の間隔 b2 (mm)	= 450.000
18.水平補剛材の間隔 b3 (mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1 (mm)	= 450.000
20.水平補剛材の位置 y2 (mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv (mm)	= 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv (mm)	= 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a (mm)	= 2360.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= Y
27.鋼種	= KH-36
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 44.000
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 44.000
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 38.000
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 257.240
34.終局せん断力 (t)	= 109.000
35.支間長 l (mm)	=
36.フランジの固定間距離 le (mm)	= 0.000
37.部分パネルの長さ a (mm)	=
38.全体パネルの長さ L (mm)	= 2360.000
39.観荷点位置 Xa (mm)	= 2360.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm)	= 2360.000
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2 (mm)	= 1180.000
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm)	= 1836.802
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 322

1. データ番号		=237
2. 文献番号		= 26
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= 67
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 282.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 22.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 282.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 22.400
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1080.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 9.100
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 75.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 9.050
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.50:0.50
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 540.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 540.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 540.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=2850.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= KH-36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 38.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 361.950
34. 終局せん断力	(t)	= 127.000
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2850.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2850.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2850.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1425.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2220.372
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 323

1. データ番号		=239
2. 文献番号		= 39
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= MS0
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.010
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		=
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 947.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.440
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.440
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.630
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 9.030
34. 終局せん断力	(t)	= 9.540
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 947.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 947.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 947.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 473.500
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 667.296
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 327

1. データ番号		=238
2. 文献番号		= 26
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= 68
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 221.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 22.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 221.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 22.200
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1080.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 8.900
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 75.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.980
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.50:0.50
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 540.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 540.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 540.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=2850.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= KH-36
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 44.000
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 38.000
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 319.200
34. 終局せん断力	(t)	= 112.000
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2850.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2850.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2850.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1425.000
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2220.372
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 324

1. データ番号		=240
2. 文献番号		= 39
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= MS1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 102.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 10.100
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 608.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 2.010
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 40.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 4.000
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.50:0.50
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 304.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 304.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 304.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 947.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.440
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 27.440
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.630
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 11.780
34. 終局せん断力	(t)	= 12.440
35. 支間長 l	(mm)	=
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 0.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 947.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 947.000
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 947.000
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 473.500
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 667.296
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 328

1.データ番号	=241
2.文献番号	= 39
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= 4S2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 102.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 10.100
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 102.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 10.100
9.ウェブ高 bv	(mm) = 608.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.010
11.水平補剛材の本数 Nh	= 2
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 40.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 4.000
15.水平補剛材の間隔比	= 0.33:0.33:0.33
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 202.667
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 202.667
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 202.667
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 202.667
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) = 405.333
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 947.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.440
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.440
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 26.630
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 14.780
34.終局せん断力 (t)	= 13.610
35.支間長 l	(mm) =
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 947.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 947.000
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 947.000
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 473.500
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 667.296
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 329

1.データ番号	=242
2.文献番号	= 39
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= SD1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 12.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 12.000
9.ウェブ高 bv	(mm) = 594.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.000
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 594.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 21.630
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 28.160
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 35.080
34.終局せん断力 (t)	= 13.160
35.支間長 l	(mm) =
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 0.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) =
39.載荷点位置 Xa	(mm) =
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) =
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 330

1.データ番号	=243
2.文献番号	= 40
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= B1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 226.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.900
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 226.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.900
9.ウェブ高 bv	(mm) = 600.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.860
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 9000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.390
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.390
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 41.780
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 33.310
34.終局せん断力 (t)	= 14.630
35.支間長 l	(mm) = 9000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 9000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 9000.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 50.000
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 4500.000
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 4500.000
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 8236.453
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 331

1.データ番号	=244
2.文献番号	= 40
3.荷重タイプ	= 3.
4.供試体名	= B4
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 151.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 6.100
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 151.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 6.100
9.ウェブ高 bv	(mm) = 600.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 2.000
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 9000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 30.350
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 30.350
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.950
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 16.200
34.終局せん断力 (t)	= 7.110
35.支間長 l	(mm) = 9000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 9000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 9000.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 50.000
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 4500.000
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 4500.000
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 8236.453
43.国別の分類	= E
44.旧データ番号	= 332

1. データ番号	=245
2. 文献番号	= 40
3. 荷重タイプ	= 3.
4. 供試体名	= K1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 226.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 9.900
7. 引張フランジ幅 bf	(mm) = 226.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm) = 9.900
9. ウェブ高 bv	(mm) = 600.000
10. ウェブ厚 tv	(mm) = 2.860
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 0
12. 水平補剛材の取付け	= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15. 水平補剛材の間隔比	=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け	= N
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 6000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27. 鋼種	=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.390
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.390
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 41.780
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m) = 23.760
34. 終局せん断力	(t) = 13.840
35. 支間長 l	(mm) = 6000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm) = 6000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ L	(mm) = 6000.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm) = 50.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 2500.000
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 3000.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 3363.604
43. 国別の分類	= E
44. 旧データ番号	= 333

1. データ番号	=247
2. 文献番号	= 34
3. 荷重タイプ	= 1.
4. 供試体名	= B-24
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 290.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 14.340
7. 引張フランジ幅 bf	(mm) = 290.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm) = 14.340
9. ウェブ高 bv	(mm) = 2200.000
10. ウェブ厚 tv	(mm) = 4.900
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm) = 55.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm) = 5.970
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 220.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 330.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 1650.000
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm) = 220.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm) = 550.000
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 1
22. 垂直補剛材の取付け	= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 53.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1330.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.340
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.340
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 31.190
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m) = 336.300
34. 終局せん断力	(t) = 0.000
35. 支間長 l	(mm) = 7980.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm) = 2660.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm) = 1330.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm) = 2660.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm) = 2310.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 3990.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43. 国別の分類	= J
44. 旧データ番号	= 335

1. データ番号	=246
2. 文献番号	= 34
3. 荷重タイプ	= 1.
4. 供試体名	= B-23
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 12.120
7. 引張フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm) = 12.120
9. ウェブ高 bv	(mm) = 1650.000
10. ウェブ厚 tv	(mm) = 1.760
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm) = 85.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm) = 5.970
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 165.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 247.500
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 1237.500
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm) = 165.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm) = 412.500
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 1
22. 垂直補剛材の取付け	= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 50.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.280
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.280
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 30.860
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m) = 206.700
34. 終局せん断力	(t) = 0.000
35. 支間長 l	(mm) = 6000.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm) = 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm) = 1000.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm) = 2000.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm) = 1650.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 3000.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43. 国別の分類	= J
44. 旧データ番号	= 334

1. データ番号	=248
2. 文献番号	= 34
3. 荷重タイプ	= 3.
4. 供試体名	= C-23
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 12.120
7. 引張フランジ幅 bf	(mm) = 250.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm) = 12.120
9. ウェブ高 bv	(mm) = 1650.000
10. ウェブ厚 tv	(mm) = 4.760
11. 水平補剛材の本数 Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け	= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm) = 85.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm) = 5.970
15. 水平補剛材の間隔比	= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 165.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 247.500
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm) = 1237.500
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm) = 165.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm) = 412.500
21. 垂直補剛材の本数 Nv	= 1
22. 垂直補剛材の取付け	= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 50.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 1000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27. 鋼種	= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.280
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²) = 29.280
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²) = 30.860
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²) = 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m) = 209.700
34. 終局せん断力	(t) = 71.100
35. 支間長 l	(mm) = 6350.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm) = 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm) = 1000.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm) = 2000.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm) = 2950.000
40. テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) = 2950.000
41. テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 1950.000
42. テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) = 2195.156
43. 国別の分類	= J
44. 旧データ番号	= 336

1. データ番号		=249
2. 文献番号		= 34
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= C-21
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.760
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 51.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.860
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 212.600
34. 終局せん断力	(t)	= 72.100
35. 支間長 l	(mm)	= 6350.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2950.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2950.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1950.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2195.156
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 337

1. データ番号		=250
2. 文献番号		= 34
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= C-25
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 290.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 14.340
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 290.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.340
9. ウェブ高 bv	(mm)	=2200.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.900
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 55.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 220.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 330.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1650.000
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 220.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 550.000
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 53.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1330.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.340
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.340
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.190
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 343.600
34. 終局せん断力	(t)	= 89.000
35. 支間長 l	(mm)	= 6810.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2660.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 1330.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2660.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2500.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3860.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 2530.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2858.409
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 338

1. データ番号		=251
2. 文献番号		= 34
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= C-26
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.730
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 51.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.220
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 208.000
34. 終局せん断力	(t)	= 49.500
35. 支間長 l	(mm)	= 7600.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2950.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 4200.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 3200.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 3393.708
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 339

1. データ番号		=252
2. 文献番号		= 34
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= C-27
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
9. ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.730
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 51.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27. 鋼種		= SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.220
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 215.900
34. 終局せん断力	(t)	= 55.400
35. 支間長 l	(mm)	= 7300.000
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 2950.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3900.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 2900.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 3103.384
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		= 340

1.データ番号		=253
2.文献番号		= 34
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-23
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 250.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 12.120
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.730
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 51.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15.水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.280
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.220
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 218.300
34.終局せん断力	(t)	= 64.200
35.支間長 l	(mm)	= 6800.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 2950.000
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3400.000
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 2400.000
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2622.780
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 341

1.データ番号		=255
2.文献番号		= 34
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= S-25
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 21.220
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 21.220
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.730
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 85.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15.水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.220
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.220
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.840
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 177.000
34.終局せん断力	(t)	= 88.500
35.支間長 l	(mm)	= 6350.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 3900.000
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 1000.000
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1321.800
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 343

1.データ番号		=254
2.文献番号		= 34
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= S-24
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 21.220
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 300.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 21.220
9.ウェブ高 bv	(mm)	=1650.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.730
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 51.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15.水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 165.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 247.500
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1237.500
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 165.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 412.500
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 50.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1000.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.220
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.220
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.840
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 182.000
34.終局せん断力	(t)	= 91.000
35.支間長 l	(mm)	= 6350.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2000.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 1000.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2000.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 3900.000
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2000.000
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 1000.000
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1321.800
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 342

1.データ番号		=256
2.文献番号		= 34
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= S-26
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 340.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 23.300
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 340.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 23.300
9.ウェブ高 bv	(mm)	=2200.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.900
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 55.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 5.970
15.水平補剛材の間隔比		= 0.10:0.15:0.75
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 220.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 330.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=1650.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 220.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 550.000
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 1
22.垂直補剛材の取付け		= S
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 53.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.110
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	=1330.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= N
27.鋼種		= SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.820
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 28.820
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 31.190
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 31.820
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 256.100
34.終局せん断力	(t)	= 96.300
35.支間長 l	(mm)	= 8010.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2660.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	= 1330.000
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 2660.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 4900.000
40.テスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2660.000
41.テスト ¹ 初着目点 (テスト ¹ 初中央) X2	(mm)	= 1330.000
42.テスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1756.752
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 344

1.データ番号	=257
2.文献番号	= 41
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B-1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 380.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 20.060
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 380.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 20.060
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1654.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 9.300
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 3330.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 31.830
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 31.830
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 36.430
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 502.100
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 9990.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 3330.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 3300.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 3300.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 4995.000
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 345

1.データ番号	=259
2.文献番号	= 41
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B-12
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 360.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 17.730
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 360.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 17.730
9.ウェブ高 bv	(mm) = 2097.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 6.070
11.水平補剛材の本数 Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 89.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 8.000
15.水平補剛材の間隔比	= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 419.400
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 1677.600
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 419.400
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 3199.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.730
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.730
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 33.350
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 506.500
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 9597.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 3199.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 3199.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 3199.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 4798.500
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 347

1.データ番号	=258
2.文献番号	= 41
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B-2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 340.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 17.900
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 340.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 17.900
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1350.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 9.200
11.水平補剛材の本数 Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け	= N
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比	=
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 2700.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.530
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 29.530
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 33.570
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 351.800
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 8100.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 2700.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 2700.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 2700.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 4050.000
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 346

1.データ番号	=260
2.文献番号	= 41
3.荷重タイプ	= 1.
4.供試体名	= B-11
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm) = 330.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm) = 14.670
7.引張フランジ幅 bf	(mm) = 330.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm) = 14.670
9.ウェブ高 bv	(mm) = 1618.000
10.ウェブ厚 tv	(mm) = 6.170
11.水平補剛材の本数 Nh	= 1
12.水平補剛材の取付け	= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm) = 82.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm) = 8.000
15.水平補剛材の間隔比	= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm) = 323.600
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm) = 1294.400
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置 y1	(mm) = 323.600
20.水平補剛材の位置 y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数 Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け	= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm) = 2500.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	= N
27.鋼種	=
28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.100
29.引張フランジの降伏点 (kg/mm ²)	= 27.100
30.ウェブの降伏点 (kg/mm ²)	= 30.880
31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント (t・m)	= 322.000
34.終局せん断力 (t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm) = 7498.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm) = 2500.000
37.部分パネルの長さ a	(mm) =
38.全体パネルの長さ L	(mm) = 2500.000
39.載荷点位置 Xa	(mm) = 2499.000
40.フスト ¹ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm) =
41.フスト ¹ 初着目点 (フスト ¹ 初中央) X2	(mm) = 3749.000
42.フスト ¹ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm) =
43.国別の分類	= J
44.旧データ番号	= 348

1.データ番号		=261
2.文献番号		= 41
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 250.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 11.500
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 250.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 11.500
9.ウェブ高	bv	(mm) = 907.500
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 5.800
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1100.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.050
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.050
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.130
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 101.100
34.終局せん断力	(t)	= 31.100
35.支間長	l	(mm) = 6995.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1100.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1100.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 3497.500
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 3250.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 2700.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 2785.228
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 349

1.データ番号		=263
2.文献番号		= 41
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-3
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 300.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 13.400
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 300.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 13.400
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1257.700
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 5.800
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1500.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.710
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.710
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.130
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 178.700
34.終局せん断力	(t)	= 40.200
35.支間長	l	(mm) = 9600.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1500.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1500.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 4800.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 4450.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 3700.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 3811.192
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 351

1.データ番号		=262
2.文献番号		= 41
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-2
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 275.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 12.900
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 275.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 12.900
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1077.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 5.800
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1300.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.560
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 26.560
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 32.130
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 128.100
34.終局せん断力	(t)	= 33.700
35.支間長	l	(mm) = 8201.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1300.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1300.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 4100.500
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 3800.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 3150.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 3250.517
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 350

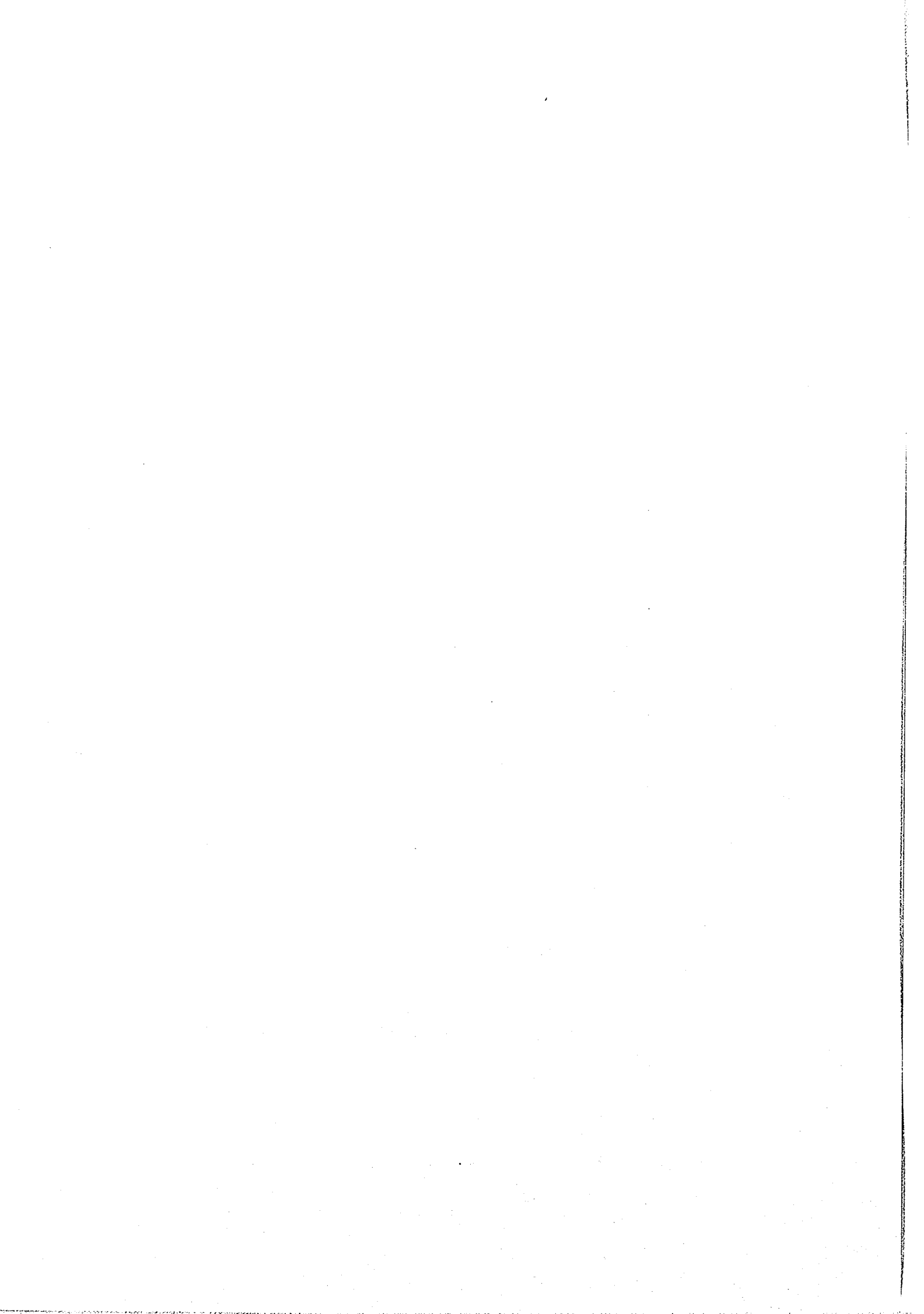
1.データ番号		=264
2.文献番号		= 41
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= S-1
5.圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 280.000
6.圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 15.600
7.引張フランジ幅	bf	(mm) = 280.000
8.引張フランジ厚	tf	(mm) = 15.600
9.ウェブ高	bv	(mm) = 1500.000
10.ウェブ厚	tv	(mm) = 6.000
11.水平補剛材の本数	Nh	= 0
12.水平補剛材の取付け		= N
13.水平補剛材の幅	bh	(mm) = 0.000
14.水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 0.000
15.水平補剛材の間隔比		=
16.水平補剛材の間隔	b1	(mm) =
17.水平補剛材の間隔	b2	(mm) =
18.水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19.水平補剛材の位置	y1	(mm) =
20.水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21.垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅	bv	(mm) = 0.000
24.垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) = 0.000
25.垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 1875.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		=
27.鋼種		=
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.800
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 29.800
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.000
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 198.100
34.終局せん断力	(t)	= 79.300
35.支間長	l	(mm) = 7500.000
36.フランジの固定間距離	le	(mm) = 1875.000
37.部分パネルの長さ	a	(mm) =
38.全体パネルの長さ	L	(mm) = 1875.000
39.載荷点位置	Xa	(mm) = 3750.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置)	X1	(mm) = 2500.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央)	X2	(mm) = 1562.500
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置)	X3	(mm) = 1819.849
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 352

1. データ番号 = 265
 2. 文献番号 = 41
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = S-2
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 300.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 18.400
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 300.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 18.400
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1800.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 6.100
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = S
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 2250.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.800
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.800
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 29.900
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 266.000
 34. 終局せん断力 (t) = 88.700
 35. 支間長 l (mm) = 9000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2250.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 2250.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 4500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 3000.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 1875.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2183.819
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 353

1. データ番号 = 266
 2. 文献番号 = 41
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = B-01
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 11.920
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 11.920
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1650.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 1.550
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 1
 22. 垂直補剛材の取付け = S
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 50.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.060
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1000.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 30.980
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 30.980
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 32.070
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 160.900
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 6300.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) = 1000.000
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 2000.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 1650.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 3125.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 354

1. データ番号 = 267
 2. 文献番号 = 41
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = S-01
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 300.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 21.070
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 300.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 21.070
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1650.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 4.550
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 1
 22. 垂直補剛材の取付け = S
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 50.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 8.060
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1000.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.240
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 28.240
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 32.070
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 119.200
 34. 終局せん断力 (t) = 59.600
 35. 支間長 l (mm) = 6650.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 2000.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) = 1000.000
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 2000.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2450.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2000.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 1000.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 1321.800
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 355

3. 2 上下フランジ非対称プレートガーダー



1. データ番号 = 1
 2. 文献番号 = 5
 3. 荷重タイプ = 1
 4. 供試体名 = 51.11
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 522.200
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.800
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 311.200
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 19.300
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10. ウェブ厚 tw (mm) = 6.560
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 6.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24. 垂直補剛材の厚さ tw (mm) = 6.350
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1905.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.890
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 25.170
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 23.200
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 139.790
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 13716.0
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 6096.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1905.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 3810.0
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) = 5905.5
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = E
 44. 旧データ番号 = 27

1. データ番号 = 7
 2. 文献番号 = 5
 3. 荷重タイプ = 1
 4. 供試体名 = 61.12
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 522.200
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.800
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 311.200
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 19.300
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1270.000
 10. ウェブ厚 tw (mm) = 6.560
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 1
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 101.600
 24. 垂直補剛材の厚さ tw (mm) = 6.350
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 952.500
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 24.890
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 25.170
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 23.200
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 124.280
 34. 終局せん断力 (t) = 0.000
 35. 支間長 l (mm) = 13716.0
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 6096.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) = 952.5
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1905.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 3810.0
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) = 5905.0
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = E
 44. 旧データ番号 = 28

1. データ番号 = 3
 2. 文献番号 = 14
 3. 荷重タイプ = 3
 4. 供試体名 = G-1
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 23.130
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 13.230
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1200.000
 10. ウェブ厚 tw (mm) = 6.600
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tw (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1800.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 51.000
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 56.000
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 49.600
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 356.400
 34. 終局せん断力 (t) = 198.000
 35. 支間長 l (mm) = 7600.0
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 1800.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1800.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 3600.0
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 3600.0
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) = 2700.0
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2949.720
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 52

1. データ番号 = 4
 2. 文献番号 = 14
 3. 荷重タイプ = 3
 4. 供試体名 = G-2
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 19.130
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 250.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 13.190
 9. ウェブ高 bv (mm) = 950.000
 10. ウェブ厚 tw (mm) = 6.600
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 0
 12. 水平補剛材の取付け = N
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15. 水平補剛材の間隔比 =
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24. 垂直補剛材の厚さ tw (mm) = 0.000
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1425.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27. 鋼種 =
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 51.000
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 56.000
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 49.600
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 270.300
 34. 終局せん断力 (t) = 196.000
 35. 支間長 l (mm) = 6100.0
 36. フランジの固定間距離 le (mm) = 1425.000
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 1425.000
 39. 載荷点位置 Xa (mm) = 2850.0
 40. フスト^h 初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2850.0
 41. フスト^h 初着目点 (フスト^h 初中央) X2 (mm) = 2137.5
 42. フスト^h 初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2335.192
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 = 53

1. データ番号	=	5
2. 文献番号	=	9
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AL1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.900
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 675.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	1
12. 水平補剛材の取付け	=	0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 40.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 135.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 540.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 135.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 338.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	Y
27. 鋼種	=	SS41 SM58 HT80
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 130.000
34. 終局せん断力	(t)	= 0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 3300.0
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 500.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 337.500
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1650.0
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	126

1. データ番号	=	6
2. 文献番号	=	9
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AL2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.900
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 300.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	1
12. 水平補剛材の取付け	=	0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 45.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 180.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 720.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 180.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 450.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	Y
27. 鋼種	=	SS41 SM58 HT80
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 170.000
34. 終局せん断力	(t)	= 0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 5800.0
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 500.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 450.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 2900.0
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	127

1. データ番号	=	7
2. 文献番号	=	9
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AL3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.900
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1125.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	1
12. 水平補剛材の取付け	=	0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 50.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 225.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 900.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 225.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 563.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	Y
27. 鋼種	=	SS41 SM58 HT80
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 232.000
34. 終局せん断力	(t)	= 0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 5800.0
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 500.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 562.500
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 2900.0
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	128

1. データ番号	=	8
2. 文献番号	=	9
3. 荷重タイプ	=	1.
4. 供試体名	=	AL4
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.900
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1350.000
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11. 水平補剛材の本数 Nh	=	1
12. 水平補剛材の取付け	=	0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 55.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15. 水平補剛材の間隔比	=	0.20:0.80
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 270.000
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 1080.000
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 270.000
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv	=	0
22. 垂直補剛材の取付け	=	0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 675.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い	=	Y
27. 鋼種	=	SS41 SM58 HT80
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 274.000
34. 終局せん断力	(t)	= 0.000
35. 支間長 l	(mm)	= 5800.0
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 500.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 675.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	=
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 2900.0
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43. 国別の分類	=	J
44. 旧データ番号	=	129

1.データ番号		= 9
2.文献番号		= 9
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= BL.1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.300
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 675.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= 0
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 65.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 135.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 540.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 135.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 675.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SS41 SM58 HT80
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 125.000
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6300.0
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 750.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 675.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	=
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3150.0
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 130

1.データ番号		= 11
2.文献番号		= 9
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= BL.3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.900
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1125.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= 0
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 75.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 225.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 900.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 225.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1125.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SS41 SM58 HT80
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 220.000
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6300.0
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 750.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1125.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	=
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3150.0
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 132

1.データ番号		= 10
2.文献番号		= 9
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= BL.2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.300
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 900.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= 0
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 70.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 180.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 720.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 180.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 900.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SS41 SM58 HT80
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 170.000
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6300.0
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 750.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 900.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	=
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3150.0
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 131

1.データ番号		= 12
2.文献番号		= 9
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= BL.4
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 12.900
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 8.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1350.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.800
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= 0
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 80.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.20:0.80
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 270.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 1080.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 270.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= 0
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 40.000
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 8.000
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1350.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SS41 SM58 HT80
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 53.600
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 84.300
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 30.100
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 36.800
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 257.000
34.終局せん断力	(t)	= 0.000
35.支間長 l	(mm)	= 6300.0
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	= 750.000
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 1350.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	=
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3150.0
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		= 133

1. データ番号		= 13
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG4.1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.020
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 2159.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 39.010
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 79.800
34. 終局せん断力	(t)	= 36.960
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2159.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2159.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 2311.4
41. フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2 (mm)	= 1231.9
42. フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 1702.4
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 141

1. データ番号		= 15
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG4.3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.020
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1778.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 39.430
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 152.710
34. 終局せん断力	(t)	= 28.630
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1778.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1778.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 5486.4
41. フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2 (mm)	= 4597.4
42. フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 4787.55
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 143

1. データ番号		= 14
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG4.2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.620
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1397.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 39.430
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 192.100
34. 終局せん断力	(t)	= 54.020
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1397.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1397.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 3708.4
41. フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2 (mm)	= 3009.9
42. フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 3111.509
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 142

1. データ番号		= 16
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG4.4
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.620
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 2159.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.660
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 168.870
34. 終局せん断力	(t)	= 31.660
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2159.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2159.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^h 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 5486.4
41. フスト ^h 初着目点 (フスト ^h 初中央)	X2 (mm)	= 4406.9
42. フスト ^h 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 4730.87
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 144

1. データ番号		= 17
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG4.3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.620
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1016.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.660
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 195.610
34. 終局せん断力	(t)	= 61.610
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1016.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1016.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3327.4
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 2819.4
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2857.515
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 145

1. データ番号		= 18
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG4.6
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 1.620
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 0
12. 水平補剛材の取付け		= N
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 0.000
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 0.000
15. 水平補剛材の間隔比		=
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	=
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	=
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	=
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= 0
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 101.600
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 2159.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 23.970
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.660
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 96.570
34. 終局せん断力	(t)	= 44.730
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2159.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2159.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2311.4
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1231.9
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1702.4
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 146

1. データ番号		= 19
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG5.1
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.020
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 76.200
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 19.100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.26:0.74
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 317.500
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 901.700
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 317.500
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 2159.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.570
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 39.510
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 95.600
34. 終局せん断力	(t)	= 44.280
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2159.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2159.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2311.4
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 1231.9
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1702.4
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 147

1. データ番号		= 20
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG5.2
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.020
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 76.200
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 19.100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.26:0.74
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 317.500
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 901.700
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 317.500
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1397.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.570
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 41.690
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t・m)	= 190.070
34. 終局せん断力	(t)	= 53.450
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1397.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1397.000
39. 観荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フスト ^ハ 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3708.4
41. フスト ^ハ 初着目点 (フスト ^ハ 初中央) X2	(mm)	= 3009.9
42. フスト ^ハ 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 3111.509
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 148

1. データ番号		= 21
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG5.3
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.020
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 76.200
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 19.100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.26:0.74
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 317.500
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 901.700
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 317.500
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1778.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.570
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 41.690
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 223.490
34. 終局せん断力	(t)	= 41.900
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1778.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1778.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 5486.4
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 4597.4
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 4787.55
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 149

1. データ番号		= 22
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG5.4
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.650
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 76.200
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 19.100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.26:0.74
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 317.500
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 901.700
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 317.500
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 2159.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.570
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.450
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 233.790
34. 終局せん断力	(t)	= 43.830
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2159.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2159.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 5486.4
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 4406.9
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 4730.87
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 150

1. データ番号		= 23
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG5.5
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.650
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 76.200
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 19.100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.26:0.74
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 317.500
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 901.700
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 317.500
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 1016.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.570
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.450
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 195.960
34. 終局せん断力	(t)	= 61.720
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 1016.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 1016.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 3327.4
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 2819.4
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2857.515
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 151

1. データ番号		= 24
2. 文献番号		= 25
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= UG5.6
5. 圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 254.000
6. 圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 19.200
7. 引張フランジ幅 bf	(mm)	= 330.200
8. 引張フランジ厚 tf	(mm)	= 35.260
9. ウェブ高 bv	(mm)	= 1219.200
10. ウェブ厚 tv	(mm)	= 4.650
11. 水平補剛材の本数 Nh		= 1
12. 水平補剛材の取付け		= 0
13. 水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 76.200
14. 水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 19.100
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.26:0.74
16. 水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 317.500
17. 水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 901.700
18. 水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19. 水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 317.500
20. 水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21. 垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= S
23. 垂直補剛材の幅 bv	(mm)	= 127.000
24. 垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	= 19.050
25. 垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 2159.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		=
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 22.570
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 25.450
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 24.180
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	= 0.000
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 109.290
34. 終局せん断力	(t)	= 50.620
35. 支間長 l	(mm)	= 11226.8
36. フランジの固定間距離 le	(mm)	= 2159.000
37. 部分パネルの長さ a	(mm)	=
38. 全体パネルの長さ L	(mm)	= 2159.000
39. 載荷点位置 Xa	(mm)	= 5613.4
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2311.4
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央) X2	(mm)	= 1231.9
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 1702.4
43. 国別の分類		= E
44. 旧データ番号		= 152

1.データ番号 = 25
 2.文献番号 = 7
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = EBY1-1302
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 184.200
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 29.300
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 176.100
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 11.500
 9.ウェブ高 bv (mm) = 789.500
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 6.000
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1579.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.鋼種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 30.300
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 62.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 37.500
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 133.600
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) =
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 1580.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1579.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) =
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) =
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 216

1.データ番号 = 26
 2.文献番号 = 7
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = EBY1-2201
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 292.200
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 22.800
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 165.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 9.300
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1202.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 6.000
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1202.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.鋼種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 29.800
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 56.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 29.200
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 255.900
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) =
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 1500.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1202.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) =
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) =
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 217

1.データ番号 = 27
 2.文献番号 = 7
 3.荷重タイプ = 1.
 4.供試体名 = EBY1-3001
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 301.900
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 24.300
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 140.200
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 5.900
 9.ウェブ高 bv (mm) = 1802.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 6.000
 11.水平補剛材の本数 Nh = 0
 12.水平補剛材の取付け = N
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 0.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 0.000
 15.水平補剛材の間隔比 =
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) =
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) =
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) =
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) = 0.000
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) = 0.000
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 1802.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い =
 27.鋼種 =
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 25.700
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 53.000
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 30.300
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) = 0.000
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 305.500
 34.終局せん断力 (t) = 0.000
 35.支間長 l (mm) =
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 2800.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 1802.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) =
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) =
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 = 218

1.データ番号 = 28
 2.文献番号 = 46
 3.荷重タイプ = 3.
 4.供試体名 = A-1
 5.圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6.圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7.引張フランジ幅 bf (mm) = 105.000
 8.引張フランジ厚 tf (mm) = 4.500
 9.ウェブ高 bv (mm) = 670.000
 10.ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11.水平補剛材の本数 Nh = 1
 12.水平補剛材の取付け = S
 13.水平補剛材の幅 bh (mm) = 35.000
 14.水平補剛材の厚さ th (mm) = 4.500
 15.水平補剛材の間隔比 = 0.48:0.48
 16.水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 320.000
 17.水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 320.000
 18.水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19.水平補剛材の位置 y1 (mm) = 350.000
 20.水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21.垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22.垂直補剛材の取付け = N
 23.垂直補剛材の幅 bv (mm) =
 24.垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25.垂直補剛材の間隔 a (mm) = 320.000
 26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27.鋼種 = SM50A SS41
 28.圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29.引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 49.060
 30.ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31.水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32.垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33.終局曲げモーメント (t・m) = 29.380
 34.終局せん断力 (t) = 56.500
 35.支間長 l (mm) = 7000.000
 36.フランジの固定間距離 le (mm) = 1100.000
 37.部分パネルの長さ a (mm) =
 38.全体パネルの長さ L (mm) = 320.000
 39.載荷点位置 Xa (mm) = 2600.000
 40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 520.000
 41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2 (mm) = 360.000
 42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 384.206
 43.国別の分類 = J
 44.旧データ番号 =

1. データ番号		= 29
2. 文献番号		= 46
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= A-2
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 125.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 4.500
9. ウェブ高	bv	(mm) = 750.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 3.200
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 35.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.48:0.48
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 360.000
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 360.000
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) = 390.000
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) =
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) =
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 360.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= SM50A SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 49.060
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 32.200
34. 終局せん断力	(t)	= 57.500
35. 支間長	l	(mm) = 7000.0
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 1200.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 360.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 2600.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 560.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 380.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 408.472
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		=

1. データ番号		= 30
2. 文献番号		= 46
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= A-3
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 125.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 4.500
9. ウェブ高	bv	(mm) = 750.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 3.200
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 35.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.32:0.32:0.32
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 240.000
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 240.000
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) = 240.000
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) = 270.000
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) = 510.000
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) =
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) =
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 360.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= SM50A SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 49.060
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 33.040
34. 終局せん断力	(t)	= 59.000
35. 支間長	l	(mm) = 7000.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 1200.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 360.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 2600.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 560.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 380.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 408.472
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		=

1. データ番号		= 31
2. 文献番号		= 46
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= A-4
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 105.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 4.500
9. ウェブ高	bv	(mm) = 830.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 3.200
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 1
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 35.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.48:0.48
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 400.000
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 400.000
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) =
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) = 430.000
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) =
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) =
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) =
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 400.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= SM50A SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 49.060
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 37.800
34. 終局せん断力	(t)	= 63.000
35. 支間長	l	(mm) = 7000.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 1250.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 400.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 2600.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 600.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 400.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 432.816
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		=

1. データ番号		= 32
2. 文献番号		= 46
3. 荷重タイプ		= 3.
4. 供試体名		= A-5
5. 圧縮フランジ幅	bf	(mm) = 200.000
6. 圧縮フランジ厚	tf	(mm) = 10.000
7. 引張フランジ幅	bf	(mm) = 105.000
8. 引張フランジ厚	tf	(mm) = 4.500
9. ウェブ高	bv	(mm) = 830.000
10. ウェブ厚	tv	(mm) = 3.200
11. 水平補剛材の本数	Nh	= 2
12. 水平補剛材の取付け		= S
13. 水平補剛材の幅	bh	(mm) = 35.000
14. 水平補剛材の厚さ	th	(mm) = 4.500
15. 水平補剛材の間隔比		= 0.32:0.32:0.32
16. 水平補剛材の間隔	b1	(mm) = 266.700
17. 水平補剛材の間隔	b2	(mm) = 266.700
18. 水平補剛材の間隔	b3	(mm) = 266.700
19. 水平補剛材の位置	y1	(mm) = 296.700
20. 水平補剛材の位置	y2	(mm) = 563.400
21. 垂直補剛材の本数	Nv	= 0
22. 垂直補剛材の取付け		= N
23. 垂直補剛材の幅	bv	(mm) =
24. 垂直補剛材の厚さ	tv	(mm) =
25. 垂直補剛材の間隔	a	(mm) = 400.000
26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27. 鋼種		= SM50A SS41
28. 圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29. 引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 49.060
30. ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31. 水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32. 垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33. 終局曲げモーメント	(t·m)	= 38.100
34. 終局せん断力	(t)	= 63.500
35. 支間長	l	(mm) = 7000.000
36. フランジの固定間距離	le	(mm) = 1250.000
37. 部分パネルの長さ	a	(mm) =
38. 全体パネルの長さ	L	(mm) = 400.000
39. 載荷点位置	Xa	(mm) = 2600.000
40. フストハ' 初着目点 (曲げ最大位置)	X1 (mm)	= 600.000
41. フストハ' 初着目点 (フストハ' 初中央)	X2 (mm)	= 400.000
42. フストハ' 初着目点 (等曲げ換算位置)	X3 (mm)	= 432.816
43. 国別の分類		= J
44. 旧データ番号		=

1. データ番号 = 33
 2. 文献番号 = 46
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = B-1
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 11.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 670.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.330
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 1
 12. 水平補剛材の取付け = S
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 70.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 6.000
 15. 水平補剛材の間隔比 = 0.19:0.76
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 128.000
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 512.000
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) = 158.000
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) =
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 640.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 = SM50A SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.330
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 123.550
 34. 終局せん断力 (t) =
 35. 支間長 l (mm) = 7000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 640.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 2150.000
 40. フォトハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フォトハ' 観荷点 (フォトハ' 初中央) X2 (mm) = 3500.000
 42. フォトハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 =

1. データ番号 = 34
 2. 文献番号 = 46
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = B-2
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 11.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 670.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.360
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 1
 12. 水平補剛材の取付け = S
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 55.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 6.000
 15. 水平補剛材の間隔比 = 0.19:0.76
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 128.000
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 512.000
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) = 158.000
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) =
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 320.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 = SM50A SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.330
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 120.050
 34. 終局せん断力 (t) =
 35. 支間長 l (mm) = 7000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 320.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 2150.000
 40. フォトハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フォトハ' 観荷点 (フォトハ' 初中央) X2 (mm) = 3500.000
 42. フォトハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 =

1. データ番号 = 35
 2. 文献番号 = 46
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = B-3
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 11.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 750.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.400
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 1
 12. 水平補剛材の取付け = S
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 70.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 6.000
 15. 水平補剛材の間隔比 = 0.19:0.77
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 144.000
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 576.000
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) = 174.000
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) =
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 720.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 = SM50A SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.330
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 132.125
 34. 終局せん断力 (t) =
 35. 支間長 l (mm) = 7000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 720.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 2150.000
 40. フォトハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フォトハ' 観荷点 (フォトハ' 初中央) X2 (mm) = 3500.000
 42. フォトハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 =

1. データ番号 = 36
 2. 文献番号 = 46
 3. 荷重タイプ = 1.
 4. 供試体名 = B-4
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 11.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 750.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.340
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 1
 12. 水平補剛材の取付け = S
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 55.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 6.000
 15. 水平補剛材の間隔比 = 0.19:0.77
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 144.000
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 576.000
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) =
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) = 174.000
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) =
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) =
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 360.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 = SM50A SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.330
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33. 終局曲げモーメント (t・m) = 144.025
 34. 終局せん断力 (t) =
 35. 支間長 l (mm) = 7000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 360.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 2150.000
 40. フォトハ' 観荷点 (曲げ最大位置) X1 (mm) =
 41. フォトハ' 観荷点 (フォトハ' 初中央) X2 (mm) = 3500.000
 42. フォトハ' 観荷点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) =
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 =

1.データ番号		= 37
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-5
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 11.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 830.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.350
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 70.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.19:0.77
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 160.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 640.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 190.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 800.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.330
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 151.900
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 800.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 2150.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3500.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1.データ番号		= 38
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 1.
4.供試体名		= B-6
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 11.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 830.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.100
11.水平補剛材の本数 Nh		= 1
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 55.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.19:0.77
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 160.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 640.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	=
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 190.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	=
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 400.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.330
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	= 161.175
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 400.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 2150.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	=
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 3500.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	=
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1.データ番号		= 39
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-1
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1155.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 65.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.19:0.29:0.49
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 224.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 336.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 560.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 259.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 595.000
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 560.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 36.460
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	=
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 560.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 4500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2605.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2325.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2339.809
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1.データ番号		= 40
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-2
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1155.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 3
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 75.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.14:0.19:0.32:0.32
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 160.0
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 214.0
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 373.0
19.水平補剛材の間隔 b4	(mm)	= 373.0
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 195.0
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 409.0
20.水平補剛材の位置 y3	(mm)	= 782.0
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 560.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 36.460
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	=
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 560.000
39.載荷点位置 Xa	(mm)	= 4500.000
40.テスト初着目点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2605.000
41.テスト初着目点 (テスト初中央) X2	(mm)	= 2325.000
42.テスト初着目点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2339.809
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1.データ番号		= 41
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-3
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1155.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 60.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.19:0.29:0.49
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 224.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 336.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 560.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 259.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 595.000
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 280.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 36.460
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	=
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 280.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 4500.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2465.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 2325.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2328.926
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1.データ番号		= 42
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-4
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1235.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 65.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.19:0.29:0.49
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 240.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 360.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 600.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 275.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 635.000
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 36.460
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	=
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 600.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 4500.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2625.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 2325.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2341.900
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1.データ番号		= 43
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-5
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1235.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 3
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 75.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 8.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.14:0.19:0.32:0.32
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 171.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 229.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 400.000
19.水平補剛材の間隔 b4	(mm)	= 400.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 206.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 435.000
20.水平補剛材の位置 y3	(mm)	= 835.000
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 600.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 36.460
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	=
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 300.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 4500.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2625.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 2325.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2341.900
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1.データ番号		= 44
2.文献番号		= 46
3.荷重タイプ		= 3.
4.供試体名		= C-6
5.圧縮フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
6.圧縮フランジ厚 tf	(mm)	= 10.000
7.引張フランジ幅 bf	(mm)	= 200.000
8.引張フランジ厚 tf	(mm)	= 14.000
9.ウェブ高 bv	(mm)	= 1235.000
10.ウェブ厚 tv	(mm)	= 3.200
11.水平補剛材の本数 Nh		= 2
12.水平補剛材の取付け		= S
13.水平補剛材の幅 bh	(mm)	= 60.000
14.水平補剛材の厚さ th	(mm)	= 6.000
15.水平補剛材の間隔比		= 0.19:0.29:0.49
16.水平補剛材の間隔 b1	(mm)	= 240.000
17.水平補剛材の間隔 b2	(mm)	= 360.000
18.水平補剛材の間隔 b3	(mm)	= 600.000
19.水平補剛材の位置 y1	(mm)	= 275.000
20.水平補剛材の位置 y2	(mm)	= 635.000
21.垂直補剛材の本数 Nv		= 0
22.垂直補剛材の取付け		= N
23.垂直補剛材の幅 bv	(mm)	=
24.垂直補剛材の厚さ tv	(mm)	=
25.垂直補剛材の間隔 a	(mm)	= 300.000
26.水平補剛材と垂直補剛材の取り合い		= Y
27.鋼種		= SM50A SS41
28.圧縮フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 37.740
29.引張フランジの降伏点	(kg/mm ²)	= 36.460
30.ウェブの降伏点	(kg/mm ²)	= 43.350
31.水平補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
32.垂直補剛材の降伏点	(kg/mm ²)	=
33.終局曲げモーメント	(t・m)	=
34.終局せん断力	(t)	=
35.支間長 l	(mm)	= 7000.000
36.フランジの固定間距離 le	(mm)	=
37.部分パネルの長さ a	(mm)	=
38.全体パネルの長さ L	(mm)	= 300.000
39.観荷点位置 Xa	(mm)	= 4500.000
40.テスト観荷点 (曲げ最大位置) X1	(mm)	= 2475.000
41.テスト観荷点 (テスト観中央) X2	(mm)	= 2325.000
42.テスト観荷点 (等曲げ換算位置) X3	(mm)	= 2329.465
43.国別の分類		= J
44.旧データ番号		=

1. データ番号 = 45
 2. 文献番号 = 46
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = C-7
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1315.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 2
 12. 水平補剛材の取付け = S
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 65.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 6.000
 15. 水平補剛材の間隔比 = 0.19:0.29:0.49
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 256.000
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 384.000
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) = 640.000
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) = 291.000
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) = 675.000
 21. 垂直補剛材の本数 Nv =
 22. 垂直補剛材の取付け = 0
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) = N
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 640.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 = SM50A SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 36.460
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33. 終局曲げモーメント (t・m) =
 34. 終局せん断力 (t) =
 35. 支間長 l (mm) = 7000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 640.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 4500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2645.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 2325.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2344.050
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 =

1. データ番号 = 46
 2. 文献番号 = 46
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = C-8
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1315.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 3
 12. 水平補剛材の取付け = S
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 75.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 8.000
 15. 水平補剛材の間隔比 = 0.14:0.19:0.32:0.32
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 183.000
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 243.000
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) = 427.000
 19. 水平補剛材の間隔 b4 (mm) = 427.000
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) = 218.000
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) = 461.000
 20. 水平補剛材の位置 y3 (mm) = 888.000
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) =
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 640.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 = SM50A SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 36.460
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33. 終局曲げモーメント (t・m) =
 34. 終局せん断力 (t) =
 35. 支間長 l (mm) = 7000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 640.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 4500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2645.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 2325.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2344.050
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 =

1. データ番号 = 47
 2. 文献番号 = 46
 3. 荷重タイプ = 3.
 4. 供試体名 = C-9
 5. 圧縮フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 6. 圧縮フランジ厚 tf (mm) = 10.000
 7. 引張フランジ幅 bf (mm) = 200.000
 8. 引張フランジ厚 tf (mm) = 14.000
 9. ウェブ高 bv (mm) = 1315.000
 10. ウェブ厚 tv (mm) = 3.200
 11. 水平補剛材の本数 Nh = 2
 12. 水平補剛材の取付け = S
 13. 水平補剛材の幅 bh (mm) = 60.000
 14. 水平補剛材の厚さ th (mm) = 6.000
 15. 水平補剛材の間隔比 = 0.19:0.29:0.49
 16. 水平補剛材の間隔 b1 (mm) = 256.000
 17. 水平補剛材の間隔 b2 (mm) = 384.000
 18. 水平補剛材の間隔 b3 (mm) = 640.000
 19. 水平補剛材の位置 y1 (mm) = 291.000
 20. 水平補剛材の位置 y2 (mm) = 675.000
 21. 垂直補剛材の本数 Nv = 0
 22. 垂直補剛材の取付け = N
 23. 垂直補剛材の幅 bv (mm) =
 24. 垂直補剛材の厚さ tv (mm) =
 25. 垂直補剛材の間隔 a (mm) = 320.000
 26. 水平補剛材と垂直補剛材の取り合い = Y
 27. 鋼種 = SM50A SS41
 28. 圧縮フランジの降伏点 (kg/mm²) = 37.740
 29. 引張フランジの降伏点 (kg/mm²) = 36.460
 30. ウェブの降伏点 (kg/mm²) = 43.350
 31. 水平補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 32. 垂直補剛材の降伏点 (kg/mm²) =
 33. 終局曲げモーメント (t・m) =
 34. 終局せん断力 (t) =
 35. 支間長 l (mm) = 7000.000
 36. フランジの固定間距離 le (mm) =
 37. 部分パネルの長さ a (mm) =
 38. 全体パネルの長さ L (mm) = 320.000
 39. 観荷点位置 Xa (mm) = 4500.000
 40. フスト^ハ初着目点 (曲げ最大位置) X1 (mm) = 2485.000
 41. フスト^ハ初着目点 (フスト^ハ初中央) X2 (mm) = 2325.000
 42. フスト^ハ初着目点 (等曲げ換算位置) X3 (mm) = 2330.077
 43. 国別の分類 = J
 44. 旧データ番号 =

既存のプレートガーダー耐荷力実験データ
に関する検討

ISSN 0386-5878
土木研究所資料第2940号
平成3年3月 (1991)

藤原 稔, 村越 潤
鹿嶋 久義, 斉藤 浩

要 旨 現在, 土木研究所では, 道路橋示方書の限界状態設計法への移行を
ふまえ, 荷重及び部材の耐荷力に関して種々の研究を行っている。鋼部材の耐
荷力に関しては, プレートガーダーを対象に主として終局限界状態の照査に用
いるべき耐荷力に関する検討を行っている。本報告は, プレートガーダーの耐
荷力の統計的性質を評価する上で基本となる既存の実験データを整理し, とり
まとめたものである。

キーワード: プレートガーダー, 耐荷力, 限界状態設計法

郵便はがき

下は切手
を
さいて

305-□□

茨城県つくば市大字旭一番地

建設省土木研究所

構造橋梁部橋梁研究室

御中

No. 20

No. 20

配布先氏名

配布先住所



土木研究所資料第2940号 部

上記のとおり受領しました。

所 属 (住所)

氏 名

印